令 和 6 年 度

行　政　報　告　書

岡　　谷　　市

令和６年度行政報告書　目次

総説 …… 1
議会 …… 9
市長部局 …… 23
企画政策部 …… 25
企画課 …… 27
秘書広報課 …… 41
地域創生推進課 …… 47
総務部 …… 55
総務課 …… 57
支所・イルフプラザ出張所 …… 69
財政課 …… 73
税務課 …… 89
消防課 …… 99
危機管理室 …… 105
市民環境部 …… 113
市民生活課 …… 115
医療保険課 …… 127
環境課 …… 135
健康福祉部 …… 149
（福祉事務所）
社会福祉課 …… 151
介護福祉課 …… 167
子ども課 …… 181
健康推進課 …… 193
産業振興部 …… 209
工業振興課 …… 211
商業観光課 …… 229
ブランド推進室 …… 235
農林水産課 …… 251
建設水道部 …… 259
都市計画課 …… 261
土木課 …… 267
水道課 …… 277
会計課 …… 281
教育委員会 …… 285
教育部 …… 287
教育総務課 …… 289
川岸学園整備室 …… 303
生涯学習課 …… 307
スポーツ振興課 …… 327
選挙管理委員会 …… 339
監査委員 …… 345
公平委員会 …… 349
農業委員会 …… 353

総　　説

総　　説

令和６年度における我が国の経済は、日本銀行がマイナス金利を終了、企業の資本効率の改善や株主還元が進んだことなどが投資家から評価され、日経平均株価が史上最高値を更新し企業の投資意欲が高まったほか、春季労使交渉の賃上げ率が３３年ぶりの高水準となり実質所得が増加に転じたことで、個人消費を押し上げた。

さらに、円安効果の下支えによりインバウンド需要は訪日客数及び訪日外国人旅行消費額が過去最高となるなど、日本経済の好循環を後押しした。

一方で、米国の高関税政策をはじめ、国際経済の不確実性や成長率鈍化により、先行きにおいて不透明感が広がった。

本市の基幹産業である製造業においては、一部に回復基調の兆しを見せたものの、半導体・自動車・産業機械など幅広い分野で海外経済の低迷などを背景に受注は不安定な状況が続くとともに、人材不足や物価のさらなる高騰などから企業経営は厳しい状況が続いた。

こうした中、令和６年度は「第５次岡谷市総合計画後期基本計画」の初年度となることから、前期基本計画における取組の成果を検証しつつ、次の５年間を見据えた持続的な成長を目指し、すべての市民が健康で生きがいを持って暮らすことができるまちづくりの推進と、まちの利便性や魅力を高める生活基盤の充実に取り組み、誰もが暮らしやすく、若者や女性が「戻りたい、働きたい、住み続けたい」と思える、寛容的で魅力的な岡谷市を市民とともに築いていくため、「笑顔あふれる子どもの育成」、「まちの元気・活力の創造」、「住み心地の良い生活基盤の充実」の３つを予算編成における重点施策に掲げ、前年度補正予算と令和６年度当初予算を一体とした「１４か月予算」を編成し、各種施策・事業を積極的に展開した。

１　笑顔あふれる子どもの育成

子育て支援では、すべての妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的な相談支援として「岡谷市こども家庭センター（愛称：まゆっこベースおかや）」の設置や、いつでも小児科医等とつながることができるオンライン相談の導入により、安心して子育てができる環境づくりを推進した。

また、保育園及び学校の給食費について、物価高騰に伴う食材費等の高騰分に対して支援したほか、３歳未満児保育料の無償化等を実施し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図った。

教育環境の充実では、川岸学園構想に基づき異年齢の子どもたちをつなぐ新たな学び舎の創出に向けて、「川岸学園設立準備室」から「川岸学園整備室」へ改称し、施設整備にかかる設計業務を実施したほか、川岸学園設立準備委員会及び専門部会を設置し、開校・開園に向けた検討、調整を行った。

学校施設整備では、岡谷東部中学校のトイレ洋式化改修工事を実施したほか、上の原小学校の昇降口前舗装改修や岡谷南部中学校の体育館屋根等補修工事を実施し、安全・安心で、快適な学習環境の整備に努めた。

２　まちの元気・活力の創造

工業の振興では、省力化や自動化のための設備投資及びデジタル技術の活用・導入を支援したほか、新技術・新製品等の開発、カーボンニュートラルへの対応などを通じ、企業間競争力の強化や持続可能な成長を後押しした。

また、人材の確保に向けた働く人とその家族にもやさしい職場づくりを支援し、働きやすい職場環境の整備を推進した。

観光の振興では、諏訪湖サイクリングロードの全線開通を契機としたサイクリングツアーの開催のほか、岡谷湖畔公園へのモニュメント設置により、新たな観光スポットとして観光誘客に努めた。

このほか、移住希望者に対する岡谷の魅力体験や若者の定住促進に向けた取組を拡充するとともに、地域おこし協力隊によるシティプロモーションの強化により、移住・定住のさらなる促進を図った。

３　住み心地の良い生活基盤の充実

頻発する自然災害への対応として、緊急時の情報発信機能を強化するため、防災行政無線のデジタル化及び防災気象情報システムの構築を推進したほか、河川氾濫や浸水被害を未然に防ぐため、河川の護岸や河床の維持補修を実施した。

また、地域防災の基盤を担う消防団装備の充実として、第３分団へ災害対応型多機能消防車両を配備したほか、第９分団屯所及び川岸水防庫の新築工事に着手し、地域の防災力・減災力の強化を図った。

環境保全の推進では、岡谷市環境基本条例に基づき、環境施策を総合的かつ計画的に推進するため、第２次岡谷市地球温暖化対策実行計画を包含する「第５次岡谷市環境基本計画」を策定した。

このほか、岡谷駅周辺整備に向けて、駅周辺及び中心市街地と連続する区域の基礎調査に着手したほか、ララオカヤの安全対策工事を行った。

４　物価高騰への対応

低所得世帯を対象とする給付金給付事業のほか、定額減税及び定額減税補足給付金給付事業を実施し、物価高騰下における市民生活を支援した。

このほか、民間の保育施設等や高齢者福祉施設における運営費の一部を助成し、安定的なサービス提供を支援した。

5　歳入面

令和６年度の一般会計歳入決算額は23,470,759,492円 で、前年度決算額に比べ375,254,888円、1.6%の減となった。

一般会計　歳入決算額款別比較表

款	令和６年度(A)	令和５年度(B)	(A)／(B)
1　市税	円 6,635,370,394	円 6,969,529,656	% 95.2
2　地方譲与税	131,064,000	160,273,000	81.8
3　利子割交付金	2,966,000	2,151,000	137.9
4　配当割交付金	53,371,000	39,432,000	135.3
5　株式等譲渡所得割交付金	71,154,000	39,224,000	181.4
6　法人事業税交付金	130,684,000	120,792,000	108.2
7　地方消費税交付金	1,288,748,000	1,271,824,000	101.3
8　ゴルフ場利用税交付金	8,766,114	9,956,283	88.0
9　環境性能割交付金	14,344,000	12,753,000	112.5
10　地方特例交付金	298,310,000	89,538,000	333.2
11　地方交付税	5,470,966,000	5,145,878,000	106.3
12　交通安全対策特別交付金	7,615,000	7,739,000	98.4
13　分担金及び負担金	110,746,295	128,064,576	86.5
14　使用料及び手数料	420,696,209	432,173,082	97.3
15　国庫支出金	(66,057,000) 2,786,803,398	(424,968,000) 3,321,146,512	83.9
16　県支出金	1,103,513,670	(1,465,000) 1,069,276,997	103.2
17　財産収入	80,690,126	97,744,936	82.6
18　寄附金	184,447,240	120,196,000	153.5
19　繰入金	124,959,191	73,790,700	169.3
20　繰越金	(47,686,000) 735,278,974	(93,187,000) 853,602,525	86.1
21　諸収入	1,098,505,881	1,010,751,113	108.7
22　市債	(43,700,000) 2,711,760,000	(283,600,000) 2,870,178,000	94.5
合　　計	(157,443,000) 23,470,759,492	(803,220,000) 23,846,014,380	98.4

※（　）書の数値は内書きであり、前年度から繰り越された財源である。

6　歳出面

令和６年度の一般会計歳出決算額は22,742,687,473円 で、前年度決算額に比べ368,047,933円、1.6%の減となった。

一般会計　歳出決算額款別比較表

款	令和６年度(A)	令和５年度(B)	(A)／(B)
	円	円	%
1　議会費	191,043,123	183,059,875	104.4
2　総務費	(12,463,000) 3,227,203,638	(12,107,583) 2,694,304,478	119.8
3　民生費	7,354,456,925	7,545,441,820	97.5
4　衛生費	(2,741,124) 2,105,170,733	1,979,765,391	106.3
5　労働費	88,186,752	85,446,782	103.2
6　農林水産業費	(39,995,000) 255,021,802	(21,756,000) 175,119,485	145.6
7　商工費	1,642,919,028	(3,737,000) 1,841,829,139	89.2
8　土木費	(57,810,500) 1,898,595,325	(461,664,500) 2,343,767,395	81.0
9　消防費	622,067,168	597,740,828	104.1
10　教育費	(43,694,200) 1,980,164,922	(87,338,000) 1,825,808,145	108.5
11　公債費	3,377,858,057	3,575,213,066	94.5
12　予備費	0	0	―
13　災害復旧費		(263,239,002) 263,239,002	0.0
合　　計	(156,703,824) 22,742,687,473	(849,842,085) 23,110,735,406	98.4

※（　）書の数値は内書きであり、前年度から繰り越された経費の歳出である。

議　　会

第１　概説

定例会４回（会期日数８４日、うち開議日数２３日）が開催され、１１０件の議案等が審議された。

議会運営に関する事務等のほか、議会基本条例の規定に基づき、各種取り組みを実施した。

政策提言では、令和５年度より各常任委員会においてテーマを設定し、調査研究を行い、全議員で構成する政策討論会議における討論等ののち、全議員の総意による政策提言書として議長より市長へ提出した。各常任委員会のテーマについて、総務委員会は「民間の力を引き出す公民連携の仕組み作り～岡谷市における公民連携の推進によるエリア価値向上と市民生活の充実～」、社会委員会は「障がい者の自立に向けて～すべての市民が支えあい、こころ豊かになるまちを目指して～」、産業建設委員会は「地域資源を活用した観光の振興～地域経済の活性化に向けて～」とした。

また、情報発信及び広報広聴機能においては、議会広報広聴委員会が中心となり、市議会だより「議会のひろば」の発行、市民との交流、意見交換等の機会を設けたほか、岡谷市中学生メッセへの参加や議会報告会を開催するなど取り組みの充実を図った。

さらに、議会改革等の関係においては、議員のなり手不足について考えるシンポジウム、市民との対話集会を実施した。

その他、市の岡谷駅周辺整備事業、川岸学園整備事業に関し、特別委員会を設置した。

第２　実績総括

主な事務事業	内　　容
議会運営事務	議長、副議長 議　長　　今井　康善（令和５年５月１６日選挙） 副議長　　小松　　壮（　　〃　　） 監査委員 監査委員　中島　秀明（令和５年５月１７日同意） ※◎委員長　　○副委員長 【常任委員会委員の構成】 （令和５年５月１７日選任・正副委員長互選） 総務委員会（６人） ◎吉田　　浩　○早出すみ子　　今井　康善　　花岡健一郎 宇野　香二　　今井　浩一

社会委員会（６人）
◎山崎　仁　○秋山　良治　土橋　学　小松　壮
田村みどり　上田　澄子

産業建設委員会（６人）
◎渡辺　太郎　○藤森　弘　酒井　和彦　中島　秀明
笠原征三郎
丸山　善行（※令和５年９月２４日選任）

【議会運営委員会委員の構成】
（令和５年５月１７日選任・正副委員長互選）
議会運営委員会（７人）
◎笠原征三郎　○花岡健一郎　山崎　仁　宇野　香二
上田　澄子　渡辺　太郎　吉田　浩

【組合議会議員等の構成】
（令和５年５月１７日選挙）
諏訪広域連合議会議員（５人）
今井　康善　小松　壮　宇野　香二　早出すみ子
今井　浩一

湖北行政事務組合議会議員（９人）
今井　康善　秋山　良治　山崎　仁　小松　壮
田村みどり　酒井　和彦　上田　澄子　渡辺　太郎
吉田　浩

湖周行政事務組合議会議員（４人）
今井　康善　花岡健一郎　小松　壮　笠原征三郎

諏訪広域公立大学事務組合議会議員（３人）
今井　康善　土橋　学　藤森　弘

【決算特別委員会委員の構成】
（令和６年９月３日設置、正副委員長互選）
一般・特別会計（８人）
◎藤森　弘　○土橋　学　吉田　浩　早出すみ子
花岡健一郎　田村みどり　丸山　善行　小松　壮

企業会計（８人）
◎上田　澄子　○秋山　良治　宇野　香二　今井　浩一
渡辺　太郎　笠原征三郎　山崎　仁　酒井　和彦

【会派の構成】
おかや未来研究室（８人）
吉田　浩　中島　秀明　渡辺　太郎　宇野　香二
藤森　弘　今井　浩一　秋山　良治　土橋　学
日本共産党岡谷市議団（３人）
笠原征三郎　早出すみ子　上田　澄子
やまびこ（２人）
山崎　仁　花岡健一郎
無会派（３人）
田村みどり　酒井　和彦　丸山　善行

	【議会をテーマに行った市民講座等】 いちい学級（湊公民館） 日　時　７月５日（金） 場　所　全員協議会室ほか 参加者　７人 内　容　「私たちの市議会を知ろう」 いちい学級（カルチャーセンター） 日　時　１０月１７日（木） 場　所　全員協議会室ほか 参加者　３０人 内　容　「議会見学＆議員さんとの座談会」 議員のなり手不足に向き合うシンポジウム 日　時　１０月３日（木） 場　所　カノラ小ホール 参加者　約２００人 内　容　第１部：基調講演 （早稲田大学マニフェスト研究所顧問　北川正恭氏） 第２部：パネルディスカッション 対話集会 日　時　１０月２２日（火）から１２月１７日（火）の間で６回開催 場　所　市役所、イルフプラザ等　市内６会場 参加者　延べ約１５０人 内　容　市議会の議員定数について市民の皆さんと意見交換 議会報告会 「夢と希望がもてるまちづくり」 日　時　３月２５日（火） 場　所　イルフプラザカルチャーセンター 参加者　１７人 内　容　第１部　議会活動の報告 第２部　意見交換会 テーマ 「岡谷駅周辺整備事業」 「川岸学園整備事業」 「その他」 （12,391,450 円）
姉妹都市親善友好事業	東伊豆町との議員交流研修会 日　時　５月８日（水） 場　所　岡谷市役所 参加者　３０人（岡谷市１８人、東伊豆町１２人） 内　容　岡谷市と岡谷市議会の概況について 市内施設視察 （445,324 円）

第３　主要な統計、行政資料等

１　議　案

議案番号	件　　名	提出月日	付託委員会	議決月日	審議結果
議案第45号	岡谷市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	6.13	社会	6.25	原案可決
議案第46号	岡谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	6.13	社会	6.25	原案可決
議案第47号	岡谷健康福祉施設条例の一部を改正する条例	6.13	社会	6.25	原案可決
議案第48号	岡谷市下水道条例の一部を改正する条例	6.13	産業建設	6.25	原案可決
議案第49号	工事請負契約について	6.13	総務	6.25	原案可決
議案第50号	財産の取得について	6.13	総務	6.25	原案可決
議案第51号	令和６年度岡谷市一般会計補正予算（第３号）	6.13	３常任	6.25	原案可決
議案第52号	令和６年度岡谷市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）	6.13	社会	6.25	原案可決
議案第53号	令和６年度岡谷市病院事業会計補正予算（第２号）	6.13	社会	6.25	原案可決
議案第54号※	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書	6.25	（総）	6.25	原案可決
議案第55号※	さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保を求める意見書	6.25	（総）	6.25	原案可決
議案第56号※	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書	6.25	（総）	6.25	原案可決
議案第57号※	現行の健康保険証の存続を求める意見書	6.25	（共）	6.25	否決
議案第58号※	緊急避妊薬に対するアクセス改善を求める意見書	6.25	（超）	6.25	否決
議案第59号	令和５年度岡谷市一般会計歳入歳出決算認定について	9.3	決算特別	10.1	認定
議案第60号	令和５年度岡谷市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	9.3	決算特別	10.1	認定
議案第61号	令和５年度岡谷市地域開発事業特別会計歳入歳出決算認定について	9.3	決算特別	10.1	認定
議案第62号	令和５年度岡谷市分収造林事業特別会計歳入歳出決算認定について	9.3	決算特別	10.1	認定
議案第63号	令和５年度岡谷市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について	9.3	決算特別	10.1	認定
議案第64号	令和５年度岡谷市温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について	9.3	決算特別	10.1	認定

議案第65号	令和５年度岡谷市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	9.3	決算特別	10.1	認定
議案第66号	令和５年度岡谷市湊財産区一般会計歳入歳出決算認定について	9.3	決算特別	10.1	認定
議案第67号	令和５年度岡谷市水道事業会計の決算認定について	9.3	決算特別	10.1	認定
議案第68号	令和５年度岡谷市下水道事業会計の決算認定について	9.3	決算特別	10.1	認定
議案第69号	令和５年度岡谷市病院事業会計の決算認定について	9.3	決算特別	10.1	認定
議案第70号	岡谷市教育委員会委員の選任について	9.4		9.4	同意
議案第71号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	9.4		9.4	同意
議案第72号	岡谷市手数料条例の一部を改正する条例	9.4	産業建設	10.1	原案可決
議案第73号	岡谷市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例	9.4	社会	10.1	原案可決
議案第74号	岡谷市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	9.4	社会	10.1	原案可決
議案第75号	岡谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例	9.4	社会	10.1	原案可決
議案第76号	岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	9.4	社会	10.1	原案可決
議案第77号	岡谷市空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例	9.4	産業建設	10.1	原案可決
議案第78号	長野県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	9.4	社会	10.1	原案可決
議案第79号	令和６年度岡谷市一般会計補正予算（第６号）	9.4	総務	9.4	原案可決
議案第80号	令和６年度岡谷市一般会計補正予算（第７号）	9.4	総務 社会	10.1	原案可決
議案第81号	令和６年度岡谷市病院事業会計補正予算（第４号）	9.4	社会	10.1	原案可決
議案第82号	主要地方道下諏訪辰野線拡幅改良を求める意見書	10.1	産業	10.1	原案可決
議案第83号 ※	女子差別撤廃条約選択議定書の批准に向けた速やかな検討を求める意見書	10.1	（超）	10.1	原案可決
議案第84号 ※	現行の健康保険証の存続を求める意見書	10.1	（共）	10.1	否決
議案第85号 ※	ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書	10.1	（超）	10.1	否決
議案第86号	岡谷市役所出張所設置条例を廃止する条例	11.29	総務	12.12	原案可決
議案第87号	岡谷市文化会館条例等の一部を改正する条例	11.29	３常任	12.12	原案可決
議案第88号	岡谷市都市公園条例の一部を改正する条例	11.29	産業建設	12.12	原案可決

議案第89号	岡谷市布設工事監督者の配置基準等に関する条例の一部を改正する条例	11.29	産業建設	12.12	原案可決
議案第90号	諏訪広域連合規約の一部変更について	11.29	総務	12.12	原案可決
議案第91号	令和６年度岡谷市一般会計補正予算（第９号）	11.29	３常任	12.12	原案可決
議案第92号	令和６年度岡谷市水道事業会計補正予算（第１号）	11.29	産業建設	12.12	原案可決
議案第93号	令和６年度岡谷市病院事業会計補正予算（第５号）	11.29	社会	12.12	原案可決
議案第１号	岡谷市等公平委員会委員の選任について	2.18		2.18	同意
議案第２号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	2.18		2.18	同意
議案第３号	岡谷市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	2.18	総務	2.18	原案可決
議案第４号	岡谷市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	2.18	総務	2.18	原案可決
議案第５号	岡谷市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	2.18	総務	2.18	原案可決
議案第６号	岡谷市保育所条例の一部を改正する条例	2.18	社会	2.18	原案可決
議案第７号	令和６年度岡谷市一般会計補正予算（第１２号）	2.18	３常任	2.18	原案可決
議案第８号	令和６年度岡谷市国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号）	2.18	社会	2.18	原案可決
議案第９号	令和６年度岡谷市水道事業会計補正予算（第２号）	2.18	産業建設	2.18	原案可決
議案第10号	令和６年度岡谷市下水道事業会計補正予算（第１号）	2.18	産業建設	2.18	原案可決
議案第11号	令和６年度岡谷市病院事業会計補正予算（第６号）	2.18	社会	2.18	原案可決
議案第12号	岡谷市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	2.18		2.18	原案可決
議案第13号	令和６年度岡谷市一般会計補正予算（第１３号）	2.18		2.18	原案可決
議案第14号	岡谷市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例等の一部を改正する条例	2.18	総務	3.17	原案可決
議案第15号	岡谷市職員定数条例の一部を改正する条例	2.18	総務	3.17	原案可決
議案第16号	岡谷市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例	2.18	総務	3.17	原案可決
議案第17号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	2.18	総務	3.17	原案可決

議案第18号	岡谷市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	2.18	総務	3.17	原案可決
議案第19号	旧渡辺家住宅保全基金条例を廃止する条例	2.18	総務	3.17	原案可決
議案第20号	岡谷市手数料条例の一部を改正する条例	2.18	産業建設	3.17	原案可決
議案第21号	岡谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	2.18	社会	3.17	原案可決
議案第22号	岡谷市都市公園条例の一部を改正する条例	2.18	産業建設	3.17	原案可決
議案第23号	岡谷市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	2.18	総務	3.17	原案可決
議案第24号	岡谷市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	2.18	総務	3.17	原案可決
議案第25号	令和７年度岡谷市一般会計予算	2.18	３常任	3.17	原案可決
議案第26号	令和７年度岡谷市国民健康保険事業特別会計予算	2.18	社会	3.17	原案可決
議案第27号	令和７年度岡谷市地域開発事業特別会計予算	2.18	産業建設	3.17	原案可決
議案第28号	令和７年度岡谷市分収造林事業特別会計予算	2.18	産業建設	3.17	原案可決
議案第29号	令和７年度岡谷市霊園事業特別会計予算	2.18	社会	3.17	原案可決
議案第30号	令和７年度岡谷市温泉事業特別会計予算	2.18	産業建設	3.17	原案可決
議案第31号	令和７年度岡谷市後期高齢者医療事業特別会計予算	2.18	社会	3.17	原案可決
議案第32号	令和７年度岡谷市湊財産区一般会計予算	2.18	総務	3.17	原案可決
議案第33号	令和７年度岡谷市水道事業会計予算	2.18	産業建設	3.17	原案可決
議案第34号	令和７年度岡谷市下水道事業会計予算	2.18	産業建設	3.17	原案可決
議案第35号	令和７年度岡谷市病院事業会計予算	2.18	社会	3.17	原案可決
議案第36号	岡谷市教育委員会教育長の任命について	3.17		3.17	同意
議案第37号	岡谷市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	3.17		3.17	原案可決
議案第38号	福祉医療給付制度を国の制度として確立することと、医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置をすべて廃止することを求める意見書	3.17		3.17	原案可決

注　・議案番号欄の※印は議員提出議案を示す。
　　・付託委員会欄の（　）書は議案提出者の所属委員会等を示す。

２　報　告

報告番号	件　　名	提出月日	付託委員会	議決月日	審議結果
報告第５号	専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額の決定について）	6.13		6.13	報告
報告第６号	専決処分の承認を求めることについて（岡谷市市税条例の一部を改正する条例）	6.13		6.13	承認
報告第７号	専決処分の承認を求めることについて（岡谷市都市計画税条例の一部を改正する条例）	6.13		6.13	承認
報告第８号	専決処分の承認を求めることについて（岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	6.13		6.13	承認
報告第９号	専決処分の承認を求めることについて（令和５年度岡谷市一般会計補正予算（第１８号））	6.13		6.13	承認
報告第10号	専決処分の承認を求めることについて（令和６年度岡谷市一般会計補正予算（第１号））	6.13		6.13	承認
報告第11号	専決処分の承認を求めることについて（令和６年度岡谷市一般会計補正予算（第２号））	6.13		6.13	承認
報告第12号	専決処分の承認を求めることについて（令和６年度岡谷市病院事業会計補正予算（第１号））	6.13		6.13	承認
報告第13号	専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額の決定について）	6.13		6.13	報告
報告第14号	令和５年度岡谷市一般会計繰越明許費繰越計算書について	6.13		6.13	報告
報告第15号	令和５年度岡谷市水道事業会計予算繰越計算書について	6.13		6.13	報告
報告第16号	令和５年度岡谷市水道事業会計予算繰越計算書（事故繰越）について	6.13		6.13	報告
報告第17号	令和５年度岡谷市下水道事業会計予算繰越計算書について	6.13		6.13	報告
報告第18号	専決処分の承認を求めることについて（令和６年度岡谷市病院事業会計補正予算（第３号））	9.3		9.3	承認
報告第19号	専決処分の承認を求めることについて（令和６年度岡谷市一般会計補正予算（第４号））	9.3		9.3	承認
報告第20号	専決処分の承認を求めることについて（令和６年度岡谷市一般会計補正予算（第５号））	9.3		9.3	承認
報告第21号	専決処分の承認を求めることについて（令和６年度岡谷市一般会計補正予算（第８号））	11.29		11.29	承認

報告第 22 号	専決処分の報告について （和解及び損害賠償の額の決定について）	11.29		11.29	報告
報告第 1 号	専決処分の承認を求めることについて（令和６年度岡谷市一般会計補正予算（第１０号））	2.18		2.18	承認
報告第 2 号	専決処分の承認を求めることについて（令和６年度岡谷市一般会計補正予算（第１１号））	2.18		2.18	承認

3　請　願

請願番号	件　　名	提出月日	付託委員会	議決月日	審議結果
請願第３号	訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願	6.13	社会	6.25	趣旨採択
請願第４号	選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書の提出を求める請願	2.18	社会	3.17	不採択
請願第５号	岡谷市議会議員定数削減などを求める請願	2.18	議会運営	3.17	採　択

4　本会議の状況

（単位：件）

会期	会期日数	開議日数	提出議案等									議決結果											意見書・決議
			市長提出				議員提出		選挙・選任	請願（内継続分）	計	原案可決	否決	同意	認定	報告	承認	決定	選挙・選任	採択	不採択	趣旨採択	
			条例	予算・決算	その他	報告（内専決）	条例	その他															
R6 第３回定例会 6.13～6.25	日 13	日 5	4	3	2	13 (7)		5		1 (0)	28	12	2			6	7					1	3
第４回定例会 9.3～10.1	29	6	7	14		3 (3)		4	2		30	12	2	2	11		3						4
第５回定例会 11.29～12.12	14	5	4	4	1	1 (1)					10	8				1	1						
R7 第１回定例会 2.18～3.17	28	7	15	17		2 (2)	2	1	3	2 (0)	42	35		3			2			1	1		1
定例 (4)	84	23	30	38	3	19 (13)	2	10	5	3	110	67	4	5	11	7	13			1	1	1	8
臨時 (0)																							
計 (4)	84	23	30	38	3	19 (13)	2	10	5	3	110	67	4	5	11	7	13			1	1	1	8

5　委員会・全員協議会等開催状況

委員会名		回数	
総務	委員会	7	9
	委員協議会	2	
社会	委員会	6	１０
	委員協議会	4	
産業建設	委員会	6	7
	委員協議会	1	
決算特別委員会	一般・特別	3	
	企業	3	
議会運営委員会		１３	
全員協議会		１０	
議会改革検討委員会		１０	
議会広報広聴委員会		１６	
政策討論会議		2	

注　各委員会とも行政視察を除く。

6　行政視察先

委員会名、視察期日	視察市町村	視　察　内　容
総務委員会 （7／24～7／26）	岩手県　盛岡市、紫波町 岩手県　紫波町 福島県　須賀川市	・公民連携のまちづくりについて ・公民連携事業の進め方について ・市立義務教育学校 稲田学園の取組みについて ・駅西地区都市再整備事業について
社会委員会 （7／24～7／26）	神奈川県　藤沢市 神奈川県　川崎市 神奈川県　横浜市 山梨県　北杜市	・「藤－teria」 ・日本理化学工業株式会社 ・「横浜ラポール」 ・社会福祉法人 緑樹会「グリーンヒルホーム」
産業建設委員会 （7／24～7／26）	山梨県　南アルプス市 神奈川県　相模原市 神奈川県　綾瀬市 神奈川県　小田原市	・フモット地域交流エリア ・サイクルツーリズム推進プラン ・ロケツーリズム事業 ・地域資源の活用による観光産業

7　行政視察受入

団体名	人員	期日	視察内容	担当課
長野県諏訪市議会	3	5.15	防災倉庫について	危機管理室
静岡県伊豆の国市議会	4	7.3	放課後子どもの居場所づくり事業について	教育総務課
東京都町田市議会	9	7.8	女性の健康づくりに対する事業について	健康推進課
京都府舞鶴市議会	12	7.11	政策提言、議会報告会について	議会事務局
山梨県甲府市議会	16	8.8	政策提言について	議会事務局
茨城県結城市議会	10	8.20	議会改革の取り組みについて	議会事務局
合　計	54人	6日		

市　　長　　部　　局

企　画　政　策　部

企　　画　　課

第１　概説

企画課では、「第５次岡谷市総合計画後期基本計画」に基づく各種施策の総合調整のほか、まちづくりにおける重要課題の検討のための庁内調整を行った。

このほか、広域行政、行政改革、公共施設整備の進行管理、自治体ＤＸ、統計調査などの業務を執行した。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
企画事務	１　庁内調整 （１）行政管理委員会 市長の意思決定を補完する内部機関として庁内の意思決定を行うため、２０回開催した。 （２）庁内会議 各種施策の推進に向けて庁内調整を行うため、３８回開催した。 ２　実施計画の策定 「第５次岡谷市総合計画」を推進するための実行計画として、令和７年度から令和９年度までの３年間に実施を予定している重点施策等について、事業内容と財源を明らかにした。 ３　主要施策の進行管理 令和６年度に予算化された事業のうち、特に重要な１２事業を指定事務事業として選定し、行政管理委員会へ定期的に執行状況を報告した。 ４　陳情・請願の処理 ・受陳情：３０件（企画政策部８件、総務部３件、市民環境部１件、健康福祉部７件、産業振興部３件、建設水道部５件、教育部３件） ・発陳情：５件（企画政策部１件、建設水道部４件） ５　総合教育会議の運営 市長と教育委員会により構成する岡谷市総合教育会議を開催し、教育行政に関する重要な事項などについて協議を行った。 ・構成員：市長、教育長、教育長職務代理者、教育委員４名（計７名） ・会　議：１回開催（令和７年２月４日（火）） (1,691,918円)

総合計画推進事業	第５次岡谷市総合計画の着実な推進を図るため、岡谷市基本構想審議会を開催した。 ・第１回岡谷市基本構想審議会 開催日：５月１５日（水） 内　容：令和６年度取組内容 ・第２回岡谷市基本構想審議会 開催日：８月２１日（水） 内　容：前期基本計画の評価、デジタル田園都市国家構想交付金充当事業の執行状況 ・第３回岡谷市基本構想審議会 開催日：８月２８日（水） 内　容：委嘱書交付、令和６年度取組内容 (187,468円)
旧岡谷市役所庁舎保全事業	旧岡谷市役所庁舎を後世に継承するため、令和４年度の老朽度調査及び令和５年度の実施設計をもとに、耐震補強等工事を実施した。 また、建物の歴史的・建築的価値を広く発信するため、シルクフェアにあわせて見学ツアーを開催した。 さらに、今後の事業方針を検討するため、文化財（建造物）の保全活用の先進事例として、茨城県常陸太田市の梅津会館（旧太田町役場)、群馬県前橋市の昭和庁舎（旧群馬県庁)、群馬県富岡市の富岡製糸場を視察した。 ・耐震補強等工事監理業務委託料：３，２５６，０００円 ・耐震補強等工事：６７，１００，０００円 (70,642,000 円)
広域行政事業	１　諏訪広域連合 広域連合規約で定められた事業及び広域連合で決定された事業を実施した。 ・諏訪広域連合負担金：２９，５８６，１６０円 ２　諏訪広域公立大学事務組合 諏訪広域公立大学事務組合等の各種会議に出席し、公立諏訪東京理科大学の運営等について協議を行った。 ・諏訪広域公立大学事務組合負担金：５６７，５４９円 ３　市町村担当者会議 長野県と市町村及び広域連合が連携し、諏訪湖創生ビジョンの推進に係る会議等に出席した。 (30,158,615円)
岡谷駅前再開発ビル管理事業	１　岡谷駅前再開発ビルララオカヤの施設管理を行い、安全対策として、死角となる階段入口等の封鎖、出入り口周辺のアプローチ封鎖、広告塔点検デッキや懸垂幕等の撤去等の安全対策工事を実施した。 ・駅前再開発ビル安全管理工事：１１，４４０，０００円 ２　駅周辺整備の方向性を検討するため、駅周辺・中心市街地の基礎調査として、本市の現況特性、課題の整理、公共施設等の特性の整理、公共施設等利用状況に係る調査、交通利用状況に係る調査等を実施した。 ・駅周辺整備検討調査業務委託料：８，９９８，０００円 (22,928,794 円)

岡谷駅周辺整備事業	岡谷駅前再開発ビルララオカヤの令和８年度の解体着手及び岡谷駅周辺の整備検討に向けた岡谷駅周辺まちの将来ビジョンの策定のほか、駅周辺の現状把握を目的とした交通実態調査等に着手した。 ・岡谷駅周辺まちの将来ビジョン等策定支援業務： ３５，５４１，０００円 （繰越額　36,000,000 円）
行政改革推進事務	１　「岡谷市行財政改革プログラム（令和元年度～令和５年度）」の総括及び「第２次岡谷市行財政改革プログラム（令和６年度～令和１０年度）」の推進 （１）「岡谷市行財政改革プログラム」の進行管理 令和５年度の取組状況及び行財政改革プログラム５年間の取組について総括・公表を行った。 ・令和５年度の達成率：６８．２％ （２）「第２次岡谷市行財政改革プログラム」の進行管理 令和６年度に計画する取組項目の取りまとめなど進行管理を行った。 （３）行政改革審議会 「岡谷市行財政改革プログラム」の令和５年度の取組状況やプログラムの総括、「第２次岡谷市行財政改革プログラム」の令和６年度取組項目の報告を行った。 ・開催日：７月１８日（木） ・出席者：９名 ２　行政評価の実施 効果的、効率的な市民サービスに資する新たな企画立案や事業の優先順位付けを目的とし、令和５年度の施策評価を実施した。 ３　指定管理者制度 （１）モニタリングの実施 公の施設指定管理者選定等審議会において、第三者の視点によるモニタリングを実施し、指定管理事業者及び施設担当課等へのヒアリングや現地視察により業務改善や改革への提言を行うとともに、モニタリング報告書の手交を受けた。 ・実　施　日：６月２６日（水） ・出　席　者：４名 ・対象施設：岡谷市勤労青少年ホーム、岡谷市勤労会館 おかや総合福祉センター（諏訪湖ハイツ） ・モニタリング報告書手交日：８月２日（金） （２）指定管理者支援 物価高騰の影響により指定管理施設の管理運営に支障が生じることから、「岡谷市指定管理者制度に関するガイドライン」に基づき指定管理者への支援を行った。 ４　組織定員管理 「第５次岡谷市総合計画」を推進するため、課等の現状調査及びヒアリングの実施により課題等を把握しながら、組織体制の構築及び定数配置を行った。 （１）組織管理（令和６年４月組織改正） ・国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が改訂され、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が策定されたことから、地域創生推進課「まち・ひと・しごと創生推

	進」担当を「地域創生」担当へ改称した。 ・社会福祉法の改正による重層的支援体制整備として、地域住民の支援ニーズに対応するため「社会福祉課」の体制を強化した。 ・児童福祉法の改正に伴い子育て世帯の一体的な支援体制を整備し、併せて教育総務課の「子ども総合相談センター」との連携強化により、子どもに関する相談窓口を一本化するため、子ども課内に「こども家庭センター（まゆっこベースおかや)」を設置した。 ・新型コロナウイルス感染症が２類から５類へ移行したことに伴い、「新型コロナウイルス感染症対策室」を廃止した。 ・子ども課内に設置する「こども家庭センター」と教育総務課の「子ども総合相談センター」との連携により相談支援体制の強化を図るため、「子ども総合相談センター」を「子ども教育相談センター」に改称した。 ・事業の具体的な実施段階に移行していくことから、教育部の「川岸学園設立準備室」を「川岸学園整備室」に改称した。 ・事業の具体的な実施段階に移行していくことから、教育部の「岡谷市史編さん準備室」を「岡谷市史編さん室」に改称した。 ・令和１０年国民スポーツ大会等の開催にあたり、大会運営に向けて準備を進めていくための体制整備としてスポーツ振興課内に「国民スポーツ大会準備」担当を設置した。 （２）定数管理 「第８次岡谷市定員適正化計画」に基づき、喫緊の行政課題や重点事業に対応した定数配置とし、一般会計等の予算定数を４１７名とした。 (116,819円)
行政報告書作成事務	令和５年度行政報告書を作成し、市立図書館、県立図書館、国立国会図書館、市情報公開コーナーに閲覧用冊子を設置した。 (400,400円)
公共施設総合管理推進事務	１　公共施設等総合管理計画の推進 「公共施設等総合管理計画」及び「公共施設個別施設計画」に基づき、対象施設の方向性決定に向けた協議や、施設長寿命化を図るための改修工事など計画的な進捗管理を行った。 ２　公共施設白書 各施設の老朽化の状況や運営、利用の状況を客観的な指標により評価を行った公共施設白書（２０２３年度版）を発行した。 (36,307 円)
広域情報化推進事業	１　総合行政ネットワーク 国と地方自治体を結ぶ総合行政ネットワーク（ＬＧＷＡＮ）に支障がないよう機器の保守点検業務などを実施した。 ２　諏訪地域行政情報化推進委員会 諏訪地域で共同利用している各種行政情報システムについて、法令改正に伴う改修や、機器更新などの検討を行った。また、国の「自治体ＤＸ推進計画」に基づく、「情報システム

	の標準化・共通化」に向けた検討を行った。 3　長野県電子申請届出システム （1）長野県電子申請届出システム 長野県市町村自治振興組合が運営し、県及び市町村参加による長野県電子申請届出システムのサービス利用に係る経費を負担した。 ・長野県電子申請届出システム負担金：５３９，１９９円 （2）システムを利用した行政手続の状況 ・手続項目：　１６５項目　（前年度１４７項目） ・申請件数：２，６４７件　（前年度２，０７３件） 4　長野県高速情報通信ネットワーク 県と市町村を光ファイバーで接続する「長野県高速情報通信ネットワーク（情報ブロードウェイながの)」の諏訪広域６市町村代表接続利用に伴う経費を負担した。なお、諏訪広域６市町村負担分は歳入に計上した。 ・長野県高速情報通信ネットワーク負担金： １，０２９，３３６円 5　電子自治体推進事業 長野県市町村自治振興組合が運営する「電子自治体推進事業」に係る経費を負担した。 ・電子自治体推進事業負担金：１９８，４５６円 6　長野県先端技術活用推進協議会 県と市町村等による「長野県先端技術活用推進協議会」の下に設置された、自治体ＤＸの推進や、個別の行政分野におけるＤＸ推進に関わるワーキンググループ等に参画し、積極的な情報収集を行った。 (3,629,511円)
地域情報化推進事業	1　国等の情報収集 インターネットを活用した官庁速報（ｉＪＡＭＰ）の利用等により、国及び地方自治体の各種施策や行財政情報を迅速に収集し、地域情報化の推進に努めた。 2　オープンデータ 公共データの活用促進を図るため、「岡谷市オープンデータサイト」及び「岡谷市ＧＩＳ版オープンデータサイト」を一般公開し、データ提供を行った。 3　地域情報化支援業務 地域情報化の推進を図るとともに、専門化・高度化する情報通信技術分野に対応するため、(株）諏訪広域総合情報センタより情報技術員の派遣を受けた。 ・地域情報化支援業務負担金：５，０２８，５４０円 (5,565,670円)
情報システム管理事業	1　情報システムの管理 住民行政、財務会計、コミュニケーション系、ホームページなど各種情報システムの安定稼動を確保するための運用管理を行い、効率的な行政事務の執行やセキュリティ強化に努めた。 ・ｅラーニングセキュリティ研修等、情報セキュリティ保護のための職員研修、内部点検等を実施した。 2　自治体の情報システムの標準化・共通化 国の「自治体ＤＸ推進計画」に基づき、令和７年度末までにガバメントクラウド上で機能する標準準拠システムへ移行する

	にあたり、国が定める統一された文字情報を利用するためのシステム改修及び戸籍システムに係るデータクレンジングの実施に伴うシステム整備として、国の令和６年度デジタル基盤改革支援補助金（標準化・共通化に係る事業）を活用した。 ３　番号制度中間サーバー 　社会保障・税番号制度の情報連携を行うための、地方公共団体情報システム機構が運営している自治体中間サーバーに係る経費及び自治体中間サーバー更改に係る経費を負担した。 ・番号制度中間サーバー交付金：３，８７６，０００円 ・番号制度中間サーバー負担金：６，９７７，０００円 ４　自治体情報セキュリティクラウド 　セキュリティ強化のため、県内自治体のインターネット接続口を県で一本化する自治体情報セキュリティクラウドに係る経費を負担した。 ・自治体情報セキュリティクラウド負担金： ３，５２６，３８０円 ５　会議録等作成支援システム事業 　ＡＩを活用した会議録等作成の音声反訳システムについて、庁内的な活用を図り、業務の効率化に努めた。 (208,600,114円)
統合型ＧＩＳ整備事業	１　庁内利用 　共有データの整備、紙媒体の電子化などを実施したほか、庁内利用の促進を図るため、職員に対して周知・啓発を行った。 ・統合型ＧＩＳ更新作業等にかかる運用支援業務委託料： ２，９７０，０００円 ２　一般公開 　市ホームページで一般公開している「くらしマップおかや」（岡谷市地理情報システム）において、４２種類の地図情報を公開し利便性の向上を図った。 (6,570,540円)
定額減税補足給付金給付事業	令和６年分の所得税及び令和６年度分の個人住民税における定額減税で、減税しきれないと見込まれる者（定額減税可能額が減税前税額を上回ると見込まれる者）に対して、差額を給付金として支給した。 ・実施期間　８月２１日～１２月６日 ・給付者数　８，８７７人 ・給付額　　３４６，４７０，０００円 (363,667,661円)
統計調査事務	１　統計調査員の表彰 　統計調査関係者の各種表彰推薦事務を実施した。 ２　統計グラフコンクール 　統計知識の普及と表現技術の研鑽を図る目的で、第５５回岡谷市統計グラフコンクールを実施した。 ・審 査 会　８月２６日（月） ・出品点数　２７点　出品人員　２７人 ・入賞点数　１３点　入賞人員　１３人

	３　結果報告書の作成 　統計調査結果の報告書等を作成し公表した。 （１）冊子として発刊 ・「諏訪地方統計要覧」（令和５年度版） （２）ホームページへの掲載 ・「岡谷市の学校現況」（令和６年度学校基本調査結果） ・「岡谷市の人口」（令和６年毎月人口異動調査結果） ・「岡谷の工業」（２０２３年経済構造実態調査結果） ・「統計月報おかや」（毎月発行） ４　毎月人口異動調査 　長野県が行う「毎月人口異動調査」について、自然動態及び社会動態に関する各月の数値を報告した。 (359,819円)
学校基本調査事務	統計法に基づく基幹統計調査として、文部科学省が毎年実施する「学校基本調査」及びこれに併せて長野県が行う「学校関係県単独統計調査（卒業後の状況調査)」を実施した。 １　学校基本調査 ・調査基準日　５月１日 ・調査対象　　小学校、中学校、教育委員会、幼稚園、幼保連携型認定こども園、専修学校、各種学校 ２　学校関係県単独統計調査（卒業後の状況調査） ・調査基準日　５月１日 ・調査対象　　令和６年３月の中学校卒業者 (8,689 円)
統計調査員確保対策事業	各種統計調査に従事する統計調査員の新規確保と、登録統計調査員の資質向上を図るため、「統計調査通信」を発行した。 (23,700 円)
全国家計構造調査事務	統計法に基づく基幹統計調査として、総務省が５年ごとに行う「令和６年全国家計構造調査」を実施した。 ・調査基準日　１０月及び１１月の２か月間 ・調査対象　　指定された調査区の中から抽出した世帯 (1,024,061 円)
農林業センサス事務	統計法に基づく基幹統計調査として、農林水産省が５年ごとに行う「２０２５年農林業センサス」を実施した。 ・調査基準日　２月１日 ・調査対象　　一定規模以上の農林業を行っているすべての世帯や会社等 (1,215,325 円)
国勢調査事務	統計法に基づく基幹統計調査として、総務省が５年ごとに行う「令和７年国勢調査」を実施するに伴い、調査員の担当区域を明確にし、調査の重複・脱漏を防ぎ、調査の正確性を期するために、調査区の設定を行った。 ・調査区設定日　１０月１日 (207,431 円)

第３　主要な統計、行政資料等

１　組織（機構）図（令和７年３月３１日現在）

- 市長
  - 副市長
    - 企画政策部
      - 企画課 ― 政策推進、広域行政、行革･公共施設総合管理、ＤＸ推進
      - 秘書広報課 ― 秘書、広報広聴
      - 地域創生推進課 ― 地域振興、男女共同参画・多文化共生、地域創生
    - 総務部
      - 総務課
        - 行政、職員、研修
        - 湊支所
        - 川岸支所
        - 長地支所
        - イルフプラザ出張所
      - 財政課 ― 財政、契約、管財
      - 税務課 ― 収納、市民税、資産税
      - 消防課 ― 消防
      - 危機管理室 ― 防災危機管理
    - 市民環境部
      - 市民生活課
        - 戸籍･住民記録、年金･市民サービス、安全・衛生
        - 内山霊園
        - 消費生活センター
      - 医療保険課 ― 国保、医療
      - 環境課 ― 環境政策・ゼロカーボン推進、資源化
    - 健康福祉部（福祉事務所）
      - 社会福祉課
        - 福祉総務、障がい福祉、生活福祉
        - 総合福祉センター
        - 生活就労支援センター
      - 介護福祉課
        - 介護保険、介護予防
        - 地域包括支援センター
      - 子ども課
        - 子育て支援、保育
        - 子育て支援館（こどものくに）、保育園
        - 子ども発達支援センター
        - こども家庭センター（まゆっこベースおかや）
      - 健康推進課
        - 保健予防、保健指導
        - 看護専門学校
        - 保健センター、健康福祉施設
    - 産業振興部
      - 工業振興課
        - 産業政策、工業支援、雇用対策
        - 中小企業経営技術相談所、テクノプラザおかや、勤労青少年ホーム、勤労会館
      - 商業観光課
        - 商業支援、観光
        - イルフプラザ、太鼓道場、岡谷駅前広場等、中央町駐車場、岡谷駅前自転車駐車場、中央町アミューズメント施設
      - ブランド推進室
        - ブランド推進
        - 蚕糸博物館
        - 文化会館、日本童画美術館
      - 農林水産課 ― 農政、農林土木
    - 建設水道部
      - 都市計画課
        - 計画、都市整備、建築・住宅
        - 市営住宅
      - 土木課
        - 土木、路線管理、維持、公園緑化
        - 都市公園
      - 水道課 ― 管理、料金、上水道、下水道
  - 会計管理者
    - 会計課 ― 会計

- 教育委員会
  - 教育長
    - 事務局
      - 教育部
        - 教育総務課
          - 教育企画、学校教育
          - 子ども教育相談センター
          - 学びの創生・連携支援室
          - 小学校、中学校、フレンドリー教室、学童クラブ
        - 川岸学園整備室
          - 川岸学園整備
        - 生涯学習課
          - 生涯学習推進、青少年
          - 生涯学習活動センター、塩嶺野外活動センター
          - 図書館
          - 美術考古館（美術考古館、文化財）
          - 市史編さん室
          - 旧林家住宅、旧渡辺家住宅
          - 湊公民館
          - 川岸公民館
          - 長地公民館
        - スポーツ振興課
          - スポーツ振興、国民スポーツ大会準備
          - 市営球場、市民川岸スポーツ広場、市民湖畔広場、市民総合体育館、市営庭球場、市民水泳プール、やまびこ国際スケートセンター
- 選挙管理委員会 ― 事務局
- 監査委員 ― 事務局
- 公平委員会 ― 事務局
- 農業委員会 ― 事務局 ― 農地
- 固定資産評価審査委員会 ― 事務局
- 議会 ― 事務局 ― 庶務、議事
- 開設者岡谷市長
  - 事業管理者
    - 市民病院長
      - 市民病院副院長
      - 市民病院長補佐
    - 診療部
      - 総合診療科、内科、心療内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・内分泌代謝内科、腎臓内科、腫瘍内科、リウマチ科、小児科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、整形外科、消化器外科、乳腺外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リハビリテーション科（リハビリテーションセンター）、病理診断科、麻酔科、緩和ケア内科、歯科口腔外科
    - 診療技術部
      - 薬剤科、検査科、放射線科、リハビリテーション科（リハビリテーションセンター）、栄養科、外来診療技術科、臨床工学科
    - 看護部
      - 外来・健診科、中央手術室・中央材料室、血液透析室、東４病棟、東５病棟、東６病棟、西４病棟、西５病棟、西６病棟、緩和ケア病棟、ＩＣＵ・ＣＣＵ
    - 事務部
      - 庶務課
        - 経営企画、庶務、人事厚生、用度情報
      - 医事課
        - 医事、診療情報管理、健診
    - 医療安全管理部
      - 医療安全対策室、医療総合相談室、感染対策室
    - 地域医療支援部
      - 地域医療支援課
        - 地域医療連携室、医療福祉相談室、診療サポート室
    - 健診センター
      - 健診科
    - 研修センター
    - 在宅ケアセンター
      - 訪問診療、訪問看護ステーション、居宅介護支援

2　人口報告

世帯数と人口　（令和７年３月１日現在）

区分	世帯数	人口			年間動態（増減）		前年度比	
		総数	男	女	世帯数	人口	世帯数	人口
	世帯	人	人	人	世帯	人	%	%
総　数	19,205	45,144	21,964	23,180	34	△620	100.18	98.65

・毎月人口異動調査結果による。

3　学校基本調査結果　（令和６年５月１日現在）

学校種別	学校数				教員数本務者	職員数	児童生徒		学級数（ ）は特支学級※	児童生徒	
	総数	県立	市立	私立			総数	うち男		１学級当たり	教員1人当たり
					人	人	人	人		人	人
幼 稚 園	3	－	－	3	13	8	123	56	9	13.7	9.4
幼保連携型認定こども園	1	－	－	1	19	3	125	62	8	15.6	6.6
小 学 校	7	－	7	－	149	13	1,981	1,030	98 (22)	20.2	13.3
中 学 校	4	－	4	－	97	7	1,064	511	49 (13)	21.7	11.0
専修学校	3	－	1	2	12	5	47	7	－	－	－
各種学校	2	－	－	2	1	1	68	33	－	－	－

※特支学級：特別支援学級。学校教育法第81条第2項各号に該当する児童・生徒で構成。

４　製造業に関する報告

産業中分類	事業所数	従 業 者 数	製造品出荷額等	２０２２年経済構造実態調査との比		
				事業所数	従業者数	製造品出荷額等
	事業所	人	万円	%	%	%
総数	370	8,769	19,830,777	100.8	102.0	105.7
０９食料	17	133	170,542	100.0	104.7	104.3
１０飲料	2	19	x	100.0	86.4	X
１１繊維	7	72	67,184	100.0	105.9	100.8
１２木材	2	3	x	100.0	100.0	X
１３家具	4	22	21,691	100.0	88.0	X
１４紙・パルプ	2	24	x	100.0	100.0	X
１５印刷	11	114	126,967	100.0	97.4	113.7
１６化学	2	17	x	100.0	100.0	X
１８プラスチック	11	165	213,212	100.0	92.7	81.0
１９ゴム	1	44	x	100.0	102.3	X
２１窯業	6	47	97,982	100.0	104.4	89.7
２２鉄鋼	6	60	80,215	100.0	105.3	113.9
２３非鉄	14	426	1,813,914	107.7	110.9	117.4
２４金属	62	1,568	2,394,157	98.4	93.4	92.8
２５はん用機械	32	1,673	3,587,029	106.7	111.4	101.4
２６生産用機械	91	2,164	6,687,015	100.0	107.2	114.4
２７業務用機械	25	485	730,255	96.2	77.4	55.6
２８電子	15	557	525,201	107.1	107.1	114.7
２９電気	21	643	1,987,257	105.0	105.6	150.4
３０情報	11	128	252,239	100.0	100.0	107.3
３１輸送	21	349	746,297	100.0	100.6	94.3
３２その他	7	56	99,288	100.0	96.6	95.3

・２０２３年経済構造実態調査結果による。

・Xは数値が推測されるため秘匿している。

・売上高（製造品出荷額等）等の経理事項は令和４年１年間、経理事項以外の項目は令和５年６月１日現在の数値。

秘　書　広　報　課

第１　概説

秘書広報課では、儀式表彰、渉外活動、姉妹都市交流等のほか、地域コミュニティ、広報広聴、シルキーチャンネル等の業務を執行した。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
秘書事務	１　市長交際費の公開 市長交際費の毎月の執行状況を、市のホームページ等へ公開した。 ２　市長資産公開 「政治倫理の確立のための岡谷市長の資産等の公開に関する条例」に基づき、資産等補充報告書等を公開した。 ３　理事者等公務日程の調整 市長・副市長の職務が円滑に執行できるよう日程調整を行うとともに、秘書業務の充実に努めた。 ４　市長会関係 （１）長野県市長会 ４月１８日（木）　総会（長野市） ６月１１日（火）　定例会（東京都） ７月　５日（金）　副市長･総務担当部長会議（飯山市） ８月２２日（木）　総会（須坂市） １１月１９日（火）　定例会（長野市） １月２４日（金）　副市長･総務担当部長会議（長野市） ２月　６日（木）　定例会（長野市） （２）北信越市長会 ５月１６日（木）～１７日（金）第１８４回総会（富山県富山市） １０月１０日（木）～１１日（金）第１８５回総会（新潟県上越市） （３）全国市長会 ６月１２日（水）　第９４回総会（東京都） (4,460,868 円)
儀式表彰事務	１　市制施行８８周年記念式典並びに市政功労者等表彰式 日　　時　４月１日（月）午前１０時００分から 場　　所　市役所９階大会議室 功労表彰受賞者　１４名 有功表彰受賞者　２４名 褒賞受賞者　２５名・２３団体 国家表彰受章者　４名 記念講演　講師　ＳＢ　Ｃ＆Ｓ株式会社 代表取締役会長　溝口　泰雄　氏 演題　「テクノロジーのチカラで、ワクワクする未来へ。」 ２　年度始めの式 日　　時　４月１日（月）午後１時３０分から 場　　所　市役所９階大会議室 職員功労表彰受賞者　７名 職員有功表彰受賞者　２４名

	３　藤澤正副市長就任式 日　　時　４月１日（月）午前８時１０分から ４　仕事納めの式 日　　時　１２月２７日（金）午後５時３０分から 場　　所　市役所９階大会議室 ５　仕事始めの式 日　　時　１月６日（月）午前８時３０分から 場　　所　市役所９階大会議室 ６　新年祝賀式（新年祝賀式実行委員会） 日　　時　１月６日（月）午前１１時００分から 場　　所　カノラホール 申込者　　８８５名 参加者　　４４４名 （1,722,311円）
コミュニティ事業	１　区長会 行政事務の円滑な遂行や市民との協働によるまちづくりを推進するため、新たに区役員に就任した方を行政事務嘱託員として委嘱した。 区長会（７回開催）へ参加し、市と区長会の連絡調整や各課からの各種依頼、情報提供等を通じて地域コミュニティとの連携を図った。 ２　行政事務交付金 地域コミュニティ活動、市政遂行のため必要な連絡調整、行政機関が発行する文書の配布等に必要な活動に対する支援として、市内２１区及び樋沢地区に対し行政事務交付金を交付した。 ３　コミュニティ助成事業助成金 区のコミュニティ活動を推進し、施設整備や付帯設備等の充実を図るため、自治総合センター及び長野県市町村振興協会が実施する助成金制度の採択を受けた４区に対し、コミュニティ助成事業助成金及び地域活動助成事業助成金を交付した。 ４　公会所等建設事業補助金 地域住民の利用及び公共の用に供することを目的とした公会所並びに集会所のゼロカーボンを促進するため、照明設備のＬＥＤ化に対する補助金を交付した。 ８区　３，１１３，０００円 （今井区、間下区、岡谷区、下浜区、小井川区、西堀区、鮎沢区、橋原区） （49,800,110円）
広報広聴事業	１　「広報おかや」の発行 （株）中央企画への作成委託を継続して行った。毎月編集会議を開催し、記事の管理やわかりやすい紙面作りに努めた。 発行：月１回（前月２５日発行）計１２回 配布：市内各戸、市内官公署、事業所及び各自治体等 配置：市内金融機関、コンビニエンスストアの店内 ・市ホームページに毎号全ページを掲載 ・広報誌アプリ「マチイロ」に「広報おかや」を毎号掲載 ・事業等の周知広報 市の予算・決算及び財政状況、環境、健康、イベント講座情報、事業案内など ・特集記事 第５次岡谷市総合計画後期基本計画、新年度予算と事業、

空き家問題、防災減災、川岸学園構想、岡谷駅周辺のまちづくり、岡谷蚕糸博物館開館６０周年・リニューアルオープン１０周年、武井武雄生誕１３０年記念、安心して子育てをしていくために、カラダを知ろう！鍛えよう！、地域の守護神消防団、新たなシルク文化の創造、新しいトシ新しいコト始めませんか？、二十歳を祝う会、プラスチック資源の分別

２　市勢現況記録写真等の撮影及び保存

市勢現況を保存するため、イベント等記録写真の撮影・収集管理を行った。

３　定例記者会見

市長による会見を実施し、報道機関を通じて市民への情報提供に努めた。

４　報道機関を活用した行政情報の発信

ＬＣＶ－ＦＭや地元メディアを活用して市のイベント情報などを発信した。

５　Ｆａｃｅｂｏｏｋの運用

情報発信のツールとして岡谷市の魅力を発信した。

６　市政懇談会

市民との対話を大切にし、市民本位の市政を推進するため、市政懇談会を開催した。

・市長と語る「まちづくりふれあいトーク」

期日：６月３日（月）～８月９日（金）
会場：市内２１区
内容：令和６年度の重点施策の状況や今後の取組
参加者：８９１人
シルキーチャンネル放送：９月１日（日）～１５日（日）

・市政懇談会

期日：２月１３日（木）～２月２１日（金）
会場：市内５会場
内容：令和７年度の重点施策他
参加者：２３６人
シルキーチャンネル放送：３月１日（土）～１５日（土）

７　市民意見収集事業

・市民提案ボックス（市長への手紙）：２４件
・ホームページからの意見、要望、質問：３３８件
内訳：市長Ｅメール　２３件
各課宛　　３１５件

・市民アンケート

対象者：無作為抽出による１８歳以上の市民
１，２００人
調査方法：郵送配布、郵送・インターネット回答
調査期間：６月１０日（月）～２８日（金）
回収件数：５２７件（うちインターネット１１５件）
回収率：４３．９％

(13,612,842円)

シルキーチャンネル事業	担当課職員によるイベント情報など市民に行政を身近に感じていただけるような番組制作を行った。 ・主な自主制作番組 市立岡谷図書館おはなしの森 図書館のお仕事～図書館キッズ～ 地元高校生ファッションショー 事業系ごみを適正に処理しましょう めざせ！２０５０年ゼロカーボン岡谷市のゴミ出しルール シルク岡谷を未来につなぐ２０２４シルクフェア プラスチック資源のモデル地区試験回収について スポーツタイムおかや わが家のアイドル ぼくもわたしもおかやっ子 忘れまじ豪雨災害 世界にタッチ英語に触れよう 令和７年二十歳を祝う会 ものづくりフェア２０２５ おかやっ子給食 しるくっきんぐ イベント情報　など ・特別番組 岡谷市民病院市民公開講座 令和６年度市政懇談会　市長と語る「まちづくりふれあいトーク」 発達障がい講演会 岡谷太鼓まつり 岡谷市健康づくり講演会 岡谷市文化祭　など 放送番組総数　１３７本 制作番組総数　　９５本 ・議会放送 岡谷市議会の一般質問を生放送及び録画放送にて放送した。 (11,489,984円)
姉妹都市交流事業	群馬県富岡市、岡山県玉野市、静岡県東伊豆町を招待し交流を図った。 ８月１３日（火）～１４日（水）　岡谷太鼓まつり また、姉妹都市から招待を受け、交流を図った。 １０月５日（土）　静岡県東伊豆町第５５回どんつく祭 １０月１９日（土）群馬県富岡市第３０回富岡どんとまつり (283,925円)

地　域　創　生　推　進　課

第１　概説

地域創生推進課では、市民総参加のまちづくり、ふるさと寄附、男女共同参画、国際交流、移住・定住の促進に向けた各種事業を実施したほか、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用した事業の実施に向けた調整を行った。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
市民総参加のまちづくり推進事業	市民総参加のまちづくり基本条例の推進に向けた取組を行った。 １　高校生まちづくり会議 岡谷市在住・在学の有志高校生グループ「Voice of AOHS」による会議を実施し、高校生発案によるまちづくりに取り組んだ。 ・登録人数：１１名 ・実施回数：２１回　延べ１００人 ・実施内容：イベントへのスタッフ参加、県職員との意見交換等 ２　岡谷市民憲章推進協議会 岡谷市民憲章の普及を目的として各種啓発活動を実施した。 ・花の球根、花鉢を配布…市内小学校の１年生 ・市民憲章グッズを配布…市内中学校の１年生 ・市民憲章文入ポケットティッシュを配布…新入社員激励会等 ・市民憲章推進協議会補助金：６０，０００円 ３　その他 ・岡谷市連合壮年会補助金：４５，０００円 ・岡谷市連合婦人会補助金：９０，０００円 (326,657円)
ふるさと寄附促進事業	１　ふるさと納税に係る寄附 中間業務委託業者及び返礼品提供事業者と連携して、本市のＰＲと地域産業の活性化を推進した。 ・寄附件数：５，４２３件 ・寄附金額：１６７，５９６，０００円 ２　地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）に係る寄附 ・寄附件数：１件 ・寄附金額：３００，０００円 (82,218,570 円)
大学等進学資金利子補給事業	地方創生の推進に向けた諏訪信用金庫との連携協定に基づき、市民が大学等へ進学する際の初年度納付金の借り入れに対する利子について一部補給を行った。 ・補給実績　人数：２１名、補給額：１１１，７７０円 (111,770円)
男女共同参画推進事業	１　男女共同参画おかやプランⅥの推進 「男女共同参画おかやプランⅥ（令和２年度～令和６年度）」に基づき、庁内の進捗管理を行った。 ・審議会等における女性委員の登用率 ３月３１日現在　３５．２％（目標値４０．０％） ・男女共同参画審議会（委員１４名）　１回開催 ・男女共同参画推進協議会幹事会及び専門部会　１回開催 ２　男女共同参画おかやプランⅦの策定 「男女共同参画おかやプランⅦ（令和７年度～令和１１年度）」策定に向け、市民意見の募集を行ったほか、男女共同参画審議会及び男女共同参画推進協議会を開催した。

	・男女共同参画審議会（委員１４名）　３回開催 ・男女共同参画推進協議会　　計　５回開催 委員会３回開催　幹事会・専門部会各１回開催 ・パブリックコメント 期　　間：１１月１４日（木）～１２月１３日（金） 提出意見：３件 ３　男女共同参画出張フォーラム 各種団体等を対象に、男女共同参画に関する講演会や学習会に講師を派遣した。 ・実施団体：１団体　２５人 ４　男女共同参画社会づくりポスターコンクール 小中学生に男女共同参画社会への理解と関心を深めてもらうため、男女共同参画社会づくりをテーマとするポスターコンクールと応募作品の展示を行った。 ・応 募 数：６０点（小学生５３点、中学生７点） ・審査結果：最優秀賞　各１点、優秀賞　４点、入選　８点 ・展示期間：１１月１８日（月）～２９日（金） ・展示場所：カルチャーセンターロビー ５　まんが冊子「わたしらしく　あなたらしく」の配布 男女共同参画についてマンガでわかりやすく説明した冊子を小学５年生に配布した。 ６　地域への啓発推進 （１）男女共同参画週間（６月２３日～２９日） ・パネル展、啓発ポケットティッシュ配布 期　間：６月２４日（月）～７月１日（月） 場　所：庁舎１階ロビー （２）女性に対する暴力をなくす運動（１１月１２日～２５日） ・ＤＶ防止パネル展示 期　間：１１月１８日（月）～１１月２９日（金） 場　所：カルチャーセンターロビー ・あいとぴあ主催パープルリボンセミナーパブリックビューイング 期　日：１１月１６日（土） 場　所：カルチャーセンターＩＴ研修室 ・旧岡谷市役所庁舎パープルライトアップ 期　間：１１月１２日（火）～２５日（月） ７　女性団体連絡協議会 女性問題に関心のある市内団体の連携を深めるため、理事会・役員会・研修会等を実施した。計１１回開催 ・加盟団体：８団体 ・学習会「プラスチック資源の分別収集について」 ９月９日（月）参加者２５名 ・諏訪地方女性団体懇話会　１１月８日（金）参加者１４名 他市町村の女性団体の方々との意見交換及び、「桂由美さんと岡谷蚕糸博物館との繋がり」をテーマとした講演会を実施した。 (693,892円)
女性相談事業	女性が抱えている様々な悩みに対応するため、女性相談員による女性のための相談窓口を開設した。 ・開設日数：１２日 ・利 用 者：延べ１７名 (109,870円)

国際交流事業	国際理解や多文化共生等の各種事業を推進するため、国際交流センターへ業務委託を行った。 ・公益財団法人おかや文化振興事業団（国際交流センター） 業務委託料：１６，１４０，０００円 １　国際交流員の設置 国際交流事業の企画・立案・実施、市民等への国際理解に向けた支援などを行うため、国際交流員１名を配置した。 ・国際交流員：ジャーレッド・スタンフォード（ニュージーランド） ２　マウント・プレザント市との交流 両市の市民レベルでの交流を深めるため、高校生７名、引率者２名をマウント・プレザント市へ派遣した。 ・派遣期間：７月２８日（日）～８月９日（金） （16,158,803 円）
移住･交流推進事業	１　移住交流推進庁内連絡会議 移住・定住・交流施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、課題の共有及び事業の検討会議を開催した。 開催回数：３回 ２　シティプロモーションイベントの開催 移住交流推進庁内連絡会による庁内関係各課等及び地域おこし協力隊と連携し、大都市圏におけるシティプロモーションのための独自イベントを開催し、岡谷市の魅力を発信した。 ・名　称：信州岡谷市プロモーションイベント ・期　日：１月３１日（金） ・会　場：中日ビル（愛知県名古屋市） ・来場者：約２００名 ３　就業・創業移住支援事業 国の交付金を活用した長野県との共同事業として、東京圏（埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県）、愛知県、大阪府から岡谷市へ転入し、長野県の求人情報サイト掲載企業に就職した場合等に移住支援金を支給し、就業及び移住の促進を図った。 ・件　数：９件 ・補助額：８，２００，０００円 ４　岡谷の魅力体験事業 岡谷市への移住定住の促進及び関係人口の創出を図るため、移住希望者等が岡谷市を訪れる際にかかる交通費、宿泊費及び移住体験住宅家賃の一部を助成した。 【交通費補助】 ・件　数：２０件 ・補助額：１２７，６５１円 【宿泊費補助】 ・件　数：１０件 ・補助額：６８，６３７円 【移住体験住宅家賃補助】 ・件　数：５件 ・補助額：２００，０００円 ５　若者おかや暮らし応援事業 学生及び単身勤労者が市内の民間賃貸住宅へ入居した場合に、家賃の一部を助成し、若者の定住促進を図った。 ・件　数：２１件 ・補助額：３，１５９，０００円

６　若者移住者住まいの支援事業
岡谷市への若者の移住定住を促進し、定住人口の増加及び地域の活性化を図るため、市内に移住する方の住宅取得に対する経費の一部を助成した。
・件　数：１５件
・補助額：１２，０００，０００円
７　就職・移住学生支援事業
東京圏（埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県）の大学を卒業予定の学生について、岡谷市への移住及び就職促進のため、交通費の一部助成を行う環境整備をした。
８　「おかやでスタート！」結婚新生活支援事業
結婚に伴う経済的不安を解消することを目的として、３９歳以下の新婚世帯に対して住居取得費等の一部補助を行った。
・件　数：１３件
・補助額：４，２１１，０００円
９　恋つむぐ岡谷 出会いの場創出事業
結婚へと繋がる出会いの場の創出として、委託業者の企画・運営により、事前セミナー及びイベントを２回開催した。
（１）第１回
【事前セミナー】
・実施日：９月１３日（金）、９月１４日（土）
・参加者：男性２１名、女性６名
【イベント】
・実施日：９月２８日（土）
・参加者：男性１２名、女性１２名　合計２４名
・マッチング成立　２組
（２）第２回
【事前セミナー】
・実施日：１月２４日（金）、１月２５日（土）
・参加者：男性２５名、女性８名
【イベント】
・実施日：２月８日（土）
・参加者：男性１２名、女性１２名　合計２４名
・マッチング成立　７組
10　地域おこし協力隊移住定住促進事業
地域おこし協力隊と連携し、移住定住の促進及びシティプロモーションに関する取組を行った。
・インスタグラムによる情報発信
・首都圏等で開催する移住促進等のイベントに参加
11　移住・交流出張相談等の開催
首都圏等で本市の暮らしやすさなどの魅力をＰＲし、移住相談を行った。
出張・移住相談デスク
・開催日　５月２４日（金）
・場　所　中日ビル（愛知県名古屋市）
・相談件数　３組１０名
諏訪地域合同就職説明会
・開催日　６月８日（土）
・場　所　イルフプラザ　カルチャーセンター
・相談件数　１名

楽園信州移住セミナー
・開催日　６月２９日（土）
・場　所　シティプラザ大阪（大阪府大阪市）
・相談件数　４組５名
信州で暮らす　働くフェア
・開催日　７月１３日（土）
・場　所　東京交通会館（東京都千代田区）
・相談件数　２０組３０名
おいでや！いなか暮らしフェア 2024
・開催日　７月２０日（土）
・場　所　OMM ビル（大阪府大阪市）
・相談件数　２０組２９名
楽園信州移住セミナー
・開催日　７月２０日（土）
・場　所　東京交通会館（東京都千代田区）
・相談件数　１名
ふるさと回帰支援センター相談会
・開催日　８月２日（金）
・場　所　東京交通会館（東京都千代田区）
・相談件数　２名
テーマから探す！移住フェア 2024
・開催日　８月３日（土）
・場　所　東京交通会館（東京都千代田区）
・相談件数　２８組３５名
ふるさと回帰フェア 2024
・開催日　９月２１日（土）・２２日（日）
・場　所　国際フォーラム（東京都千代田区）
・相談件数　５３組８０名
いい街発見！地方の暮らしフェア
・開催日　１０月５日（土）
・場　所　中日ビル（愛知県名古屋市）
・相談件数　１５組２２名
SHINSHU MEET&MATCH
・開催日　１１月２日（土）
・場　所　銀座 NAGANO（東京都中央区）
・相談件数　５名
JOIN 移住交流&地域おこしフェア
・開催日　１２月７日（土）・８日（日）
・場　所　東京ビッグサイト（東京都江東区）
・相談件数　３０組４２名
長野県空き家・移住相談会
・開催日　１月１９日（日）
・場　所　銀座 NAGANO（東京都中央区）
・相談件数　１５組２３名
イナコレ
・開催日　２月１日（土）
・場　所　OMM ビル（大阪府大阪市）
・相談件数　２４名
楽園信州移住セミナー
・開催日　３月８日（土）
・場　所　東京交通会館（東京都千代田区）
・相談件数　６組８名

	12　デジタル田園都市国家構想交付金の活用 　令和６年度実施事業の交付申請を行い、交付決定を受けた。 地方創生推進タイプ ・家族にもやさしい職場づくりでＵＩＪターン強化事業 　交付決定額：２，５１５，０００円 デジタル実装タイプ ・岡谷市民病院医療ＤＸ推進事業 　交付決定額：６，２００，０００円 （38,502,508 円）

総　　務　　部

総　　務　　課

第１　概説

総務課では、職員の任免、配置、給与、勤務条件、福利厚生、研修、市議会議案関係、庁中の維持管理、例規の審査、文書の管理等の業務を執行した。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
特別職の就任	6．4．1　副市長　藤澤　正 6．4．1　公平委員　宮坂　大吾 6．7．1　人権擁護委員　山田　光輝 6．7．1　〃　小野　圭子 6.10．1　教育委員　藤森　一俊 7．1．1　人権擁護委員　岩村　浩子
特別職の退任	6．6.30　人権擁護委員　山田　光輝 6．6.30　〃　小野　圭子 6．9.30　教育委員　藤森　一俊 6.12.31　人権擁護委員　宮坂　麻紀 7．3.31　教育長　宮坂　享 7．3.31　公平委員　林　和子
人事管理事務	6．4．1　新規採用職員の配置　２１人 （一般職関係　１７人） （保育園関係　４人） 6．4．1　再任用職員の配置　１２人 6．4．1　職員の一部配置替　１１０人 （一般職関係　８５人） （保育園・学校関係　２５人） 6．4．1　職員の昇任・昇格　３３人 6.10．1　新規採用職員の配置　２人 （一般職関係　２人） 6.10．1　職員の昇任・昇格　２人 6.10．1　職員の一部配置替　４人 （一般職関係　４人） (433,331 円)
給与管理事務	１　令和６年分の給与改定 一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律（令和６年法律第７２号）の公布を受け、岡谷市特別職の職員の給与に関する条例及び岡谷市職員の給与に関する条例を改正し、令和６年４月１日から適用した。 【特別職】 期末手当 ０．０５月分引上げ（支給月数３．４０月→３．４５月） （令和５年度　６月･１２月:各１．７００月 →令和６年度　６月･１２月:各１．７２５月） 【一般職】 改定内容 （１）給料 ・給料表の改定（給料月額の引上げ） ・平均改定率３．９４％、平均引上額９，８４５円 ・１級の初任給引上げ

	（大卒程度２３，８００円、高卒程度２１，４００円） （２）期末勤勉手当 ０．１０月分引上げ （期末・勤勉手当年間支給月数 ４．５０月→４．６０月） （令和５年度 ６月･１２月:各２．２５月 →令和６年度 ６月･１２月:各２．３０月） （３）寒冷地手当 職員の世帯等の区分に応じて、支給月額を引上げ （扶養のある世帯主である職員 １９，８００円） 【再任用】 改定内容 期末勤勉手当 ０．０５月分引上げ （期末・勤勉手当年間支給月数 ２．３５月→２．４０月） （令和５年度 ６月･１２月:各１．１７５月 →令和６年度 ６月･１２月:各１．２００月） ２ 令和７年度からの給与改定 【一般職】 改定内容 （１）給料 給料表の改定 （３級から７級までの俸給月額の最低水準を引上げ、 ８級については職責重視の体系に刷新） （２）扶養手当 ・配偶者に係る扶養手当を廃止 （令和６年度 ６，５００円、令和７年度 ３，０００円 令和８年度 ０円） ・子に係る扶養手当の月額を引上げ （令和６年度 １０，０００円、令和７年度 １１，５００円、 令和８年度 １３，０００円） （３）通勤手当 支給限度額を引上げ（５５，０００円→１５０，０００円） （４）管理職員特別勤務手当 平日深夜勤務に対する手当の支給対象時間帯を拡大 （午前０時から午前５時までの間 →午後１０時から翌日の午前５時までの間） 【再任用】 改定内容 再任用職員に支給する給与の種類に、住居手当及び寒冷地手当を追加 (4,410,771円)
職員福利厚生事務	１ 職員福利厚生事務 ・職員互助会事業である研修旅行等により職員の福利厚生に努めた。 ・人間ドック受診給付等の福利厚生事務を行った。 ・福利厚生等に係る情報、職員の接遇や服務等に関する意識啓発を掲載した庁内広報等を発行した。 ・庁内広報 １５回発行 ・スキルアップ情報 ２３回発行 ・健康ニュース １４回発行 ２ 職員安全衛生管理事務 ・職員の健康管理と疾病の早期発見のため、健康診断を実施した。 ・産業医による健康相談や専門のアドバイザーによるメンタル

	ヘルス相談事業を実施した。 ・庁内広報等により、労働安全衛生推進の啓発を行い、健康管理や明るい職場づくりなどに努めた。 ・労働安全衛生法に基づき、全職員にストレスチェックを実施した。 (11,474,804円)
職員研修事務	岡谷市職員人材育成基本方針に基づき、人材育成を推進した。 1　職員研修事務 令和６年度職員研修計画に基づき、計画的に各種研修を実施し、職員の資質向上と意識改革等を図った。 研修の開催にあたっては、集合研修の他にオンライン形式での研修を積極的に取り入れるなど職員の負担軽減や経費の節減に努め、職員の少数精鋭化のなか、各階層に必要な能力を早期に身につけさせ、組織力の向上に努めた。 （１）自主研修 ・公募実務研修（財務会計事務）　２３人　１日間 （２）職場研修 ・ＯＪＴ実践研修　各職場　通年 ・職場ニーズに応じた研修　５７回 ・新規採用職員職場指導員研修　１７人　１日間 ・新規採用職員等研修　各職場　通年 （３）職場外研修 ア　階層別研修 ・新規採用職員研修（岡谷市の歴史）　２１人　１日間 ・接遇研修（新規採用職員）　１４人　３日間 ・新規採用職員等合宿研修　１７名　２日間 ・インフォメーション準備研修（新規採用職員）　１６人　１日間 ・インフォメーション研修（新規採用職員）　１６人　１日間 ・新規採用職員前期研修　県　２０人　２日間 ・養蚕体験研修（新規採用職員）　１７人　３日間 ・メンタルヘルス研修　２２人　１日間 ・旧庁舎清掃研修（新規採用職員）　２０人　１日間 ・初任者研修　２０人　２日間 ・初任者研修の効果測定　２０人　１日間 ・新規採用職員後期研修　県　２２人　２日間 ・産業振興研修（ものづくりフェア）　１８名　１日間 ・プレゼンテーション研修（新規採用職員）　１６人　１日間 ・新規採用職員事前研修　２０人　２日間 ・主事・主任ＯＪＴ実践研修　１１人　１日間 ・主事（公務員倫理）研修　１０人　１日間 ・防災研修（主事）　９人　１日間 ・玉野市との姉妹都市交流研修　２人　３日間 ・東伊豆町との姉妹都市交流研修（主任）　１人　２日間 ・主任視察研修（主任）　７人　１日間 ・中堅職員研修（主査）　県　６人　１日間 ・次世代リーダー研修（主査）　広域　５人　１日間 ・女性職員研修（主査）　広域　６人　１日間 ・主査ＯＪＴ実践研修　７人　１日間

	・主査（公務員倫理）研修　１０人　１日間 ・新任主幹研修　６人　１日間 ・係長研修（主幹）　県　７人　１日間 ・主幹ＯＪＴ実践研修　８人　１日間 ・課長補佐研修（統括主幹）　県　６人　１日間 ・新任課長研修　３人　１日間 ・リスクマネジメント研修（課長）　広域　６人　１日間 ・部課長研修（課長）　県　３名　１日間 ・管理監督者研修(主幹、統括主幹、課長、部長) ９２人　１日間 ・会計年度任用職員研修　４０人　２日間 イ　専門研修 ・基礎計量教習等　２０研修　２１人　１～９日間 ・諏訪広域連合研修　３研修　１２人　１～２日間 ・県市町村職員研修センター専門研修 ２５研修　４５人　１～２日間 ウ　派遣研修 ・職員派遣研修 長野県庁　派遣　主幹　１人　２年間（１年目） 中小企業庁　派遣　主任　１人　２年間（１年目） ・職員交流研修（下諏訪町） 派遣　主査　１人　２年間（２年目） 主査（保育士）　１人　１年間 受入　主任　１人　２年間（２年目） 主事（保育士）　１人　１年間 エ　一般知識研修（特別研修） ・シートベルト着用点検指導　指導者　９人　３日間 ・接遇研修（窓口接客とクレーム対応）　３３人　１日間 ・ｅラーニングによる情報セキュリティ研修 ４３０人　５月間 ・普通救命講習　１９人　２日間 ・接遇研修（さわやかあいさつ指導）　全職員　４日間 ・職員交通安全研修　２１４人　１日間 ・次世代交流研修　３人　１日間 ２　人事評価 職員自らが能力を向上させながら意欲を持って業務に取り組むため、人事評価制度を活用した意識改革や人材育成を図った。 ３　職員提案事務 全職員を対象に自由な発想に基づく職員提案を募集した。 ・職員提案件数　６１件 (3,116,367 円)
総務一般管理事務	１　議会関係事務 ・議会招集回数　定例会　４回 ・提出議案件数　報告：２０件　議案：７３件 ２　岡谷市固定資産評価審査委員会事務 岡谷市固定資産評価審査委員会に、固定資産課税台帳縦覧の結果や固定資産税の課税状況について報告した。 ・会議：１回　委員：３名 (13,619,168 円)

市役所庁舎管理事務	1　主な改修工事 ・市役所庁舎照明設備LED化等更新工事　38,280,000円 ・市役所庁舎等空調設備更新工事　126,500,000円 ・市役所庁舎東側エレベーター更新工事　51,370,000円 ・市役所庁舎地下タンクFRPライニング工事　3,388,000円 ・庁舎自動ドア開閉装置等交換修繕工事　561,000円 ・庁舎B1階空調機（AC-1）修繕工事　343,200円 2　翌年度繰越工事 工　事　名：市役所庁舎西面外壁改修工事 工　　期：令和７年３月２５日～令和７年１０月３１日 内　　容：庁舎西面外壁改修 工事請負費：28,600,000円 3　岡谷市役所環境保全の率先実行計画 令和３年度から令和７年度までを計画期間とする「岡谷市役所環境保全の率先実行計画Ⅵ」に基づき、本市の事務事業から排出される温室効果ガスの排出抑制など環境への負荷の低減を図るとともに、リデュース、リユース、リサイクルの一層の推進に努めた。 (322,504,204 円)
文書管理事務	1　文書管理 文書の収受、集配業務を実施したほか、全庁における文書管理の適正化及び情報公開等への対応を図るため、文書の保管及び廃棄など各課のファイリングシステムの維持管理指導を行った。 ・ファイリングシステム保守管理 委託先：インダストリーネットワーク（株） ・ファイリング実地指導：１２月１７日～１２月１９日 （３日間） 全組織対象（一部学校及び保育園を除く。） ・機密文書処理（単価契約　８円／ｋｇ）：９，９９７ｋｇ 委託先：(有）成山商店 2　情報公開等 市が保有する情報（個人情報を含む。）の適正管理及び保護並びに各課等に対する情報公開請求等への総合的な対応を行った。 ・情報公開請求等　２５件（うち個人情報の開示請求等　１件） （内訳）全部開示　１０件、部分開示　１３件 不開示　１件、文書不存在による不開示　２件 （部分開示１件と文書不存在による不開示１件は、同一の請求） ・個人情報の目的外利用及び外部提供　７件 (9,874,360 円)
法律関係相談事務	1　例規整備及び法律相談 市の事業の適法かつ適正な実施を確保するため、例規整備及び法令等の適切な解釈の支援並びに法律相談等を行った。 ・条例、規則及び要綱等の制定並びに改廃の支援 条例改正等の件数　「第３主要な統計、行政資料等」に記載 ・例規審査委員会 会議４回　委員１４名　幹事１５名　審査件数２８件 2　訴訟 令和３年８月大雨災害に係る損害賠償請求訴訟に伴う対応を行った。 (2,191,993 円)

第３　主要な統計、行政資料等

１　条例及び規則

区　　分	新　設	改　正	廃　止
条　　例	0 件	32 件	2 件
規　　則	1 件	29 件	1 件

（１）条例

公布番号	公布年月日	条　　例　　名
20	R6. 6.26	岡谷市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部を改正する条例
21	R6. 6.26	岡谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
22	R6. 6.26	岡谷健康福祉施設条例の一部を改正する条例
23	R6. 6.26	岡谷市下水道条例の一部を改正する条例
24	R6.10. 2	岡谷市手数料条例の一部を改正する条例
25	R6.10. 2	岡谷市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例
26	R6.10. 2	岡谷市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
27	R6.10. 2	岡谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例
28	R6.10. 2	岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
29	R6.10. 2	岡谷市空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例
30	R6.12.13	岡谷市役所出張所設置条例を廃止する条例
31	R6.12.13	岡谷市文化会館条例等の一部を改正する条例
32	R6.12.13	岡谷市都市公園条例の一部を改正する条例
33	R6.12.13	岡谷市布設工事監督者の配置基準等に関する条例の一部を改正する条例
1	R7. 2.19	岡谷市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
2	R7. 2.19	岡谷市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
3	R7. 2.19	岡谷市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例
4	R7. 2.19	岡谷市保育所条例の一部を改正する条例
5	R7. 2.19	岡谷市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
6	R7. 3.18	岡谷市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例等の一部を改正する条例
7	R7. 3.18	岡谷市職員定数条例の一部を改正する条例
8	R7. 3.18	岡谷市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例

9	R7. 3.18	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
10	R7. 3.18	岡谷市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
11	R7. 3.18	旧渡辺家住宅保全基金条例を廃止する条例
12	R7. 3.18	岡谷市手数料条例の一部を改正する条例
13	R7. 3.18	岡谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
14	R7. 3.18	岡谷市都市公園条例の一部を改正する条例
15	R7. 3.18	岡谷市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例
16	R7. 3.18	岡谷市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
17	R7. 3.18	岡谷市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例
18	R7. 3.31	岡谷市市税条例の一部を改正する条例
19	R7. 3.31	岡谷市都市計画税条例の一部を改正する条例
20	R7. 3.31	岡谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

（２）規則

公布番号	公布年月日	規　　則　　名
23	R6. 4. 1	岡谷市子ども・子育て支援法施行細則の一部を改正する規則
24	R6. 5.31	岡谷市職員の勤務時間及び休暇等に関する規則及び岡谷市会計年度任用職員及び臨時的任用職員の任用等に関する規則の一部を改正する規則
25	R6. 6.26	岡谷市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例施行規則の一部を改正する規則
26	R6. 6.26	岡谷健康福祉施設条例施行規則の一部を改正する規則
27	R6. 6.28	岡谷市国民健康保険の保険給付等に関する規則の一部を改正する規則
28	R6. 7. 4	岡谷市国民健康保険の保険給付等に関する規則の一部を改正する規則
29	R6.10. 2	岡谷市空き家等の適正管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則
30	R6.11.29	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係規則の整備に関する規則
31	R6.12.11	岡谷市看護専門学校条例施行規則の一部を改正する規則
32	R6.12.13	岡谷市役所出張所事務取扱規則を廃止する規則
33	R6.12.13	岡谷市都市公園条例施行規則の一部を改正する規則
34	R6.12.25	岡谷市文書管理規則の一部を改正する規則
1	R7. 1.24	岡谷市営住宅条例施行規則の一部を改正する規則
2	R7. 3. 4	岡谷市廃棄物処理及び清掃に関する条例施行規則の一部を改正する規則

3	R7. 3.10	岡谷市表彰及び褒賞に関する規則の一部を改正する規則
4	R7. 3.18	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整理に関する規則
5	R7. 3.18	岡谷市出納員等設置規則の一部を改正する規則
6	R7. 3.18	岡谷市保育所条例施行規則の一部を改正する規則
7	R7. 3.24	岡谷市組織規則等の一部を改正する規則
8	R7. 3.24	岡谷市印鑑の登録及び証明に関する条例施行規則の一部を改正する規則
9	R7. 3.24	岡谷市商工業振興条例施行規則の一部を改正する規則
10	R7. 3.24	岡谷市消防団員等公務災害補償条例第９条の２第１項の規則で定める金額を定める規則の一部を改正する規則
11	R7. 3.24	岡谷市役所出張所設置条例を廃止する条例の施行に伴う経過措置を定める規則
12	R7. 3.28	岡谷市財務規則の一部を改正する規則
13	R7. 3.28	岡谷市学童クラブ条例施行規則の一部を改正する規則
14	R7. 3.28	岡谷市都市公園条例施行規則の一部を改正する規則
15	R7. 3.31	岡谷市職員の勤務時間及び休暇等に関する規則及び岡谷市会計年度任用職員及び臨時的任用職員の任用等に関する規則の一部を改正する規則
16	R7. 3.31	岡谷市会計年度任用職員及び臨時的任用職員の任用等に関する規則の一部を改正する規則
17	R7. 3.31	岡谷市職員の給与に関する条例施行規則等の一部を改正する規則
18	R7. 3.31	岡谷市市税に関する規則の一部を改正する規則
19	R7. 3.31	岡谷市国民健康保険税に関する規則の一部を改正する規則

２　公示文書及び令達文書

公示文書		令達文書	
告　示	公　告	訓　令	指　令
96 件	102 件	11 件	923 件

３　一般職職員数　　（令和７年３月３１日現在）

部局等区分	行政職	企業職	病院企業職				計
			（１）	（２）	（３）	（４）	
	人	人	人	人	人	人	人
市長	335	－	－	－	－	－	335
議会	5	－	－	－	－	－	5
教育委員会	44	－	－	－	－	－	44
選挙管理委員会	3	－	－	－	－	－	3
監査委員	2	－	－	－	－	－	2
農業委員会	2	－	－	－	－	－	2
上水道事業	－	14	－	－	－	－	14
下水道事業	－	10	－	－	－	－	10
病院事業	－	－	40	118	253	36	447
計	391	24	40	118	253	36	862

（注）３月３１日付退職者を含む。

支　　所
イルフプラザ出張所

第１　概説

市の出先機関として、地域住民に直結した業務（戸籍、住民登録、印鑑登録、諸証明等の受付、交付、現金の出納事務など）及び湊財産区管理業務を執行した。

第２　実績総括

<table>
<tr><th>主要な事務事業</th><th>内　　容</th></tr>
<tr><td>湊支所運営事務</td><td>岡谷市役所支所設置条例に基づき、市の出先機関として地域住民に直結した業務（戸籍、住民登録、印鑑登録、諸証明等の受付・交付、現金の出納事務など）及び湊財産区管理業務を行った。

(2,365,375円)</td></tr>
<tr><td>川岸支所運営事務</td><td>岡谷市役所支所設置条例に基づき、市の出先機関として地域住民に直結した業務（戸籍、住民登録、印鑑登録、諸証明等の受付・交付、現金の出納事務など）を行った。

(2,312,178円)</td></tr>
<tr><td>長地支所運営事務</td><td>岡谷市役所支所設置条例に基づき、市の出先機関として地域住民に直結した業務（戸籍、住民登録、印鑑登録、諸証明等の受付・交付、現金の出納事務など）を行った。

(2,282,015円)</td></tr>
<tr><td>湊財産区管理運営事業（湊支所）</td><td>１　沢入団地　森林経営委託（０予算）
・契約対象森林面積　１６２．３４ha
契約期間：令和５年４月２３日～令和１０年４月２２日
受 託 者：株式会社　飯森林業
<table>
<tr><td>主伐（更新伐）</td><td>５．４３ha</td><td>５８、６３林班</td></tr>
<tr><td>地　拵　え</td><td>３．２１ha</td><td>５９林班</td></tr>
<tr><td>植　　林</td><td>４．７５ha</td><td>５８、５９林班</td></tr>
<tr><td>下　　刈</td><td>９．２９ha</td><td>５８、５９林班</td></tr>
<tr><td>搬 出 間 伐</td><td>１２．４１ha</td><td>５８、６３林班</td></tr>
<tr><td>路 網 開 設</td><td>２，１２７ｍ</td><td>５９、６３林班</td></tr>
</table>
２　森林の里親事業（０予算）
・京セラの森林活動　植林、除伐、枝打ち等
クマ出没により、安全確保困難として中止
３　湊財産区管理会
管理会：１１回開催、管理委員作業：１０回</td></tr>
<tr><td>イルフプラザ出張所運営事務</td><td>岡谷市役所出張所設置条例に基づき、市の出先機関として市民に直結した業務（戸籍、住民登録、印鑑登録、諸証明等の受付・交付、現金の出納事務など）を行った。
・開設時間　平　　日　午前１０時～午後７時
土日祝日　午前１０時～午後５時
・定 休 日　火曜日及び年末年始
※令和７年３月３１日営業終了　(207,808円)</td></tr>
</table>

第３　主要な統計、行政資料等

１　支所・出張所別出納金の取扱い状況

（収　入）　（単位：円）

区　　分		湊支所	川岸支所	長地支所	イルフプラザ出張所	計
一般会計		2,692,888	18,528,881	26,875,739	21,258,351	69,355,859
特別会計等	国民健康保険	174,200	2,927,956	8,028,500	3,726,200	14,856,856
	地域開発事業	0	0	0	0	0
	分収造林事業	0	0	0	0	0
	霊園事業	18,900	228,750	448,050	78,750	774,450
	温泉事業	4,500	20,000	66,000	0	90,500
	後期高齢者医療	533,500	1,016,908	4,915,800	781,300	7,247,508
	湊財産区	96,200	0	0	0	96,200
	水道事業	336,279	1,307,449	3,845,577	3,307,821	8,797,126
	下水道事業	0	360,360	0	0	360,360
	病院事業	0	0	0	0	0
	育英基金返済	30,000	160,000	1,518,650	174,200	1,882,850
	介護保険事業	57,640	528,800	867,625	688,481	2,142,546
	湖北（火葬場）	0	20,000	0	0	20,000
	県民交通災害共済	13,600	37,600	99,200	26,800	177,200
合　　計		3,957,707	25,136,704	46,665,141	30,041,903	105,801,455

２　支所・出張所別閲覧証明件数　（単位：件）

区　　分	湊支所	川岸支所	長地支所	イルフプラザ出張所	計
税務関係閲覧証明	44	162	361	253	820

３　支所・出張所別戸籍・住民基本台帳及び印鑑登録事務取扱い状況

（市民環境部市民生活課記載のとおり）

財　　政　　課

第１　概説

財政課では、予算の編成、市債、地方交付税、財政統計、契約事務、市有財産管理及び車両の集中管理等に関する業務を執行した。

第２　実績総括

<table>
<tr><th>主要な事務事業</th><th>内　　容</th></tr>
<tr><td>車両管理事務</td><td>共用車両の管理費の節減に取り組むとともに、各種法定点検、職員による日常点検を実施し、適正な車両管理と運行に努めた。
また、「岡谷市環境基本計画」に基づき、地球温暖化防止の観点から電気自動車の積極的な活用を促し、用途に応じた効率的な配車に努めた。
共用車両の運転に際しては、運転者認定試験により職員の適性を判断し、同時に安全運転の啓発を行い、交通事故の防止に努めた。
（31,607,353 円）</td></tr>
<tr><td>財政事務</td><td>１　予算管理
・一般会計の補正予算は１４回行い、最終予算額は、
２４８億８，９４７万１千円となり、前年度比
８億 ５８５万９千円、３．３５％の増となった。
・特別会計及び湊財産区一般会計の補正予算回数と最終予算の状況は、次のとおりである。
<table>
<tr><th>会　計　名</th><th>補正回数</th><th>最終予算額（千円）</th><th>会　計　名</th><th>補正回数</th><th>最終予算額（千円）</th></tr>
<tr><td>国民健康保険事業</td><td>２回</td><td>4,384,561</td><td>温泉事業</td><td>―</td><td>19,400</td></tr>
<tr><td>地域開発事業</td><td>―</td><td>264,500</td><td>後期高齢者医療事業</td><td>―</td><td>1,071,000</td></tr>
<tr><td>分収造林事業</td><td>―</td><td>23,200</td><td>湊財産区</td><td>―</td><td>1,900</td></tr>
<tr><td>霊園事業</td><td>―</td><td>26,800</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
２　市債
一般会計の市債の借入れは、３６事業で
２７億１，１７６万円となった。
３　地方交付税
地方交付税の総額は５４億７，０９６万６千円で、
前年度比３億２，５０８万８千円の増となった。
４　財政指標等
財政力指数（過去３年間の平均値）は、０．６０で、
単年度指数は０．５９である。
５　財務諸表の作成
財務諸表については、総務省より示された「統一的な基準による地方公会計マニュアル」に基づき、令和５年度決算における財務諸表を作成し公表した。
６　財政状況の公表及び情報提供
「わかりやすい予算説明書」及び財務諸表の作成と公表、財政事情の公表などにより、予算と主要事業の内容や決算の状況等について、市民に対して広く情報の提供を行った。
（531,056 円）</td></tr>
</table>

契約事務	１　法令等に基づき公平・公正な入札を実施し、予定価格が１，０００万円以上の建設工事については、原則として制限付一般競争入札方式とし、３６件を実施した。 ２　長野県入札・契約システムの共同利用化に伴い、入札参加資格申請システム及び電子入札システムを導入し、運用を開始した。 ３　令和７・８・９年度の建設工事、建設コンサルタント及び物品・役務入札参加資格の定期申請の受付及び審査を行った。 ４　公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に基づき、建設工事の発注見通し、入札・契約に係わる情報等の公表を行った。 ５　令和７年３月の公共工事設計労務単価等の引き上げに伴い、賃金等の急激な変動に対処するため、工事請負契約書第２６条第６項（インフレスライド条項）の運用を行った。 （7,159,585 円）
市有財産管理事務	市有財産の取得、処分、管理に係る不動産登記申請、保険事務等を行い、適正な財産管理を行った。 併せて、固定資産台帳管理システムの適正な管理運用を行った。 令和６年度登記処理件数　３１９件 （2,846,067 円）
普通財産管理事務	土地については、神明公園敷地など１０，４３７．９２㎡を処分した。 建物については、屋内ゲートボール場など５４８．９７㎡を解体、処分した。 その他、売却等処分が困難な普通財産については、可能な限り貸付等を行うとともに、定期的に除草等を行い、適正な財産管理を行った。 （4,911,213 円）

第３　主要な統計、行政資料等

１　令和６年度一般会計歳入歳出補正予算状況

（単位：千円）

区分		当初予算	補正予算						
			１号	２号	３号	４号	５号	６号	７号
議決等年月日		R6.3.19	R6.4.1	R6.4.8	R6.6.25	R6.7.26	R6.7.31	R6.9.4	R6.10.1
歳入	1　市税	6,578,000							
	2　地方譲与税	166,000							
	3　利子割交付金	3,000							
	4　配当割交付金	36,000							
	5　株式等譲渡所得割交付金	36,000							
	6　法人事業税交付金	124,000							
	7　地方消費税交付金	1,257,000							
	8　ゴルフ場利用税交付金	12,000							
	9　環境性能割交付金	18,000							
	10　地方特例交付金	300,000							
	11　地方交付税	4,900,000							
	12　交通安全対策特別交付金	10,000							
	13　分担金及び負担金	119,392							
	14　使用料及び手数料	505,257							
	15　国庫支出金	2,252,942	162,600		394,709			94,360	1,995
	16　県支出金	1,218,990			6,176				
	17　財産収入	72,908							
	18　寄附金	10			4,076	1,000			28,746
	19　繰入金	402,576							
	20　繰越金	300,000		1,600	41,286		1,000		9,861
	21　諸収入	1,148,909			94,805				7,200
	22　市債	2,939,016		13,900			8,800		17,300
	歳入合計	22,400,000	162,600	15,500	541,052	1,000	9,800	94,360	65,102
歳出	1　議会費	190,990							
	2　総務費	2,445,905	5,500		298,874			94,360	32,812
	3　民生費	7,621,404	157,100		105,616		9,800		1,990
	4　衛生費	1,965,660			135,782				
	5　労働費	89,243							
	6　農林水産業費	255,753							
	7　商工費	1,708,931				1,000			
	8　土木費	1,989,836							
	9　消防費	683,294							27,300
	10　教育費	1,985,679		15,500	780				3,000
	11　公債費	3,413,305							
	12　予備費	50,000							
	歳出合計	22,400,000	162,600	15,500	541,052	1,000	9,800	94,360	65,102

（単位：千円）

区分		補正予算							予備費充当額	最終予算額
		８号	９号	１０号	１１号	１２号	１３号	１４号		
議決等年月日		R6.10.9	R6.12.12	R6.12.26	R7.1.6	R7.2.18	R7.2.18	R7.3.31		
歳入	1 市税									6,578,000
	2 地方譲与税									166,000
	3 利子割交付金									3,000
	4 配当割交付金									36,000
	5 株式等譲渡所得割交付金									36,000
	6 法人事業税交付金									124,000
	7 地方消費税交付金									1,257,000
	8 ゴルフ場利用税交付金									12,000
	9 環境性能割交付金									18,000
	10 地方特例交付金									300,000
	11 地方交付税					200,000				5,100,000
	12 交通安全対策特別交付金									10,000
	13 分担金及び負担金									119,392
	14 使用料及び手数料									505,257
	15 国庫支出金			160,100		223,411				3,290,117
	16 県支出金	22,748				34,955				1,282,869
	17 財産収入							2,964		75,872
	18 寄附金		16,328			92,121		42,326		184,607
	19 繰入金				10,000	39,789				452,365
	20 繰越金	3,752	111,568			176,909	456	△ 300		646,132
	21 諸収入							1,830		1,252,744
	22 市債		4,700			456,400				3,440,116
	歳入合計	26,500	132,596	160,100	10,000	1,223,585	456	46,820		24,889,471
歳出	1 議会費					1,021	456			192,467
	2 総務費	26,500	22,155		10,000	439,491		46,820		3,422,417
	3 民生費			160,100		26,087			40	8,082,137
	4 衛生費		91,000			130,070				2,322,512
	5 労働費					279				89,522
	6 農林水産業費					1,562				257,315
	7 商工費		9,041			5,325			3,541	1,727,838
	8 土木費					192,722				2,182,558
	9 消防費									710,594
	10 教育費		10,400			427,028			11,946	2,454,333
	11 公債費									3,413,305
	12 予備費								△ 15,527	34,473
	歳出合計	26,500	132,596	160,100	10,000	1,223,585	456	46,820	0	24,889,471

2　一般会計予備費充当、予算流用調

（単位：千円）

款　項　目	節	予備費充当額	予算流用額	流　用　科　目
2款 総務費				
1項 総務管理費				
1目 一般管理費	2 給料		△ 2,038	4目 車両管理費へ
			△ 1,726	15目 会計管理費へ
	3 職員手当等		△ 234	4目 車両管理費へ
			△ 216	15目 会計管理費へ
	4 共済費		△ 424	4目 車両管理費へ
			△ 363	15目 会計管理費へ
	10 需用費		187	2目 庁舎管理費より
2目 庁舎管理費	12 委託料		△ 110	3目 文書費へ
	14 工事請負費		△ 187	1目 一般管理費へ
3目 文書費	7 報償費		110	2目 庁舎管理費より
4目 車両管理費	1 報酬		2,038	1目 一般管理費より
	3 職員手当等		234	1目 一般管理費より
	4 共済費		424	1目 一般管理費より
	12 委託料		△ 938	11目 財産管理費へ
11目 財産管理費	10 需用費		938	4目 車両管理費より
15目 会計管理費	1 報酬		1,726	1目 一般管理費より
	3 職員手当等		216	1目 一般管理費より
	4 共済費		363	1目 一般管理費より
3款 民生費		40		
1項 社会福祉費				
1目 社会福祉総務費	2 給料		△ 1,933	7目 福祉医療費へ
	3 職員手当等		△ 216	7目 福祉医療費へ
	4 共済費		△ 402	7目 福祉医療費へ
	11 役務費		△ 1	8目 総合福祉センター費へ
7目 福祉医療費	1 報酬		1,933	1目 社会福祉総務費より
	3 職員手当等		216	1目 社会福祉総務費より
	4 共済費		402	1目 社会福祉総務費より
8目 総合福祉センター費	11 役務費		1	1目 社会福祉総務費より
2項 児童福祉費				
3目 保育所費	18 負担金補助及び交付金		△ 2,981	6目 認定こども園費へ
6目 認定こども園費	18 負担金補助及び交付金		2,981	3目 保育所費より
4項 災害救助費		40		
1目 災害救助費	19 扶助費	40		
4款 衛生費				
1項 保健衛生費				
1目 保健衛生総務費	2 給料		△ 2,252	4目 健康管理費へ
			△ 5,313	7目 看護専門学校費へ
	3 職員手当等		△ 256	4目 健康管理費へ
			△ 497	7目 看護専門学校費へ
	4 共済費		△ 468	4目 健康管理費へ
			△ 1,084	7目 看護専門学校費へ
	12 委託料		66	2目 予防費より
2目 予防費	10 需用費		△ 300	4目 健康管理費へ
	12 委託料		△ 66	1目 保健衛生総務費へ
			△ 741	7目 看護専門学校費へ
4目 健康管理費	1 報酬		2,252	1目 保健衛生総務費より
	3 職員手当等		256	1目 保健衛生総務費より
	4 共済費		468	1目 保健衛生総務費より
	18 負担金補助及び交付金		300	2目 予防費より
7目 看護専門学校費	1 報酬		5,313	1目 保健衛生総務費より
	3 職員手当等		497	1目 保健衛生総務費より
	4 共済費		1,084	1目 保健衛生総務費より
	10 需用費		200	2目 予防費より
	11 役務費		11	2目 予防費より
	18 負担金補助及び交付金		530	2目 予防費より

（単位：千円）

款　項　目	節	予備費充当額	予算流用額	流　用　科　目
7款 商工費		3,541		
1項 商工費		3,541		
2目 商工業振興費	10 需用費		231	8目 商業観光施設費より
	18 負担金補助及び交付金		△ 2,500	8目 商業観光施設費へ
			△ 814	8目 商業観光施設費へ
8目 商業観光施設費	12 委託料		△ 231	2目 商工業振興費へ
			814	2目 商工業振興費より
	17 備品購入費	3,541		
	18 負担金補助及び交付金		2,500	2目 商工業振興費より
10目 文化会館費	14 工事請負費		△ 2,190	11目 童画館費へ
11目 童画館費	14 工事請負費		1,310	10目 文化会館費より
	17 備品購入費		880	10目 文化会館費より
9款 消防費				
1項 消防費				
2目 非常備消防費	7 報償費		1,090	3目 消防施設費より
	10 需用費		29	3目 消防施設費より
3目 消防施設費	10 需用費		△ 29	2目 非常備消防費へ
	14 工事請負費		△ 1,090	2目 非常備消防費へ
10款 教育費		11,946		
2項 小学校費				
1目 学校管理費	10 需用費		761	2目 教育振興費より
	12 委託料		872	2目 教育振興費より
2目 教育振興費	19 扶助費		△ 1,633	1目 学校管理費へ
3項 中学校費		3,407		
1目 学校管理費	17 備品購入費	3,407		
4項 社会教育費		6,739		
3目 公民館費	10 需用費	770		
4目 美術考古館費	10 需用費	396		
5目 生涯学習活動センター費	14 工事請負費	2,600		
6目 図書館費	12 委託料	352		
7目 文化財保護費	10 需用費	246		
	12 委託料	2,375		
5項 保健体育費		1,800		
2目 スポーツ施設費	14 工事請負費	1,800		
11款 公債費				
1項 公債費				
1目 元金	22 償還金利子及び割引料		149	2目 利子より
2目 利子	22 償還金利子及び割引料		△ 149	1目 元金へ
予備費充当額計	（ 12 件）	15,527		

（注）予備費充当額計欄の（ ）書数値は、予備費充当件数である。

3　市債

（1）　一般会計市債現在高

ア　借入先別　（単位：円）

区　　分	令和５年度末現在高 (A)	令和６年度 借入額 (B)	令和６年度 償還額 (C)	令和６年度末現在高 (A)+(B)−(C)
財務省	8,790,326,197	195,144,000	814,262,990	8,171,207,207
日本郵政	75,411,247	0	29,371,445	46,039,802
日本政策金融公庫	130,770,990	0	4,714,154	126,056,836
全国市有物件災害共済会	87,004,000	20,000,000	12,862,000	94,142,000
八十二銀行	7,747,610,000	1,637,416,000	2,038,922,000	7,346,104,000
諏訪信用金庫	2,259,755,000	618,500,000	160,370,000	2,717,885,000
長野県信用組合	856,640,000	0	90,904,000	765,736,000
長野銀行	11,020,000	0	1,160,000	9,860,000
信州諏訪農業協同組合	444,082,000	22,100,000	13,476,000	452,706,000
地方公共団体金融機構	491,170,590	113,800,000	45,670,576	559,300,014
長野県市町村振興協会	839,626,000	104,800,000	83,378,000	861,048,000
合　　計	21,733,416,024	2,711,760,000	3,295,091,165	21,150,084,859

イ　目的別　（単位：円）

区　　分	令和５年度末現在高 (A)	令和６年度 借入額 (B)	令和６年度 償還額 (C)	令和６年度末現在高 (A)+(B)−(C)
総務	1,748,746,390	257,900,000	82,595,054	1,924,051,336
民生	853,969,035	29,600,000	77,098,821	806,470,214
衛生	773,535,046	619,040,000	659,158,630	733,416,416
土木	4,918,596,547	580,536,000	452,259,583	5,046,872,964
消防	763,046,000	650,956,000	679,625,000	734,377,000
教育	2,790,975,913	139,100,000	214,056,465	2,716,019,448
公営住宅	50,815,807	0	7,485,558	43,330,249
防災	111,990,000	164,000,000	2,444,000	273,546,000
商工	461,539,000	207,384,000	200,451,000	468,472,000
農林	90,834,284	11,000,000	5,175,433	96,658,851
災害復旧債	407,262,500	0	17,420,834	389,841,666
住民税等減税補てん債	36,754,628	0	18,819,119	17,935,509
臨時財政対策債	8,504,130,874	52,244,000	847,499,820	7,708,875,054
減収補てん債	72,757,000	0	4,279,848	68,477,152
公共施設等除却債	148,463,000	0	26,722,000	121,741,000
合　　計	21,733,416,024	2,711,760,000	3,295,091,165	21,150,084,859

（２）一般会計市債借入額等の推移

（単位：千円）

年　度	借 入 額 ( )内は借換債	元金償還額 ( )内は借換債	うち繰上償還額	年度末現在高 (A)	市民１人当たり現在高 人口（人） (B)	市民１人当たり現在高 現在高 (A)/(B)
令和２年度	1,970,722 (0)	2,007,132 (0)	0	22,560,616	48,572	464
令和３年度	2,538,652 (385,674)	2,227,913 (385,674)	0	22,871,355	47,854	478
令和４年度	1,605,752 (321,259)	2,112,061 (321,259)	0	22,365,046	47,452	471
令和５年度	2,870,178 (1,723,692)	3,501,808 (1,723,692)	0	21,733,416	46,799	464
令和６年度	2,711,760 (1,472,016)	3,295,091 (1,472,016)	0	21,150,085	46,189	458

（注）※人口は、各年度末現在の住民基本台帳人口である。

４　令和６年度　地方交付税

（１）普通交付税

（単位：千円）

区　　分		令和６年度 (A)	令和５年度 (B)	増 減 額 (A)-(B)
基準財政需要額	(ｱ)	10,937,407	10,647,722	289,685
基準財政収入額	(ｲ)	6,488,695	6,502,815	△ 14,120
交付基準額　(ｱ)-(ｲ)	(ｳ)	4,448,712	4,144,907	303,805
調整額	(ｴ)	0	0	0
交付額　(ｳ)-(ｴ)	(ｵ)	4,448,712	4,144,907	303,805
財政力指数（過去3年間平均値）		0.60	0.60	0.00

（２）特別交付税

（単位：千円）

区　　分	令和６年度 (A)	令和５年度 (B)	増 減 額 (A)-(B)
特別交付税	1,022,254	1,000,971	21,283

（３）地方交付税合計

（単位：千円）

区　　分	令和６年度 (A)	令和５年度 (B)	増 減 額 (A)-(B)
普通交付税	4,448,712	4,144,907	303,805
特別交付税	1,022,254	1,000,971	21,283
合　　計	5,470,966	5,145,878	325,088

5　地方消費税交付金（社会保障財源化分）

地方消費税交付金（社会保障財源化分）の充当状況は、次のとおりである。

【歳　入】　　引上げ分の地方消費税交付金（社会保障財源化分）　　696,158 千円

【歳　出】　　（単位：千円）

区分		事業費	財源内訳			
			特定財源	一般財源		
					地方消費税交付金（社会保障財源化分）	その他
社会福祉	社会福祉事業	111,012	31,313	79,699	11,256	68,443
	障がい者福祉事業	1,129,642	814,333	315,309	44,533	270,776
	高齢者福祉事業	102,422	22,588	79,834	11,276	68,558
	福祉医療事業	406,515	141,363	265,152	37,449	227,703
	児童福祉事業	2,082,583	1,202,391	880,192	178,370	701,822
	生活保護事業	314,187	251,105	63,082	8,910	54,172
	小　計	4,146,361	2,463,093	1,683,268	291,794	1,391,474
社会保険	介護保険事業	713,116	637	712,479	100,628	611,851
	国民健康保険事業	290,247	155,946	134,301	18,968	115,333
	後期高齢者医療保険事業	853,097	120,102	732,995	103,526	629,469
	小　計	1,856,460	276,685	1,579,775	223,122	1,356,653
保健衛生	保健衛生事業	23,231	2,159	21,072	2,976	18,096
	予防事業	171,017	2,392	168,625	23,816	144,809
	母子保健事業	76,262	34,345	41,917	5,920	35,997
	健康管理事業	64,345	16,559	47,786	6,749	41,037
	病院事業	1,042,354	38,500	1,003,854	141,781	862,073
	小　計	1,377,209	93,955	1,283,254	181,242	1,102,012
合　計		7,380,030	2,833,733	4,546,297	696,158	3,850,139

6　一般会計一時借入金借入状況

（単位：円）

借 入 先	借入期間	利率	件数	支払利子
借入なし	－	年　% －	－	－
合　　計			0	0

7　一般会計一時繰入金繰入状況（基金）

（単位：円）

繰 入 先	繰入期間	利率	件数	支払利子
財政調整基金	R6.4.1～R7.3.31	年　% 0.100	22	1,245,804
社会教育施設整備基金	R6.4.1～R7.3.31	0.100	3	19,893
社会福祉施設整備基金	R6.4.1～R7.1.21	0.100	5	149,677
消防施設整備基金	R6.4.1～R7.3.31	0.100	3	507
市営住宅整備基金	R6.4.1～R7.3.31	0.100	4	146,136
公園施設等整備基金	R6.4.1～R7.3.31	0.100	3	6,849
工業技術振興基金	R6.4.1～R7.3.31	0.100	5	38,465
ふるさとまちづくり基金	R6.4.1～R7.3.31	0.100	11	723,127
減債基金	R6.4.1～R7.3.31	0.100	8	485,157
文化会館事業基金	R6.4.1～R7.3.31	0.100	3	56,130
地域福祉基金	R6.4.1～R7.3.31	0.100	2	1,923
みどりを愛する基金	R6.4.1～R7.3.31	0.100	4	15,364
教員住宅整備基金	R6.4.1～R7.3.31	0.100	3	10,984
病院施設整備基金	R6.4.1～R7.3.31	0.100	6	47,637
リサイクル基金	R6.4.1～R7.3.31	0.100	5	2,700
森林環境譲与税基金	R6.4.1～R7.3.31	0.100	3	5,718
旧岡谷市役所庁舎保全基金	R6.4.1～R7.3.31	0.100	7	41,687
旧渡辺家住宅保全基金	R6.4.1～R7.3.18	0.100	4	4,726
合　　計			101	3,002,484

8　契約

（1）　契約状況

区　　分	件　数	金　額
建設工事	153　件	2,512,056,800　円
建設コンサルタント業務	24　件	321,513,500　円
物品購入	24　件	67,465,879　円
物品購入に係る単価契約	19　件	―　円
役務提供	183　件	777,493,772　円
役務提供に係る単価契約	100　件	―　円
合　　計	503　件	3,678,529,951　円

（2）　入札参加資格者登録数

区　　分		登録者数
建設工事	市内	63　件
	県内	253　件
	県外	144　件
	小計	460　件
建設コンサルタント	市内	9　件
	県内	178　件
	県外	89　件
	小計	276　件
業務委託等	市内	46　件
	県内	260　件
	県外	174　件
	小計	480　件
物品購入等	市内	43　件
	県内	191　件
	県外	97　件
	小計	331　件
合　　計		1,547　件

9　主な不動産の取得及び処分

（1）　土地の取得

区　分	施　設　名　称	内　容	面　積（㎡）
行政財産	第9分団消防屯所敷地	取得	106.91
	小井川小学校敷地	取得	157.55
	小　　計		264.46
普通財産	長地小萩市営住宅敷地	用途廃止	1,503.02
	つるみね保育園敷地	用途廃止	2,672.09
	川岸西除ヶ入ため池	用途廃止	1,022.00
	小　　計		5,197.11
合　　計			5,461.57

（2）　土地の処分

区　分	施　設　名　称	内　容	面　積（㎡）
行政財産	第9分団消防屯所敷地	売却	93.55
	湊四丁目廃川敷防災行政無線敷地	売却	9.24
	小井川小学校南側教員住宅敷地	用途変更	32.45
	神明公園敷地	売却	1,645.00
	川岸保育園敷地	売却	59.84
	小　　計		1,840.08
普通財産	旧岡谷保育園敷地	売却	41.29
	旧川岸支所前敷地	売却	1.89
	部落有財産（中村区）	名義回復	7,893.67
	その他廃道水路敷地	交換・売却・譲与	660.99
	小　　計		8,597.84
合　　計			10,437.92

（3）　建物の処分

区　分	施　設　名　称	内　容	面　積（㎡）
行政財産	水防倉庫	解体	19.87
	川岸高尾市営住宅	解体	129.87
	小　　計		149.74
普通財産	屋内ゲートボール場	解体	399.23
	小　　計		399.23
合　　計			548.97

１０　登記処理件数

令和６年度 (A)	令和５年度 (B)	増　　減 (A)－(B)
件 319	件 257	件 62

１１　車両管理台数

区　　分	管　理　台　数			備　　考
	令和６年度 (A)	令和５年度 (B)	増　減 (A)－(B)	
普通自動車	台 12	台 12	台 0	
小型ダンプ等	2	2	0	
軽 自 動 車	21	21	0	
ＥＶ	4	4	0	
そ　の　他	2	2	0	
バ　イ　ク	6	6	0	
計	47	47	0	

１２　基金残高・取崩額の推移状況

（単位：円）

基金名		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
財政調整基金	年度末残高	1,473,741,479	1,925,141,585	2,276,442,090	2,516,315,237	2,538,858,454
	取崩額					36,000,000
社会教育施設整備基金	年度末残高	7,257,353	7,261,210	31,415,208	31,432,101	31,924,257
	取崩額					
社会福祉施設整備基金	年度末残高	179,812,377	230,957,981	305,226,619	355,419,881	355,671,275
	取崩額					
消防施設整備基金	年度末残高	792,160	792,580	803,014	803,542	804,182
	取崩額					
市営住宅整備基金	年度末残高	351,500,301	328,113,315	290,002,339	260,571,485	254,571,270
	取崩額	99,700,000	23,600,000	38,300,000	29,600,000	6,200,000
公園施設等整備基金	年度末残高	12,605,388	12,612,088	12,619,022	12,627,369	12,636,818
	取崩額					
工業技術振興基金	年度末残高	62,294,870	70,370,346	70,818,728	70,915,576	71,012,642
	取崩額					
ふるさとまちづくり基金	年度末残高	1,194,702,009	1,288,372,981	1,352,982,666	1,453,093,598	1,615,009,936
	取崩額	105,400,000				
減債基金	年度末残高	229,989,290	580,156,649	930,369,166	1,080,817,087	1,081,755,834
	取崩額					
文化会館事業基金	年度末残高	103,209,549	103,288,366	103,354,682	103,471,341	91,248,775
	取崩額	22,600,000				12,300,000
地域福祉基金	年度末残高	2,811,009	2,811,009	3,041,009	3,041,009	3,041,009
	取崩額					
みどりを愛する基金	年度末残高	52,642,996	52,673,220	52,707,038	52,841,044	47,932,655
	取崩額	4,000,000				5,000,000
教員住宅整備基金	年度末残高	11,616,938	11,623,114	20,236,212	20,249,597	20,264,750
	取崩額					
病院施設整備基金	年度末残高	69,911,901	143,834,581	196,024,741	198,038,911	199,145,753
	取崩額					
育英基金	年度末残高	451,027,849	459,516,621	467,650,590	473,787,594	478,484,969
	償還免除額	5,308,250	1,530,900	1,956,500	4,314,200	5,431,950
リサイクル基金	年度末残高	3,430,607	3,128,160	9,230,885	5,963,584	8,510,806
	取崩額	5,390,735	3,430,607	3,128,160	9,230,885	5,963,584
新型コロナウイルス緊急対策資金等利子補給基金	年度末残高	20,000,000	442,897	0		
	取崩額		19,557,103	442,897		
まち・ひと・しごと創生基金	年度末残高	10,100,000	7,180,535	4,016,251	0	
	取崩額		3,119,465	4,564,284	4,016,251	
森林環境譲与税基金	年度末残高	0	0	10,534,867	10,541,423	10,549,311
	取崩額					
旧岡谷市役所庁舎保全基金	年度末残高		68,123,155	134,385,035	151,231,108	165,143,134
	取崩額					7,000,000
旧渡辺家住宅保全基金	年度末残高			10,002,630	9,009,246	0
	取崩額				1,000,000	9,015,827
合計	年度末残高	4,237,446,076	5,296,400,393	6,281,862,792	6,810,170,733	6,986,565,830
	取崩額	242,398,985	51,238,075	48,391,841	48,161,336	86,911,361

税　　務　　課

第１　概説

税務課では、効率的・効果的な行政経営と健全財政の保持に向けた財源確保のため、市税について課税客体の正確な把握に努めながら、課税及び収納事務を行った。

また、納税相談や滞納処分などを実施し、収納率の向上と公平性の確保に努めた。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
税務総務管理事務	１　決算状況 （１）市税 調定額　6,788,079,569円　（前年度比　95.6%） 収入済額　6,635,370,394円　（前年度比　95.2%） 収納率（現年度）　99.0%　（前年度　99.1%） （２）国民健康保険税 調定額　948,288,887円　（前年度比　99.8%） 収入済額　810,746,937円　（前年度比　98.6%） 収納率（現年度）　94.2%　（前年度　94.4%） ２　税関係の諸証明発行 ・手数料収入額（窓口来庁分）　6,484件　2,141,150円 ・コンビニ発行分　418件　125,400円 ３　条例改正業務 ・地方税法等の改正に伴う、岡谷市市税条例等を一部改正 ４　税務広報事務 ・「市税概要」の作成、公表 ・広報おかや、ホームページ等による広報・広告掲載 (2,738,127円)
市民税課税事務	１　市民税の賦課 ・申告相談の実施 （２月１７日（月）～３月１７日（月）） 市役所、２０日間、２，５６３人 ・課税資料の整備 申告書、給与及び公的年金支払報告書等の確認、調査 ２　軽自動車税、市たばこ税、入湯税の賦課 (38,952,829円)
資産税課税事務	１　固定資産税・都市計画税の賦課 ・令和９年度評価替えに向けた、課税台帳、評価基準等の整備 ・土地現況調査の実施 ・新増築家屋の評価、滅失家屋の確認調査 ・不動産鑑定による土地評価額の修正 ・償却資産申告書の確認及び実地調査(簡易・訪問調査等)の実施 (12,510,351円)
収納等業務事務	１　市税及び国民健康保険税の収納 ２　納税相談室の開設（平成 18 年度～）相談者数　年間延 559 人 ３　自主納税の推進と収納率向上対策 ・元国税局職員による指導、研修 ・滞納者に対する督促・催告、生活状況等の調査、納税誓約 ・滞納処分の実施 ・コンビニ収納、スマートフォンアプリでバーコードやＱＲコードを利用した収納の実施 ・長野県地方税滞納整理機構の活用　移管件数　10 件 ・個人の県民税に係る徴収及び滞納処分の特例　引継件数　１件 (21,648,276 円)

第３　主要な統計、行政資料等

１　市税徴収の実績

（単位：円）

項目別			予算額	前年度以前滞納繰越額		調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額（滞納繰越額）	予算に対する収入額の増減	収入比（%） 令和6年度		令和5年度収入済額	6/5年度収入済額対比（%）
				繰越額	増減						対予算	対調定		
市民税	個人	現	2,548,600,000	－	－	2,567,751,200	2,540,836,398	0	26,914,802	△ 7,763,602	99.7	99.0	2,845,196,045	89.3
		滞	20,800,000	61,771,844	△ 127,056	61,644,788	19,538,707	2,136,625	39,969,456	△ 1,261,293	93.9	31.7	15,815,612	123.5
		計	2,569,400,000	61,771,844	△ 127,056	2,629,395,988	2,560,375,105	2,136,625	66,884,258	△ 9,024,895	99.6	97.4	2,861,011,657	89.5
	法人	現	380,800,000	－	－	395,364,100	393,718,200	0	1,645,900	12,918,200	103.4	99.6	393,913,400	100.0
		滞	1,000,000	4,082,808	0	4,082,808	493,000	410,000	3,179,808	△ 507,000	49.3	12.1	840,100	58.7
		計	381,800,000	4,082,808	0	399,446,908	394,211,200	410,000	4,825,708	12,411,200	103.3	98.7	394,753,500	99.9
	小計		2,951,200,000	65,854,652	△ 127,056	3,028,842,896	2,954,586,305	2,546,625	71,709,966	3,386,305	100.1	97.5	3,255,765,157	90.7
固定資産税	固定資産税	現	2,714,000,000	－	－	2,807,125,900	2,776,521,135	0	30,604,765	62,521,135	102.3	98.9	2,797,869,302	99.2
		滞	16,200,000	50,903,140	△ 2,200	50,900,940	17,428,488	1,227,197	32,245,255	1,228,488	107.6	34.2	16,063,597	108.5
		計	2,730,200,000	50,903,140	△ 2,200	2,858,026,840	2,793,949,623	1,227,197	62,850,020	63,749,623	102.3	97.8	2,813,932,899	99.3
	交付金	現	14,900,000	－	－	14,988,800	14,988,800	0	0	88,800	100.6	100.0	15,566,600	96.3
	小計		2,745,100,000	50,903,140	△ 2,200	2,873,015,640	2,808,938,423	1,227,197	62,850,020	63,838,423	102.3	97.8	2,829,499,499	99.3
軽自動車税	種別割	現	177,800,000	－	－	179,721,500	177,567,624	0	2,153,876	△ 232,376	99.9	98.8	174,848,200	101.6
		滞	1,600,000	5,533,227	0	5,533,227	1,420,876	372,800	3,739,551	△ 179,124	88.8	25.7	1,942,673	73.1
		計	179,400,000	5,533,227	0	185,254,727	178,988,500	372,800	5,893,427	△ 411,500	99.8	96.6	176,790,873	101.2
	環境性能割	現	16,000,000	－	－	16,302,500	16,302,500	0	0	302,500	101.9	100.0	15,895,200	102.6
	小計		195,400,000	5,533,227	0	201,557,227	195,291,000	372,800	5,893,427	△ 109,000	99.9	96.9	192,686,073	101.4
市たばこ税	市たばこ税	現	332,000,000	－	－	322,786,274	322,786,274	0	0	△ 9,213,726	97.2	100.0	333,699,201	96.7
入湯税	入湯税	現	1,400,000	－	－	1,256,350	1,256,350	0	0	△ 143,650	89.7	100.0	1,275,550	98.5
都市計画税	都市計画税	現	351,000,000	－	－	354,161,600	350,300,308	0	3,861,292	△ 699,692	99.8	98.9	354,562,874	98.8
		滞	1,900,000	6,459,782	△ 200	6,459,582	2,211,734	155,736	4,092,112	311,734	116.4	34.2	2,041,302	108.3
		計	352,900,000	6,459,782	△ 200	360,621,182	352,512,042	155,736	7,953,404	△ 387,958	99.9	97.8	356,604,176	98.9
総計		現	6,536,500,000	－	－	6,659,458,224	6,594,277,589	0	65,180,635	57,777,589	100.9	99.0	6,932,826,372	95.1
		滞	41,500,000	128,750,801	△ 129,456	128,621,345	41,092,805	4,302,358	83,226,182	△ 407,195	99.0	31.9	36,703,284	112.0
		計	6,578,000,000	128,750,801	△ 129,456	6,788,079,569	6,635,370,394	4,302,358	148,406,817	57,370,394	100.9	97.8	6,969,529,656	95.2

（注）都市計画税 352,512,042円は、土木費の一般財源として充当

2　市税負担の状況（現年度）

区　分	調定額(円)	市税負担額(円)	
		１人当たり	１世帯当たり
市民税	2,963,115,300	65,863	154,288
固定資産税	2,822,114,700	62,728	146,946
軽自動車税	196,024,000	4,357	10,206
市たばこ税	322,786,274	7,174	16,807
入湯税	1,256,350	27	65
都市計画税	354,161,600	7,872	18,441
合　計	6,659,458,224	148,024	346,756

（注）令和7年4月1日現在　　人口　44,989 人、世帯数 19,205　世帯

3　滞納処分の状況（国保税を含む）

区分／物件	令和５年度末の状況		令和６年度中の処分状況（交付要求・参加差押を含む）				令和６年度末の状況	
			差押等		解　除			
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
不 動 産	46	5,900,753	0	0	1	4,000	45	5,896,753
債　　権	33	18,468,444	230	40,027,014	229	41,704,998	34	16,790,460
動　　産	3	1,410,700	0	0	1	128,700	2	1,282,000
計	82	25,779,897	230	40,027,014	231	41,837,698	81	23,969,213

4　市税不納欠損処分の状況

（１）年度別・税目別不納欠損処分額

税目	個人市民税		法人市民税		固定資産税		都市計画税		軽自動車税	
年度	税額(円)	件	税額(円)	件	税額(円)	件	税額(円)	件	税額(円)	件
H26	192,589	6			12,423	2	1,577	—	14,200	6
H27					42,506	8	5,394	—	19,800	7
H28	37,526	3			38,690	7	4,910	—	43,600	9
H29	179,348	12	50,000	1	66,228	7	8,405	—	85,100	13
H30	825,425	23	50,000	1	337,385	20	42,815	—	61,300	11
R元	667,802	68	310,000	3	689,766	64	87,534	—	143,200	22
R2	233,935	10			40,199	4	5,101	—	5,600	2
計	2,136,625	122	410,000	5	1,227,197	112	155,736	—	372,800	70

（２）不納欠損内容

内　　容	金　額(円)	件数(件)
消滅時効が完成したもの（地方税法第１８条）	0	0
滞納処分の執行停止中、消滅時効が完成したもの（地方税法第１８条）	3,220,222	223
滞納処分の執行停止が３年間継続したもの（地方税法第１５条の７第４項）	1,082,136	86
滞納処分の執行停止後、直ちに消滅するもの（地方税法第１５条の７第５項）	0	0
合　　計	4,302,358	309

5　口座振替等の状況

区分	口座振替		コンビニエンスストア		スマートフォンアプリ	
税目	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
市民税 (特徴除く)	7,958	216,874,190	5,021	72,591,290	153	2,245,522
					675	11,232,534
					828	13,478,056
固定資産税 都市計画税	61,120	1,980,234,600	10,975	173,278,100	328	5,592,000
					1,237	24,101,500
					1,565	29,693,500
軽自動車税	4,721	38,045,600	8,695	75,149,500	138	1,095,700
					1,157	10,012,100
					1,295	11,107,800
市税計	73,799	2,235,154,390	24,691	321,018,890	3,688	54,279,356
国民健康保険税	33,660	526,212,854	7,214	103,618,700	169	1,900,500
					681	9,788,800
					850	11,689,300
合計	107,459	2,761,367,244	31,905	424,637,590	4,538	65,968,656

※上段：バーコード決裁
※中段：ＱＲコード決裁
※下段：小計

6　市税等の状況

（1）　市民税調定額(現年度)

ア　個人分　　（ ）内は納税義務者数

	均 等 割(円)	所 得 割(円)	計(円)　①
課税額	78,313,000 (26,053 人)	2,471,273,200 (22,262 人)	2,549,586,200 (26,155 人)

	①のうち翌年度の収入となるべき額(円)	①のうち当年度の収入となるべき額(円)　②	前年度課税額のうち当年度収入分(円)　③	計(円) ②＋③
調定額	352,704,700	2,196,881,500	349,583,000	2,546,464,500

イ　法人分　　（ ）内は法人数

調　定　額		
均 等 割(円)	法 人 割(円)	計(円)
165,800,200 (1,697 人)	229,563,900 (698 人)	395,364,100 (1,697 人)

（2）　市民税（個人）賦課人員　　（特別徴収義務者数 3,411 事業所）

区　分	普通徴収分(人)	特別徴収分(人)
均等割のみ	1,094	2,697
所得割のみ	0	102
均等割と所得割	4,899	17,363
合　計	5,993	20,162

（３）　固定資産税・都市計画税調定額（現年度）

区　　分	課税標準額(千円)	税　額(円)	納税義務者数(人)
固定資産税	204,193,762	2,807,125,900	21,706
国有資産等所在市町村交付金	1,070,657	14,988,800	8
合　　計	205,264,419	2,822,114,700	21,714
都市計画税	177,694,559	354,161,600	21,262

（４）　固定資産税概要

ア　土地の評価額　　（　）内は免税点未満を内書

区分	地　積(㎡)	決定評価額(千円)	筆数(筆)	㎡当たり価格(円)	
				平均価格	最高価格
田	(108,010) 983,439	(10,731) 108,845	(329) 2,718	111	167
介在田	(36) 5,115	(389) 49,557	(2) 20	9,689	22,440
畑	(392,629) 2,342,564	(17,799) 111,918	(1,376) 7,462	48	96
介在畑	(105) 22,399	(358) 222,670	(3) 77	9,941	24,420
宅地	(126,484) 7,562,723	(1,272,977) 138,459,168	(2,322) 59,411	18,308	39,650
池沼	(52) 6,139	(2) 11,635	(1) 20	1,895	6,859
山林	(1,546,471) 14,462,496	(52,418) 467,845	(2,345) 11,535	32	45
牧場	0 3,850	0 140	0 4	36	36
原野	(56,291) 3,096,597	(1,699) 46,888	(195) 918	15	124
雑種地	(47,778) 2,230,451	(33,055) 13,469,674	(530) 6,410	6,039	38,460
合　計	(2,277,856) 30,715,773	(1,389,428) 152,948,340	(7,103) 88,575	4,979	

イ　家屋の評価額　　（　）内は免税点未満を内書

区　分	床 面 積(㎡)	決定評価額(千円)	棟数(棟)	㎡当たり平均価格(円)
木　造	(50,691) 2,264,496	(78,599) 41,607,030	(954) 20,223	18,374
非木造	(1,503) 1,692,740	(7,903) 56,332,905	(70) 6,748	33,279
合　計	(52,194) 3,957,236	(86,502) 97,939,935	(1,024) 26,971	24,750

ウ　償却資産の評価額

区　　分	決定評価額(千円)	備　　考
市長が価格等を決定したもの	34,895,288	
総務大臣・県知事が価格等を決定し配分したもの	11,326,130	中部電力ﾊﾟﾜｰｸﾞﾘｯﾄﾞ㈱、 東日本旅客鉄道㈱、 東日本電信電話㈱、 ㈱INPEX　等
合　　計	46,221,418	

（５）　軽自動車税概要

ア　種別割

区　分	課税台数（台）	調定額（円）
原付自転車	1,497	3,166,500
軽自動車	18,827	170,678,600
小型特殊自動車	296	1,256,400
二輪の小型自動車	770	4,620,000
合　計	21,390	179,721,500

イ　環境性能割

調定額（円）
16,302,500

7　ｅＬＴＡＸ（地方税共同電子申告システム）の状況

（１）ｅＬＴＡＸの利用

区　　分	法人市民税申告書	給与支払報告書	償却資産申告書
電子申告件数(件)	2,040	4,002	1,206
利用率(%)	96.5	73.9	56.2

（２）公的年金に関する件数

区　分	件　数(件)	課税件数(件)	特別徴収件数(件)	特徴比率(%)
65歳以上	22,291	7,033	5,332	75.8
65歳未満	1,433	737	－	－
合　計	23,724	7,770	－	－

8　国民健康保険税徴収の実績

（単位：円）

項目別				予算額	前年度以前滞納繰越額		調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額（滞納繰越額）	予算に対する収入額の増減	収入比（%） 令和6年度		令和5年度収入済額	6/5年度収入済額対比（%）
					繰越額	増減						対予算	対調定		
国民健康保険税	一般	医療給付費分	現	486,006,000			539,056,282	509,069,107		29,987,175	23,063,107	104.7	94.4	549,501,843	92.6
			滞	21,404,000	83,303,299	△ 2,156,335	81,146,964	21,903,305	3,444,024	55,799,635	499,305	102.3	27.0	19,473,593	112.5
			計	507,410,000	83,303,299	△ 2,156,335	620,203,246	530,972,412	3,444,024	85,786,810	23,562,412	104.6	85.6	568,975,436	93.3
		後期高齢者支援金分	現	195,027,000			215,224,851	203,273,069		11,951,782	8,246,069	104.2	94.4	183,212,889	110.9
			滞	7,152,000	27,575,082	△ 730,607	26,844,475	7,292,208	1,048,560	18,503,707	140,208	102.0	27.2	6,460,914	112.9
			計	202,179,000	27,575,082	△ 730,607	242,069,326	210,565,277	1,048,560	30,455,489	8,386,277	104.1	87.0	189,673,803	111.0
		介護納付金分	現	68,736,000			71,073,667	65,211,476		5,862,191	△ 3,524,524	94.9	91.8	60,238,388	108.3
			滞	4,149,000	15,304,106	△ 361,458	14,942,648	3,997,772	535,640	10,409,236	△ 151,228	96.4	26.8	3,511,966	113.8
			計	72,885,000	15,304,106	△ 361,458	86,016,315	69,209,248	535,640	16,271,427	△ 3,675,752	95.0	80.5	63,750,354	108.6
		小計	現	749,769,000			825,354,800	777,553,652		47,801,148	27,784,652	103.7	94.2	792,953,120	98.1
			滞	32,705,000	126,182,487	△ 3,248,400	122,934,087	33,193,285	5,028,224	84,712,578	488,285	101.5	27.0	29,446,473	112.7
			計	782,474,000	126,182,487	△ 3,248,400	948,288,887	810,746,937	5,028,224	132,513,726	28,272,937	103.6	85.5	822,399,593	98.6
	退職者	医療給付費分	現												
			滞											45,816	
			計											45,816	
		後期高齢者支援金分	現												
			滞											14,371	
			計											14,371	
		介護納付金分	現												
			滞											13,413	
			計											13,413	
		小計	現												
			滞											73,600	
			計											73,600	
	総計	医療給付費分	現	486,006,000			539,056,282	509,069,107		29,987,175	23,063,107	104.7	94.4	549,501,843	92.6
			滞	21,404,000	83,303,299	△ 2,156,335	81,146,964	21,903,305	3,444,024	55,799,635	499,305	102.3	27.0	19,519,409	112.2
			計	507,410,000	83,303,299	△ 2,156,335	620,203,246	530,972,412	3,444,024	85,786,810	23,562,412	104.6	85.6	569,021,252	93.3
		後期高齢者支援金分	現	195,027,000			215,224,851	203,273,069		11,951,782	8,246,069	104.2	94.4	183,212,889	110.9
			滞	7,152,000	27,575,082	△ 730,607	26,844,475	7,292,208	1,048,560	18,503,707	140,208	102.0	27.2	6,475,285	112.6
			計	202,179,000	27,575,082	△ 730,607	242,069,326	210,565,277	1,048,560	30,455,489	8,386,277	104.1	87.0	189,688,174	111.0
		介護納付金分	現	68,736,000			71,073,667	65,211,476		5,862,191	△ 3,524,524	94.9	91.8	60,238,388	108.3
			滞	4,149,000	15,304,106	△ 361,458	14,942,648	3,997,772	535,640	10,409,236	△ 151,228	96.4	26.8	3,525,379	113.4
			計	72,885,000	15,304,106	△ 361,458	86,016,315	69,209,248	535,640	16,271,427	△ 3,675,752	95.0	80.5	63,763,767	108.5
		計	現	749,769,000			825,354,800	777,553,652		47,801,148	27,784,652	103.7	94.2	792,953,120	98.1
			滞	32,705,000	126,182,487	△ 3,248,400	122,934,087	33,193,285	5,028,224	84,712,578	488,285	101.5	27.0	29,520,073	112.4
			計	782,474,000	126,182,487	△ 3,248,400	948,288,887	810,746,937	5,028,224	132,513,726	28,272,937	103.6	85.5	822,473,193	98.6

9　国民健康保険税不納欠損処分の状況

（１）年度別不納欠損額　構成

年度	税　額（円）	件数(件)
H24	44,000	1
H25	450,674	20
H26	803,550	33
H27	223,500	22
H28	449,700	70
H29	457,500	58
H30	1,521,800	72
R 元	737,300	104
R2	340,200	37
合計	5,028,224	417

（２）不納欠損内容

内　　容	金　額(円)	件数(件)
消滅時効が完成したもの（地方税法第１８条）	0	0
滞納処分の執行停止中、消滅時効が完成したもの（地方税法第１８条）	2,762,750	246
滞納処分の執行停止が３年間継続したもの（地方税法第１５条の７第４項）	2,265,474	171
滞納処分の執行停止後、直ちに消滅するもの（地方税法第１５条の７第５項）	0	0
合　　計	5,028,224	417

１０　主な税制改正

○令和６年度税制改正

（１）個人市民税　定額減税の実施に伴う所要の改正

（２）固定資産税及び都市計画税　地域決定型地方税制特例措置（わがまち特例）の創設、廃止等に伴う所要の改正

消　　防　　課

第１　概説

消防課では、火災等各種災害から市民の生命、財産等を守ることを目的として、火災予防の推進をはじめ、消防団の充実及び防火・防災協力団体の育成、さらに消防水利、消防施設の整備に努めた。

特に、東日本大震災の教訓を踏まえ、地域防災力の中核である消防団装備の充実強化を図ることにより大規模震災等への対応力を高めるため、第３分団に最新鋭の災害対応型多機能消防車を更新配備した。

また、消防団員の処遇改善・安全確保・負担軽減を３本の柱とする「消防団員恒常的確保対策事業」の継続的な推進を図った。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
広域連合負担金	１　広域消防負担金（均等割２０％　人口割８０％） ・消防費負担金　４８０，９３４，９６６円 ・公債費負担金　３２，８３９，３７１円 ２　その他負担金 ・高速自動車国道救急業務支弁金　２，９２５，９６０円 (516,700,297 円)
消防事務	１　岡谷市防火協会 事業所の防火管理並びに危険物施設の維持管理に万全を期し、火災による被害を未然に防止することを目的として、協会加入事業所の従業員に対する保安教育を徹底した。 市内児童を対象に「第４６回標語入り防火ポスターコンクール」を開催し、優秀作品を用いて令和７年版の標語入り防火カレンダーを作成し幼少年に対する火災予防の普及を行った。 ２　土地借上料 ・防火水槽敷地　４８件分　６８６，０００円 (2,862,248 円)
消防団活動事業	消防団は、地域社会における消防防災活動の中核組織として、火災等の災害出動や災害発生に備えての訓練、また地域ぐるみの防災体制の確立等、地域防災のリーダーとして活躍した。 火災での被害を最小限にとどめる消火活動等を行うとともに、市民に対して火災予防広報を行い、注意喚起を促した。特に山火事防止のため、市内全域での広報活動を実施し、お彼岸には墓地にて火災警戒活動を行った。 昼間の出動団員の確保には、「機能別団員制度」を活用し、「消防団協力事業所表示制度」により、消防団員の活動しやすい環境作りにも継続的な取り組みを行った。 あわせて、消防団員の士気高揚と恒常的な確保対策を目的に、「消防団員サポートショップ事業」を実施した。 消防操法大会は、分団における大会出場可否の意向を尊重し、運営時間を短縮するなど消防団員の「負担軽減」を図る大会とした。また、より実践的な「中継放水訓練」を実施し、技術の研鑽と体力の錬磨に努めるとともに、「規律訓練」「ハラスメント研修」「機関講習」「安全管理研修」等を計画し消防団員の資質向上を図った。

	１　消防団員報酬等 ・年額報酬　　３９５人分　　１６，８７０，９００円 ・出動報酬　８，２１６人分　　９，８８４，０００円 ２　災害補償費 ・消防団員遺族補償年金　２件　　６，１９６，７９９円 ３　報償費 ・消防団員退職報償金　２８人分　９，２４９，０００円 ４　土地借上料 ・分団屯所１０件、可搬小屋敷地４件、水防庫２件 ８５５，３００円 ５　負担金、交付金 ・団員等公務災害補償基金掛金　　１，２１０，３６５円 ・団員退職報償金基金掛金　　１０，５４０，８００円 ・消防団員福祉共済掛金　　１，６４７，０００円 ・分団運営交付金　　８，０１１，３００円 (70,600,675円)
消防団施設整備事業	１　業務委託 ・消防団屯所等建替え工事設計業務　第９分団 ５，１７０，０００円 ２　消防車両購入 ・災害対応型多機能消防車更新配備　第３分団 ２３，５９５，０００円 (28,765,000円)
消防水利整備事業	・地上式消火栓移設　　１基 (2,629,000円)
消防水利管理事業	・防火水槽鉄蓋改修　　１箇所 ・防火水槽標識修繕　　１式 ・消火栓本体修繕　　１箇所 ・消火栓キャップ修繕　　３箇所 (470,998円)
水防資機材整備事業	・水防用資機材整備 (38,950円)

第３　主要な統計、行政資料等

１　消防団組織

（単位：人）

区分	消　　防　　団							
階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員	合計
定数	1	1	12	13	13	84	425	549
実員	1	1	12	13	13	78	303	421

（令和７年３月現在）

2　消防団車両等　（単位：台）

区　　分	消防団	自主防災	合　　計
団本部車	1	0	1
消防ポンプ自動車	8	0	8
災害対応型多機能消防車	3	0	3
小型動力ポンプ付積載車	1	0	1
資機材搬送車	11	0	11
小型動力ポンプ	28	2	30
軽可搬ポンプ	0	8	8

3　消防水利施設　（単位：基）

区　　分	公設防火水槽	公設消火栓	合　　計
消防水利施設数	302	865	1,167

4　水防倉庫　　消防署、下浜、上小井川、湊、横川、川岸

5　消防団の出動状況　（単位：件／人）

区　分	火　災	救　急	救　助	風水害等	演習訓練	広報指導
出動件数	7	0	0	8	146	19
出動人員	341	0	0	331	2,296	878

区　分	警防調査	火災調査	特別警戒	捜　　索	その他	合　　計
出動件数	121	0	20	0	203	524
出動人員	1,618	0	754	0	1,998	8,216

危　機　管　理　室

第１　概説

危機管理室では、自主防災組織及び消防団などの防災関係機関と連携した各種防災訓練を実施したほか､災害時の応急対応､避難所開設に必要な防災資機材の充実を図り、地域の防災力・減災力の強化に努めた。

「平成１８年７月豪雨災害」から１８年､「令和３年８月大雨災害」から３年が経過する中で災害の記憶を風化させることなく、災害の経験から得た教訓と知識を後世に継承するとともに住民及び地域の防災力・減災力の更なる強化を図るため、７月１９日を中心とした災害パネル展等の岡谷市防災の日関連事業を実施した。

水防法の改正に伴い十四瀬川、塚間川及び大川の洪水浸水想定区域を反映したハザードマップを作成した。

防災行政無線等デジタル化整備事業においては、住民への確実な情報伝達と災害への緊急対応の迅速化を図るため、設計施工一括工事契約及び設計施工監理業務契約を締結し、防災行政無線のデジタル化及び防災気象情報システムの構築を進めた。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
災害支援事業	１　令和６年能登半島地震に係る石川県への支援 長野県合同災害支援チーム（チームながの）からの要請による石川県への職員派遣及び石川県羽咋市への中長期の職員派遣を実施した。 （１）避難所支援 輪島市　２名　延べ１２日間 （２）住家被害認定調査 輪島市　２名　延べ１２日間 （３）災害廃棄物業務（公費解体、災害査定対応等） 羽咋市　１名　　１年間　※中長期派遣 （1,893,666 円）
防災・災害対策事業	１　地域連絡員の選任 ４月１９日（金）に市と区のパイプ役を担う各区２名の地域連絡員を市職員から選任し、地域との連絡体制の強化を図った。（２１区４２名） ２　災害危険箇所の視察 ４月２６日（金）に諏訪地域振興局、諏訪建設事務所、岡谷警察署、諏訪広域消防本部及び市関係課の職員により、災害危険箇所等２４行程４２箇所の現地視察を実施した。 ３　防災会議 ６月２７日（木）に岡谷市防災会議を開催し、地域防災計画及び水防計画の修正、令和５年度の防災力・減災力強化事業及び災害対応について報告するとともに令和６年度の事業計画について審議した。 また、ハザードマップ更新事業について報告するとともに、長野地方気象台による南海トラフ地震及び岡谷市周辺の活断層に

	関する説明会を開催した。 ４　国民保護協議会 　６月２７日（木）に岡谷市国民保護協議会を開催し、国民保護計画の修正について審議した。 ５　市民とあゆむまちづくり講座 　「災害クロスロード」や「平成１８年７月豪雨災害について」など、小中学校や地域の団体等受講者の要望に応じた出前講座を実施した。（６回　４０４名） ６　ハザードマップ更新事業 　長野県が公表した十四瀬川、塚間川及び大川の洪水浸水想定区域図を基にくらしマップおかやのハザードマップデータを更新するとともに、新たに「洪水・土砂災害ハザードマップ」を作成し、全戸配布及びホームページへの掲載等により周知を図った。 ７　「岡谷市防災の日」関連事業 　７月１９日の「岡谷市防災の日」を中心に、市民の防災・減災意識のさらなる高揚を図るための事業を実施した。 （１）防災・減災関連図書コーナーの設置 ６月２９日（土）～７月２５日（木）市立岡谷図書館 （２）災害パネル展の開催 ７月１７日（水）～２３日（火）イルフプラザ１階 ※併せて「非常食を食べる日」の周知啓発を実施 （３）災害伝承之碑参拝 「小田井沢川災害伝承之碑」、「志平川土砂災害伝承之碑」ほか　７月１９日（金） （４）市民へのメッセージの発信 ・市長による防災行政無線の放送及びメール配信＠おかや等の配信　７月１９日（金） ・シルキーチャンネルDVD放映 ７月１６日（火）～３１日（水） ８　防災啓発共同事業 諏訪広域連合と諏訪６市町村共同で防災講演会を開催した。 期日　１０月２６日（土） 会場　カノラホール　小ホール 演題　「降雨・地震による土砂災害対策を考える」 講師　栗原　淳一　氏 （一般財団法人砂防・地すべり技術センター理事長） 後援　長野県治水砂防協会諏訪支部 （参加者約２２０名） ９　ＧＩＳの防災活用 　岡谷市防災ガイドの情報をホームページから情報収集できるよう岡谷市地理情報システム「くらしマップおかや」に掲載し、危険区域の変更など随時更新を行った。 １０　広報おかや６月号防災・減災特集 　「自らの身は自ら守る」をテーマに特集記事を掲載した。 １１　消防、防災用品の寄贈 　相互連携協定を締結しているＶＣ長野トライデンツより、消防力や防災・減災の強化に向けて消防、防災用品を寄贈いただいた。 （7,278,914 円）
防災無線事業	１　防災行政無線 　防災行政無線は、年１回の保守点検業務を行い、非常時の緊急放送に備えるとともに、定時放送（正午のチャイム・愛の鐘）

	の実施及び防災情報等の放送を実施した。 2　防災ラジオ 　災害時における防災情報を迅速かつ的確に伝達するとともに、防災行政無線の難聴解消を目的とする防災ラジオを市民に販売した。（令和６年度販売台数　７４台） 3　メール配信＠おかや及び岡谷市ＬＩＮＥ公式アカウント 　防災・減災に関する情報が、住民に確実に伝達できるよう多くの人が所持し、身につけている携帯電話などを活用した「メール配信＠おかや」及び「岡谷市ＬＩＮＥ公式アカウント」について、出前講座や各種会議等において周知を行い、登録者の拡大に努め、住民への防災情報の迅速かつ確実な発信の強化を図った。（令和６年度末現在登録件数　１９，４６７件） 4　雨量監視体制の確保 　市内１０箇所に設置している雨量計と、２箇所に設置している河川監視カメラにより雨量監視等を行い、災害時の初期初動の迅速化や減災に役立てた。 5　雨量情報の提供 　市内１０箇所の雨量計による雨量情報について、住民の防災・減災意識の向上と情報提供の拡充を図るとともに、住民の自主的な水害防止活動や避難行動に活用してもらうため、ホームページによる情報提供を行った。 6　Ｊアラート（全国瞬時警報システム） 　緊急地震速報や国民保護（ミサイル発射や大規模テロなど）情報などの緊急情報を住民に伝えるため、国と連携し試験放送及び庁内放送にて伝達訓練を実施するとともに保守点検等により適切な維持管理に努めた。 （実施日：５月２２日（水）、６月２０日（木）、１１月５日（火）、１１月２０日（水）、２月１２日（水）） 7　防災行政無線等デジタル化整備事業 　令和５年度から令和７年度までの３ヵ年計画とし、緊急時の情報発信機能の強化を図るため、防災行政無線のデジタル化及び防災気象情報システムの構築を進めた。令和６年度は、工事仮契約及び本契約、工事監理業務契約を締結し、同報系及び移動系の防災行政無線システム、気象観測システム及び災害情報システムを整備した。 ・岡谷市防災行政無線等デジタル化整備工事監理業務契約 　履行期間　令和６年４月２２日～令和８年３月２３日 ・岡谷市防災行政無線等デジタル化整備工事契約 　工期　令和６年６月２５日～令和８年３月２３日 （中間出来高検査　５０．１０％） （162,775,701 円）
自主防災組織強化事業	1　自主防災組織連絡協議会 　１２月２０日（金）に岡谷市自主防災組織連絡協議会を開催し、南海トラフ地震臨時情報等について報告したほか、令和６年能登半島地震派遣職員活動報告会を実施した。 2　自主防災組織強化事業補助金 　自主防災組織に対して、防災資機材購入事業、広報啓発事業及び防災士資格取得事業の実施による組織の強化を図るため、補助金を交付した。 （１）防災資機材購入事業　　１７件 （２）広報啓発事業　　１件 ※　防災士資格取得事業　　新規創設 （令和７年度より実施）

	３　デジタル簡易無線定期試験 　各区等へ配備しているデジタル簡易無線を災害時に有効活用するため、月に１度、市と各区、３支所、消防課及び勤労会館との間で通信試験を実施した。 （1,330,868 円）
防災訓練事業	１　土のう作成研修会 　４月２５日（木）に出水期の備え、職員の水防研修を兼ねた土のう作成研修を行い、諏訪広域消防本部職員の指導の下、約１，０５０袋を作成し備蓄した。（参加者５７名） ２　水防訓練 　５月１２日（日）に出水期に備え、水防工法の技術を習得するため、消防団、自主防災組織及び市職員が参加し、湖畔公園芝生広場にて岡谷市水防訓練を実施した。諏訪建設事務所職員の指導の下、土のう作成訓練、改良積み土のう工法訓練及びロープ結索訓練を実施した。（参加者１５２名） ３　土砂災害・全国防災訓練 　６月１６日（日）に駒沢区をモデル地区として、梅雨前線に伴う集中豪雨による的場川流域の土石流災害の発生を想定した訓練を実施した。（参加者１，０４８名） ４　地区分散型防災訓練 　９月１日（日）に東堀区をモデル地区として、「糸魚川－静岡構造線断層帯地震」が発生したことを想定した地区分散型訓練を実施する予定であったが、台風１０号の接近に伴い警報級の大雨となる可能性があることから、市民の安全確保の観点及び災害対応に備えるため中止とした。 ５　緊急地震速報対応訓練 　８月３０日（金）及び３月１１日（火）に緊急地震速報端末が設置されている市内５１箇所の公共施設及び私立幼稚園等において対応訓練を実施した。 ６　諏訪地域南海トラフ地震等災害対策本部推進協議会合同防災訓練 　１２月１４日（土）に諏訪地域南海トラフ地震等災害対策本部推進協議会の構成団体により、南海トラフ地震を想定して、長野県防災情報システム等を活用した災害対応と情報の共有を図る合同訓練を実施した。 ７　安否情報システム全国一斉訓練 　５月１３日（月）～６月１３日（木）、１１月１日（金）～１１月２９日（金）に安否情報システムへの情報入力訓練を実施し、システムに対する理解の促進や操作の習熟を図った。 ８　令和７年度長野県総合防災訓練（令和７年度岡谷市総合防災訓練） 　防災関係機関と地域住民が相互に連携して、各種の防災訓練を総合的に実施し、災害時に即応できる体制を確立するとともに、広く防災・減災意識の普及啓発を図り、地域防災力の向上に資することを目的に令和７年度に本市において開催するため、令和６年度の開催市である小諸市における各種会議への参加や、１０月２０日（日）に小諸市において開催された令和６年度長野県総合防災訓練の視察を実施した。 （令和７年１０月１９日開催予定） （1,851,087 円）
防災資機材整備事業	１　自動対外式除細動器（ＡＥＤ） 　公共施設（４８施設）に対して緊急事態に対応ができるよう自動対外式除細動器（ＡＥＤ）を配備した。

	2　災害用備蓄医薬品 　災害時に備えて、岡谷市民病院及び諏訪湖畔病院に備蓄している災害用医薬品の更新を行った。 3　我がまち守る防災資機材緊急整備事業 　激甚化・頻発化する自然災害に備え、災害時の応急対応や避難所開設に必要な防災資機材の整備を図った。 （4,426,124円）
災害等対応	1　風水害 　前線や台風等の影響による局地的な大雨により、大雨警報が５回、洪水警報が５回発表された。 　情報連絡会及び災害対策本部を設置し、関係機関との連携を図りながら災害等の対応を行った。 　令和３年８月大雨災害のあった中大久保・大久保の土砂災害警戒区域においては、砂防えん堤の本体が完成したことから、令和６年４月１５日より市内統一の避難情報発令判断基準（土砂災害）に見直しを行った。 2　地震災害 ・　６月　３日（月）　震度２　　被害なし。 ・　８月　９日（金）　震度１　　被害なし。 ・１１月２６日（火）　震度１　　被害なし。 　南海トラフ地震臨時情報 　８月８日から１５日にかけて、南海トラフ地震臨時情報（調査中）及び南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）の発表に伴い活動体制検討会及び災害対策本部を設置し、職員は警戒体制を敷き、市民への注意喚起や避難所開設の準備、公共施設の点検等の対応を図った。 　１月１３日、南海トラフ地震臨時情報（調査中）の発表に伴い、活動体制検討会を設置し、注意喚起を行った。 3　雪害 ・　３月　４日（火）　大雪警報　被害なし。

市　民　環　境　部

市　民　生　活　課

第１　概説

市民生活課では、戸籍・住民記録担当、年金・市民サービス担当、安全・衛生担当の３担当により業務を執行した。

業務内容として、市民の身分及び居住関係の登録・公証、マイナンバー付番・カード交付、コンビニ交付業務、国民年金業務や生活衛生の向上と市民生活の安全確保を図るための事業を推進した。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
安全対策推進事業	１　広報及びパトロール活動 市民の安全を守るため、市内全域にわたり随時実施した。 ２　安全運動の推進 （１）春、秋の全国交通安全運動をはじめ、時期に適した重点目標に沿い、関係機関、団体が一丸となり、交通事故防止運動を効果的に推進した。 （２）無事故無違反デー 毎月１回市内全域において朝夕の街頭指導を実施し、シートベルトの着用、安全運転を呼びかけ、交通事故防止を図った。 ３　交通安全教育 （１）通園通学路等で、朝の街頭指導や随時パトロールによる指導を行った。また、保育園、幼稚園、小学校での交通安全教室など、年代に応じた安全教育を実施し、安全意識、安全思想の普及、高揚に努めた。 ・交通指導　４３２回 ・交通安全教室（職員派遣） 保育園・幼稚園２０回　園児３９３人　保護者３８９人 小学校　　７回　児童１，００２人 （２）幼児、子どもの交通事故防止を徹底させるため、交通安全親の会の交通安全活動を支援した。 ４　放置自転車撤去、保管、指導 自転車等の放置防止に関する条例に基づき、放置禁止区域内のパトロール及び撤去作業を（公社）岡谷下諏訪広域シルバー人材センターへ委託し、実施した。 （１）パトロール回数５１回 （２）撤去回数５回 （３）撤去台数５台 （４）返還台数５台　※うち盗難届提出２台 ５　高齢者の交通安全対策 （１）高齢者安全運転健康診断事業 高齢ドライバーの運転技術を診断することにより、運転免許証の自主返納や安全運転に対する意識向上を図った。 受講者　３人　　委託料　９，９００円 （２）高齢者交通安全モデル地区事業 高齢者の交通事故防止対策の強化を図るため、県よりモデル地区に指定された区において、各種事業を展開した。 指定モデル地区　新倉区、鮎沢区

	６　地域安全活動 　地域の交通安全及び犯罪の未然防止と青少年の非行防止を図るため、関係機関、団体と協力し、各種運動及び広報活動、パトロール等を行い、地域安全活動の推進に努めた。 （１）青色防犯パトロール　１３９回 （２）暴力追放県民センター賛助会費　　５０，０００円 （３）岡谷交通安全協会補助金　　７５０，０００円 （４）岡谷市交通安全親の会補助金　　１００，０００円 （５）岡谷市防犯協会連合会負担金　１，７００，０００円 ７　自転車用ヘルメット着用の推進 　１６歳から１８歳及び６５歳以上の市民に対し、自転車用ヘルメットの購入に要した経費の一部に対し、補助金を交付した。 ・岡谷市自転車用ヘルメット購入費支援補助金 　　１２９件　　２５０，３００円 (6,567,322 円)
安全会議事業	１　安全会議 　市民を各種の災害から守るため、交通安全、産業安全、消防、防犯、環境保健、学校安全の各部会が関係機関、団体等と連携し、各事業を実施した。また、市民の安全に対する啓発活動を行った。 ２　安全市民大会 　７月１５日にカノラホールにおいて開催し、市民の安全意識の高揚を図り、事故や災害のない明るいまちづくりを推進した。 (416,968 円)
安全施設管理事業	１　防犯灯 　各区が行う蛍光灯型防犯灯のＬＥＤ化について、ＬＥＤ灯具の新設、既存ＬＥＤ灯具の改修等を対象に助成を行い、区の負担軽減を図った。また、防犯灯電気料の全額負担を行うとともに、適切な維持管理を指導し、夜間の犯罪、事故防止を図った。 （１）防犯灯設置補助事業 ・防犯灯設置補助金　　１，１１６，７００円 （内訳） 新設　９灯 灯具交換　６２灯 （２）防犯灯電気料負担金　　１１，２１１，２０１円 （３）防犯灯設置状況 令和５年度末：4,745灯 新設：9灯 廃止：6灯 令和６年度末：4,748灯 (12,327,901 円)
交通災害共済事業	１　長野県民交通災害共済 　会員募集及び見舞金請求事務を行った。 （１）加入状況 一般会員　　１７，２９１人 中学生以下　　４，５３４人 計　　２１，８２５人（加入率４７．６％） （２）加入負担金　　１９７，０００円 （３）見舞金支給状況　５６件　３，４１５，０００円 (1,116,625 円)
消費者行政事業	１　消費者被害未然防止への取り組み 　岡谷市消費生活センター ・相談件数　２４７件 ２　消費者問題に取り組む団体への支援を行った。 ・消費者の会補助金　３５０，０００円

３　家庭用品品質表示法等に係る市内店舗への立入検査を行った。
（3,149,175円）

戸籍住民基本台帳事務管理事業

１　戸籍関係事務

戸籍は、人の身分関係を登録し、公証するものであることから、民法及び戸籍法等に基づき、各種届出を受領、審査、受理、記載し、並行して人口動態調査票の作成、データ管理、謄抄本等の交付並びに犯罪人名簿、成年被後見人名簿に関する業務を行った。

（１）処理件数

項　目	届出件数（件）	証明発行数（件）		手数料収入額（円）
		無料	有料	
本　　庁	2,255	3,016	10,722	6,493,500
湊　支　所	0	0	100	55,800
川　岸　支　所	4	0	308	175,200
長　地　支　所	1	2	798	459,000
イルフプラザ出張所	6	1	339	157,950
コンビニ交付		0	1,304	586,800
合　　計	2,266	3,019	13,571	7,928,250

※無料証明発行数には、公用申請、身上照会等を含む

（２）人口動態調査（受理（本市受付）件数+在外公館受理件数）

・出生、死亡、婚姻、離婚届に基づく調査　１，１９１件

・死産届に基づく調査６件

２　住民基本台帳関係事務

住民基本台帳法に基づき、中長期在留者を含めた住民の居住関係の公証、選挙人名簿の登録その他の住民に関する事務の処理の基礎とする住民基本台帳について、住民の住所等に関する届出を受理し、あわせて住民に関する記録の適正な管理を図り、住民に関する記録を正確かつ統一的に行った。

（１）処理件数

項　目	届出件数（件）	証明発行数（件）		手数料収入額（円）
		無料	有料	
本　　庁	7,878	2,682	11,251	3,375,300
湊　支　所	2	0	163	48,900
川　岸　支　所	16	0	466	139,800
長　地　支　所	40	0	1,195	358,500
イルフプラザ出張所		0	917	275,100
コンビニ交付		0	4,562	1,368,600
合　　計	7,936	2,682	18,554	5,566,200

※無料証明発行数には、公用申請、身上照会等を含む

（２）住民基本台帳の閲覧　８件

３　印鑑登録関係事務

住民基本台帳に記録されている１５歳以上の者（意思能力を有しない者を除く。）を対象とし、申請に基づいて印鑑登録を行い、登録された印鑑の印影が本人のものであることを適正に公証する業務を行った。

また、マイナンバーカードの券面活用として、本人申請に限り印鑑登録証に代えて証明書を交付した。

（１）処理件数

項　目	印鑑証明			印鑑登録	
	発行件数(件)		手数料（円）	登録件数（件）	手数料（円）
	無料	有料			
本　　庁	28	5,808	1,742,400	1,025	350,500
湊　支　所	0	182	54,600	5	1,700
川岸支所	0	460	138,000	6	2,800
長地支所	0	1,228	368,400	48	17,800
イルフプラザ出張所	0	820	246,000	120	40,400
コンビニ交付	0	3,234	970,200		
合　　計	28	11,732	3,519,600	1,204	413,200

※無料証明発行数には、公用申請を含む

（２）マイナンバーカードの券面活用による発行数（再掲）

項　目	件数（件）	枚数（枚）	手数料（円）
本　　庁	238	325	97,500
湊　支　所	7	8	2,400
川岸支所	33	42	12,600
長地支所	60	75	22,500
イルフプラザ出張所	41	50	15,000
合　　計	379	500	150,000

４　その他の行政証明事務

身分証明や不在籍、不在住証明などの行政証明事務を行った。

項　目	身分証明書			その他の証明		
	発行件数(件)		手数料（円）	発行件数(件)		手数料（円）
	無料	有料		無料	有料	
本　　庁	0	327	98,100	18	65	19,500
湊　支　所	0	4	1,200	0	0	0
川岸支所	0	14	4,200	0	1	300
長地支所	0	39	11,700	0	1	300
合　　計	0	384	115,200	18	67	20,100

※無料証明発行数には、公用申請を含む

５　らくらく証明書発行窓口による発行数（再掲）

マイナンバーカードを利用して、本庁窓口に設置されている証明書交付機により発行したもの。

項　目	証明発行数（件）	手数料収入額(円)
戸　　籍	308	138,600
住民票写し	486	145,800
戸籍附票	2	600
印鑑証明	401	120,300
合　　計	1,197	405,300

６　中長期在留者（外国人住民）関連事務

出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律に基づき、法務省からの受託事務として執行した。対象者は、短期滞在等を除く、適法に３か月を超えて在留する外国人であって、住所を有する者。在留カードの住所変更記載、特別永住者証明書交付関連事務等を行った。

（１）住民基本台帳登録外国人数　９７１人（前年度比　３５人）

（２）上位５カ国人口数　（単位：人）

国籍	令和６年度			令和５年度		
	男	女	計	男	女	計
フィリピン	55	170	225	52	160	212
インドネシア	94	62	156	81	52	133
ベトナム	86	67	153	81	57	138
中国	37	80	117	43	79	122
ブラジル	50	51	101	56	55	111
その他	107	112	219	116	104	220
計	429	542	971	429	507	936

（３）中長期在留者住居地届出等事務費国庫委託金　３４７，０００円

７　長野県戸籍住民基本台帳事務協議会及び諏訪地方戸籍住民基本台帳事務協議会

戸籍、住民基本台帳及び特別永住事務並びにこれらに関連する事務に関係ある法令を研究し、その事務の改善統一並びに会員相互の連絡協調を図ることを目的とした、長野県下７７市町村及び法務局諏訪支局管内の６市町村からなる協議会

（１）長野県戸籍住民基本台帳事務協議会負担金　６，６００円

（２）諏訪地方戸籍住民基本台帳事務協議会負担金　２２，８００円

８　自動車臨時運行許可

未登録自動車の新規検査・登録や車検切れ自動車の継続検査を受けるために運行する場合等に特例的に許可し、臨時運行許可番号標（仮ナンバー）を貸し出した。

・許可件数　３３２件（手数料２４９，０００円）

９　埋火葬許可等事務

死亡届・死産届等に伴う埋火葬許可、遺骨を別の墳墓に移すための改葬許可を行った。

（１）埋火葬許可　７５５件

（２）改葬許可　１０７件

１０　国民健康保険証交付業務

転入者、転居者のうち、被保険者又は被扶養者であることを証する書類を交付した。

１１　住居番号設定

住居表示に関する法律に基づく、住居番号設定事務を行った。

（１）設定　１４４件

（２）証明発行件数　（単位：件）

本庁	湊支所	川岸支所	長地支所	合計
80	0	0	19	99

１２　自衛官募集事務

国の機関委任事務として自衛官の募集協力事務を行った。

・懸垂幕の掲示、求人チラシ等の設置

・自衛官募集啓発（ポケットティッシュ配布）６０，２８０円

（34,094,626円）

住民基本台帳ネットワークシステム事業	地方公共団体と行政機関で個々の住民を特定する情報を共有・利用することを目的とし、住民票コードを用い、住民基本台帳をネットワーク化したシステムに係る機器の保守及びリース等の管理を行った。また、他都道府県市区町村の住民から申請のあった住民票の交付を行った。 ・住民票コード付番数　３２０件（新規番号発行件数） ・広域住民票証明発行数　３８件（雑入１１，４００円） （2,074,644円）

<table>
<tr><td>社会保障・税番号制度付番交付事業</td><td>行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づき、個人番号の付番及び個人番号カードの申請、交付等事務を行った。
１　住民票コードに基づくマイナンバーの付番
マイナンバー付番数　３２２件（新規個人番号発行件数）
２　マイナンバーカードの申請、交付等
マイナンバーカードの普及促進及び申請手続き、交付、更新等を行うとともに、「夜間・休日窓口」を開設し普及啓発に努めた。
（１）夜間・休日窓口　取扱件数　　合計　５１２件
夜間　交付　７９件　申請等　３９件　合計　１１８件
休日　交付　１９８件　申請等　１９６件　合計　３９４件
（２）マイナンバーカード再発行徴収金
通常　２５２件　２０１，６００円
特急　１件　１，８００円
（３）電子証明書発行徴収金　２５３件　５０，６００円
（４）マイナンバーカード申請交付状況　（令和7年3月31日現在）
<table><tr><td>住基人口
(A)R6.1.1</td><td>申請数
(B)</td><td>交付数
(C)</td><td>申請率
(B/A)</td><td>交付率
(C/A)</td></tr><tr><td>47,038人</td><td>45,353件</td><td>40,942件</td><td>96.4%</td><td>87.0%</td></tr></table>(23,270,764円)</td></tr>
<tr><td>国民年金管理事務</td><td>国民年金の加入手続き、裁定請求及び保険料の免除申請の受理などの法定受託事務を行った。また、制度の周知を図るとともに、年金事務所との連携、協力に努めた。
(624,523 円)</td></tr>
<tr><td>環境衛生推進事業</td><td>１　犬の登録、狂犬病予防注射
（１）新規登録数　１３７頭
（２）予防注射実施頭数　１，４８７頭
（３）集合注射巡回実施　延べ３０会場
２　犬、猫等の正しい飼い方の普及のため、広報おかや等により周知・啓発を図った。また、犬猫等動物の死体の収容を行った。
・犬猫等動物の死体の収容　１３９件
（内訳）
市対応　１６件
業者対応　１２３件（うち未発見２４件）
・路上動物死骸回収処理業務委託　２，３６８，８７２円(１２３件)
３　丸戸共同墓地の維持管理を行った。
・草刈り等清掃委託　８０，２７２円
４　専用水道、浄化槽に関する届出等の事務処理を行った。
・専用水道立入検査　諏訪湖畔病院
(5,149,395円)</td></tr>
<tr><td>公衆便所維持管理事業</td><td>１　維持管理
公衆衛生の向上を図るため、市内公衆便所２箇所（川岸駅前、岡谷駅らち外）の維持管理を行った。
・清掃業務委託　９４０，５６０円
(1,765,091円)</td></tr>
<tr><td>火葬場事業</td><td>下諏訪町とともに、湖北火葬場の管理運営を行った。
・湖北火葬場事務負担金　６６，５５２，４８７円
(66,552,487円)</td></tr>
<tr><td>し尿処理管理事業</td><td>し尿処理の適正化を図るため補助事業等を行った。
・湖北衛生センター負担金　２１，９０２，６１１円
・し尿汲取り業務維持助成事業補助金　５４０，０００円
(22,442,611円)</td></tr>
</table>

内山霊園管理事業	１　内山霊園の維持管理を行った。 （１）内山霊園管理業務委託　　５，７０４，６０５円 （２）植栽整備委託　　５９３，４５０円 （３）内山霊園使用区画　　２，５５２区画 （４）内山霊園の新規使用　　１１区画 ２　合葬式墓地「嶺風苑」の使用状況 （１）東棟 許可数　個別埋蔵場所　２１５体 共同埋蔵場所　５６７体 （２）南棟 許可数　個別埋蔵場所　１２０体 共同埋蔵場所　３８４体 ３　園内整備工事 ・内山霊園石積整備工事　　１０，９４５，０００円 （23,581,744円）

第３　主要な統計、行政資料等

１　戸籍事件数

（単位：件）

事件の種類	届　出（本市受理分）			他市町村からの送付	総数	前年度比
	本籍人届出	非本籍人届出	計			
出生	135	99	234	121	355	10
死亡	646	103	749	166	915	△37
婚姻	105	34	139	324	463	76
離婚	55	9	64	56	120	9
その他	232	15	247	166	413	35
計	1,173	260	1,433	833	2,266	93

※その他＝転籍届、入籍届、養子縁組届など

２　戸籍、住民基本台帳、印鑑登録数

（令和７年３月３１日現在）

項目					登録数		
					令和６年度 (A)	令和５年度 (B)	増減 (A)-(B)
戸籍	本籍数（戸籍）				22,943	23,153	△210
	本籍人口（人）				54,411	55,098	△687
住民基本台帳	世帯数（戸）	合計			21,059	21,067	△8
		日本人のみ世帯			20,267	20,322	△55
		外国人のみ世帯			584	533	51
		混合世帯			208	212	△4
	人口（人）	合　計	計		46,189	46,799	△610
				男	22,522	22,850	△328
				女	23,667	23,949	△282
		日本人	計		45,218	45,863	△645
				男	22,093	22,421	△328
				女	23,125	23,442	△317
		外国人	計		971	936	35
				男	429	429	0
				女	542	507	35
印鑑登録者(有効数)（件）					32,559	32,847	△288

3　住民基本台帳の人口及び世帯の年間異動状況　（単位：人、世帯）

項目					日本人	外国人	合計
増	人口	転入	計		1,189	220	1,409
				男	624	114	738
				女	565	106	671
		出生	計		227	5	232
				男	117	3	120
				女	110	2	112
		その他	計		9	0	9
				男	4	0	4
				女	5	0	5
		計	計		1,425	225	1,650
				男	745	117	862
				女	680	108	788
	世帯数				843	195	1,038

外国人欄の世帯数（増）は外国人のみの世帯で、混合世帯の世帯数増（8件)は日本人世帯に計上

項目					日本人	外国人	合計
減	人口	転出	計		1,317	189	1,506
				男	713	116	829
				女	604	73	677
		死亡	計		745	0	745
				男	358	0	358
				女	387	0	387
		その他	計		8	1	9
				男	2	1	3
				女	6	0	6
		計	計		2,070	190	2,260
				男	1,073	117	1,190
				女	997	73	1,070
	世帯数				902	144	1,046

外国人欄の世帯数（減）は外国人のみの世帯で、混合世帯の世帯数減（12件)は日本人世帯に計上

医　療　保　険　課

第１　概説

医療保険課では、国保及び医療の２担当により「福祉医療支給事業」、「国民健康保険事業」及び「後期高齢者医療事業」を実施した。

１　福祉医療支給事業

乳幼児等、障がい者、ひとり親家庭等に対して、福祉医療費給付金を支給した。

乳幼児等の助成については、対象年齢を満１８歳までとし、支払いが受給者負担金（５００円）のみとなる現物給付方式を継続することで、子育て世帯への更なる経済的負担の軽減に努めた。

障害者手帳等での資格所持者が、等級変更等により資格喪失後に受給者証を持つことがないよう、手帳等の有効期限までの受給者証を交付し、資格管理の徹底を図った。

２　国民健康保険事業

国民健康保険制度に基づく保険給付、事業費納付金の納付、被保険者の資格管理、特定健康診査等の保健事業を行った。

国民健康保険税では、税制改正等に伴い、国民健康保険税条例の一部改正を行った。

１２月より、従来の保険証からマイナ保険証を基本とする仕組みへ移行されたため、制度見直しに関する資格確認書等の交付やマイナ保険証制度の説明、利用方法の周知など、被保険者が医療機関へ受診する際に不安、混乱が生じないよう丁寧な対応に努めた。また、関係部署と連携し、生活習慣病予防等の保健事業の推進に努めた。

３　後期高齢者医療事業

制度の運営全般を行う長野県後期高齢者医療広域連合と協力し、各種申請や届出の受付、保険料の収納、相談の他、保険事業に関する補助業務などを行った。

１２月より、従来の保険証からマイナ保険証を基本とする仕組みへ移行されたため、制度見直しに関する資格確認書の交付やマイナ保険証制度の説明、利用方法の周知など、被保険者が医療機関へ受診する際に不安、混乱が生じないよう丁寧な対応に努めた。

「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施」については、高齢者が地域で健康的な生活を送ることができるよう、きめ細かな支援を実施するため、関係部署が連携して保健事業と介護予防の一体的な実施に取組んだ。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
福祉医療支給事業	１　支給対象者 （１）　乳幼児等 ・０歳から１８歳まで （２）　障がい者 ・特別児童扶養手当の支給対象の障がい児 ・身体障害者手帳所持者 （３級以上及び４級以下で常時介護を要する者） ・療育手帳所持者（Ｂ１以上） ・精神障害者保健福祉手帳所持者（２級以上） ・国民年金法施行令別表該当者（一定の障がいのある者） （３）　ひとり親家庭等 ・母子家庭の母子 ・父子家庭の父子 ・父母のいない児童 ２　医療費資金貸付 医療費の支払いが困難な受給者に対して、医療費の支払いに充てる資金の貸付けを行った。 （387,119,979円）
国民健康保険事業	１　保健事業 （１）特定健康診査・特定保健指導 特定健康診査を実施し、その結果に基づき「積極的支援」、「動機づけ支援」に階層化し、それぞれに応じた特定保健指導を行った。 特定健診未受診者対策では、前年未受診者向けに勧奨パンフレットを制作するとともに、未受診者個々の特性に応じた受診勧奨通知を制作し、受診勧奨を行った。 健康ポイント事業として、特定健診及び人間ドックの受診者等にオカヤペイのポイント引換券を進呈し、健康の保持増進に関する意識の高揚に努めた。 （ア）特定健康診査 ・受診者（人間ドックを含む） ２，６２４人／対象者６，４７１人（受診率４０．６％） ・休日健診の実施　　４回（６、９、１０、１１月） ・個人負担金は無料 ・健康ポイント(200pt)の配布 引換券発行枚数　２，６４２枚 引換え枚数　　１，１２３枚（引換率４２．５％） （イ）特定保健指導 ・積極的支援　４８人／該当者６４人(利用率７５．０％) ・動機づけ支援 １４８人／該当者１９２人（利用率７７．１％） （２）その他保健事業 人間ドック受診への助成、生活習慣病フォローアップ事業として「おうちエクササイズ（運動療法教室)」の開催、医療費通知及び後発医薬品（ジェネリック医薬品）利用差額通知の発送等を行った。また、レセプトや健診データの分析に関する国保保健事業支援業務を行った。 ・おうちエクササイズ（運動療法教室）受講者８人 ・運動と食事を見直す講座　受講者１０人

	２　国民健康保険税 （１）税率等（令和６年度分から新税率等を適用） ・基礎(医療給付費)分 所得割率　７．６１％を７．２６％に改定 資産割率　廃止 均等割額　２１，８００円を２３，２００円に改定 平等割額　２０，０００円を２２，６００円に改定 ・後期高齢者支援金等分 所得割率　２．４０％を２．８９％に改定 資産割率　廃止 均等割額　８，６００円を１０，２００円に改定 平等割額　６，８００円を８，２００円に改定 ・介護納付金分 所得割率　２．０２％を２．３８％に改定 資産割率　廃止 均等割額　８，６００円を１０，０００円に改定 平等割額　６，８００円を８，０００円に改定 （２）税制改正等に伴う国民健康保険税条例の改正の内容 （ア）課税限度額の見直し 後期高齢者支援金等分の限度額の引き上げ （イ）軽減判定所得の拡充（５割及び２割軽減の所得基準の拡充） ３　その他 広報、啓発パンフレット等により、国保事業に対する理解と協力を求め、事業の啓発と医療費の適正化に努めた。 ４　マイナ保険証制度への移行にかかる対応 １２月２日から健康保険証の新規発行を停止し、新たに被保険者となった場合や、既存の保険証等の記載事項に変更が生じた際には、マイナ保険証の保有状況により、資格確認書又は資格情報のお知らせを発行した。 (3,986,027,785円)
後期高齢者医療事業	１　市が行った業務 各種申請や届出の受付、被保険者証等の引渡し、保険料の収納、減免、広報、被保険者からの相談業務に関する事務など ２　長野県後期高齢者医療広域連合が行った業務 被保険者の資格管理、医療給付、保険料賦課、保健事業など ３　マイナ保険証制度への移行にかかる対応 １２月２日から令和７年７月３１日までの間、新たに被保険者となった場合や、既存の保険証等の記載事項に変更が生じた際には、制度移行の暫定的な対応として、マイナ保険証の保有状況に関係なく全員に資格確認書を発行した。 (1,005,459,565円)

第３　主要な統計、行政資料等

１　福祉医療費給付状況　（令和７年３月３１日現在）

区　分	対象者数	件　数	給　付　額
	人	件	円
乳　幼　児　等	5,640	67,170	171,453,604
障　が　い　者	1,723	35,174	180,743,483
ひとり親家庭等	1,094	11,653	34,922,892
合　計	8,457	113,997	387,119,979

２　国民健康保険

（１）国保加入状況　（令和７年３月３１日現在）

区分	市人口等	加入数	加入割合
世帯数	世帯 21,059	世帯 5,176	% 24.6
人口	人 46,189	人 7,371	% 16.0
一世帯平均	人 2.2	人 1.4	—

（注）人口は、令和７年４月１日現在 住民基本台帳人口

（２）被保険者の異動状況

	令和６年度（A）	令和５年度（B）	増減（A）－（B）
世帯数	世帯 5,176	世帯 5,386	世帯 △210
被保険者数	人 7,371	人 7,805	人 △434

（３）国民健康保険税の賦課等状況

ア　基礎（医療給付費）課税額分（現年度）

年平均世帯数		5,286 世帯	課税対象額	所得額		5,025,818,004 円
年平均被保険者数		7,592 人				
税率	所得割	7.26%	賦課割合	所得割		54.4%
	被保険者均等割	23,200 円		被保険者均等割		27.3%
	世帯別平等割	22,600 円		世帯別平等割		18.3%
７割軽減	世帯数	1,435 世帯	５割軽減	世帯数		909 世帯
	軽減額	50,974,290 円		軽減額		25,838,275 円
２割軽減	世帯数	653 世帯				
	軽減額	7,841,290 円				
限度超過世帯数		47 世帯	限度超過額			28,322,064 円
調定額		532,548,421 円	課税限度額			650,000 円
１世帯当り調定額		100,747 円	１人当り調定額			70,146 円

イ　後期高齢者支援金等課税額分（現年度）

年平均世帯数		5,286 世帯	課税対象額	所得額		5,025,818,004 円
年平均被保険者数		7,592 人				
税率	所得割	2.89%	賦課割合	所得割		53.8%
	被保険者均等割	10,200 円		被保険者均等割		29.7%
	世帯別平等割	8,200 円		世帯別平等割		16.5%
７割軽減	世帯数	1,435 世帯	５割軽減	世帯数		909 世帯
	軽減額	20,727,250 円		軽減額		10,661,325 円
２割軽減	世帯数	653 世帯				
	軽減額	3,241,810 円				
限度超過世帯数		59 世帯	限度超過額			12,395,664 円
調定額		213,068,222 円	課税限度額			240,000 円
１世帯当り調定額		40,308 円	１人当り調定額			28,065 円

ウ　介護納付金課税額分（現年度）

年平均世帯数		2,240 世帯	課税対象額	所得額	1,899,969,344 円
年平均被保険者数		2,536 人			
税率	所得割	2.38%	賦課割合	所得割	50.6%
	被保険者均等割	10,000 円		被保険者均等割	29.0%
	世帯別平等割	8,000 円		世帯別平等割	20.4%
７割軽減	世帯数	699 世帯	５割軽減	世帯数	315 世帯
	軽減額	9,178,400 円		軽減額	3,065,000 円
２割軽減	世帯数	253 世帯			
	軽減額	1,012,800 円			
限度超過世帯数		44 世帯	限度超過額		4,676,008 円
調定額		69,848,157 円	課税限度額		170,000 円
１世帯当り調定額		31,182 円	１人当り調定額		27,543 円

３　後期高齢者医療事業

（１）被保険者加入状況　　（令和７年３月３１日現在）

人　口	自己負担割合	75 歳以上	障害認定（65～75 歳未満）	合　計	人口に占める割合
人		人	人	人	%
46,189	１　割	7,062	83	7,145	15.47
	２　割	2,315	17	2,332	5.05
	３　割	802	0	802	1.74
	合　計	10,179	100	10,279	22.25

（注）人口は、令和７年４月１日現在 住民基本台帳人口

（２）後期高齢者医療保険料の状況　　（令和７年５月３１日現在）

区　分	調定額	収入済額	収納率	不納欠損額	収入未済額
	円	円	%	円	円
現年度	821,156,000	817,956,400	99.61	0	3,199,600
特別徴収	483,696,700	483,696,700	100.00	0	0
普通徴収	337,459,300	334,259,700	99.05	0	3,199,600
滞納繰越分	7,184,400	1,099,500	15.30	894,100	5,190,800
合　計	828,340,400	819,055,900	98.88	849,100	8,390,400

環　　境　　課

第１　概説

環境課では、環境政策・ゼロカーボン推進担当、資源化担当の２担当で業務を遂行した。

環境保全においては、岡谷市の環境基本理念に基づき、地球温暖化対策、自然環境の保全、環境教育、騒音・大気汚染調査等の生活環境対策を実施した。また、令和７年度を初年度とする「第５次岡谷市環境基本計画」の策定ならびに「第２次岡谷市地球温暖化対策実行計画」の見直しを行うとともに、環境保全施策と地球温暖化対策をより総合的に推進するため、これらの２つの計画を統合した。

また、「２０５０年　岡谷市ゼロカーボンシティ宣言」の発出に伴い、この目標達成に向け、エコドライブの推進や環境教育など多岐にわたる事業を展開し、様々な形で周知啓発を行うことで市民の意識高揚を図った。

ごみ減量及び資源化の推進では、湖周地区（２市１町）共同によるごみ処理基本計画など各種計画に基づき、岡谷市衛生自治会連合会をはじめとする関係機関と協働し、一般廃棄物の適正処理、ごみの減量化、資源化に努めた。さらなる資源化を推進するため、令和７年度の市内全域でのプラスチック資源分別収集に向け、モデル事業において試験的な回収と調査を実施したほか、市内全域において住民説明会等を実施した。

環境美化活動としては、諏訪湖や河川など市内各所において一斉清掃を実施するなど、年間を通して生活環境の向上に努めた。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
環境保全推進事業	１　第４次岡谷市環境基本計画の啓発等 「第４次岡谷市環境基本計画」の推進を図るため、広報おかや等を通じて、家庭や事業所における具体的な取り組みなどを啓発した。 ２　第２次岡谷市地球温暖化対策実行計画の推進 「第２次岡谷市地球温暖化対策実行計画」を推進するため、市民、事業者、行政が連携・協力し、各部門における施策に取り組んだ。 ３　第５次岡谷市環境基本計画の策定 「第４次岡谷市環境基本計画」の計画期間が令和６年度で終了となることから、現計画の総括、市民アンケートの実施、岡谷市環境審議会への諮問などを経て、「第５次岡谷市環境基本計画」を策定した。 また、当計画の策定と同時に「再生可能エネルギーポテンシャル調査」の結果を踏まえた上で「第２次岡谷市地球温暖化対策実行計画」の見直しを行い、当計画に統合した。これにより、環境保全施策と地球温暖化対策をより総合的に推進することとした。 ２つの計画の統合に伴い、新たな「望ましい環境像」として「人と自然が共生し、未来へつなぐゼロカーボンシティ」を掲げ、新たな目標や施策等を計画に定めた。

４　諏訪信用金庫との脱炭素実現に係る連携協定

諏訪信用金庫との脱炭素社会実現に係る連携協定に基づき、市内各店舗へのチラシやポスター掲示、デジタルサイネージでの関連動画放映など、周知啓発活動を行った。

５　ゼロカーボン普及啓発事業

２０５０年ゼロカーボンの実現に向け、各種事業を実施した。

（１）エコドライブ推進事業所登録事業

ゼロカーボンの推進に理解のある事業所等を「岡谷市エコドライブ推進事業所」として登録し、エコドライブの実践を通じて二酸化炭素排出量の削減を図った。

・登録事業所数：５６社

（２）環境教育コーディネート事業

環境教育に関する市民のニーズと、企業・団体等が有する環境教育に活用できる事業等を市が把握し、仲介することにより、環境教育の促進を図った。

・登録団体数：１４団体
・講座実施回数：８回

（３）緑のカーテンコンテスト

市民が地球温暖化を考える機会とするため、「緑のカーテンコンテスト」を実施した。受賞作品は市内公共施設・商業施設等で巡回展示を行ったほか、ポスターを作成し、学校などに配布・掲示した。

応募作品数　一　般　の　部：７点
　　企業・団体の部：７点

（４）環境セミナー

環境市民会議おかやとの共催により、地元に根差した環境に関するテーマとして開催した。

・演　題：「御渡りと地球温暖化について」
・講　師：八劔神社　宮司　宮坂　清 氏
・日　時：１０月１９日（土）午前１０時００分～１１時４５分
・場　所：カノラホール　小ホール
・参加者：１５０人

「カーボン・オフセット」事業を活用して、CO_2の排出量ゼロで開催した。

（５）地球温暖化防止セミナー

環境市民会議おかやとの共催により、地球温暖化問題の基礎をテーマとして開催した。

・演　題：「脱炭素まちづくりをはじめよう」
・講　師：国立大学法人信州大学人文学部准教授　茅野　恒秀 氏
・日　時：２月８日（土）午前１０時～１２時
・場　所：カノラホール　小ホール
・参加者：１００人

「カーボン・オフセット」事業を活用して、CO_2の排出量ゼロで開催した。

（６）その他

①地球温暖化防止啓発用巡回パネルの貸し出し

地球温暖化に対する市民の意識高揚を図るため、啓発用パネルを環境セミナーやおかやエコフェスタ２０２４などのイベント会場で展示した。

・貸し出し、展示件数：３件

②市内一斉気温測定
　同日の同時刻に市内で一斉に気温を測定しデータ化するとともに、現状確認を通じて温暖化問題を見つめ直す機会とした。
・実施日時：７月２８日（日）午後２時
・測定場所：３９地点
③環境活動エコポイント
　市内一斉気温測定参加者と、こどもエコクラブ参加者にエコポイントとしてオカヤペイのポイントを配布した。
・配布件数：５５件
④環境家計簿の作成・配布
　各家庭の二酸化炭素排出量が算出できる「環境家計簿」を市内の小学４年生に配布した。小学生が参加しやすいよう、対象期間を従来の一年間から６か月（８月～１月）に短縮した。
⑤緑のカーテン用種の配布
　アサガオなどの種を配布して緑のカーテンの普及を図り、緑のカーテンの有効性を実感していただいた。

6　再生可能エネルギー利用の円滑な促進
　「岡谷市再生可能エネルギー設備の設置等に関するガイドライン」に基づく届出を受理し、市内における再生可能エネルギー設備の適切な設置に努めた。
・届出件数：１件（累計９２件）

7　住宅用再エネ設備等導入促進事業
　再生可能エネルギーの普及を図り有効に活用するため、市内の住宅等に蓄電システムや電気自動車充放電設備（V2H）を設置される方への補助を行った。
①蓄電システム導入補助金
　太陽光発電システムの導入を促進するとともに、電力の自家消費率を高めるため、令和４年度より太陽光発電システムと同時に導入した蓄電システムに対する補助金を交付した。
・申請件数：３５件（補助額：3,500,000円）
②電気自動車充放電設備（V2H）導入補助金
　電気自動車等の導入を促進し、二酸化炭素排出量の削減を図るとともに、災害時の非常用電源を確保するため、令和５年度より電気自動車充放電設備（V2H）の導入に対する補助金を交付した。
・申請件数：１件（補助額：100,000円）

8　環境市民会議おかや
　市民、事業者、市が連携し、循環型社会の構築、ゼロカーボンシティの実現に向けた活動を支援するため、補助金を交付した。
　なお、環境問題全般に活動を広げる中で、４つの専門部会により各々独自の課題に向け具体的な事業展開を図った。
・補助金：110,000円

9　おかやエコフェスタ２０２４の開催
　環境市民会議おかやとの協働により、レイクウォーク岡谷を会場として開催した。「水とつながるエコライフ」をメインテーマに、水素自動車の展示やデジタル地球儀による気候変動問題の解説、水力発電の仕組みを学べるジオラマなど多様な展示を行った。
　また、諏訪湖環境研究センターによる諏訪湖の生き物展示や、レイクウォーク岡谷の店舗等を回るエコクイズラリーなどを行い、多くの方々が身近な環境問題について考える機会となった。
・日　時：５月１５日（水）～５月１９日（日）
・場　所：レイクウォーク岡谷　１階　レイクコートほか

（7,207,158円）

自然環境保全事業	1　岡谷こどもエコクラブ 　小学生が環境問題に関心を持つことを目的として、環境保全や自然観察等に関する体験学習会を開催した。 ・開催回数：８回 ・参加人数：延べ２６４人 ・体験学習会の内容 ①開講式・森の散策　５月１１日（土）４１人 ②環境にやさしいクッキング　６月２２日（土）４６人 ③ヒシ除去体験・水生生物観察会　７月２０日（土）５０人 ④市内一斉気温測定　７月２８日（日）　７人 ⑤土の中の生物観察会　９月　７日（土）４０人 ⑥伊勢湾答志島のごみ調査 １０月１２日（土）～１３日（日）３５人 ⑦冬鳥・留鳥の観察会　１１月１６日（土）２２人 ⑧閉講式・エコな企業を見に行こう　１２月１４日（土）２３人 2　諏訪湖ヒシ除去体験事業 　諏訪湖の環境を守るため、手作業でのヒシの除去作業を行い、現状の認識と諏訪湖に対する意識高揚を図った。 ①各種団体 　環境市民会議おかや、諏訪湖漁業協同組合、市の協働により実施した。 ・日　　時：７月１３日（土） ・参加人数：７６人 ・除 去 量：３ｔ ②岡谷こどもエコクラブ 　安全確保のため参加者を高学年に限定して実施した。 ・日　　時：７月２０日（土） ・参加人数：２４人 ・除 去 量：１ｔ 3　アレチウリ駆除事業 　生態系を破壊するアレチウリを駆除するため、各区・ボランティア団体の協力を得て、諏訪湖畔・河川敷等で駆除作業を行った団体等に対して、タオルなど作業に伴う消耗品を支給した。 ・支給件数：２件 (147,044円)
生活環境対策事業	1　自動車騒音常時監視事業 　令和３年度に実施された道路交通センサス調査に基づき、令和４年度より５年間のローテーションで実施しており、今年度は、２路線２センサス、延長４．２ｋｍの自動車騒音常時監視事業を実施した。 　過年度分については変動がなく、今年度分は昼夜とも基準値以下が９８．１％、昼のみ基準値以下が１．５％、夜のみ基準値以下が０．４％、昼夜とも基準値超過は０％であった。 2　土壌・地下水汚染対策 　土壌・地下水汚染等について、事業所による調査に対する助言・指導を関係機関と連携して行った。 3　地下水調査関係 　平成９～１３年度までに実施した地下水調査で環境基準を超過した７件の井戸については、令和６年度は全ての井戸が県の調査対象となったため、市では調査を行わなかった。 　また、地下水の汚染状況の変化を把握するとともに、環境基準達成箇所についても過去の調査以降の変化を把握するため、２０件を選定し、追跡調査を実施した。測定箇所により若干の増減はあるが、

	総体的に見て大きな変動は見られない。 4　河川水質関係 　横河川、塚間川等市内主要４河川において、生活環境の保全に関する項目と人の健康に関する項目について水質検査を実施した。数値に大きな変動がないことを確認した。 5　生活環境の苦情処理 　産業活動や日常生活から発生する騒音・水質汚濁・大気汚染等生活環境に関する相談を受付け、適切な処理を行った。受け付けた苦情については、関係課、関係機関と密接に連携し、当事者相互の理解と協力を得ながら適切な指導を行い早期解決に努めた。 6　不法投棄の調査、回収、処理 　不法投棄防止パトロールや啓発を行うとともに、市有地等に不法投棄されたものについては、関係課、警察等と連携して投棄者を調査するとともに回収を行った。 7　公害関連法令届出受理 　騒音規制法、振動規制法、特定工場における公害防止組織の整備に関する法律、岡谷市公害防止条例に係る届出を受理し、事業所の公害防止対策に努めた。 ・届出件数：１０件 8　環境ボニター 　市民公募の環境ボニター（ボランティア＋モニターの造語）により、環境保全に関する情報収集や提言等をいただいていたが、近年は各区衛生自治会や長野県不法投棄監視連絡員、市民からの連絡などにより、環境ボニターの担ってきた役割が補完されている状況であることから、令和６年度をもって廃止とした。 9　空間放射線量測定 　長野県が測定を実施し、「福島第一原子力発電所事故前と同じ水準」としている空間放射線量を確認するため、市役所で月１回の簡易測定を実施し、結果をホームページで公表した。 (2,144,753円)
ごみ減量啓発指導事業	ごみの減量化と資源化を推進するため、各種の広報啓発に努めるとともに、美しい環境を守り住みよいまちづくりを推進するため、環境美化活動の実施に努めた。 1　ごみの減量化・資源化の推進 （１）わかりやすい！ごみ減量ＰＲ事業 ・家庭ごみ収集カレンダー等の更新 　カレンダーや、ごみ分別ガイドを最新情報に更新した。 ・ごみ・リサイクルの情報提供 　「わかりやすい！ごみ・リサイクル動画」を作成しシルキーチャンネルで放送したほか、動画配信サイトへ掲載した。また、家庭ごみ・資源物収集場所マップの随時更新を行った。 ・事業系ごみ減量化推進 　事業所から出るごみの減量と資源物の分別、適正処理の促進を図るため、事業系ごみの処理方法に関する動画を作成し、動画配信サイトへ掲載した。 ・広報啓発チラシの地区回覧（月１回・市内全域・隣組回覧） （２）食品ロス削減の周知啓発 　子どもへ向けた食品ロス削減の意識啓発を図るため、食育教育教材として、食品ロス削減をテーマとした紙芝居「もったいない　もったいない」（モグドン紙芝居）を市内保育園に向け貸し出しを行った。 ・利用回数：７回

（３）諏訪湖周クリーンセンター等施設見学
　市内小学校の４年生を対象に、諏訪湖周クリーンセンターの見学を実施し、３Ｒ（リデュース・リユース・リサイクル）推進に関する説明などを行った。
・参加校：６校
・参加者：２５６人
（４）おかや３Ｒ探検隊
　ごみ減量や３Ｒの意識啓発を図るため、市内の小学生等を対象とした最終処分場の見学や、樋沢地区で食物残渣から作られた肥料で育てたもろこしの収穫体験等を行った。
・日　時：８月３日（土）
・場　所：樋沢一般廃棄物最終処分場、五味農園
・対　象：市内在住小学生、キッズクラブ会員　１８名
（５）ごみ・資源物収集場所立会い指導
①その他プラスチック分別強化月間（６月）
　燃やすごみに混入しているその他プラスチックの分別を促進するために、岡谷市衛生自治会連合会と協働して収集場所で立会いを行い、啓発チラシを配布するなどして分別方法の周知啓発に努めた。
②ごみ・資源物分別強化月間（１０月）
　令和７年４月から始まる「プラスチック資源」の分別方法を周知啓発するため、岡谷市衛生自治会連合会と協働して収集場所で立会い、啓発チラシを配布するとともに、事業系ごみの排出状況の確認を行った。
（６）転入者用ごみ袋セットの配布
　市外から転入した世帯へ向け、ごみの減量化や分別への協力をお願いするため、家庭ごみ収集カレンダーと分別ガイド、指定ごみ袋（４種類各１枚）を配布し、ごみ出しルールなどの周知に努めた。
・配布数：４４２世帯分
（７）リサイクル事業者などとの協定締結
　ごみ減量によるゼロカーボン推進を図るため、以下の事業者と連携協定を締結した。
①リデュースの促進
　リデュース（発生抑制）の促進として、地域密着型のフリマアプリを運営する（株）ジモティーと協定を結び、不用品の有効利用を促すため新たなサービスを開始した。
②リサイクルの推進
　宅配便を活用したパソコンや小型家電などのリサイクル事業を行うリネットジャパンリサイクル（株）と協定を締結。
　また、同様に宅配便を利用した「家電４品目（テレビ等）」回収サービスを提供するＳＧムービング株式会社とも協定を締結。
　これらの事業の活用を促進するため、チラシ配布やホームページ等での周知啓発を図った。
③環境負荷が少ないリサイクルへの変更
　ペットボトルのリサイクルにおいて、より環境負荷が少ない「ボトル to ボトル」水平リサイクルを推進するため、サントリーグループと協定を締結した。この取り組みは令和７年４月から実施。
２　環境美化活動等
（１）岡谷市を美しくする月間
　６月を「岡谷市を美しくする月間」と定め、岡谷市衛生自治会連合会をはじめ各種団体の協力を得て環境美化等を図る様々な事業を実施した。

	○主な実施事業 ①諏訪湖及び河川一斉清掃 　衛生自治会や各種団体、小・中学生などの参加により諏訪湖畔と流入河川地域の清掃活動を実施した。 ・日　時：５月２６日（日）午前６時～７時 ・参加者：２，０００人 ・回収量：ごみ等１，０８８kg、空缶等４６５個 ②地域の河川・道路などの清掃を各地区で実施 ・参加者：２，２７９人 ・回収量：ごみ等１，１１１kg、空缶等２６９個 ③ごみ・資源物の収集場所（定位置）パトロール ④ごみ減量・環境美化に関する啓発チラシ等の地区回覧 ⑤ごみ・資源物の収集場所（定位置）立会い （２）諏訪湖周一斉清掃 ・日　時：１０月２０日（日）午前７時～８時 ・参加者：７００人 ・回収量：ごみ等２５０kg、空缶等２５０個、ペットボトル１４９本 (15,691,458円)
湖周地区ごみ処理施設事務	１　湖周行政事務組合負担金　246,270,548円 ２　関係市町及び湖周行政事務組合との調整等 ・湖周３市町副市町長会議（５回） ・湖周連絡調整会議（５回） ・湖周ワーキング部会（４回）他 (246,270,548円)
埋立施設管理事業	１　樋沢一般廃棄物最終処分場管理業務 業務概要 ・技術管理者の配置 ・廃棄物の受入・埋立処分等 ・最終処分場施設維持管理等 ・浸出水処理施設運転管理等 ・水質検査・ガス測定等 委託先：（株）タクマテクノス他　19,800,000円 ２　埋立処分地設備機器等修繕業務 　排水処理施設原水ポンプ取替業務、地下水ポンプ取替業務 委託先：中信アスナ（株）　他　357,500円 ３　最終処分場排水処理施設汚泥処分業務 水槽内の汚泥処分 委託先：(有)田切クリーンセンター　151,800円 ４　最終処分場内の支障木剪定作業等 (27,837,697円)
塵芥収集事業	１　埋立ごみ収集運搬委託業務（１コース） 委託先：（株）アイ・コーポレーション　6,600,000円 ２　燃やすごみ収集運搬委託業務（５コース） 委託先 第１コース（有）成山商店　6,930,000円 第２コース（株）アイ・コーポレーション　7,040,000円 第３コース（有）丸安今井商店　3,915,000円 第３コース業務代行（有）成山商店　1,620,000円 第４コース（株）アイ・コーポレーション　7,040,000円 第５コース　共田組　6,963,000円 (44,522,828円)

塵芥収集指導啓発事業	正しいごみの出し方等を周知するため、家庭ごみ収集カレンダーを全世帯へ配布するとともに、ルール違反ごみの回収や処理、排出者への指導などを実施した。 1　岡谷市家庭ごみ収集カレンダー 市民一人ひとりがごみの減量、資源化に取り組めるよう、家庭ごみ収集カレンダーを全戸配布した。プラスチック資源の分別方法変更に伴い、掲載内容を変更した。 また、引き続きごみ処理の専門事業者６社の広告を掲載し、市民が適切な処理業者を選定できるよう情報提供を行った。 ・カレンダー印刷製本　726,000円 2　ごみ・資源物収集場所の安全対策 ごみ・資源物の収集場所の安全確保のため、地区衛生自治会等と協働して、全ての収集場所に設置されている看板等の点検や補修等を行った。 3　違反ごみ対策 収集場所の定期的な巡回を行い、ルール違反のごみを回収・処理するとともに、排出者への指導を実施し、正しい出し方や分別方法の周知啓発を図った。 (1,202,282円)
資源物回収事業	1　資源物再資源化等委託業務 （１）草・剪定枝等資源化業務 委託先：（株）アイ・コーポレーション　4,300,000円 （２）ガラスびん再資源化業務 委託先：（有）成山商店　8,580,000円 （３）ガラスびん再商品化業務 委託先：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会 ガラスびん（その他の色びん）分　70,194円 （４）ペットボトル再資源化業務 委託先：（株）クリーンウェイスト　8,764,800円 （５）使用済乾電池再資源化業務 委託先：ＪＦＥ条鋼（株）鹿島製造所　1,069,244円 （６）廃蛍光管・電球収集運搬業務 委託先：（有）成山商店　3,300,000円 （７）廃蛍光管・電球再資源化業務 委託先：林金属工業（株）　1,185,580円 （８）生ごみ収集・資源化業務 委託先：（株）光商会　9,383,000円 （９）その他プラスチック再資源化業務 委託先：（有）成山商店　19,507,500円 (10) プラスチック製容器包装再商品化業務 （ペットボトル・その他プラスチック） 委託先：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会 その他プラスチック分　241,768円 2　岡谷市資源物分別回収促進事業補助金 資源物の分別回収を促進するため、資源物回収事業者に対し回収量に応じた補助金（６．４円/kg）を交付した。 ・回収量（２事業者合計）　５２５，３６０kg ・交付先：(有)成山商店　2,150,848円 (有)五十川昇一商店　1,211,456円

	３　資源物サンデーリサイクルデー 　市民の利便性向上と資源物リサイクルの推進を図るため、関係団体の協力を得て、奇数月の最終日曜日に市内スーパーの駐車場で、資源物と硬質プラスチックのリサイクル回収を年６回実施した。 （１）資源物回収量　８，１９０kg （２）硬質プラスチック回収量　１０，０１０kg ４　プラスチック資源循環促進事業 　令和７年度の市内全域でのプラスチック資源分別収集に向け、モデル事業を実施し、試験的な回収と調査を実施したほか、市内全域において住民説明会等を実施した。 （１）告知啓発 　プラスチック資源の分別収集を広く周知するため、チラシを作成して全戸配布した。また、市ホームページや動画を活用した広報に加え、収集場所には周知用の掲示物を設置し、市民への周知を図った。 （２）モデル地区説明会 　プラスチック資源の分別収集を円滑に導入するため、市内４地区をモデル地区として設定し、地区説明会を開催した。 ・モデル地区：間下区、上浜区、花岡区、三沢区 ・開 催 回 数：１５回 ・参　加　者：４１５名 ・説明会参加者にアンケート調査実施。 （３）モデル地区試験回収 　モデル地区では、６月と７月に試験回収を実施。既存の「その他プラスチック」の収集に合わせ、「製品プラスチック」を試験的に収集した。 ・全１７回 （４）組成調査 　モデル地区試験回収で収集された「製品プラスチック」を、市と岡谷市衛生自治会連合会が連携し、量や分別状態に関する調査を行った。 ・調査回数：４回 ・調査場所：(有)成山商店 （５）市内全域での説明会 　令和７年度からの市内全域実施に向けて、市内全区の公会所などを会場として、住民説明会や出前講座を実施した。 ・開催回数：２９回 ・参 加 者：９０３名 （６）指定袋の製作 　市内全域でのプラスチック資源分別収集の開始に合わせ、現在の「その他プラスチック」の指定袋のデザインを変更し、新たに「プラスチック資源」の指定袋を製作した。 (60,802,991円)

第３　主要な統計、行政資料等

１　廃棄物処理手数料の状況

（単位：円）

区分	令和６年度				令和５年度	増減
	調定額(A)	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	調定額(B)	(A)-(B)
普通 手数料	53,048,000	53,048,000	0	0	50,820,000	2,228,000
特別 手数料	9,532,320	9,525,270	7,050	0	9,822,520	△290,200
滞納 繰越分	0	0	0	0	0	0
計	62,580,320	62,573,270	7,050	0	60,642,520	1,937,800

２　ごみ委託収集の状況

区　分 項　目	埋立ごみ （１コース）	燃やすごみ （１～５コース）	計
運搬回数（回）	120	3,389	3,509
運　搬　量（kg）	97,430	6,037,170	6,134,600

３　資源物回収の状況

（単位：kg）

	品　目	回　収　量	品　目	回　収　量	計
資源物分別回収	新聞紙	176,170	古　布	1,960	525,400
	雑　誌	160,560	アルミ缶	11,780	
	段ボール	48,980	スチール缶	31,240	
	厚　紙	5,640	金属類	74,790	
	牛乳パック	2,130	生きびん	12,150	
資源物委託収集	透明びん	113,080	乾電池	12,790	852,190
	茶色びん	70,290	生ごみ	106,580	
	その他の色びん	52,570	蛍光管・電球	6,260	
	ペットボトル	125,780	その他 プラスチック	364,840	
直接持込	せん定枝	17,595	硬質 プラスチック	10,010	109,375
	草・落ち葉等	81,430	インク カートリッジ	340	
総　回　収　量					1,486,965

4　ごみの状況

項目 / 年度	(kg) 燃やすごみ	(kg) 埋立ごみ	(kg) 資源物	(kg) 合計	(人) 人口	(日) 年間日数	(g) 市民１人１日当たりのごみ量
2	10,692,300	159,065	1,934,517	12,785,882	48,959	365	715.5
3	10,519,850	138,605	1,796,330	12,454,785	48,242	365	707.3
4	10,473,200	130,785	1,738,620	12,342,605	47,810	365	707.3
5	10,134,550	118,075	1,594,075	11,846,700	47,220	366	685.5
6	9,749,260	116,660	1,486,965	11,352,885	46,589	365	667.6

市民１人１日当たりのごみ量は、（「合計」×「1,000」）g／（「人口」×「年間日数」）で算出。
人口は、10 月 1 日現在　住民基本台帳人口。

≪燃やすごみの内訳≫　（単位：kg）

年度	家庭系	前年度比	事業系	前年度比	計	前年度比
2	7,424,570	101.8%	3,267,730	92.4%	10,692,300	98.7%
3	7,143,550	96.2%	3,376,300	103.3%	10,519,850	98.4%
4	7,092,310	99.3%	3,380,890	100.1%	10,473,200	99.6%
5	6,741,720	95.1%	3,392,830	100.4%	10,134,550	96.8%
6	6,477,670	96.1%	3,271,590	96.4%	9,749,260	96.2%

5　樋沢一般廃棄物最終処分場埋立実績

（単位：kg）

品目 / 年度	埋立ごみ	前年度比
2	159,065	123.8%
3	138,605	87.1%
4	130,785	94.4%
5	118,075	90.3%
6	116,660	98.8%

6　生活環境の苦情受付数

区　分	令和６年度			令和５年度	前年度比
	受付件数（件）	構成比（%）	解決件数（件）	受付件数（件）	
大気汚染	24	38.7	24	17	7
不法投棄	15	24.2	15	13	2
水質汚濁	8	12.9	8	7	1
土壌汚染	8	12.9	8	2	6
悪　　臭	3	4.8	3	4	△1
騒　　音	2	3.2	2	9	△7
振　　動	0	0.0	0	0	0
そ の 他	2	3.3	2	1	1
計	62	100.0	62	53	9

健　康　福　祉　部

（福祉事務所）

社　会　福　祉　課

第１　概説

社会福祉課では、岡谷市社会福祉協議会等の各種福祉団体と連携し地域福祉の向上に努め、障がい福祉、生活困窮者等への支援、ひとり親家庭福祉等の業務を執行した。

１　地域福祉

地域共生社会の実現に向け、地域サポートセンター、社会福祉協議会、市が連携し、支えあいの仕組みづくりを推進するため地域福祉ネットワーク会議を開催した。

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を大きく受ける低所得世帯を継続して支援するため給付金の支給を実施した。

おかや総合福祉センター（諏訪湖ハイツ）の男子浴室浴槽防水改修工事及び火災報知設備更新工事を行い、施設の長寿命化を図った。

２　障がい福祉

障害者総合支援法等に基づき、給付をはじめとする障がい福祉施策を実施した。

岡谷市成年後見支援センター開所から６年目を迎えるなか、市と成年後見支援センターが協働で設置した「中核機関」の３年目として、成年後見制度の利用促進を図るとともに、終活セミナー等の開催を通じて、周知・啓発を行った。

３　生活福祉

福祉総合相談では、複雑化・複合化する市民の生活相談に対して課題を整理し、専門相談機関等と連携を図りながら、市民の生活課題の解決に努めた。また、犯罪被害者等が抱える問題に対応するための施策を推進し、その権利利益の保護を図ることを目的として、岡谷市犯罪被害者等支援条例を制定した。

重層的支援体制整備事業は、令和６年度から本格実施となり、関係機関等に事業の周知をするとともに、多機関協働事業による支援会議等を開催し、支援者支援に努めた。

ひとり親家庭福祉では、ひとり親家庭相談を通じて、児童扶養手当の支給のほか自立につなげられるよう各種施策を行った。

生活困窮者自立支援事業では、生活保護に至る前段階の支援として、専門相談支援員による、状況に応じたきめ細かい支援を行ったほか、就労準備支援事業や、農福連携による協働体験事業などを活用し一般就労に向けた準備支援を実施した。

生活保護では、他法他施策の有効活用を図るとともに、稼働能力のある者については、就労支援員を交えた就労支援を行い、適正な保護の実施に努めた。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
地域サポートセンター事業	地域で抱える様々な課題の解決に向け、ともに解決していく体制整備・機能強化のため、岡谷市地域福祉ネットワーク会議を開催した。 ・第１回　令和７年１月３０日（参加者　３７名）
民生児童委員協議会活動支援事業	地域福祉向上のため、岡谷市民生児童委員協議会に対し、活動補助金を交付した。 １　補助金 ・地区活動費　　２８３，０００円 ・研修費　　７９０，３６２円 （愛知県：自然災害への備え、防災意識向上研修） ２　活動費交付金　９，４４９，４６０円 (18,411,727円)
人権擁護推進事業	国から委嘱された人権擁護委員８名や関係機関と連携し、各種事業を行い、人権意識の向上に努めた。 １　人権啓発事業 ・保育園啓発活動 ・小学生「人権の花」運動（神明小学校） ・中学生「全国人権作文コンテスト」 ・地域人権啓発活動活性化事業（人権ミニフェスティバル） ２　人権相談事業（年４回） ３　会議等の開催 ・人権擁護審議会（７/１２） ・諏訪・子ども人権の集い（１２/１４） (507,088円)
福祉タクシー運行事業	１　交通弱者のための交通手段として通年運行を行った。 ・運行回数　年間２０，３００回　１日平均５５．６回 ２　業務委託料 アルピコタクシー（株）、諏訪交通（株）の２社に委託し、安定的な業務の遂行に努めた。 ・運行事業業務委託料　３３，９１２，８０２円 ・配車管理業務委託料　５，６０８，９５５円 (39,561,027円)
戦没者慰霊事業	岡谷市戦没者追悼式 ・日清戦争以後、満蒙開拓団を含む、岡谷市の戦没者に対して、追悼式を行った。 日　時：令和６年９月２２日（日） 場　所：カノラホール　小ホール 参加者：７９名 (164,805円)
身元不明人等扶助事業	行旅死亡人に対する葬祭費等の支出のほか、急迫状態の行旅人に対する旅費の支出による支援を行った。 １　行旅人旅費 ・旅費支給：２人 ・支出額：６００円 ２　生活費支援：０名 ・支出額：０円 (163,600円)

生活福祉相談事業	福祉総合相談として、生活相談（心配ごと相談）・法律相談・行政相談・消費生活相談(所管：市民生活課)を実施し、課題の早期解決、被害防止や不安の解消に努めた。 １　生活相談（心配ごと相談） ・年間相談件数　７０件（対前年度比　＋４件） ２　法律相談、行政相談 ・法律相談　年間１２回（毎月）実施 ・行政相談　年間１０回（４月・８月を除く）実施 (569,600円)
中国残留邦人等生活支援事業	中国残留邦人等本人及び配偶者の生活の安定を目的として、生活保護に準じた生活費等基準により支援給付を行うとともに、生活に必要な支援通訳の派遣を行った。 ・対象世帯数（人数）　１世帯（１人） ・支援給付（生活・住宅・医療・介護）　１，０２５，６４１円 ・配偶者支援金　５４２，４６０円 ・自立支援通訳派遣　１回 (1,572,085円)
生活困窮者自立支援事業	生活保護に至る前の段階にある生活困窮者を対象に、生活就労支援センター（愛称：まいさぽ岡谷市）を窓口として、相談者が抱える多様な生活課題に対して各種事業を活用し支援を行ったほか、他法他施策活用の検討を行い、相談者の自立支援に努めた。 １　自立相談支援事業 ・生活困窮相談件数　１６０件（対前年度比 △３７件） 自立支援相談件数　１１４件（対前年度比 △３９件） 支援計画作成件数　３６件（対前年度比 ＋　３件） 一般就労者数　１０人（対前年度比 ＋　１人） ２　住居確保給付金事業 利用件数２件（対前年度比 △　４件） 給付額１０５，０００円 ３　就労準備支援事業 利用件数　５件（対前年度比 増減なし） ４　家計改善支援事業 利用件数１２件（対前年度比 増減なし） ５　一時生活支援事業 一時宿泊所等確保事業　利用者０名 福祉電話貸与事業　利用者１名 (11,618,799円)
多機関協働事業	複雑化・複合化した課題のある本人や世帯に対応するため各支援関係機関の役割分担、支援の方向性の調整等を実施した。本人の同意がある場合は重層的支援会議を実施し、支援プランの作成、評価等について支援関係機関と協議を行う。 ・重層的支援会議　０回 ・支援会議　５回 (637,717円)
障がい者等福祉事業	身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者の手帳申請及び関連する事務等を行った。 １　障がい者手当等給付事業 （１）　在宅の重度心身障がい児・者に特別障害者手当（４６人　５３１月分)、障害児福祉手当（１５人　１６９月分）を支給した。　１７，７０７，２１０円

	（２）　重度若しくは重度に準じる障がいのある児童の保護者に重度心身障害児童福祉年金を支給するとともに、特別児童扶養手当の進達事務を行った。 （年金２４６人、手当２１５人）　３，３７０，５００円 ２　障がい者等福祉事業 （１）　障がい児・者の一時的介護のためタイムケア事業として、登録事業者に介護委託の給付を行った。 個人：利用者　５人、延利用時間　１１８９時間 ８３８，７２０円 （２）　障害者長野県民交通災害共済会費負担事業を行った。 身体４９３人、知的２１９人、精神３３０人、児童２９人 計１，０７１人 ４１９，７００円 （３）　障がい者等へ福祉電話料の助成を行った。 （１人）　２０，５４９円 （４）　障がい福祉サービス事業所に、「おかやバリアフリーガイドマップ」の掲載内容の情報更新作業を委託し、ホームページ上のデータ更新を行った。 １２０，０００円 （５）　最重度の障がいのある方を１年間のうち半年以上在宅介護した介護者に、家庭介護者慰労金を贈った。 （４５人）　１，７７０，０００円 （６）　障がい者団体等の余暇活動については、利用希望なく実施なし。 （７）　知的障がい者等が通所通園するため交通費補助を行った。 （８人）７２，４５６円 （８）　寝たきり等で福祉タクシー等を利用できない非課税世帯の障がい者・高齢者等を対象に寝台車の利用料の補助を行った。 （７件）　４０，０００円 （９）　障がい者虐待防止センターとして、相談等の対応に努めた。 (26,791,685円)
障がい者自立支援給付事業	障害者総合支援法の給付等に関する事業を行った。 １　障がい福祉サービス利用希望者の認定調査を行い、医師意見書等を添付し、諏訪広域連合障害支援区分審査会に審査を依頼した。 広域割　岡谷市負担分　４４９，６６４円 ２　障害者自立支援給付 （１）　介護給付 ・居宅介護　９１人　８，３７８．５時間 ・重度訪問介護　０人　０時間 ・同行援護　１１人　８３１．０時間 ・行動援護　３人　２５１．０時間 ・短期入所　２８人　１，１６７日 ・施設入所支援　５１人 ・生活介護　９３人 ・療養介護　９人 （２）　訓練等給付 ・自立訓練（機能訓練）　３人 ・自立訓練（生活訓練）　５人 ・自立生活援助　１人 ・就労移行支援　１８人 ・就労定着支援　３人

	・就労継続支援（Ａ型）　５５人 ・就労継続支援（Ｂ型）１６０人 ・共同生活援助　８３人 ・宿泊型自立訓練　２人 （３）　特定障害者特別給付費 （施設系）　４５人 （共同生活援助）　７８人 （４）　相談支援給付 ・計画相談支援　４０４人 ・地域移行支援　１人 ・地域定着支援　１人 （５）　補装具費 障がい児・者に補装具費の支給を行った。（７７件） （６）　高額障害福祉サービス等給付費　２人 （７）　自立支援医療 更生医療・育成医療の給付等事務及び精神通院医療の申請受付事務等を行った。 ・更生医療　申請　１１件 ・育成医療　申請　１件 ・精神通院医療　申請１，２３６件 (1,035,556,186円)
障がい者地域生活等支援事業	障害者総合支援法の地域生活支援事業による給付等に関する事業を行った。 （１）　障害者優先調達推進法に基づき、「岡谷市障がい者就労施設等からの物品等の調達方針」を策定し、庁内各課等での積極的な調達を推進した。 目標額 ２，２００，０００円 実績額４，１７９，５８２円 （２）　岡谷市社会福祉協議会に委託し、岡谷市成年後見支援センターの運営を行った。 相談者数　１８８人（実人数） 相談件数　５３２件（延べ件数） 申立て支援　２２件（延べ件数） 法人後見人等受任　６人（累積数） ７，６９４，２５１円 （３）　聴覚障がい者のコミュニケーション支援事業として、手話通訳者設置、手話通訳者・要約筆記者派遣事業、社会参加等の促進や生活支援の事業として、作業訓練や生活体験等を地域生活支援事業委託事業として行った。 委託先：岡谷市社会福祉協議会　１３，０５３，３８８円 （４）　基幹相談支援業務等及び地域生活支援拠点事業について、諏訪圏域障がい者総合支援センター オアシスに委託し、6市町村共同で事業を行った。 ９，４４１，５００円 （５）　原油・原材料価格の高騰に直面する社会福祉施設等の安定的なサービスの提供を支援するため、身体障害者デイサービス事業和楽に対して支援金を交付した。 １２０,０００円 （６）　重度障がい児・者の日常生活の便宜を図るため、日常生活用具等の給付を行った。　（支給件数　１，１８２件） １２，５９８，７０３円

	（７）　社会参加等の外出時の介助支援のため、移動支援事業を実施した。 ・個別支援　　（利用者　４９人　　２０９９．０時間） ・グループ支援（利用者　　７人　　２１１．０時間） ６，３５４，９４２円 （８）　居宅での訪問入浴サービス事業の給付を行った。 （利用者　８人　６２８回）　　７，９１６，２９８円 （９）　障がい者等の日中における活動の場を確保する日中一時支援事業者に介護委託の給付を行った。 （利用者１２１人、延利用時間　　６，７２７．５時間） ６，０７１，０００円 （１０）　身体障がい者の自動車運転免許取得及び自動車改造に係る費用の助成を行った。 （利用者　２人）　２００，０００円 （１１）　障がい者支援施設等への通所に要する交通費の助成を行った。　（対象者　８人）　１６０，６１６円 （１２）　地域活動支援センター 身体障害者デイサービス事業和楽（利用者６人） ３，００２，２２４円 ひだまりの家(利用者２５人)　　４，０９０，５５２円 ひまわりの里(茅野市)（利用者なし・均等割のみ） ２９２，７５１円 (67,294,123円)
障がい児通所給付等事業	障がい児の通所サービス等に係る給付を行った。 １　障がい児通所給付 ・児童発達支援　　利用者　２４人　２，３２１日 ・放課後等デイサービス　利用者　１１１人　１０，３９２日 ・保育所等訪問支援　　利用者　５１人　２４６日 ２　高額障害児通所給付　　利用者　０人 ３　障害児相談支援給付 ・障害児計画相談　　利用者　１３８人 (150,812,022円)
おかや総合福祉センター管理事業 （諏訪湖ハイツ）	１　指定管理者に岡谷市社会福祉協議会を指定し、市民の健康福祉の増進と生涯学習活動を促進した。 ・温泉施設（開館日数３０８日、１日平均利用者２３４人） 利用者数　　７２，０８９人 無料利用者　　１３，１３２人 有料利用者　　５８，９５７人 ・生涯学習施設（開館日数３４７日　１日平均利用者２１６人） 利用者数　　７５，０８９人 ２　施設の長寿命化と利用者サービスの向上を図るため、老朽化した設備等の更新工事を行った。 男子浴室浴槽防水改修工事 ・工期：令和６年８月２７日～１２月１６日 ・契約金額　９，５７０，０００円 火災報知設備更新工事 ・工期：令和６年１１月２８日～令和７年３月２８日 ・契約金額　５，９４０，０００円

	諏訪湖ハイツ第1キュービクル高圧機器等更新工事 ・工期：令和７年３月２７日～令和８年１月１５日 ・契約金額　１０，５６０，０００円（翌年度へ繰越） (146,151,237 円)
物価高騰重点支援給付金支給事業 （住民税均等割のみ課税世帯）	物価高騰による負担増を踏まえ、令和５年度分の住民税均等割のみ課税世帯等を対象に給付金を支給した。 ・実施期間　令和６年４月１日～令和６年６月１４日 ・給付世帯　住民税均等割のみ課税世帯　８６７世帯 ・給付額　　８６，７００，０００円（1世帯　１０万円） ・事務費　　３，３８２，８１９円 (90,082,819円)
物価高騰重点支援給付金支給事業 （令和６年度新たな非課税世帯）	物価高騰による負担増を踏まえ、令和６年度に新たに非課税となった世帯及び均等割のみ課税となった世帯を対象に給付金を支給した。 ・実施期間　令和６年７月１２日～令和６年９月３０日 ・給付世帯　住民税非課税世帯　４５６世帯 住民税均等割のみ課税世帯　２２２世帯 ・給付額　　６７，８００，０００円（１世帯　１０万円） ・事務費　　２，７６０，４９４円 (70,560,494円)
物価高騰重点支援給付金支給事業 （令和６年度非課税世帯）	物価高騰による負担増を踏まえ、令和６年度分の住民税非課税世帯を対象に給付金を支給した。（翌年度へ繰越） ・実施期間　令和７年３月１４日～令和７年５月３０日 ・給付世帯　住民税非課税世帯　３，８６４世帯 ・給付額　１１５，９２０，０００円（１世帯　３万円） ・事務費　　２，９３６，１３６円 翌年度繰越　２６，２８７，０００円 (118,856,136円)
価格高騰特別対策支援金給付事業 （住民税均等割のみ課税世帯等に対する支援金）	エネルギー・食料品等の価格高騰等に直面した世帯が支援を受けられるよう、住民税均等割のみ課税世帯等に対し支援金給付事業を実施する。（翌年度へ繰越） ・実施期間　令和７年度中実施 ・給付世帯　住民税均等割のみ課税世帯及び家計急変世帯 ・給付額　２０，０００，０００円(翌年度繰越)(１世帯　２万円) ・事務費　４，７００，０００円(翌年度繰越) (0 円)
児童扶養手当支給事業	ひとり親家庭等の生活安定及び自立促進、児童の健全育成を図るため、以下により対象世帯に児童扶養手当を支給した。 ・支給額 （全部支給）月額４５，５００円 （一部支給）月額４５，４９０円～１０，７４０円 ・第２子加算額 （全部支給）月額１０，７５０円 （一部支給）月額１０，７４０円～５，３８０円 ・第３子以降加算額（一人につき） （全部支給）月額６，４５０円 （一部支給）月額６，４４０円～３，２３０円 ・支給延べ世帯数　３，５３１人 うち全部支給者　１，５３２人 一部支給者　１，９９９人

	・第２子加算世帯数　　１，３１８人 ・第３子以降加算世帯数　　３９４人 （法改正により１１月１日より第３子以降の加算額が第２子の加算額と同額となる。） ・支給合計額：　　１４４，１７４，８６０円 (144,335,818円)
ひとり親家庭自立支援給付等事業	１　母子福祉管理事務 ひとり親家庭等相談事業 ひとり親家庭が抱える多様な課題に対し、母子・父子自立支援員を中心として相談に応じた。 ・母子・父子家庭数　４９６世帯 ・相談件数　　６８５件 (5,454,625円) ２　母子家庭自立支援給付事業 ひとり親家庭の経済的自立に効果的な資格取得の支援のため、教育訓練講座の受講支援や、養成機関に６か月以上就学する場合の生活費を支援する給付金を支給した。 ・高等職業訓練促進給付金　４人（支給額：５，３２０，０００円） ・自立支援教育訓練給付金０人（支給額：０円） (5,320,000円)
ひとり親子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	低所得のひとり親子育て世帯に対する生活支援として、令和６年１２月分の児童扶養手当受給者等に対して、給付金を支給する。（翌年度へ繰越） ・実施期間　令和７年度中実施 ・対象者　①令和６年１２月分の児童扶養手当受給者 ②公的年金等を受給していることにより、令和６年１２月分の児童扶養手当を受給していない者 ③家計急変世帯 ・給付額　６，４００，０００円（翌年度繰越）（１人　１万円） ・事務費　１，０００，０００円（翌年度繰越） (0円)
生活保護事業	１　被保護者に対して必要な保護を実施した。(R7.3月末時点) ・被保護世帯数　　１６０世帯 ・被保護者数　　１８１人 ・保護率　　４．０‰（１，０００分比） ・生活保護扶助費　３０４，５５１，２１９円 ２　生活保護面接相談 要保護者に対し、生活相談を受ける中で申請に基づき保護を開始した。 ・面接相談件数　　５２件（対前年度比　△７件） ・保護申請件数　　１７件 ・保護開始世帯　　１７世帯　１９人 ３　就労支援による自立助長等 被保護者への保護を実施する中、稼働能力の活用、他法他施策を促す等の助言指導を行った。 ・稼働能力のある被保護者への就労支援　　７人 ４　施設への入所 単身世帯のうち、障がい等により生活が困難な被保護者に対して施設入所により保護を実施した。 ・救護施設　　八ヶ岳寮ほか３施設　２５人 ・障害者支援施設及び介護施設等　　１３人 ５　保護廃止世帯　　２６世帯　２８人 (352,071,812円)

災害救助対応	市内で発生した災害等の被災者に対して災害見舞金を支給した。 ・災害見舞金　２４０，０００円 （内容） 火災による見舞金 破損（半壊以下）　１５，０００円×２件 全損（全焼）　３０，０００円×６件 死亡　３０，０００円×１件 (240,704円)
避難行動要支援者避難支援事業	避難行動要支援者避難支援体制の整備を行った。また、民生児童委員協議会やケアマネ部会での事業周知や、出前講座は４団体の申し込みがあり周知及び勧奨を行った。 １　避難行動要支援者名簿の作成 ・対象範囲　要介護認定３～５、身体障害者手帳第１種１・２級（心臓、じん臓機能障害のみを除く）、療育手帳Ａ、精神障害者保健福祉手帳１・２級（単身世帯のみ）、市の生活支援を受けている難病患者、自ら避難することが困難な独居の高齢者等 ・対象者数　１，２３８人（施設入所者等を除く） ２　避難行動要支援者登録制度登録者の情報共有 ・名簿及び町内マップを各区に提供し情報の共有を図った。 ・３月末申請率　５９．６％（７３８人／１，２３８人） ３　個別計画の策定 ・各区において登録者の個別計画の策定に取り組んだ。 ・３月末策定率　４７．８％（３５３人／７３８人）

第３　主要な統計、行政資料等

１　民生児童委員（主任児童委員含む）の活動状況

内容別相談・支援件数	在宅福祉	81 件
	介護保険	73 件
	健康・保健医療	130 件
	子育て・母子保健	438 件
	子どもの地域生活	639 件
	学校生活・子どもの教育	192 件
	生活費	26 件
	年金・保険	5 件
	仕事	4 件
	家族関係	113 件
	住居	31 件
	生活環境	127 件
	日常的な支援	454 件
	その他	1,746 件
	計	4,059 件
分野別相談・支援件数	高齢者に関すること	2,258 件
	障がい者に関すること	88 件
	子どもに関すること	1,360 件
	その他	353 件
	計	4,059 件
その他の活動件数	調査・実態把握	21,425 件
	行事・事業・会議への参加協力	2,575 件
	地域福祉活動・自主活動	6,338 件
	民児協運営・研修	4,697 件
	証明事務	487 件
	要保護児童の発見の通告・仲介	20 件
訪問回数	訪問・連絡活動	19,574 回
	その他	14,799 回
連絡調整回数	委員相互	9,952 回
	その他の関係機関	3,880 回
活動日数		延　17,727 日

２　福祉タクシー運行事業

年　度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
運行回数	16,515回	16,656回	17,706回	19,796回	20,300回
乗車人員	18,254人	18,734人	19,913人	22,713人	22,878人
販売枚数	1,835枚	1,926枚	2,098枚	2,165枚	2,416枚

3　中国残留邦人等生活支援事業

支援給付金支出状況

区　分	世帯数（延べ）	人数（延べ）	支給額
	世帯	人	円
生活支援給付	12	12	799,239
配偶者支援金	12	12	542,460
住宅支援給付	12	12	138,000
医療支援給付	6	6	73,250
介護支援給付	12	12	15,152
合　計	54	54	1,568,101

4　障がい福祉

（1）　障害者手帳所持状況

ア　身体障害者手帳　（令和７年３月３１日現在）

区分		視覚障がい	聴覚平衡機能障がい	音声言語機能障がい	肢　体不自由	内部障がい	計
		人	人	人	人	人	人
18歳以上		117	108	22	766	616	1,629
	男	46	44	16	328	351	785
	女	71	64	6	438	265	844
18歳未満		3	2	1	13	5	24
	男	2	2	0	8	3	15
	女	1	0	1	5	2	9
計		120	110	23	779	621	1,653
	男	48	46	16	341	354	805
	女	72	64	7	443	267	853

イ　療育手帳

区　分		重度	中度	軽度	計
		人	人	人	人
18歳以上		110	111	164	385
	男	62	71	96	229
	女	48	40	68	156
18歳未満		24	14	39	77
	男	14	9	29	52
	女	10	5	10	25
計		134	125	203	462
	男	76	80	125	281
	女	58	45	78	181

ウ　精神障害者保健福祉手帳

区　分		1級	2級	3級	計
		人	人	人	人
計		319	323	51	693
	男	162	160	29	351
	女	157	163	22	342

（２）　障害者総合支援法の自立支援給付等の状況

事業種別		対象	支出額（円）
障がい福祉サービス費等	居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護	延　1,078人	47,493,365
	上記以外の介護給付費等	延　5,232人	904,720,113
	特定障害者特別給付費　施設入所系 グループホーム系	延　1,381人	4,265,988 8,743,956
相談支援給付費	地域相談支援給付費	延　13件	90,522
	計画相談支援給付費	延　1,447件	23,361,151
補装具費		延　77件	11,554,329
高額障がい福祉サービス等給付費		延　39人	235,428
自立支援医療費	育成医療	延　2件	72,049
	更生医療	延　118件	14,771,497
	療養介護医療	延　105件	7,646,401

（３）　障がい福祉サービス事業における施設・事業所の利用状況

ア　障がい者支援施設　（単位：人）

施設の種類	R5年度末	R6年度末	増減
生活介護（施設入所支援）	48	46	△2
療養介護施設	9	9	0
支援施設合計	57	55	△2

イ　障がい福祉サービス事業所　（単位：人）

施設の種類	R5年度末	R6年度末	増減
就労移行支援	8	9	1
就労定着支援	2	4	2
就労継続支援Ａ型	50	50	0
就労継続支援Ｂ型	145	153	8
生活介護 （通所事業所、基準該当含む）	46	51	5
自立生活援助	1	1	0
自立訓練	3	3	0
通所サービス合計	255	271	16
共同生活援助（ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ）	79	82	3

（４）　障害者手当等支給状況

区分	支給対象者数	支給総額
	人	円
特別障害者手当	46	15,068,760
障害児福祉手当	15	2,638,450
重度心身障害児童福祉年金	246	3,370,500

（５）　特別児童扶養手当進達事務状況

区分	新規申請数	その他申請数 (更新手続き等)	R7.3月の 受給者数	備考
	件	件	人	国3/4
特別児童扶養手当	17	91	193	県1/4負担

5　障がい児福祉

（１）　障がい児通所給付の状況

事業種別	対象	支出額（円）
児童発達支援給付費	延　227人	35,589,782
放課後等デイサービス給付費	延 1,386人	103,937,828
保育所等訪問支援給付費	延　245人	3,422,495
障害児相談支援給付費	延　422件	7,382,401

（２）　障がい児通所施設の利用者状況　（単位：人）

施設の種類	R5年度末	R6年度末	増減
福祉型児童発達支援	17	22	5
放課後等デイサービス	140	139	△1
事業所合計	157	161	4

※福祉型児童発達支援・放課後等デイサービスは利用者が複数の事業所を利用しているため、全ての利用事業所に人数を計上した。

6　ひとり親家庭福祉

（１）　児童扶養手当支給状況

年　度	支給世帯数（延べ）			支給額
		全部支給	一部支給	
	人	人	人	円
令和６年度	3,531	1,532	1,999	144,174,860
令和５年度	3,787	1,543	2,244	147,297,260
令和４年度	4,150	1,654	2,496	153,672,200
令和３年度	3,928	1,658	2,268	154,547,400
令和２年度	4,122	1,772	2,349	163,690,530

（２）　ひとり親家庭の相談状況

種　別	相談件数	種　別	相談件数
	件		件
母子父子寡婦福祉資金貸付	39（ 80）	公的年金	4（ 3）
児童扶養手当	153（187）	就職	81（ 86）
住宅	14（ 7）	医療	14（ 51）
生活援護・税	197（113）	離婚	16（ 23）
養育費	17（ 18）	家庭紛争	25（ 13）
子の養育・悩み	45（ 25）	教育	9（ 7）
生活不安等	24（ 12）	その他	47（ 17）
相談件数合計			685（642）

（　）は前年度の状況

7　生活保護

（１）　生活保護費支出状況

区　分	世帯数（延べ）	人数（延べ）	支給額
	世帯	人	円
生活扶助	1,496	1,729	70,384,259
住宅扶助	1,254	1,488	30,974,606
教育扶助	25	61	513,386
介護扶助	370	370	5,763,603
医療扶助	1,778	1,986	146,018,412
生業扶助	2	2	255,253
葬祭扶助	3	3	500,256
就労自立給付金	3	3	144,960
施設事務費	337	337	49,996,484
合　計	5,268	5,979	304,551,219

（２）　被保護世帯数、被保護者数、保護率、相談件数（年度末）

年　度	世帯数	人　数	保護率	相談件数
	世帯	人	‰	件
令和６年度	160	181	4.0	52
令和５年度	169	194	4.5	59
令和４年度	185	217	4.6	56
令和３年度	193	223	4.7	68
令和２年度	197	234	5.0	100

介　護　福　祉　課

第１　概説

介護福祉課では、第１０次岡谷市高齢者福祉計画及び諏訪広域連合第９期介護保険事業計画に基づき、高齢者が住み慣れた地域で必要な介護サービスを受けつつ、安心して自分らしく暮らすことのできる地域共生社会の形成をめざして高齢者福祉事業、介護保険サービス事業、地域支援事業を実施した。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
高齢者生活支援事業	１　敬老祝賀事業 （１）１００歳を迎えた高齢者に対して敬意を表し、敬老祝金を贈呈した。 ・１００歳（３０，０００円）　２７人 ・１０５歳（２０，０００円）　４人（経過措置者） （２）最高齢者に祝品（カタログギフト）を贈呈した。 （３）１００歳高齢者の代表１名を市長が慶賀訪問した。 ２　高齢者クラブ連合会補助金 高齢者クラブ連合会の事業活動に対して助成を行った。 ３　地区高齢者クラブ補助金 地区単位で行われている高齢者クラブの活動に対して助成を行った。 ・単位クラブ数：１２クラブ ・会員数：６１５人 ４　シルバー人材センター補助金 高齢者に就業の機会を提供する等、生きがいの創出と社会参加の機会拡大を図るため、岡谷下諏訪広域シルバー人材センターに対して助成を行った。 ５　地域支え合い型移動支援補助金 地域住民が高齢者等の通院、買い物、通いの場等への自家用車での送迎を行う活動に対して、ボランティア活動保険料の補助を行った。 ・活動団体　２団体 ６　家庭介護者慰労金 要介護３以上の要介護者を１年間のうち半年以上在宅介護した介護者に慰労金を贈呈した。 （対象者） ・介護保険サービス利用者：　２０２人（年額　３万円） (21,292,290円)
要援護高齢者生活支援等事業	１　訪問理美容サービス事業 外出困難な高齢者等が、在宅で理美容サービスを受けるための出張経費の助成を行った。 ・利用者数：３人　利用回数：６回 ２　住宅改修アドバイザー事業 高齢者等が居住している住宅を改修するにあたり、申請に基づき適切な住宅改修を行うための指導助言を行った。 ・登録アドバイザー（建築関係者）　８人 ・委嘱アドバイザー（保健・医療・福祉関係者）　５人

	３　福祉電話の貸与 　ひとり暮らしの高齢者等が、家庭内で急病等緊急事態が発生した時、安否の確認等に対応するため福祉電話を貸与した。 ・福祉電話　１台 ４　見守り安心ネットワークの組織 　民生児童委員を中心に、協力員による見守り安心ネットワークを組織し、主に８０歳以上のひとり暮らし高齢者等の安否確認を行った。 ・対象者登録者数　　１，２７４人 ・支援者登録者数　延べ１，５７２人 ５　あったか見守りネットワーク （１）事前登録制度と民間事業者との見守り協定 　認知症等高齢者の行方不明時に備え、高齢者の写真や特徴等の情報を登録し、警察と情報共有することで、早期発見・早期保護を図った。地域を巡回する機会が多い民間事業所と連携し、高齢者を見守る体制を強化した。 ・高齢者事前登録者数　　５０人 ・見守り協定締結事業者　２３社 （２）個人賠償責任保険事業 　認知症等が原因での日常生活における偶発的な事故に備え事前登録者のうち希望者を対象に、個人賠償責任保険に加入した。 ・加入者数　２３人 (76,063円)
施設福祉サービス事業	１　経済的理由と環境的理由により地域生活が困難な高齢者を、養護老人ホームへ入所措置した。 ・入所者数：２９人 ２　社会福祉施設等が物価高騰の影響を受けながらも安定的なサービス提供を継続できるよう支援する「長野県高齢者福祉施設等価格高騰対策支援事業」の対象外となった「養護老人ホーム和楽荘」に対し、県の基準額に準じ「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し支援した。 ・価格高騰対策支援事業負担金　　６１０，０００円 (81,053,363円)
介護保険事務事業	１　諏訪広域連合で運営する介護保険事業に係る「岡谷市介護保険事務取扱規則」に基づいた事務 （１）給付申請の受付に関すること ア　低所得者に対する軽減制度の実施 （ア）介護保険利用者負担額減免措置 ・減免対象者　５人 内訳（要保護者に準ずる者　１人、生活保護受給者　２人、市民税所得割非課税世帯で生計困難に準ずる者　２人） （イ）介護保険施設等の食費・居住費に係る負担限度額認定 ・申請者合計　　４４３人 内訳（第１段階　１３人、第２段階　５１人、第３段階①　１０７人、第３段階②　２６７人、第４段階　５人） イ　介護保険居宅介護（介護予防）住宅改修費支給申請書数 ３２４件　※同一申請書による複数の改修申請あり

申請の内訳					合計（件）
手すりの取付け	段差の解消	床材の変更	扉の取替え	便器の取替え	
２８２	３０	５	６	１	３２４

ウ　介護保険居宅介護（支援）福祉用具購入費支給申請書数
２８７件　※同一申請書による複数の用具申請あり

申請の内訳	件数
ポータブルトイレ	７９
入浴補助用具（入浴及び浴槽内いす・入浴台等）	２０８
合計	２８７

（２）被保険者の異動及び被保険者証の再発行（被保険者証・負担割合証）に係る交付に関すること
・転入者　２４名　・再発行　１４１件
（３）認定申請及び資格者証の発行に係る交付に関すること
・認定申請数　２，５１０件　・情報提供数　１，４３２件
（新規６３５件、更新１，３７９件、区分変更４９６件）
（４）訪問調査に関すること
・訪問件数　２，４４９件（委託調査受領件数　１３件含む。）
・委託調査依頼件数　４４件
（５）主治医意見書の依頼に関すること
・介護認定審査会資料主治医意見書依頼件数２，５０８件
（６）納入通知書及び納付書の再発行に係る交付並びに収納業務の協力に関すること
（７）介護保険料収納事務の協力（岡谷市民第1号被保険者（65歳以上の者）の督促滞納事務など）
○諏訪広域連合　介護保険料収納状況（岡谷市分）
・収納予定額 1,100,322,076円　・収納済額 1,087,319,957円
・収入未済額　13,002,119円　・収納率 98.82%
・納期限から２年経過した滞納者のうち、納付が見込めないと保険者（諏訪広域連合）が判断し不納欠損処分とした額
2,666,100円
（８）介護保険事業に関わる相談及び受付に関すること
（９）その他介護保険制度の施行に関すること
・法改正等についてサービス事業者へ周知
２　介護サービス事業所に関する事務（市内事業所数５７事業所）
（１）介護サービス事業者等連絡会
介護サービス提供事業者等を対象に、制度等に関する情報提供、事業者間の情報交換を目的とした連絡会を実施した。　・開催数　３回
（２）事業所が設置する「介護サービス事業所運営推進会議（２６事業所）」への参加及び各介護サービス事業所からの相談等
（３）介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の入退所状況の把握（事業所間で調整。原則として要介護３以上の方のみが入所できるが要介護１、２の方でもやむを得ない事情（特例入所要件）があれば特例的に入所が可能）
・新規入所者数　７５人　・退所者数　６０人
・入所希望者数　１２６人
３　各種証明書の発行
・税金の障害者控除に係る控除対象者認定書　１６９件
・税金の医療費控除に係るおむつ使用確認証　９件

	４　介護保険広報啓発事業 （１）市報、ホームページ等による制度周知 （２）介護保険制度をわかりやすく説明した「介護保険なんでも読本（岡谷版)」を発刊し窓口等で配布 （３）被保険者証交付説明会（６５歳到達者説明会：対象５３０人） ・開催数　１２回（４月～３月） ・出席者数　２５１人（出席率　４７．４％） ５　事務費関係負担金 ・長野県国民健康保険団体連合会（特別徴収に係る負担金） 令和６年４月末介護保険第１号保険者数　１５，９９９人 ９５，９９４円 (9,496,506円)
介護保険広域運営事業	諏訪広域連合への負担金 １　低所得者保険料軽減負担金　９，０６７，１７４円 ２　保険給付費関係負担金　５８７，１３５，３７６円 ３　事務費関係負担金　５９，５６２，４５７円 ４　高齢者福祉事業経費負担金　１，７６６，１０６円 ５　地域支援事業費関係負担金　２６，８６８，６９３円 ６　重層的支援体制整備事業費関係負担金　１９，２２０，１７３円 (703,619,979円)
介護予防･生活支援サービス事業	介護予防ケアマネジメント事業 要支援者及び事業対象者に対して、課題分析、ケアプランの作成及び相談援助等を行うなど、必要なサービス利用に繋げ、重度化防止に努めた。 ・要支援１・要支援２認定者数：７９８人 ・事業対象者数：７１人 ・介護予防支援・介護予防ケアマネジメント 実施者数：５２８人 内、事業所委託数：１３６人 (8,369,522円)
一般介護予防事業	１　介護予防把握事業 民生児童委員による要援護高齢者台帳整備、訪問活動、地域住民や介護支援専門員等からの情報提供に基づき、支援を必要とする者を把握し、支援につなげた。 ２　介護予防普及啓発事業 （１）教室案内・申込受付業務 事業対象者、要支援・要介護認定者（認定申請中含む)、広域外住所地特例者を除いた第１号被保険者（令和６年度予定者も含む）へ教室案内を送付し、介護予防普及啓発事業の対象者リストの作成を行った。 ・対象者：１３，２７６人 ・希望者：４４４人 （２）通所型介護予防事業 ねこまぬ先のぴんぴんキラリ☆教室 運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上、認知症予防のための教室を実施し、介護予防に努めた。 ・実施教室数：　６回コース　６教室 １２回コース　２５教室 ・参加者数：４３９人

	（３）介護予防講演会 　高齢者に脳のトレーニングについて知っていただくことで、認知症を予防し日頃の健康管理に役立ててもらうために行った。 「脳を鍛える活脳トレーニング」 ・期日：令和６年８月２３日（金） ・講師：公立諏訪東京理科大学教授 　　篠原　菊紀 氏 ・参加者数：２３８人 ・健康ポイント引換券発行数：２３８枚 ３　地域介護予防活動支援事業（生きがいデイサービス事業） 　介護予防の一環として地域の支え合いを基本に、地区の公会所等を利用し、家に閉じこもりがちな高齢者の生きがいづくりと心身のリフレッシュを図った。 （岡谷市社会福祉協議会に委託） ・実施箇所：　　２５箇所（２０地区） ・登録者数：　５４７人 ・実施回数：１，５５０回　延べ参加者数：８，８５２人 ・健康ポイント引換券発行数：新規５４枚、継続３５２枚 ・引換数：新規４５枚、継続２１３枚 ４　地域リハビリテーション活動支援事業（新規グループ活動支援事業） 　地域における介護予防の取り組みを強化するために、住民運営の通いの場にリハビリテーション専門職等の派遣や相談など継続支援を実施した。 〈支援グループ〉 ・参加グループ数：継続７グループ、新規２グループ 　　登録人数：６８人 ・健康ポイント引換券 　発行数：継続４２枚、新規５枚 　引換数：継続２７枚、新規１１枚 （39,368,857円）
包括的支援事業	１　包括的・継続的ケアマネジメント事業 （１）ケアマネジメント研究部会 　市内を営業拠点とする事業所の介護支援専門員を対象にケアマネジメントの質の向上のための研究・学習を行う研究部会の開催に協力した。内１回は主任介護支援専門員更新研修に係る法定外研修として実施。 ・開催数：１０回　　参加者数　２６２人 （２）サービス事業者等連絡会 　介護サービス提供事業者等を対象に、制度等に関する情報提供、事業者間の情報交換を目的とした連絡会を実施した。 ・開催数：３回（※再掲） ２　権利擁護事業 （１）高齢者のための司法書士による無料法律相談日 ・毎月１回（第３水曜日）　　相談者　延べ１６人 （２）高齢者虐待に関する対応 ・相談件数 延べ１７８件 （実件数３４件　内、虐待を確認した実件数２２件）

	３　総合相談事業 　介護等について広く市民の相談に応じ、適切な支援へつなぐとともに、継続的な見守り等を行うため、戸別訪問等により高齢者や家族の状況等の実態把握に努めた。 ・相談件数：４，８２６件 （10,615,224 円）
生活支援・介護予防体制整備事業	地域の支え合い活動の推進を図るため、生活支援コーディネーターが中心となり、高齢者の生活課題について聴き取りやアンケート調査を実施した。生活課題に関して庁内での情報共有や、支援の方法について検討を行った。また、生活課題に対し関係機関とのマッチングや、通いの場等へ訪問し活動のサポートを行った。 １　地域に向けた活動 （１）協議体の開催 ・地域福祉ネットワーク会議（第１層）１回（参加者３７人） 「重層的支援体制整備事業及び認知症対策について」 （２）地域への訪問　４８回 ・各区、各地区研修会・会議、福祉懇談会への参加 （３）関係機関・団体の連携・協議　３１回 ・介護事業所、通いの場、行政機関、民間事業所、民生委員等 ２　生活課題に向けた活動 （１）相談件数　２８件　マッチング総数　２５９件（新規５件） ・家事支援、見守り支援など （２）岡谷市暮らしのサービス紹介の更新周知 （３）生活課題の把握 ・各区・民生委員に生活課題の聴き取り ・通いの場の参加高齢者等にアンケート調査 ・介護支援専門員に担当要介護認定者のアンケート調査 （４）生活課題に対する情報共有と支援の検討 ・買い物支援における民間事業所の活用の検討 ・地域ケア会議の実施（要介護認定者のごみ出しの実態共有） ・通いの場への移動状況について実態の情報共有 ３　介護予防に向けた活動 ・通いの場への訪問・相談件数　７４件 生きがいデイサービス、高齢者クラブ、いきいきサロン ４　研修会への参加　４回 （7,851,505 円）
認知症総合支援事業	１　認知症初期集中支援チーム 　認知症が疑われる人・認知症の人やその家族を、医療や介護の専門職であるチーム員が訪問し、医療機関の受診や介護保険サービスの利用などについての相談支援を行った。 ・対応件数：１２件 ２　認知症地域支援・ケア向上事業 　認知症の人ができる限り住み慣れた環境で暮らし続けることができるよう、当事者及びその家族への相談支援を行ったほか、支援体制の強化のため、地域の医療機関・介護サービス事業所等との連携に努めた。 （１）認知症地域支援推進員の配置３人（市職員２人、岡谷市社会福祉協議会職員１人） （２）認知症サポーター養成講座　開催数　１４回 参加者数　３３５人

	（３）認知症ステップアップ講座　　開 催 数　　２回 参加者数　　２３人 （４）講演会 第１部「オレンジ・ランプ上映会」 第２部「認知症になったわたしからあなたへ」 ・開催日：令和６年９月２８日（土） ・講　師：おれんじドアはちおうじ 若年性認知症当事者　さとう　みき氏 ・参加者数：２８０人 （12,375,033 円）
地域ケア会議推進事業	１　地域ケア個別会議（Ⅰ） 地域包括支援センターに寄せられる個別支援に関する相談のうち支援困難事例について、解決に向けての検討を行った。 ・開催数：２１回 ・延べ検討事例数：２１件（実件数１７件） ２　地域ケア会議（Ⅱ） 地域ケア個別会議等から把握された地域課題について検討し、地域のネットワーク構築などを行った。 ・開催数：８回 （19,725円）
在宅医療･介護連携推進事業	地域の医療・介護の関係機関が連携し、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の一体的な提供を目指し、各専門部会での協議や書面での情報共有等を行った。 １　代表者部会（部会員：１１名） 開催数：３回 ２　職能部会　（部会員：１７名） 開催数：３回 ３　在宅医療介護連携推進検討委員会（委員：４２名） 書面決議：１回 ４　その他 ・多職種連携研修会 地域から把握した課題について、医療介護関係者間での情報共有や課題への対応等を学んだ。 開催数：２回　参加延べ人数９２名 ・医療介護関係者の既存情報共有ツールについて、市ホームページに掲載し、関係者の活用促進を図った。 ・窓口等で配布している「介護保険なんでも読本（岡谷版）」に、将来の変化への備えとして「もしもの時のために～自分らしく生きるための人生会議～」「自分の老後について考えておきましょう！」について掲載。 ・市内医療機関、薬局、介護サービス事業所等における医療と介護の状況及び医療と介護の連携における課題等を把握し、今後の取り組みに反映するためアンケート調査を実施した。 （456,012 円）
家庭介護者支援事業	１　家庭介護者教室 介護者等に対し、介護知識の普及啓発、介護者相互の交流、介護に関する悩み等の相談に応じるなど介護者の支援と福祉の増進を図った。 （１）介護者教室及び交流会 ・実施事業所　　４事業所 ・実施回数　　２１回 ・参加者数　　４２８人

	（２）個別相談会 ・実施回数　　４回 ・参加者数　　５人 ２　要介護者介護用品購入費支給事業 要介護３以上の要介護者を在宅で介護する家族の支援として、介護用品（紙おむつ・尿取りパット）の購入に係る費用の一部を助成した。 ・要介護３以上で市民税非課税の方の在宅介護者 １０６人（月額３，０００円を限度に助成） ・市民税非課税世帯で要介護４・５の方の在宅介護者 ５１人（月額６，０００円を限度に助成） ３　家庭介護者慰労金 要介護３以上の要介護者を１年間のうち半年以上在宅介護した介護者に慰労金を贈呈した。（年額１０万円） ・対象者：介護保険サービス未利用者　４人 （4,303,205 円）
その他事業	１　介護相談員派遣事業 介護保険施設等と利用者の橋渡し役として、介護相談員を派遣して利用者からの苦情や相談に応じ、介護サービスの質の向上に努めた。また、昨年度に引き続き、市内で介護サービス事業所を運営する代表者を講師に迎えた講演会を行い、介護現場の理解に努めた。 その他、諏訪６市町村合同で開催する「第２０回諏訪地域介護相談員研修会」に参加し、自分らしい生き方・逝き方をテーマに講演を聞き、生涯自分らしく生きる（暮らし続ける）ための取り組みについて理解を深めた。 ・介護相談員　　１８人　・訪問対象施設　　２３施設 ・施設訪問回数　７８９回　※運営推進会議含む。 ・講演会日時：令和６年１１月２２日（金）午後２時００分～ 場所：岡谷市役所９階大会議室 ・第２０回諏訪地域介護相談員研修会 日時：令和６年１１月８日（金）午後２時００分～ 場所：諏訪市総合福祉センター「湯小路いきいき元気館」 ２　２４時間緊急時駆けつけ安心サービス事業 ひとり暮らし高齢者等の緊急事態等における通報手段を確保するため、緊急通報端末を貸与し緊急事態等への対応を図った。 ・利用者数　　８９人 ３　配食サービス事業 食の自立支援事業として、虚弱でひとり暮らしの高齢者等で安否確認が必要な者に対し、配食サービスを行った。 ・物価高騰による配食サービスの値上げに対応し、利用者負担を据え置き、１日１食、週７回までの公費負担上限額を５月から１食２２０円を２７０円に変更した。 ・利用者　　２５８人 ・配食数　３３，３２２食 ４　成年後見制度利用支援事業 判断能力が不十分な認知症高齢者の福祉の増進を図るため、市長申し立てが必要な者に対し、成年後見の申し立てを行った。 ・市長申立て人数　３人 （14,110,372円）

第３　主要な統計、行政資料等

１　高齢者福祉の状況

養護老人ホーム措置状況（令和７年３月 31 日現在）　（単位：人）

区　分	５年度末入所人員	６年度中の増減		６年度末入所人員
		入　所	退　所	
岡谷和楽荘	27	2	8	21
聖　母　寮	4	1	3	2
寿　和　寮	4	1	2	3
光　の　園	2	0	1	1
松　風　園	1	0	0	1
ハートヒル川路	0	1	0	1
合計	38	5	14	29

２　介護保険の状況（諏訪広域連合資料）

（１）被保険者数等の状況　（令和７年３月 31 日現在）

区　　分	諏訪広域連合（人）		岡　谷　市（人）		備　　考
	計画数	実績数	計画数	実績数	
第１号被保険者数	63,124	62,789	15,972	15,843	（　）内の数値は、第２号被保険者数
要介護・要支援者数	11,497	11,551 (165)	3,031	2,996 (46)	

（２）要支援・要介護認定の状況　（令和７年３月 31 日現在）

要介護度	諏訪広域連合		岡　谷　市	
	人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）
要支援１	1,482	12.83	410	13.69
要支援２	1,478	12.79	388	12.95
要介護１	3,000	25.97	768	25.63
要介護２	1,925	16.67	477	15.92
要介護３	1,447	12.53	350	11.68
要介護４	1,306	11.31	367	12.25
要介護５	913	7.90	236	7.88
合　　計	11,551	100.00	2,996	100.00

（３）介護保険料の状況（所得段階別第１号被保険者数）（令和７年３月 31 日現在）

住民税 本人	住民税 世帯	前年の合計所得金額など		保険料段階	諏訪広域連合 人数（人）	諏訪広域連合 割合（%）	岡谷市 人数（人）	岡谷市 割合（%）
●非課税	●非課税	老齢福祉年金を受給している方　生活保護を受けている方		第１段階	5,238	8.34	1,239	7.82
		前年の合計所得金額から公的年金等に係る雑所得を控除した金額と課税年金収入額の合計	80 万円以下の方					
			80 万円を超えており 120 万円以下の方	第２段階	5,844	9.31	1,490	9.41
			120 万円を超えている方	第３段階	5,897	9.39	1,550	9.78
	●課税		80 万円以下の方	第４段階	4,108	6.54	997	6.29
			80 万円を超えている方	第５段階（基準値）	11,932	19.00	3,230	20.39
●課税		前年の合計所得金額	80 万円未満の方	第６段階	5,115	8.15	1,192	7.52
			80 万円以上 125 万円未満の方	第７段階	6,220	9.91	1,539	9.71
			125 万円以上 200 万円未満の方	第８段階	7,974	12.70	2,049	12.93
			200 万円以上 300 万円未満の方	第９段階	5,332	8.49	1,318	8.32
			300 万円以上 400 万円未満の方	第 10 段階	2,137	3.40	508	3.21
			400 万円以上 600 万円未満の方	第 11 段階	1,527	2.43	380	2.40
			600 万円以上 1,000 万円未満の方	第 12 段階	763	1.22	178	1.12
			1,000 万円以上 1,500 万円未満の方	第 13 段階	317	0.51	77	0.49
			1,500 万円以上の方	第 14 段階	384	0.61	96	0.61

（４）諏訪広域圏内介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）待機者の状況

ア　介護度別の状況（令和７年３月 31 日現在）　（単位：人）

区　分	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	富士見町	原村	合　計
要介護１	1	2	1	4	0	0	8
要介護２	4	0	1	4	2	1	12
要介護３	40	40	57	28	15	3	183
要介護４	42	46	42	19	8	3	160
要介護５	39	19	20	13	12	3	106
合　計	126	107	121	68	37	10	469

イ　過去５年の推移　（各年度末）　（単位：人）

年度	岡谷市	諏訪市	茅野市	下諏訪町	富士見町	原村	合　計
Ｒ２	156	131	130	73	33	28	551
Ｒ３	154	115	120	83	37	16	525
Ｒ４	139	114	126	62	34	22	497
Ｒ５	163	125	130	67	36	17	538
Ｒ６	126	107	121	68	37	10	469

３　地域包括支援センターの状況

（１）介護予防ケアマネジメント状況　（令和７年３月 31 日現在）　（単位：人）

事業対象者	認　定　者		介護予防ケアマネジメント	
	要支援１	要支援２	直営	委託
71	410	388	392	136
	合　計　798		合　計　528	

（２）総合相談　過去３年間の状況　（単位：件）

	生活・在宅サービス	介護保険・施設関係	福祉・医療関係	情報提供・実態把握	権利擁護関係	認知症関係	その他	合計
Ｒ４	1,659	1,034	887	635	285	430	198	5,128
Ｒ５	1,639	816	1,065	1,079	320	473	156	5,548
Ｒ６	1,461	535	748	1,363	249	372	98	4,826

４　任意事業

・２４時間緊急時駆けつけ安心サービス　過去５年の推移(各年度末)

利用者数　（単位：人）

年度	利用者数
Ｒ２	107
Ｒ３	106
Ｒ４	89
Ｒ５	98
Ｒ６	89

子　ど　も　課

第１　概説

子ども課では、岡谷市子ども・若者育成支援計画及び第２期岡谷市子ども・子育て支援事業計画に基づき、輝く子どもの育成をめざした事業を実施し、計画の推進を図るとともに、すべてのこどもたちが身体的、精神的、社会的に幸せな生活を送ることができる「こどもまんなか社会」の実現のため、新たに岡谷市こども計画を策定した。

１　児童福祉、子育て支援

子育て支援では、子ども家庭総合支援拠点及び子育て世代包括支援センターの両方の機能を持ち、さらに子ども教育相談センターと連携したこども家庭センター“まゆっこベースおかや”を開設し、子どもが心身ともに健やかに育成されるよう、周産期から青年期までの相談支援体制のワンストップ化と子育て支援体制の充実を図った。また、岡谷市要保護児童対策地域協議会を開催し、家庭児童相談員を中心に各関係機関と連携しながら、児童虐待の防止、早期発見等に努めた。

物価高騰の影響等を踏まえ、低所得の子育て世帯に対して国庫補助及び県補助による各種給付金を支給した。

２　保育所・認定こども園・幼稚園

子ども・子育て支援新制度のもと、各保育園等において通常保育・長時間保育等を実施し、病児・病後児保育など、ニーズに合わせた保育を提供した。

保育園等の運営では、３歳未満児の保育料について、県の支援策に基づき第２子は半額、第３子以降を完全無償化とするとともに、市独自の支援策として、一定の要件を満たす子育て世帯については、第１子から完全無償化とした。

また、物価高騰等への対応として、給食費の値上げ相当分を公費で負担するとともに、市内私立保育所等に対しては、食糧費や光熱水費等の一部を負担するなど、経済的な負担軽減を図ったほか、施設型給付費の支出及び運営費等の補助を行い、運営支援に努めた。

休園中となっていたつるみね保育園については、三沢区から借用の申し出を受け、令和７年２月１９日をもって閉園とした。

岡谷市保育園整備計画中期計画の推進では、公立の幼保連携型認定こども園を整備することについて、施設整備の基本設計及び実施設計を行った。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
地域子育て事業	１　子ども食堂等関係団体連絡会事業 　様々な家庭環境で育つ子どもを支える居場所が地域に広がり、継続した取り組みとなるよう関係団体と行政による連絡会において、連携強化を図るとともに課題の検証等を行い、支援策を検討した。 ・連絡会２回、研修会１回（参加数１３団体） ２　病児・病後児保育事業 　病気や病気回復期にあり、家庭や保育園での保育が困難な児童を受け入れるため、民間医療機関に委託し、実施した。　9,905,000円 ・利用日数１９２日　延べ利用者数３６６人 ３　育児ファミリー・サポート・センター事業 　児童の預かりに係る相互援助活動の事業を岡谷市社会福祉協議会に委託し、実施した。　1,000,000円 ・依頼会員３３人、提供会員２３人、依頼・提供会員０人 ・延べ利用回数２１回 ４　ショートステイ事業 　家庭での養育が一時的にできなくなった子どもの宿泊預かり事業を児童養護施設つつじが丘学園・松本赤十字乳児院に委託して実施した。　144,375円 ・延べ利用者数３０人 ５　“未来のげんきっず”応援事業 　子育て家庭への支援として、出産時やこどものくに入館時にオカヤペイのポイントをプレゼントし、経済的な支援を行った。 ・出産時（5,000 ポイント）：２３９名 ・こどものくに入館時（5ポイント）：４，０３７件 ６　子育て支援アプリ“げんきっずおかや”事業 　子育て世代が最も利用しているスマートフォンの特性を活かして、妊娠、出産、子育てに必要な情報を入手し、パーソナルデータの記録・管理ができる総合的な子育て支援アプリを通じて、情報の提供を行った。　610,200円 ・新規登録件数　　９６件（総件数　１，２２４件） ７　児童遊園整備補助事業 　各地区管理の児童遊園について、整備にかかる補助金を交付し、児童の健全育成と安全確保に努めた。　17,500円 ・三沢区全５ヶ所児童遊園の砂入れ ８　子育て応援協賛店パスポート事業 　長野県将来世代応援県民会議事務局と連携・協働し、県内外の協賛店舗での買い物時に各種子育て支援サービスが受けられるパスポートを県外からの転入世帯等に随時配布する事業を実施した。 ９　子育てパパ・ママリフレッシュ事業 　乳児を養育している保護者の心身のリフレッシュ、育児負担の軽減を図るため、満１歳以上２歳未満の保護者へ利用券を配布し、保育所での休日保育、一時保育サービスの提供を行った。 ・利用券配布者数　　２０５人 ・保育サービス利用者数　　２１人（うち休日利用０人） （16,517,770円）
地域子育て支援センター事業（子育て支援館「こどものくに」）	１　子育て支援館「こどものくに」運営事業 　子育て支援館「こどものくに」において、子育て支援に向けた各種事業を実施した。 　年間延べ来館者数　３０，０６６人

	（１）学び、支えあい事業（身近なテーマを取り上げた講座） ・子育て講座（親子運動遊び、ヨガ、フラダンス、リトミック、クリスマス工作など） 計１４回開催　延べ参加者　２２５人 ・ＮＰプログラム　計１０回開催　延べ参加者　６９人 ・おしゃべりカフェ　計　１回開催　延べ参加者　８人 （２）相談事業 ・育児相談（看護師、保育士による常時の育児相談） ・子育て相談（心理相談員による月１回子育て相談） 年間相談総数　計１，８９３件 （３）情報提供 ・ホームページ、母子モ・掲示板による情報発信 ・お便り、「こどものくに新聞」、「こころ・からだ」の発行 （４）ひろば事業 親子の触れ合いや交流の場を提供し、育児支援を行った。 ・わくわくタイム　毎日１１時・１５時２回開催 ・つくっちゃおう　毎月１回開催 延べ参加者　１３１組 ・クリスマス等の季節行事（「クリスマス」「豆まき」「大きくなったね会」など）　延べ参加者　３３０人 ・ベビーマッサージ　第３木曜日 延べ参加者　４７組 ・おおきなおはなしたまご第３金曜日 延べ参加者　１４５組 ２　地域子育て支援拠点事業 子育て支援センターや地域と連携し、子育て支援を行った。 ・サークルの育成 育児談話室による活動の場の提供と支援、施設管理を行った。 ・子育て相談 保育士・看護師による訪問、相談を行った。 ・地域におけるサークルと指導者の育成 訪問講習（７地区）や体験会、研修会を行った。 ・子育てに関する情報収集と提供を行った。 （15,250,707円）
発達支援事業	１　子ども発達支援センター事業 ・心身の発達に支援を必要とする未就園の児童に対し、機能訓練及び日常生活のための訓練、保護者への家庭における訓練方法の指導、療育に関し相談支援を行った。 利用児童数　延べ７２３人 ・保育園等へ通園中の児童に対して、小集団で遊びながら力を伸ばすための１日療育支援を実施した。 ほっぷ・すてっぷ・じゃんぷクラス 年少クラス　延べ３３人、年中クラス　延べ５７人 年長クラス　延べ４９人 ・未就学児のことばの訓練教室『ことばの教室』を実施した。 開催日数１７６日　延べ利用者５８３人 ２　その他発達支援事業 発達障がいや発達特性のある子どもとその保護者に対し、早期段階から支援を行うため、フォローアップ教室を開催した。 ・フォローアップ教室　参加児童数３０人 （11,920,480 円）

子ども発達支援センター管理事業	イルフ西堀保育園に併設した子ども発達支援センターに専門センター長を置き管理した。 (4,861,285円)
児童手当支給事務	国の制度改正に伴い令和６年１０月分より拡充を図った。 ・支給月額 （令和６年２月～令和６年９月） ３歳未満　一律　月 15,000 円 ３歳以上小学校修了前　第１・２子は月 10,000 円、第３子以降は月 15,000 円 中学生　一律　月 10,000 円 特例給付　一律　月 5,000円（所得制限限度額以上） （令和６年１０月以降（所得制限なし）） ３歳未満　第１・２子　月 15,000 円 ３歳以上高校生年代　月 10,000 円 第３子以降　月 30,000 円 ・支給状況 （令和６年２月～令和６年９月分）延べ児童数 ３歳未満　4,873 人　73,095,000 円 ３歳以上 小学校修了前　20,356 人　217,055,000 円 中学生　7,807 人　78,070,000 円 特例給付　1,461 人　7,305,000 円 （令和６年１０月～令和７年１月分及び２月、３月随時分） ３歳未満　第１・２子　2,106 人　31,590,000 円 第３子以降　377 人　11,310,000 円 ３歳以上　17,875 人　178,750,000 円 第３子以降　2,489 人　74,670,000 円 合計　57,344 人　671,845,000 円 (678,881,116 円)
保育所管理運営事業	１　子育て支援センター事業（にこにこ子育て支援事業） 親子の交流、相談、情報交換の場として、保育園併設の子育て支援センターに相談員を配置し育児支援を行った。 ・あやめ、みなと、川岸保育園　延べ利用者数　４，０５８人 ・ひまわり保育園　延べ利用者数　５３９人 ２　運営管理 ・休園中の若草保育園、夏明保育園について施設の適正管理に努めた。 ・休園中となっていたつるみね保育園については、三沢区から借用の申し出を受け、令和７年２月１９日をもって閉園とした。 ３　保育園健康管理事業 園児の健康管理のため、各種健康診断、検査等を実施したほか、食育推進についての調査、研究や保護者対象の講座、実習などを実施し、園児の健康増進に努めた。 ４　保育職員研修事業 多様化する保育ニーズに応えるため、各種職員研修を実施し、保育園職員の資質の向上に努めるとともに、園長会、主査会、栄養士会等を定期的に実施して保育内容の充実を図った。 ５　ぼくもわたしも　おかやっ子事業 岡谷の歴史・文化・地域資源に触れ合う機会として体験型事業を実施した。 ・もろこし収穫体験　３園実施 ・みそ作り体験　８園実施

	６　飛び出せ元気な　おかやっ子事業（スケート体験） 　年長クラスを対象に伝統スポーツであるスケートに親しむ事業を実施した。 ７　世界にタッチ“英語に触れよう”事業 　国際交流員により、英語や外国文化に触れる事業を実施した。 ８　やってみようキッズエプロン隊事業 　季節や旬の食材を活用し、児童が実際に見て、触れて、食べる一連の体験を実施した。(共通食材　春の野草・いも類) ９　価格高騰対策支援事業 　物価高騰等による影響を受けている市内２私立保育園及び地域型保育事業所に対して、光熱水費等の一部を負担した。498,000 円 １０　私立保育園運営費等補助事業 　市内２私立保育園及び地域型保育事業所の運営に対する補助を行い、児童の処遇向上と保育内容の充実を図った。　33,835,450 円 １１　多子世帯副食費支援事業 　幼児教育・保育の無償化により施設が保護者から実費徴収する副食費について、多子を養育する世帯に対する減免（第２子５０％、第３子以降１００％）を実施した。　1,716,750 円 １２　子育て応援　３歳未満児保育料軽減事業 　３歳未満児の保育料について、低所得世帯及び多子世帯の保育料を軽減することにより、子育て世帯の経済的な支援を図った。 ・対象者　７５人 １３　保育園給食食材費物価高騰対策事業 　物価高騰等の影響による食材費の高騰分を公費負担し、栄養価と量を満たした給食を提供した。 （753,985,204 円）
保育所整備事業	１　小口保育園屋外階段建替工事 　安全・安心な保育環境の整備を図るため、老朽化した小口保育園の屋外階段を建替え、非常時の避難通路の確保を行った。 8,723,000 円 ２　公立保育所移管整備事業 　岡谷市保育園整備計画に基づく保育所整備事業により、市が開設した保育所の移管運営法人(学校法人信学会)に対し、信学会東堀こども園整備事業にかかる補助を行った。　11,731,004 円 （20,454,004 円）
認定こども園運営事業	１　価格高騰対策支援事業 　物価高騰等による影響を受けている信学会東堀こども園に対し、光熱水費等の一部を負担した。　330,000 円 ２　運営費等補助事業 　信学会東堀こども園の運営に対する補助を行い、児童の処遇向上と保育内容の充実を図った。　12,399,860 円 ３　多子世帯副食費支援事業 　幼児教育・保育の無償化により施設が保護者から実費徴収する副食費について、多子を養育する世帯に対する減免（第２子５０％、第３子以降１００％）を実施した。　1,894,500 円 （152,947,470 円）
物価高騰重点支援給付金子育て世帯加算分支給事業(住民税均等割のみ課税世帯)	社会福祉課が実施する物価高騰重点支援給付金（住民税均等割のみ課税世帯）受給者のうち、１８歳以下の児童と同一世帯となっている世帯主に子育て世帯加算分を支給した。(国補助) ・対象者　　２８０世帯　対象児童　４９７人 ・給付額　　24,850,000 円（児童一人あたり５万円） （27,870,632 円）

物価高騰重点支援給付金子育て世帯加算分支給事業(令和６年度新たに住民税非課税となる世帯等)	社会福祉課が実施する物価高騰重点支援給付金（令和６年度住民税非課税世帯又は令和６年度住民税均等割のみ課税世帯）受給者のうち、１８歳以下の児童と同一世帯となっている世帯主に子育て世帯加算分を支給した。(国補助) ・対象者　　６９世帯　対象児童　１０３人 ・給付額　　5,150,000 円（児童一人あたり５万円） (6,250,700 円)
物価高騰重点支援給付金子ども加算分支給事業（令和６年度住民税非課税世帯）	社会福祉課が実施する物価高騰重点支援給付金（令和６年度住民税非課税世帯）受給者のうち、１８歳以下の児童と同一世帯となっている世帯主にこども加算分を支給する。(国補助) ・実施期間　令和７年度中実施（翌年度へ全額繰越） ・給付世帯　物価高騰重点支援給付金（令和６年度住民税非課税世帯）対象者のうち、１８歳以下の児童を扶養している世帯 ・給付額　　11,600,000 円（児童一人あたり２万円） ・事務費　　2,900,000 円 (0 円)
価格高騰特別対策支援金こども加算分支給事業（住民税均等割のみ課税世帯等）	社会福祉課が実施する価格高騰特別対策支援金(住民税均等割のみ課税世帯等）受給者のうち、１８歳以下の児童と同一世帯となっている世帯主にこども加算分を支給する。(県補助) ・実施期間　令和７年度中実施（翌年度へ全額繰越） ・給付世帯　価格高騰特別対策支援金給付事業の対象者のうち、１８歳以下の児童と同一世帯及び扶養している世帯 ・給付額　　3,000,000 円（児童一人あたり２万円） ・事務費　　1,600,000 円 (0 円)
私立幼稚園教育振興事業	１　価格高騰対策支援事業 物価高騰等による影響を受けている市内３私立幼稚園に対して、光熱水費等の一部を負担した。　530,000円 ２　私立幼稚園運営費等補助事業 幼児教育の推進、充実支援のため、市内３私立幼稚園に対して運営費等の補助を行った。　3,668,610円 ３　多子世帯副食費支援事業 幼児教育・保育の無償化により施設が保護者から実費徴収する副食費について、多子を養育する世帯に対する減免（第２子５０％、第３子以降１００％）を実施した。　1,155,060円 (95,053,340円)
こども家庭センター“まゆっこベースおかや”設置事業	令和６年４月１日にこども家庭センター“まゆっこベースおかや”を開設。子ども家庭総合支援拠点及び子育て世代包括支援センターの機能を維持した上で、さらに子ども教育相談センターと連携し、周産期から青年期まで一体的に相談支援を行った。 ・こども家庭センター“まゆっこベースおかや” 全体打ち合わせ　１回、主幹打ち合わせ随時、プラン作成　３件 ・家庭児童相談は、家庭児童相談員により家庭、保育園等における児童に係わる相談、指導を行った。 相談件数　　延べ　２，８８７件（子ども課分） ・要保護児童対策地域協議会を開催し、関係機関の連携を図った。 代表者会議１回、実務者会議４回、研修会１回、 ケース検討会７２回

子ども・子育て支援審議会	子ども・子育て支援法に基づく審議会として、子育て支援施策に関する審議を行うために会議を開催した。 ・子ども・若者育成支援計画及び第２期子ども・子育て支援事業計画に関する取り組み状況及び川岸学園整備に関する報告 ・岡谷市こども計画及び第３期子ども・子育て支援事業計画の策定に関する協議等 審議会　６回開催　273,000円
保育園整備計画の推進	令和４年度に策定した岡谷市保育園整備計画中期計画に基づき、川岸小学校地内に公立の幼保連携型認定こども園を整備することについて、施設整備の基本設計及び実施設計を行った。 また、財源確保のため都市構造再編集中支援事業の申請に向け、庁内会議の開催や県と協議を行った。

第３　主な統計、行政資料等

１　児童福祉

（１）　児童福祉施設入所状況

施設別	年度当初(6.4.1)	年度末(7.3.31)
保育所等	※きらり、信学会含　人 1,031	人 1,090
乳児院	2	2
養護	15	14
児童自立支援	0	1
情緒障がい児	0	1
里親	1	1
その他	0	0
計	1,049	1,109

（２）　家庭児童相談状況

種別	相談件数	種別	相談件数
養護相談	件 2,625	保健相談	件 2
障がい相談	2	非行相談	1
育成相談	116	その他	141
計			2,887

２　子育て支援館「こどものくに」利用状況

年度	登録組数	利用延べ組数	利用者数
令和６年度(A)	組 1,552	組 11,993	人 30,066
令和５年度(B)	1,529	12,335	30,936
増減(A)-(B)	23	△342	△870

3　保育所

（1）　保育所別児童入所状況

区分		保育所	児童数 定員	児童数 延べ人員	児童数 月平均人員	うち広域入所（受託）児童数（延べ）
			人	人	人	人
市内保育所等	公立	小口保育園	110	851	71	
		今井保育園	90	602	50	
		あやめ保育園	120	1,372	114	9
		川岸保育園	90	1,114	93	
		夏明保育園（休園）	60	0	0	
		成田保育園	90	629	52	36
		みなと保育園	90	562	47	18
		長地保育園	150	1,126	94	
		若草保育園（休園）	90	0	0	
		西堀保育園	120	1,136	95	
		神明保育園	120	1,309	109	12
		横川保育園	90	759	63	
		つるみね保育園（2月19日閉園）	90	0	0	
		計	1,310	9,460	788	75
	私立	信学会東堀こども園（2、3号）	120	1,414	118	
		聖ヨゼフ保育園岡谷	80	890	74	44
		ひまわり保育園	60	730	61	
		きらり岡谷市民病院園	19	135	11	
		計	279	3,169	264	44
	合計		1,589	12,629	1,052	119
市外保育所等（委託）			－	112	9	－
総合計			－	12,741	1,061	119

※合計欄の月平均人員は合計延べ人員を12ヶ月で除したものです。

（2）　保育料階層別児童状況

区分	年間延べ人数 全額	年間延べ人数 半額	年間延べ人数 無料及び無償化
階層＼保育料負担	全額	半額	無料及び無償化
	人	人	人
第1階層	0	0	0
第2－1階層	0	0	493
第2－2階層	0	0	303
第3－1階層	0	0	209
第3－2階層	0	0	673
第4階層	277	320	1,774
第5階層	421	531	3,118
第6階層	287	305	2,546
第7階層	18	33	456
第8階層	18	19	488
計	1,021	1,208	10,060
合計	12,289（広域入所及び公立交流保育児童を除く。）		

（３）　特別保育事業

区　分		実施保育所	保育時間
長時間保育	平日	小口、今井、あやめ、川岸、成田、みなと、長地、西堀、神明、横川、信学会東堀こども園、聖ヨゼフ岡谷	7：30～19：30
		ひまわり	7：00～19：30
		きらり岡谷市民病院園	7：30～20：00
	土曜	小口、今井、あやめ、川岸、成田、みなと、長地、西堀、神明、横川	7：30～18：30
		聖ヨゼフ岡谷、信学会東堀こども園	7：30～19：30
		ひまわり	7：00～18：30
		きらり岡谷市民病院園	7：30～20：00
一時保育	あやめ、聖ヨゼフ岡谷		8：00～16：00
	ひまわり		7：00～18：30
	きらり岡谷市民病院園		8：00～17：00
休日保育	あやめ		8：00～19：00

４　幼稚園児数及び学級数　　（令和６年５月１日現在）

	定　員	学級数	在園児数	うち市内在住者
聖母幼稚園	70	3	62	47
ヤコブ幼稚園	60	3	50	33
瑞穂幼稚園	15	3	13	5
信学会東堀こども園（1 号）	15	－（保育認定と同室）	11	11
計	160	9	136	96

健　康　推　進　課

第１　概説

健康推進課では、「第４次岡谷市健康増進計画」に基づき、福祉、医療との連携を図りながら、総合的な健康づくりを推進した。

岡谷健康福祉施設については、女子サウナ室修繕工事、男女浴槽ろ材交換、配管洗浄等施設機器修繕工事を実施し、安全な施設の維持に努めた。

予防事業では、予防接種法に基づき、令和６年度から新たにＢ類定期接種となった新型コロナウイルス感染症のほか各種予防接種を実施した。

母子保健事業では、母子保健法に基づく妊婦一般健康診査、産婦健康診査、乳幼児健康診査、新生児聴覚検査、産後ケア事業、母子訪問指導及び各種教室等を実施し、妊娠・出産・育児に関する知識の普及を図るとともに、妊娠時から妊産婦等に寄り添い、ニーズに応じて必要な支援につなげる伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施し、安心して子育てのできる環境づくりに努めた。また、伴走型相談支援の更なる充実のため、どこにいても簡単に小児科医等に相談できる「小児科・産婦人科オンライン相談事業」を新たに導入した。

健康管理事業では、第４次岡谷市健康増進計画に基づく「健康貯金事業」を展開し生活習慣病予防対策等の強化を図るとともに、事業開始から４年目となる「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業」では、高齢者の多様な課題に対し、個別的支援や通いの場等への関与など、きめ細やかな支援に努めた。

また、各種検診を実施するとともに、検診受診者等に「オカヤペイ」のポイントを付与する「健康ポイント事業」を実施し市民の健康増進に対する意識の啓発を図った。

そのほか、がん患者の就労や社会参加支援を目的とし、治療に伴う補整具の購入費の一部を助成する「がん治療アピアランスケアサポート事業」を実施するとともに、熱中症予防のため指定暑熱施設と一時休憩所の機能を備えた『涼みどころ　おかやクールベース』を新たに設置した。

岡谷市看護専門学校では、岡谷市病院事業をはじめとする実習受入れ機関の協力のもと、所定のカリキュラムに基づいた教育を行い、地域医療に貢献する看護師の養成に取り組んだ。

また、令和４年度から実施している社会人入学試験の見直しを行い、就業状況により学力試験の一部を免除した。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
岡谷健康福祉施設管理事業 （ロマネット）	指定管理者に㈱やまびこスケートの森を指定し、市民の健康福祉の増進に努めた。電気・ガス料金などの物価高騰の影響から令和６年４月１日に利用料金を見直したが、回数券を発行するなどサービスの向上に努め、利用者増に繋げた。 ・利用者数　　２５１，１２３人 （開館日数３１５日、１日平均７９７人） （朝風呂　５４，２５４人　浴室利用　１９５，１３２人 無料利用者　１，７３７人） ・利用料収入　　１０１，６９１，８９３円 ・岡谷健康福祉施設女子サウナ室修繕工事　７８３，２００円 （5,957,927 円）
保健衛生総務管理事務	１　休日在宅当番医制事業 住民の休日における初期救急医療の確保のため、休日在宅当番医制事業を岡谷市医師会へ委託し実施した。 ・委託料　１，７９１，５４２円 ２　病院群輪番制病院運営事業 住民の夜間、休日における入院治療を必要とする重症救急患者の医療確保のため、諏訪広域連合で諏訪地域の６病院を指定し、病院群輪番制病院運営事業を行った。 ・負担金　８，１３７，２０８円 ３　諏訪市医師会附属准看護学院補助金 地域医療の充実を図るため、諏訪市医師会附属准看護学院に補助金を交付し、運営を支援した。 ・補助金　８００，０００円 ４　小児科・産婦人科オンライン相談事業 妊娠、出産、子育てまでの切れ目のない伴走型支援の更なる充実のため、どこにいても簡単に小児科医、産婦人科医、助産師とつながることができるオンライン相談を導入した。 ・登録数　２８９人　相談件数　延べ５４３件 委託料　３，１６８，０００円 ５　看護師修学支援貸付金 岡谷市看護専門学校の学生に対し、修学支援として貸付金の貸与を行った。 ・６件　１，８００，０００円 ６　献血事業 医療用血液確保のため、長野県赤十字血液センター（諏訪出張所）、諏訪保健福祉事務所とともに、市内事業所への献血協力依頼や街頭献血等を実施した。 ・年間献血者数　延べ１，１２３人 （186,498,996円）
保健センター管理事業	各種健（検）診、健康教室、栄養教室等の受診・受講者が安全に利用できるよう、保健センターの管理を行った。 ・栄養指導室ビルトインコンロ修繕工事他 計３件　４９１，５９０円 （2,535,426円）

保健委員事業	市民一人ひとりが健康への関心を高め、健康づくりを実践していけるよう地域で活動する保健委員連合会に対し活動負担金の助成を行うとともに、その活動や会の運営に対して支援を行った。 ※社会環境等の変化による、健康に対する市民ニーズの多様化、就労環境の変化や感染症の影響等による活動の縮小などから、地区保健事業の見直し及び地区の負担軽減を考慮し、令和６年度をもって保健事務嘱託員制度の廃止及び保健委員連合会を解散した。 ・保健委員連合会活動負担金　１，５９２，７５６円 ・保健委員連合会役員会　１回　４人 ・保健委員連合会理事会　２回　３３人 ・地区保健委員会いきいき健康学習　３０８回　５，２１９人 ・保健事務嘱託員研修　３回　１０１人 (3,679,296円)
予防事業	感染症の予防とまん延防止を目的とし、予防接種法に基づき、新たにＢ類定期接種となった新型コロナウイルス感染症を含む各種予防接種を実施した。 【個別接種】 麻しん風しん混合（第１期･第２期)、日本脳炎(第１期・第２期・特例)、水痘、子宮頸がん、Ｈｉｂ、小児用肺炎球菌、Ｂ型肝炎、五種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ・Ｈｉｂ)、四種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ)、二種混合（ジフテリア・破傷風)、ＢＣＧ、ロタウイルス、高齢者インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌、高齢者新型コロナウイルス感染症 ○風しんの追加的対策 昭和３７年４月２日から昭和５４年４月１日までの間に生まれた男性を対象に、風しん抗体検査及び予防接種を行い、風しんのまん延防止と先天性風しん症候群の発症を予防した。 ・令和６年度の対象者（昭和３７年４月２日から昭和５４年４月１日までの間に生まれた男性）の内未受診者　３，２５６人 ・抗体検査受診者　１６５人 ・抗体検査受診者のうち抗体価陰性の方　３６人 ・陰性の方のうち予防接種を受けた方　２４人 １，３８４，０４８円 ○定期予防接種県外接種者給付金 給付実績３８人（７ワクチン１０９回）２，３９４，４６８円 (171,016,904円)
母子保健事業	母性並びに乳幼児の健康の保持増進を図るため、妊産婦、乳幼児及びその家族等に対して、各種教室や相談事業を実施し、妊娠・出産・育児に関する知識の普及を図るとともに、安心して子育てができる環境づくりに努めた。 １　母子健康手帳の交付 妊娠届の受理を行い、母子健康手帳の交付を行った。また、交付の際、マタニティアンケートを実施し、妊婦の健康状態や生活の状況を把握し、必要な保健指導を行った。 ・母子健康手帳発行数　２２８件 ２　相談事業 （１）保健センター育児相談 ・育児相談　毎月２回　２４回　４６７人 ・栄養相談　毎月２回　２４回　２２２人 ・歯科相談　毎月２回　２４回　６０人

（２）随時相談
・面接相談　　１６件
・電話相談　　３０件
・オンライン相談　１件
（３）女性のための健康相談
妊娠や出産にかかわる相談や思春期から更年期まで女性の健康に関する相談について、助産師が予約制の個別相談を実施する機会を設けた。

３　教室関係
・パパママ教室　　１２回　１９６人
・離乳食教室　　３５回　２３２人
・２歳児にこにこ教室　　１４回　２４６人
・むし歯予防教室（フッ素塗布）　　１４回　２２３人
・思春期健康教育事業　市内４中学校３年生　４回　３６４人

４　保育園・学校歯科指導
・保育園・幼稚園　　２６回　５２０人
・小・中学校　　１５回　２０６人

５　不妊及び不育症治療費助成事業
不妊治療等を行っている夫婦に医療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図った。
・助成件数　　４５件　１，６５５，１２１円
≪内訳≫
・一般不妊治療　１４件　　３２８，４５７円
・生殖補助医療　３１件　１，３２６，６６４円

６　未熟児養育医療給付事業
養育のために入院が必要な未熟児に対して、その養育に必要な医療費の支給を行った。
給付実件数　　５件（延べ１８件）
給付延べ日数　　４１６日
総医療費　　２，５０６，４８６円
※うち公費負担額　１，６９４，４７６円

７　産後ケア事業（相談型・訪問型）
産後の母親を対象に助産師による「乳房マッサージ等乳房管理指導」、「沐浴・授乳等育児指導」を医療機関等に委託し実施した。
・委託医療機関等　延べ利用回数　３８２回　７８８，０００円
・その他医療機関等　　延べ利用回数　８回　　２５，０００円

８　産後ケア事業（宿泊型・通所型）
産後支援を必要とする母子に対して、医療機関等で宿泊等による心身のケアや育児サポート等を行った。
・宿泊型　利用者数　１４人　延べ３６日　６３８，８００円
・通所型　利用者数　１０人　延べ３２日　２８８，０００円
・その他医療機関等
利用者数　　１人　延べ　４日　　７２，０００円

９　妊婦一般健康診査
母体及び胎児の継続的な健康管理を行うため、妊娠中の健康診査（基本健康診査（１４回）・追加検査（５回）・超音波検査（４回））を実施した。
○長野県医師会及び長野県助産師会に委託。
・受診券交付人数　　２２８人
・健診受診者実人数　　３４９人
・基本健診延べ受診回数　２，６３９回
・追加検査延べ受診回数　１，０４０回

	・超音波検査延べ受診回数　８４５回 ○里帰り等により県外で受診した経費について助成。 ・助成件数　１５件 ・延べ受診回数　６７回 ・補助金支給合計額　４２１，４５４円 １０　産婦健康診査 母体の身体的機能の回復、授乳状況及び精神状態の把握等のため、産後２週間・１か月の産婦に対する健康診査を実施した。 ○長野県医師会及び長野県助産師会に委託。 ・受診券交付人数　２２８人 ・健診受診者実人数　２２７人 ・２週間健診延べ受診回数　１９４回 ・１か月健診延べ受診回数　２１１回 ○里帰り等により県外で受診した経費について助成。 ・助成件数　９件 ・延べ受診回数　１５回 ・補助金支給合計額　６９，６６０円 １１　新生児聴覚検査 聴覚障がいによる音声言語発達等への影響を最小限に抑えるため、早期発見・早期療育を目的とする新生児聴覚検査を実施した。 ○長野県医師会及び長野県助産師会に委託。 ・受検票交付人数　２２８人 ・受検実人数　２０５人 ○里帰り等により県外で受検した経費について助成。 ・助成件数　１１件 ・補助金支給合計額　５４，０００円 １２　家庭訪問指導事業 乳幼児のいる家庭に対して訪問を実施し、乳幼児健康診査や予防接種をはじめ育児に関する情報を提供するとともに、産婦及び乳幼児の健康管理を行った。また、必要者には継続的な支援や必要なサービスの提供を行った。 （１）訪問指導 ・妊産婦訪問　２１６人（延べ２１７人） ・乳幼児訪問　２４６人（延べ２９３人） （２）産後ママサポート事業 産後、産婦及び乳児の世話をする者がいない家庭に、育児・家事等の援助をするために、支援員を派遣した。 ６件（延べ７７回　延べ利用時間１０３時間） (42,875,497円)
乳幼児健康診査事業	乳幼児の健康の保持増進を図るため、疾病の早期発見のための健康診査を行うとともに、必要な保健指導を行った。 １　乳幼児健康診査 岡谷市医師会及び岡谷下諏訪歯科医師会の協力のもと、乳児（３～４か月児、９～１０か月児）、幼児（１歳６か月児、３歳児）を対象に、各健康診査につき毎月１回実施した。 ※１歳６か月児健診の１１月と１２月は２か月合同で実施 ２　個別指導 ・母性相談（３～４か月児健康診査時実施）　２２２人 ・歯科指導（９～１０か月児健康診査時実施）　２２１人 ・離乳食指導（９～１０か月児健康診査時実施）　２２１人 (4,057,575 円)

出産･子育て応援事業	妊娠期から出産・子育て期まで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と、妊娠・出産時の関連用品等購入費の助成や子育て支援サービス等の利用者負担軽減を図るための経済的支援「出産・子育て応援給付金」(各５０，０００円）を一体的に実施した。 １　伴走型相談支援 （１）妊娠届出時面談　　２２８件 （２）妊娠８か月アンケート　２１６件 （３）赤ちゃん訪問　　２１４件 ２　出産・子育て応援給付金 （１）出産応援給付金　２１７件　１０，８５０，０００円 （２）子育て応援給付金　２４３件　１２，１５０，０００円 (29,329,411 円)
栄養改善事業	岡谷市食育推進計画に基づき、生涯にわたり健康で心豊かな生活を送ることができるよう、食育情報の発信や栄養相談等、食育の推進に努めた。 １　各種栄養講座、栄養相談 ・おいしくたのしく栄養講座　３回　延べ参加者　５７人 ・シルキーチャンネルを活用した料理動画の発信　５回 ・出前講座・その他の講座等　１１回　延べ参加者３８４人 ・介護保険証交付説明会栄養ミニ講座　１２回　参加者２５１人 ２　食育の周知啓発 ・食育推進講演会 講演「郷土食を知る～「おやき」の奥深い世界～」 期日　１１月１１日（月）　参加者　７０人 場所　岡谷市役所９階大会議室 講師　小出　陽子氏 ・ホームページを活用した食育情報の発信　毎月１回 ・もっと野菜を食べよう！運動の推進 野菜レシピの周知・配布（各支所、イベント等）１７箇所 ホームページを活用した野菜レシピの掲載等 ３　食生活改善及び食育推進活動における地区組織の育成支援として、岡谷市食生活改善推進協議会の学習会等を実施した。 ２２回　延べ参加者　２１５人 (3,101,142 円)
健康づくり推進事業	第４次岡谷市健康増進計画に基づき、生活習慣病予防をはじめ、健康の保持増進を図るための正しい知識や情報を提供するため、健活プロジェクトとして健康づくり講演会や各種教室、健康相談等を実施し、市民の健康の保持増進のための啓発を行った。 １　健康づくり講演会 （１）「自然と身体を動かしたくなるウォーキング＆筋トレ」 ・講　師　松本大学大学院　教授・博士（医学） 根本　賢一氏 ・期　日　６月１５日（土） ・場　所　岡谷市民総合体育館（スワンドーム） ・参加者　約１５０人 （２）「睡眠のメカニズム～睡眠について正しい知識を学ぼう～」 ・講　師　岡谷市病院事業管理者　天野　直二氏 ・期　日　９月７日（土） ・場　所　カノラホール小ホール ・参加者　約３００人

２　口腔衛生推進研修会(公開講座)
「歯周病と糖尿病～意外と知らないお口と全身の関係性～」
・講　師　長野県歯科医師会理事
元岡谷市民病院特殊歯科口腔外科医長
林　清永氏
・期　日　３月８日（土）
・場　所　カノラホール小ホール
・参加者　約１８０人

３　健康ポイント事業
健診受診者や健康づくりに関する講演会の参加者にオカヤペイカードのポイント引換券を配布し、加盟店等でオカヤペイカードにポイントの付与を行うことで、市民の健康づくりや健康増進に対する意識の啓発を図った。
・後期高齢者健診（人間ドック･基本健診･生保健診含む）受診者
引換券(200Ｐ)発行数 1,404 枚　引換数(率)　689 枚(49.1%)
・がん検診等の受診者
引換券(100Ｐ)発行数 6,499 枚　引換数(率) 3,657 枚(56.3%)
・講演会の参加者
引換券(50Ｐ)発行数　665 枚　引換数(率)　267 枚(40.2%)
（健康推進課のほか、医療保険課、介護福祉課で予算計上し実施）

４　“未来のげんきっず”応援事業
子育て家庭への経済的負担を軽減するため、子育て関連支援講座の受講時にオカヤペイポイントを贈呈した。
・パパママ教室・離乳食教室受講者
引換券(250Ｐ)発行数 297枚　引換数(率) 131枚(44.1%)
（健康推進課のほか、子ども課で予算計上し実施）

５　健康相談
健康、栄養、歯に関する健康相談等を随時行った。
・一般健康相談　面接　８３件　電話　１８０件
・栄養相談　面接　７０件　電話　１１７件
・歯科相談　面接　７件
・歯っぴ―相談（こどものくに）　２３回　延べ１０５人

６　訪問指導
・特定健診後の訪問指導　延べ３８件

７　自殺対策推進事業
岡谷市自殺対策計画に基づき、地域における自殺対策の強化を図った。
（１）ゲートキーパー養成講座
介護サービス事業所職員及び岡谷労務対策協議会理事企業担当者に対して実施した。
・実施回数　２回　延べ参加者　４９人
（２）周知・啓発
ア　啓発リーフレット配布　６，３０３枚
イ　啓発ティッシュ配布　６，２８１個
ウ　こころの体温計（メンタルヘルスセルフチェックシステム）
市民がうつ病等のメンタル面の問題に対し、携帯電話やパソコンの端末を使って、気軽にチェックを行うことで、心の健康に目を向けるきっかけを作るとともに、相談できる窓口の周知を図った。
・アクセス総数　１１，６６７回
（３）地域におけるネットワークの強化
・岡谷市自殺対策推進本部会議　１回

	８　高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業 　高齢者の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を実施するため、保健事業と介護予防に係る各種事業を実施した。 （１）高齢者に対する個別的支援 ア　後期高齢者健康診査の結果に基づき、生活習慣病の重症化予防のため、保健師、管理栄養士が保健指導等を行った。 ・実施者　１３４人 イ　シニア運動療法教室 糖尿病性腎症の重症化を予防するため、本人及びかかりつけ医の同意が得られた者に対し、運動・栄養指導を行った。 １クール９回　２クール実施　参加者　１５人 （２）通いの場等への関与 ア　フレイル予防講座 １８箇所　２３回　参加者　２５９人 イ　食を通じた健康づくりパネル展 ライフステージに応じた健康づくりやフレイル予防に関するパネル展を実施するとともに、同期間中の２日間、健康相談を行った。 ・期間　８月１９日（月）～８月２９日（木） ・場所　諏訪湖ハイツ１階ロビー ・健康相談　８月２０日（火）、２６日（月） 参加者　５８人 ９　アピアランスケアサポート事業 　がん患者の就労、社会参加の促進等の療養生活の質の維持向上を目的とし、がん治療に伴う補整具の購入費用の一部を助成した。 ・助成件数　２５件　（頭髪補整具２５件） ・助成金支給額　４８５，０００円 １０　熱中症対策事業 　熱中症対策として、熱中症特別警戒アラート発表時に開放する指定暑熱施設とアラート発表時に関わらず暑さを凌ぐ一時休憩所の２つの機能を備えた『涼みどころ　おかやクールベース』を市内２５ヵ所に指定し、各施設において運用した。 ・公共施設　　９施設 ・民間施設　１６施設 （4,477,080 円）
健診推進事業	基本健康診査、がん検診（胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん）、結核健康診断、成人歯科健康診査、二十歳の歯科健康診査、三十歳の歯科健康診査、妊婦歯科健康診査、緑内障検診、後期高齢者健康診査、ＡＢＣ検診、肝炎ウイルス検査の各種健診を実施するとともに、後期高齢者人間ドックの助成を行い、疾病の予防、早期発見、早期治療の促進に努めた。 （56,766,999円）
新型コロナワクチン接種事業費	特例臨時接種として令和３年度より実施していた新型コロナウイルスワクチン接種は令和５年度末で終了し、令和６年度よりＢ類定期接種となったが、支払業務など臨時的経費について、繰越明許で対応した。 （2,741,124 円）

看護専門学校運営事業	≪主な学校行事等≫ １　入学式 ・期　日　４月４日（木） ・入学生　１６名（１１回生） ２　岡谷市看護専門学校祭「第１１回もりのこだま祭」 ・期　日　９月２８日（土） 　地域に根付く学校として地域住民と交流を深めるとともに、学習の成果の発表や次年度の入学試験について説明する場として、学生が運営主体となり開催した。 ３　入学試験（１２回生） 社会人入学試験 ・期　　日　１１月１６日（土） ・受験者数　２名 ・合格者数　２名 ・入学者数　２名 一般入学試験 ・期　　日　１月８日（水）・９日（木） ・受験者数　１３名 ・合格者数　１３名 ・入学者数　１３名 ４　看護師国家試験 ・期　　日　２月１６日（日） 　１０回生２２名が看護師国家試験を受験し、全員が合格した。 ５　卒業式 ・期　　日　３月７日（金） ・卒業生数　２２名（１０回生） ６　授業料等免除 ・低所得者世帯の学生に対し、国の基準により減免を実施した。 ・対 象 者　２名 ・減免額計　授業料　２７８，０００円 （25,784,747 円）

第３　主要な統計、行政資料等

１　予防接種の内訳

（１）小児（Ａ類疾病）

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th>対　象　者</th><th>実施者数</th><th>備　　考</th></tr>
<tr><td rowspan="2">四種混合
ジフテリア
百日せき
破傷風
不活化ポリオ</td><td rowspan="2">1期</td><td>初回３回</td><td rowspan="2">生後２か月～7歳半未満</td><td>人
延べ
64</td><td rowspan="15">通年
実施医療機関</td></tr>
<tr><td>追加</td><td>237</td></tr>
<tr><td rowspan="2">五種混合
ジフテリア
百日せき
破傷風
不活化ポリオ
ヒブ</td><td rowspan="2">1期</td><td>初回３回</td><td rowspan="2">生後２か月～7歳半未満</td><td>延べ
627</td></tr>
<tr><td>追加</td><td>17</td></tr>
<tr><td colspan="2">二種混合
ジフテリア
破傷風</td><td>２期</td><td>11歳以上13歳未満</td><td>302</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">麻しん風しん混合</td><td>１期</td><td>１歳～2歳未満</td><td>196</td></tr>
<tr><td>２期</td><td>5歳以上7歳未満で小学校入学前の１年間</td><td>283</td></tr>
<tr><td colspan="3">ＢＣＧ</td><td>１歳未満</td><td>220</td></tr>
<tr><td rowspan="4">日本脳炎</td><td rowspan="2">1期</td><td>初回２回</td><td rowspan="2">生後６か月～7歳半未満</td><td>延べ
602</td></tr>
<tr><td>追加</td><td>271</td></tr>
<tr><td colspan="2">２期</td><td>9歳以上13歳未満</td><td>313</td></tr>
<tr><td colspan="2">特例措置</td><td>20歳未満</td><td>110</td></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="2">子宮頸がん（3回）</td><td>小学6年生～高校1年生相当の女子</td><td>延べ
431</td></tr>
<tr><td>キャッチアップ対象者</td><td>延べ
1185</td></tr>
<tr><td colspan="3">Ｈｉｂ（4回）</td><td>生後２か月～5歳未満</td><td>延べ
246</td></tr>
<tr><td colspan="3">小児用肺炎球菌（4回）</td><td>生後２か月～5歳未満</td><td>延べ
891</td></tr>
<tr><td colspan="3">水痘（2回）</td><td>１歳～3歳未満</td><td>延べ
435</td></tr>
<tr><td colspan="3">Ｂ型肝炎（3回）</td><td>１歳未満</td><td>延べ
688</td></tr>
<tr><td colspan="3">ロタウイルス（2回または3回）</td><td>生後６週～生後24週及び生後32週</td><td>延べ
484</td></tr>
</table>

（２）定期予防接種県外等接種者

区分	五種混合	BCG	日本肝炎	小児用肺炎球菌	B型肝炎	ﾛﾀｳｲﾙｽ	子宮頸がん
給付者数	人 3	人 1	人 1	人 3	人 3	人 3	人 34
接種回数	回 8	回 1	回 2	回 8	回 6	回 7	回 77

（３）高齢者（Ｂ類疾病）

区　　分	対　象　者	対象者数	実施者数	備　　考
肺炎球菌	・65 歳 ・60 歳～65 歳未満で法に定める者	人 395	人 119	通年 実施医療機関
インフルエンザ	・65 歳以上 ・60 歳～65 歳未満で法に定める者	16,114	8,348	10 月～1 月 実施医療機関
新型コロナウイルス感染症	同　上	16,114	2,484	10 月～3 月 実施医療機関

２　母子保健指導事業

（１）妊娠届出の状況

妊娠届出数			妊娠月数別届出状況				
届出総数	初産婦	経産婦	11 週以内	12～19 週	20～27 週	28 週～分娩まで	分娩後
人 228	人 118	人 110	人 221	人 7	人 0	人 0	人 0

（２）乳幼児健康診査

区　分	該当児数	受診児数	受診率	異常なし	所見あり	所見ありの区分			う歯率	1人当りう歯本数
						要観察	要精検・要治療	治療継続		
	人	人	%	人	人	人	人	人	%	本
3～4 か月児	231	226	97.8	159	67	4	11	52	－	－
9～10 か月児	228	221	96.9	157	64	12	8	44	－	－
1 歳 6 か月児	226	224	99.1	104	120	114	0	6	0.4	0.01
3 歳児	285	275	96.5	117	158	96	27	35	3.3	0.08

3　健康診査

（１）がん検診等

項　目		回数及び実施期間	受診者数	結果別人員				
				異常なし	要精検者		要精検者の主な内訳	
							がんであった者	未受診
			人	人	人	%	人	人
胃がん検診（Ｘ線）		28 回	590	541	49	8.3	0	1
ＡＢＣ検診			46	43	3	6.5	0	0
肝炎ウイルス検査			44	44	0	0.0	0	0
大腸がん検診			1,609	1,498	111	6.9	2	17
肺がん検診（Ｘ線）			959	912	47	4.9	0	2
肺がん検診（ＣＴ）			446	392	54	12.1	0	4
結核健診			130	124	6	4.6	0	3
乳がん検診	超音波	20 回	788	778	10	1.3	2	1
	マンモ	18 回	700	676	24	3.4	5	2
子宮頸がん検診（頚部）		7 月～3 月	1,220	1,205	15	1.2	1	2
子宮頸がん検診（体部）			（再掲）88	88	0	0	0	0

（２）成人歯科健康診査

受診者数	実施期間	受診結果		
		異常なし	要指導	要精検
119 人	8 月～3 月	14 人	22 人	83 人

（３）二十歳の歯科健康診査

受診者数	実施期間	受診結果		
		異常なし	要指導	要精検
42 人	8 月～3 月	12 人	14 人	16 人

（４）三十歳の歯科健康診査

受診者数	実施期間	受診結果		
		異常なし	要指導	要精検
27 人	8 月～3 月	2 人	9 人	16 人

（５）妊婦歯科健康診査

受診者数	実施期間	受診結果		
		異常なし	要指導	要精検
58 人	通年	11 人	21 人	26 人

（６）緑内障検診

受診者数	実施期間	受診結果	
		異常なし	要精検・有所見
668 人	7 月～10 月	509 人	159 人

（７）後期高齢者健診

受診者数	実施期間	受診結果			
		異常なし	経過観察	要医療	治療継続
1,127 人	6 月～11 月	6 人	144 人	523 人	454 人

（８）後期高齢者人間ドック

受診者数	内訳	
195 人	日帰り	１泊２日
	186 人	9 人

4　看護専門学校学生数　（令和６年５月１日現在）

区分	入学定員	総定員	1年生	2年生	合計
人数	30名	60名	18名	25名	43名

5　看護専門学校講師派遣協力機関及び実習受入れ機関の状況

講師派遣協力機関	飯田短期大学、飯田病院、今井整形外科、牛山医院、浦野歯科医院、岡谷市病院事業、岡谷市役所、カタギリ心理面接室、上諏訪病院、栗田病院、公立諏訪東京理科大学、こころの医療センター駒ヶ根、信州大学全学教育センター、信州豊南短期大学、諏訪保健福祉事務所、諏訪湖畔病院、諏訪赤十字病院、はなみずきの郷、松本歯科大学、松本大学、祐愛病院（五十音順）
実習受入れ機関	岡谷市民病院、岡谷市役所、岡谷市訪問看護ステーション、信濃医療福祉センター、市立保育園、諏訪湖畔病院、諏訪マタニティークリニック、ソレイユ、通所介護（デイサービス）さわらび、ひだまり作業所、ひだまりの家、深結助産院（五十音順）

産　業　振　興　部

工　業　振　興　課

第１　概説

工業振興課では、「岡谷市工業活性化計画」に基づき、本市の基幹産業である製造業の振興と活性化を図るための企業支援等、さまざまな施策を実施したほか、テクノプラザおかやものづくりフェア２０２５を開催し、ものづくりへの意識の醸成と市内製造業のＰＲを図った。

産業政策事業では、市内企業の流出防止及び事業拡張を支援するため、岡谷市商工業振興条例に基づく補助金の承認・交付を行ったほか、先端設備等導入計画の認定事務、地域経済牽引事業に関する課税免除の条例等により中小企業の設備投資の促進を図った。また、信州大学との連携強化事業を通じて、産業の強化や人材育成への取り組みを実施した。そのほか、おかやシェアオフィスの適正な管理運営を行った。

工業支援事業では、省人化や自動化、デジタル化の推進、生産性の向上、新技術開発や販路開拓の取組のほか、カーボンニュートラルに向けた温室効果ガスの排出量の把握や削減対策などを実施し、市内企業の成長の後押しや事業の継続を下支えした。

また、長野県及び本市の制度資金により円滑な事業資金の確保を支援するとともに、中小企業経営技術相談所では、経営・金融、受発注、加工技術、事業承継などの企業の課題解決に向けて、きめ細やかな相談業務を実施した。そのほか、テクノプラザおかやの適正な管理運営を行うとともに、ＩＴ支援室等に個別の空調設備を整備した。

雇用対策事業では、企業の人材確保を後押しするため、働く人とその家族にもやさしい職場づくりを支援することで市内企業の働きやすい職場環境を整えたほか、学生や移住希望者に向け企業の採用情報等を発信して人材確保を図った。また、新規学卒者の支援として、就職説明会と合わせて就職活動を支援するセミナーを開催し、地元就職及びＵＩＪターンの促進を図った。中学生及び高校生のキャリア教育支援では、地元企業担当者による講話のほか、市内の高校において合同企業研究会を実施し、意識の醸成及び地元企業への就業促進を図った。そのほか、勤労者福祉推進団体である（一財）諏訪湖勤労者福祉サービスセンターの育成・支援及び指定管理者による勤労者福祉施設の管理運営を行った。

第２　実績総括

労務管理事業	１　巡回労働相談 　南信労政事務所と連携し、雇用や労働条件及び人事・労務管理に関わる出前相談会を実施した。 ・相 談 員　南信労政事務所　労働相談員 ・場　　所　勤労青少年ホーム (5,872円)
勤労者福祉対策事業	１　勤労者福祉等推進事業団体の育成・支援 （一財）諏訪湖勤労者福祉サービスセンター補助金 ・交付金額　１５，２８２，０００円 (15,286,900円)
労働金庫預託金	１　労働金庫預託金 　勤労者生活資金融資を行うための貸付原資を労働金庫に預託した。 ・預託金額　３０，０００，０００円 ２　勤労者生活資金融資 ・令和６年度新規融資件数　３件 ・年度末融資残高　２７，０４３，１９４円 (30,000,000円)
若年人材確保事業	１　家族にもやさしい職場づくりでＵＩＪターン強化事業 （１）　家族にもやさしい職場づくりで人材確保セミナー ・期　　日　４月１２日（金） ・場　　所　テクノプラザおかや ・講　　師　㈱西軽精機　上原 大輔　氏 ・参加者数　１２名 （２）　家族にもやさしい職場づくり支援 ・支援企業　マッケン・キャリアコンサルタンツ㈱ ・参加企業　７社 （３）　情報交換会・生成ＡＩ体験（仕事の効率化） ・期　　日　９月１３日（金） ・場　　所　岡谷市役所 ・講　　師　マッケン・キャリアコンサルタンツ㈱ 萩原健太　氏 ・参加企業　６社 （４）　生成ＡＩ導入事例セミナー（仕事の効率化） ・期　　日　１１月５日（火） ・場　　所　テクノプラザおかや ・講　　師　㈱デジタルジュエリー　佐藤 善久氏 ・参加企業　７社 ２　新入社員・若手社員フォローアップ研修 ・期　　日　１１月１２日（火） ・場　　所　テクノプラザおかや ・参加者数　１０社　３０名 ３　学生の就職状況把握 　市内企業の若年人材確保及びＵＩＪターン就職を促進するため、県内大学及び県外の大学訪問を実施した。 ・県内の大学、短大等５校、県外の大学１３校 ４　市内高校合同企業研究会 （１）　岡谷東高等学校 ・期　　日　５月２７日（月） ・参加者数　２８０名

・参加企業　７５社（うち市内企業２２社）
（２）　岡谷工業高等学校
・期　　日　６月１３日（木）
・参加者数　２４２名
・参加企業　１０３社（うち市内企業４０社）
5　新入社員激励会
・期　　日　４月５日（金）
・場　　所　テクノプラザおかや
・参加者数　２９社　１４４名
6　学校教職員事業所視察会
・期　　日　５月２９日（水）
・視 察 先　市内７企業
・参 加 者　近隣高校の進路指導担当教諭　９校１０名
7　諏訪地域高校生の雇用促進連絡会議
・期　　日　５月２３日（木）
・場　　所　マリオローヤル会館
・参加企業　１０３社（うち市内企業２１社）
・参加教諭　１０校１０名
8　諏訪地域企業ガイダンス
・期　　日　６月～３月　計４回
・場　　所　イルフプラザ、茅野市民館
・参加者数　のべ３４７名
・参加企業　のべ４７８社（うち市内企業１３８社）
9　諏訪地域企業ガイド
６市町村及び諏訪地域労務対策協議会との連携により、企業ガイドブックの作成・配布やＰＲ用ホームページを運営し、新規学卒者及び大学、短大等に対し企業のＰＲや各種イベントの情報発信を行い、市内企業への就職促進を図った。
１０　人結び採用チャレンジ応援補助金
・交付件数　２４件
・交付金額　４，６５５，０００円
１１　中学生キャリア教育支援事業
市内中学生を対象に、市内企業担当者による講話を行い、地元企業の内容や魅力と職業観の育成、礼儀などを学習した。
・期　　日　５月、６月
・場　　所　岡谷北部中学校、岡谷南部中学校
岡谷西部中学校
・参加学生　２年生２２４名
・参加企業　９社
１２　地元企業魅力発見
市内小学校（７校）の５年生３３７人、中学校（４校）の１年生及び２年生３６０人、市内３高等学校１年生及び２年生５８５人を対象に、諏訪圏工業メッセ見学を行い、企業や地域産業への理解を深め地元就職、Ｕターン就職の促進を図った。
１３　考える練習ワークショップ
将来の技術者育成を目指し、考えることの楽しさを体験してもらうためのワークショップを開催した。
・期　　日　４月１０日（水）
・場　　所　岡谷工業高等学校
・参 加 者　１年生１４７名
(11,284,531円)

求人・求職対策事業	1　若年者就業支援 （1）ミニジョブカフェ 県のジョブカフェ信州と連携した若者の就労に関わる出前相談会 ・相 談 員　ジョブカフェ信州 就業支援アドバイザー ・場　　所　テクノプラザおかや （2）夜間休日相談 国が行う若年者地域連携事業による若者の就労に関わる相談会 ・相 談 員　若年者地域連携事業相談員 ・場　　所　テクノプラザおかや 2　女性の就業支援 （1）女性の就業相談 県の地域就労支援センター運営事業と連携した女性の就労に関わる出前相談会 ・相 談 員　女性就業支援員 ・場　　所　子育て支援館「こどものくに」　ほか （2）女性の再就職応援セミナー ・期　　日　６月２１日（金） ・場　　所　イルフプラザ　カルチャーセンター ・講　　師　女性就労支援トータルアドバイザー 堀　綾子 氏 ・参加者数　４名 ・期　　日　２月３日（月） ・場　　所　イルフプラザ　カルチャーセンター ・講　　師　キャリアコンサルタント 増田　綾子 氏 ・参加者数　８名 （3）ミニ就職説明会 ・期　　日　６月２７日（木）、２月１３日（木） ・場　　所　イルフプラザ　カルチャーセンター ・参加企業　２７社・団体 ・参加者数　３３名 3　定年準備セミナー ・期　　日　２月６日（木） ・場　　所　テクノプラザおかや ・講　　師　特定社会保険労務士　中村　勝 氏 ・参加者数　３３名 4　おしごと移住フェア（旧転職・移住者就職説明会） ・期　　日　１１月１日（金）、２日（土） ・場　　所　イルフプラザ　カルチャーセンター ・参加者数　３６名 ・参加企業　７５社（うち市内企業２２社） 5　諏訪地域企業研究会 ・期　　日　１月６日（月） ・場　　所　イルフプラザ　カルチャーセンター ・参加者数　３４名 ・参加企業　８６社（うち市内企業２４社） (883,123円)
勤労会館管理事業	勤労会館は、(一財) 諏訪湖勤労者福祉サービスセンターが指定管理者として管理運営を行った。 勤労会館指定管理料　１，９７０，０００円 1　講座の開催

	２講座を開催した。 ・開催回数　　のべ１２回 ・参加者数　　のべ１５８名 ２　広報活動 ＰＲ用チラシにより利用促進を図った。また、各種講座について、利用者増に向け案内チラシ作成等の取組を行った。 ３　価格高騰対策支援 電気料金、ガス料金、燃料費の価格高騰に伴う支援金 ２０，０００円（指定管理料の内数） (1,976,295円)
勤労青少年ホーム管理事業	勤労青少年ホームは、(一財) 諏訪湖勤労者福祉サービスセンターが指定管理者として管理運営を行った。 勤労青少年ホーム指定管理料　１２，０６１，０００円 １　講座の開催 春夏秋冬で３３講座を開催した。 ・開催回数　のべ２１８回 ・参加者数　のべ２，２５２名 ２　サークル等の活動、育成・指導 ３７サークル等の活動（利用）があった。 ・利用件数　のべ　１，１１１件 ・利用者数　のべ１１，１０１名 ３　広報活動 ＰＲチラシにより利用促進を図るとともに、講座やサークル等について、利用者増に向け案内チラシ作成等の取組を行った。 ４　価格高騰対策支援 電気料金、ガス料金、燃料費の価格高騰に伴う支援金 ４００，０００円（指定管理料の内数） (12,077,343円)
ものづくり基盤技術強化事業	１　生産管理総合講座 令和６年度岡谷市生産管理総合講座 「品質管理基礎講座」 ・期　　日　７月２日（火）、７月１０日（水） ・場　　所　テクノプラザおかや ・講　　師　セイコーエプソン㈱品質教育担当 ・参加者数　１３社３０名 「生産管理総合講座」 ・期　　日　９月４日（水）、１１日（水） ・場　　所　テクノプラザおかや ・講　　師　エムアイマネジメントプラス 代表　松澤 哲也　氏 タカノ㈱専務取締役 鷹野 力 氏 ・参加者数　１２社１５名 ２　新技術・新製品等ものづくりチャレンジ企業応援事業 市内製造業等の新製品、新技術の創出、高度化への研究開発に対し補助金を交付し、事業化に係るフォローアップや県工業技術総合センター等との連携による技術相談を行い、企業の競争力の強化や新事業の創出を支援した。また、ＧＸの推進を図るためグリーン成長分野に係る技術開発（グリーン成長枠）を後押しした。 ・交付件数　一般枠　７件（うちグリーン成長枠３件） 開発試作枠　２件（うちグリーン成長枠０件） ・交付金額　一般枠　９，３０１，０００円

	開発試作枠　　４８５，０００円 ３　ものづくり現場高度化促進事業 人手及び人材の不足並びにデジタル化の推進に係る課題の解決のために行う設備投資等に対し補助金を交付し、生産性の向上に向けた取組を支援した。 ・交付件数　７件 ・交付金額　２，７９９，０００円 ４　クリーンエネルギー研究会 次世代エネルギーに関する先進地視察、情報交換を行った。 ・期　　日　１１月２１日（木） ・訪 問 先　米倉山次世代エネルギーＰＲ施設きらっと 国立大学法人山梨大学水素・燃料電池ナノ材料研究センター ・参加者数　７名 (12,778,095円)
新分野開拓推進事業	１　展示会出展事業 市内中小企業との共同出展により新規受注開拓を支援した。 （１）諏訪圏工業メッセ２０２４ ・期　　日　１０月１７日（木）～１０月１９日（土） ・場　　所　岡谷市民総合体育館／テクノプラザおかや ・共同出展　７社１団体 ・来場者数　１８，７６９人 （２）第２回ものづくりワールド九州　機械要素技術展 ・期　　日　１２月１１日（水）～１２月１３日（金） ・場　　所　マリンメッセ福岡 ・共同出展　１０社１団体 ・来場者数　１０，４０４人 （３）第１１回自動車部品＆加工ＥＸＰＯ ・期　　日　１月２２日（水）～１月２４日（金） ・場　　所　東京ビッグサイト ・共同出展　７社１団体 ・来場者数　８５，４３０人 ２　新規受注開拓推進事業 工業会の共同研究活動を支援するため、補助金を交付した。 ・交付件数　１件 ・交付金額　２００，０００円 ３　受注開拓企業訪問 ・首　都　圏　１４件　・中京圏　３件 ・その他県外　１２件　・県　内　９件 (14,750,142円)
中小企業経営強化支援事業	１　景気動向調査 （１）定例実施 ・実施時期　４月、１０月 ・対象企業　１００社 （２）随時実施 ・実施時期　９月、２月 ・対象企業　３０社 ２　新規創業者トータルマネジメントサポート事業 諏訪圏工業メッセに共同出展ブースを設置し、創業者、小規模企業の出展を行い、地元企業や来場する大手企業等への技術ＰＲを行った。（展示会出展事業の実績に含む。） ・出展企業　７社１団体

	３　５Ｓ実践塾おかや ５Ｓの実践によって卓越した製造体質の確立を図るとともに、お客様から信頼されるオンリーワン企業への革新を目指すことを目的とし活動を行った。また、儲かる５Ｓへのカイゼンも着眼点とし企業収益への意識付けも行った。 ・期　　日　４月１７日（水）～２６回開催 ・場　　所　テクノプラザおかや、会員各社 ・講　　師　Ｐ＆Ｓコンサルティング　牛山　正二　氏 ・参加者数　６社 先進企業視察研修 第１回 ・期　　日　６月２６日（水） ・場　　所　㈱ダイヤ精機製作所 ・参加者数　１６名 第２回 ・期　　日　１１月６日（水） ・場　　所　マルヤス機械㈱ ・参加者数　２０名 ４　カーボンマネジメント支援事業 脱炭素社会の実現に向け、温室効果ガスの把握及び管理のほか、排出量削減に資する再生可能エネルギーの活用や設備更新等に対し補助金を交付し、社会経済活動における温室効果ガスの排出削減とエネルギーコストの削減の両立による経営基盤の強化を支援した。 ・交付件数　９件 ・交付金額　８，２２３，０００円 ５　おかやグリーン成長投資促進支援事業 事業者の省エネルギー化と温室効果ガスの排出削減を促進するため、国、県等が実施する省エネ最適化診断やカーボン排出量可視化・削減支援事業の利用促進を図るとともに、省エネ・再エネの設備投資等に対する融資制度により、市内製造業の環境経営を支援した。 ・カーボン排出量可視化・削減支援事業　１社 ・おかやグリーン成長対策資金　１件　１３，０００千円 ６　マルチアドバイザー事業 経営改善、経営基盤の強化、新製品・新技術の開発、生産工程の改善、品質管理技術向上等の中小企業が独自では解決困難である諸問題について、当該問題の解決のため、アドバイザーを派遣し、助言等の支援を行った。 (10,692,990円)
ものづくり人材育成支援事業	１　ものづくり wakuwaku プログラム 次代を担う子ども達に、ものづくり体験を通じて、職業意識やものづくりの楽しさ、尊さを学ぶきっかけを創出した。 ・期　　日　８月１日（木） ・体験場所　fab スペース hana_re/マルヤス機械㈱ ・参加者数　２８人 ２　人材育成支援特別課程受講補助金 市内企業が信州大学特別の課程「超微細加工技術社会人スキルアップコース」を受講する際の受講料の一部を支援した。 ・交付件数　１件 ・交付金額　２５，０００円

	３　２１経営者研究会 　若手経営者や次期経営者候補等の会員間で、自社が抱える課題等を再認識し、企業の成長や発展を目指し、その解決方法を模索するため、地域の先進的な企業等との意見交換や工場見学等を行った。 ・参加者数　１９社１９名 第１回 ・期　日　７月２６日（金） ・訪問先　高島産業㈱　本社工場 第２回 ・期　日　９月１２日（木）～１３日（金） ・訪問先　㈲広陵発條製作所 ㈱広島精機 ・その他　（一社）ヤマトプロジェクトとの交流 第３回 ・期　日　１２月１８日（水） ・訪問先　㈱オリジナルマインド 第４回 ・期　日　２月２８日（金） ・訪問先　㈱平出精密 ㈲横河計器製作所 ・その他　須坂経営革新塾会員企業との交流 (828,825円)
産業連携・交流推進事業	１　工業会育成事業 （１）岡谷市金属工業連合会会員企業数　８０社 ・岡谷市機械精密工業会　５０社 ・岡谷市電気工業会　８社 ・岡谷市表面処理工業会　１６社 ・岡谷市計量器工業会　７社 （２）評議員会及び総会等の開催 岡谷市金属工業連合会評議員会及び４工業会の総会並びに情報交換会を開催し、市内企業の現状把握と企業間連携を深めた。 （３）岡谷市金属工業連合会等視察研修 次世代モビリティ関連技術講座 ＥＶ分解展示実地研修 ・期　日　１０月２３日（水）及び３０日（水） ・場　所　テクノプラザおかや 三洋貿易㈱瑞浪展示場（岐阜県瑞浪市） ・参加者数　８社１１名 ２　都市間交流 ものづくり企業が集積する他の市町村の展示会に出展し、中小企業や産業支援機関との情報交換会を行い、連携を深めた。 第２８回いたばし産業見本市－製造と加工技術展－ ・期　日　１１月１４日（木）～１５日（金） ・場　所　板橋区立植村記念加賀スポーツセンター (3,670,787円)

中小企業経営技術相談事業（中小企業経営技術相談所）	1　中小企業経営技術相談・指導 （中小企業経営技術相談所） 工業技術専門官及び経営技術アドバイザーを配置し、市職員との連携により受発注開拓、技術相談指導、経営・金融相談等を通じて市内企業の技術革新や製品開発、経営体質強化等を支援した。また、他団体の研究会や各種会議等に参加し、他市等のアドバイザーとの連携を深めるとともに、情報収集等を行った。そのほか、創業等を希望する方の相談に対応した。 ・経営・技術相談　８２件 ・融資相談　１９１件 ・雇用・就職相談　４１件 ・移住相談　１件 ・その他相談　２０件 2　販路開拓支援 市内外企業からのテクノプラザおかやへの直接加工発注案件及び（公財）長野県産業振興機構を通じての加工発注案件に対し、市内企業とのマッチングを行い、販路の開拓及び拡大を支援した。 ・依頼案件数　２８８件 ・マッチング数　２６１件（うち契約成立３３件） 3　事業承継支援 事業承継等を検討する事業者に対し適切な支援につながるよう、長野県事業承継ネットワークに参画し、県事業承継・引継ぎ支援センターのほか各支援機関との連携を深め、企業からの相談等に対応した。 また、市内中小企業の若手経営者や次期経営者候補等が参加する２１経営者研究会の活動を支援した。 (8,187,249円)
産業活性化推進事業	1　岡谷市工業活性化会議の開催 「岡谷市工業活性化計画」の進捗状況と達成度等の評価や検証を行うため、市内企業代表者等１６名で組織する工業活性化会議を開催し、実施した事業等を報告するなかで、ＰＤＣＡサイクルに基づく管理を行った。 第１回会議 ・開催日　７月３０日（火） ・出席者　１３名 第２回会議 ・開催日　１１月２０日（水） ・出席者　９名 2　商工業振興条例に基づく助成事業 市内企業の流出防止及び企業誘致の推進を図るため、工場等の新設増設を行う事業者に対して土地取得額の一部や工場等にかかる固定資産税相当額を助成し、市内での事業拡大や空き工場等の有効活用を促した。 ・承認件数　４件 ・特定地域への工場等新設・増設事業　１０件 ・交付金額　７１，７８０，０００円 3　企業立地支援事業 市内空工場等の活用促進と市外からの企業立地を促進するため、市外から市内へ中小企業者が工場等を賃借し転入する場合に対し、当該工場等の家賃相当分の一部について助成を行った。

・交付件数　２件
・交 付 額　８０４，０００円

4　諏訪地域創業スクール

創業時に必要な手続や事業計画の作成方法、マーケティングをはじめとする基礎知識を習得できるスクールを商工会議所と開催した。

・開 催 日　１０月５日（土）～
１１月３０日（土）計６回
・受講者数　２７名

5　創業のまち岡谷実現事業

市内の独立創業を促進し、創業者の経営基盤の確立及び営業開拓を支援するため補助金を交付した。

・家賃支援事業　１件
・スタートアップ支援事業（特定物件等改修）　１件
・広告宣伝支援事業　６件
・設備等購入支援事業　７件
・交付金額　２，８８５，０００円

6　信州大学との連携強化事業

諏訪圏サテライトキャンパスを活用し、市内企業の技術相談、新技術創出のためのリカレント教育等を行い、市内産業の活性化と持続的発展を図るとともに、若年人材に向けたロケットワークショップを通じてモノづくり意識の醸成を図った。

（１）信州大学航空宇宙システム研究拠点公開講座

市内企業を中心に新技術創出を促すためのリカレント教育として、航空・宇宙システム関連の最新研究をテーマに信州大学教授等による８つの講座を開催した。

・期　　日　前期　１０月１日（火）
～１０月３０日（水）　計４回
後期　１１月１３日（水）
～１２月１０日（火）　計４回
・開催形式　オンライン
・参加者数　のべ２４７名

（２）ＳＵＷＡ小型ロケットプロジェクトワークショップ

若年層のものづくり意識の醸成及び人材を育成することを目的に、市内の小中学校にてモデルロケットの打上げ体験を実施したほか、諏訪圏工業メッセ、テクノプラザおかやものづくりフェアにおいて、バルーンロケット教室を実施した。

「市内小学校を対象としたワークショップ」
・期　　日　１０月１０日（木）
～１１月１２日（火）計４回
・場　　所　湊小学校、長地小学校、
岡谷田中小学校、神明小学校
・参加生徒　２１５名

「バルーンロケット教室」
・期　　日　１０月１９日（土）、２月１日（土）
・場　　所　テクノプラザおかや
・参加者数　１７２名

（３）信州大学専門職大学院 修士・博士課程及び特別の課程

地域製造業の活性化と人材育成を目的として開設した博士課程コース等の支援を行った。

・博　　士　１名

	・スキルアップコース　６名 （４）信州大学学生の市内企業訪問 大学の座学への理解を深めるとともに、将来の就職活動の参考とすることを目的に、信州大学工学部機械システム工学科１年生を対象とした市内企業の工場見学を実施した。 ・期　　日　１１月６日（水） ・訪問企業　５社（５グループに分かれて実施） ・参加者数　１０３人 （５）信州大学技術相談 企業が課題としている技術開発について信州大学教授が対応する技術相談会により支援した。 ・企業支援件数：５社 7　地域未来投資促進法に基づく地域経済牽引事業の促進 「第２期長野県諏訪圏６市町村基本計画」に基づき、「地域経済牽引事業」を実施する市内の事業者に対し、各種施策を受けるためのサポートや関係機関等への橋渡し等の支援を行った。 ・長野県による計画の承認件数　２件 8　おかやＰＢＬ（課題解決型学習） 岡谷市産業大使からの提案により、横浜市立大学、昭和女子大学の学生と地元高校生が連携し、市内企業７社と企業ごとにグループを組み、一般消費者向けの商品開発を行った。 (85,570,107円)
企業誘致推進事業	1　市内企業の流出防止・企業誘致 産業集積の維持のため市内企業の流出防止や企業誘致を目指し、金融機関、関係機関などとの情報交換を通じ、市内企業の用地等の需要や市内未利用地等の情報の収集を行った。 2　首都圏産業振興活動事業 より一層の産業振興を推進するため、平成２３年度から平成２５年度までの３年間に亘る、首都圏産業振興活動拠点事業で蓄積した情報・人脈等を活かすとともに、中小企業庁に１名の職員を派遣した。 3　先端設備等導入計画の認定 中小企業が設備投資を通じて、労働生産性の向上を図るために策定した先端設備等導入計画に対して、中小企業等経営強化法に基づき認定を行った。 ・新規認定件数　１７件 ・変更認定件数　１７件 4　企業・関係機関への訪問、情報収集 企業誘致を推進するため、市内外の企業、大都市圏の県事務所、金融機関及び中小企業庁等の関係機関との情報の交換、収集を行うとともに岡谷市の情報発信に努めた。 5　商工業用地等取得推進事業 岡谷宅地建物取引業協会との協定に基づき、市内における土地の有効活用を促進し、市内企業の市外への流出防止及び企業誘致を推進するため、商工業用地等の取得等を希望する企業に対し、積極的な情報提供を行った。 ・取得等希望企業数　６社 6　在京企業訪問及び情報交換会 今後の経済動向を把握するため、関東圏にある岡谷市に関連する企業・関係機関への訪問を行うとともに、継続して連携していくため、岡谷市出身等の企業経営者等との情報交換会を

	開催した。 （１）企業訪問 ・訪 問 日　１月１４日（火）、１５日（水） ・訪問件数　１５社 （２）情報交換会 ・開 催 日　１月１４日（火） ・出 席 者　３０名 (4,717,500円)
シェアオフィス管理事業	１　おかやシェアオフィス管理運営 岡谷市中央町アミューズメント施設内のおかやシェアオフィスの安全な運営のため適切な維持管理・運営を行った。 ・入居者・企業数　１１者（社） （令和７年３月３１日現在） ２　入居者との情報交換会 入居者同士の交流、おかやシェアオフィスの利便性向上に向けた意見聴取を目的に、情報交換会を開催した。 ・参加者数　４名 (2,518,023円)
テクノプラザおかや管理事業	１　テクノプラザおかや管理運営 産業の振興と地域経済の活性化を促進するための拠点施設であるテクノプラザおかやの適切な維持管理・運営を行った。 施設利用状況 ・専用施設利用件数　１，０７５件 ・専用施設利用者数　２４，５３７名 ・共用施設利用者数　１，０１０名 ・施 設 利 用 料　６，３８７，７５０円 ２　テクノプラザおかや空調設備設置工事 ・工　　期　６月１８日（火）～９月２０日（金） ・契約金額　１６，５００，０００円 ・請負業者　水道建設株式会社 (44,403,443円)
テクノプラザおかや自主事業	テクノプラザおかやものづくりフェア２０２５ マイコンカーラリー・テクノプラザおかや杯２０２５ 「ものづくり・ひとづくり・ゆめづくり～未来を担うものづくり人材の笑顔のために～」をテーマに、基幹産業であるものづくりの楽しさや難しさを学ぶ中で、ものづくりへの愛着、探求心を深め、本市のものづくりへの興味を増進させることを目的に、市内企業による体験型ワークショップをメインに「テクノプラザおかやものづくりフェア２０２５」を開催した。 また、中心市街地の公共施設に会場を分散し、同時開催イベントを実施するなど、地域活性化、市内回遊性の向上を図った。 その他、日頃の学習・研究成果を競い合い披露する機会として、県内外の高校生の参加による「マイコンカーラリー・テクノプラザおかや杯２０２５」を開催した。 ・期　　日　２月１日（土） ・開催場所　テクノプラザおかや、イルフプラザ 市立岡谷美術考古館、岡谷蚕糸博物館 イルフ童画館 ・来場者数　のべ３，０３９人 ・ワークショップ参加企業　２９社団体 (1,665,280円)
中小企業金融対策事業	１　制度資金あっせん事業 制度資金のあっせんにより、市内中小企業の円滑な事業資金

	調達を支援した。 　前年度に引き続き、原油価格・物価高騰等の影響を受ける企業を支援するための「原油価格・物価高騰等対策特別資金」を継続し、支援した。 ・融資件数　２００件 ・融資金額　２，２７０，２６０千円 ・セーフティネット認定件数　４１件 ２　金融情報交換会 ・期　　日　４月１７日（水） ・場　　所　テクノプラザおかやＩＴ支援室 ・参加機関　八十二銀行、長野銀行、諏訪信用金庫 長野県信用組合、長野県信用保証協会 岡谷商工会議所 (512,032,249円)
計量検査事業	１　特定計量器定期検査 　取引・証明に使用される特定計量器（質量計）の定期検査を行った。 ・検査戸数　４２戸 ・検査個数　２１２個 ・不合格数　６個 ２　商品量目立入検査 　スーパーマーケット等において、自店舗で計量販売するパック商品の内容量が正確に計量されているか検査した。 ・検査事業所数　４事業所 ・検 査 個 数　２００個 ・不 合 格 数　０個 ３　計量記念日 　１１月１日の計量記念日にあわせ、計量に関する知識普及・思想啓発に関する新聞広告を掲載した。 ・掲 載 紙　岡谷市民新聞 ・掲 載 日　１１月１日（金） (143,225円)

第３　主要な統計、行政資料等

１　制度資金

（１）市制度資金（あっせん資金）

資　金　名	件数	金　額（千円）
振興資金　（運転）	2	10,800
振興資金　（設備）	2	13,660
小規模企業資金　（運転）	45	148,100
小規模企業資金　（設備）	8	47,630
工場用地取得資金	0	0
関連倒産防止資金（運転）	0	0
関連倒産防止資金（設備）	0	0
商店近代化資金	0	0
おかやグリーン成長対策資金（運転）	0	0
おかやグリーン成長対策資金（設備）	1	13,000
経営安定資金（運転）	1	10,000

経営安定資金（借換）	1	2,540
経営安定資金（運転、借換）	1	1,500
開業資金（運転）	5	11,130
開業資金（設備）	3	5,380
新分野開拓支援資金（運転）	0	0
新分野開拓支援資金（設備）	0	0
特別経営安定資金	0	0
原油価格・物価高騰等対策特別資金	60	894,500
合　　計	129	1,158,240

（２）県制度資金（あっせん資金）

資　金　名		件数	金　額（千円）
小規模企業発展資金(運転)		5	8,500
小規模企業発展資金(設備)		2	18,080
経営健全化支援資金			
	経営安定対策（運転）	3	60,000
	経営安定対策（設備）	0	0
	経営安定対策（運転・借換）	0	0
	特別経営安定対策（運転）	2	29,900
	特別経営安定対策（設備）	0	0
	防災・安全対策向け（運転）	0	0
	防災・安全対策向け（設備）	0	0
	災害対策（運転）	0	0
	災害対策（設備）	0	0
	新型コロナウイルス対策(運転)	0	0
	新型コロナウイルス対策(設備)	0	0
	物価高対策（運転）	30	798,500
	物価高対策（設備）	1	30,000
信州創生推進資金			
	創業支援向け（運転）	16	75,230
	創業支援向け（設備）	9	47,710
	創業支援向け（運転・設備）	0	0
	事業承継向け（運転）	2	24,100
	事業承継向け（設備）	0	0
	事業展開向け（運転）	0	0
	事業展開向け（設備）	1	20,000
	地域活性化向け（運転）	0	0
	地域活性化向け（設備）	0	0
	企業立地向け（運転）	0	0
	企業立地向け（設備）	0	0
	ゼロカーボン・次世代産業向け（運転）	0	0
	ゼロカーボン・次世代産業向け（設備）	0	0
	海外展開向け（運転）	0	0
	海外展開向け（設備）	0	0
経営改善サポート資金（運転）		0	0

経営改善サポート資金（設備）	0	0
合　　計	71	1,112,020

2　勤労青少年ホーム及び勤労会館利用状況

施　設　名	利　用　人　数（人）		
	令和6年度（A）	令和5年度（B）	増減(A)-(B)
勤労青少年ホーム	13,554	13,547	7
勤労会館	11,431	11,916	△485

3　テクノプラザおかや利用状況

（１）専用施設

施　設　名	利　用　件　数（件）		
	令和６年度(A)	令和５年度(B)	増減(A)-(B)
大研修室兼展示場	200	172	28
ＩＴ支援室	208	191	17
商談室	190	162	28
人材育成研修室（一括）	176	140	36
人材育成研修室Ａ	41	53	△12
人材育成研修室Ｂ	22	18	4
異業種交流スペース	137	139	△2
実習室	101	70	31
合計	1,075	945	130

（２）共用施設

施　設　名	利　用　人　数（人）		
	令和６年度(A)	令和５年度(B)	増減(A)-(B)
コワーキングスペース	1,010	891	119

4　おかやシェアオフィス利用状況（令和７年３月３１日現在）

施　設　名	入居者・企業数		
	個別ブースＡ	個別ブースＢ	オフィス
おかやシェアオフィス	5	3	3

商　業　観　光　課

第１　概説

商業観光課では、市内中小小売業の振興と観光の振興に向け各種事業を展開した。

商業振興事業では、岡谷市商業活性化計画に基づき、市内小売店舗の支援、商店街街路灯電気料や商業会等で運営している駐車場運営費の助成等各種補助事業を行った。

中心市街地活性化事業では、岡谷ＴＭＯによる中心市街地活性化事業と各商業会等が実施する販売促進活動のほか、装飾事業に対する支援を行った。

岡谷市商業活性化計画に関しては、施策の進捗状況や物価高騰の現状を踏まえて、９の重点施策の重要度と優先度の見直しを実施した。

シルキーバス運行事業では、岡谷市地域公共交通計画に基づき利用者ニーズに合わせた時刻改正を行い、一部デマンド方式を導入し実証運行を開始した。また、諏訪湖周スワンバス共同運行事業も実施した。

観光振興では、岡谷市観光協会と連携し、岡谷市観光案内所を拠点とした本市の魅力発信と、レンタサイクル事業により観光客の利便性の向上に努めた。

また、岡谷太鼓まつりをはじめとして、鶴峯公園つつじ祭りや横河川桜祭りなど各種観光イベントを実施したほか、諏訪湖サイクリングロード活用推進事業によるサイクリングツアーの実施、ＳＵＷＡＫＯモニュメントの設置により、観光客の誘客や滞在時間の延長を図った。

商業観光関係施設では、駅前自転車駐車場、アミューズメント施設、太鼓道場、イルフプラザ商業活性化センターなどの６施設の管理運営を行った。なお、アミューズメント施設及び中央町駐車場の消防用設備等の更新を行った。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
商業振興事業	市内の商業等の振興を図るため、各種事業に対する補助金、負担金等を支出した。 ・岡谷ＴＭＯ商業活性化事業負担金　1件　5,523,000円 ・オカヤペイポイント発行事業負担金　367件　22,941円 ・地域公共交通活性化協議会負担金　1件　66,217円 ・岡谷商工会議所補助金　1件　15,390,000円 ・駐車場運営費補助金　2件　426,000円 ・商業連合会活動事業補助金　1件　1,330,000円 ・商店街街路灯電気料等補助金　5件　308,000円 ・中小小売等店舗活性化事業補助金　13件　3,301,000円 (27,056,917円)
シルキーバス運行事業	公共施設の利用促進、中心市街地の活性化、公共交通空白地の解消を目的として、今井・長地線、長地・今井線、市街地循環西ルート線、やまびこ公園線、市街地循環東ルート線、川岸線、川岸橋原線の７路線で運行した。 (68,722,056円)
諏訪湖周スワンバス共同運行事業	岡谷市、諏訪市、下諏訪町の２市１町による共同運行事業を実施した。 (6,959,244円)
民間一般乗合バス運行支援事業	民間一般乗合バス運行費等補助金 営業損失が発生しているアルピコ交通㈱が運行する岡谷茅野線に対して、沿線３市１町共同で運行費等の補助を行った。 (4,267,000円)
中心市街地活性化事業	岡谷ＴＭＯ運営事業負担金 商業会を中心とした中小小売店による魅力ある商業活動を支援する岡谷ＴＭＯを運営するための負担金を支出した。 (4,399,911円)
観光宣伝事業	・第１９回出早公園かたくり祭り 期　間　４月１日（月）～４月１４日（日） ・横河川桜祭り 期　間　４月６日（土）～４月２１日（日） ・第７１回信州岡谷塩嶺小鳥バス 期　間　５月の毎日曜日　計４回 参加者　１６９名 ・鶴峯公園つつじ祭り 期　間　５月３日（金）～５月１４日（火） 来園者　３１，０００人 ・第１８回由布姫あじさい祭り 期　間　６月２３日（日）～７月２１日（日） ・第５５回岡谷太鼓まつり 日　程　８月１３日（火）、１４日（水） 来場者　１１０，０００人 ・第５７回岡谷花火まつり 日　程　８月１６日（金） 来場者　４，０００人 ・初期中山道ウォーキング・サイクリング（中止） 日　程　１０月　６日（日）※延期 １０月２７日（日）※中止 申込者　ウォーキング５３名

	サイクリング２０名 合計７３名 ・出早公園もみじ祭り 期　間　１０月２７日（日）～１１月１０日（日） 来園者　６，３００人 ・第４４回ふるさとまつり 日　程　1月１９日（日）　会場　銀座ＮＡＧＡＮＯ 参加者　１０９名（第１部５４名、第２部５５名） ・令和６年度地域発元気づくり支援金事業 諏訪湖サイクリングロード活用推進事業 観光案内所入場者数　１２，７８６名 レンタサイクル貸出件数　１，２８２台 サイクルツーリズム参加者数（２回）　１９名 (38,623,483 円)
岡谷駅前広場管理事業	岡谷駅前広場等の運営管理を指定管理者である株式会社スカイが行った。 (5,599,271 円)
自転車駐車場管理事業	岡谷駅前自転車駐車場の運営管理を指定管理者である株式会社スカイが行った。 (11,800,306 円)
アミューズメント施設事業	アミューズメント施設の維持管理を行った。また、安全で快適に利用していただけるよう、消防用設備等の更新を実施した。 (12,995,440 円)
中央町駐車場管理事業	中央町駐車場の維持管理を行った。また、安全で快適に利用していただけるよう、消防用設備等の更新を実施した。 (37,281,566 円)
太鼓道場管理事業	・太鼓道場利用者数　１０，６２７人 ・練習室利用時間　２，７３４時間 ・屋内ゲートボール場について、老朽化に伴い、除却工事を行った。 (14,471,491 円)
イルフプラザ管理事業	イルフプラザを安全で快適に利用していただけるよう、施設の管理、修繕を行ったほか、円滑な組織運営を図るため、商業活性化センター、地権者店会、生涯学習活動センター等との調整を行った。 (147,721,883 円)

第３　主要な統計、行政資料等

１　岡谷駅前自家用車整理場利用状況

区　　分	令和６年度(A)	令和５年度(B)	増減(A)－(B)
利用台数	141,537 台	125,940 台	15,597 台
１日平均利用台数	387.8 台	344.1 台	43.7 台

2　岡谷駅前自転車駐車場利用状況

区　　分		駐車可能台数	駐車実績			
			使用区分	※平均利用台数　台/月		
				令和６年度（A）	令和５年度（B）	増減(A)-(B)
自転車	定期使用	1,114	通学者	390.4	390.8	△0.4
			一般者	61.4	62.1	△0.7
			小　計	451.8	452.9	△1.1
	１日使用	86	１日使用	27.0	27.1	△0.1
	合計	1,200	合　計	478.8	480.0	△1.2
バイク	定期使用	17	通学通勤	3.3	4.1	△0.8
	１日使用		１日使用	0.6	0.7	△0.1
	合計	17	合　計	3.9	4.8	△0.9

※駐車実績欄中、「定期使用」は毎月１日の利用台数の平均値、「１日使用」は、１日当り平均利用台数を用いてある。

3　中央町駐車場利用状況

区　分	実　績		
	令和６年度(A)	令和５年度(B)	増減(A)－(B)
利用台数	195,905 台	198,780 台	△2,875 台
１日平均利用台数	536.7 台	543.1 台	△6.4 台

4　シルキーバス利用状況

区　分	令和６年度(A)		令和５年度(B)		増減(A)－(B)	
	乗車数	１便当り平均乗車数	乗車数	１便当り平均乗車数	乗車数	１便当り平均乗車数
	人	人/便	人	人/便	人	人/便
長地・今井線	24,285	8.8	22,010	7.9	2,275	0.9
今井・長地線	22,923	9.5	21,962	9.1	961	0.4
川岸線	38,775	8.2	38,683	8.2	92	0.0
川岸橋原線	2,099	2.9	2,115	2.9	△16	0.0
やまびこ公園線	3,573	2.1	3,416	2.0	157	0.1
市街地循環西ルート線	5,302	4.0	5,099	3.8	203	0.2
市街地循環東ルート線	12,605	6.9	12,050	6.6	555	0.3
合　　計	109,562	7.1	105,335	6.8	4,227	0.3

5　諏訪湖周スワンバス利用状況

区　分	令和６年度(A)		令和５年度(B)		増減(A)－(B)	
	乗車数	１便当り平均乗車数	乗車数	１便当り平均乗車数	乗車数	１便当り平均乗車数
	人	人/便	人	人/便	人	人/便
内回り線	38,940	15.2	38,806	15.1	134	0.1
外回り線	28,521	11.2	26,678	10.4	1,843	0.8
合　　計	67,461	13.2	65,484	12.7	1,977	0.5

ブ ラ ン ド 推 進 室

第１　概説

ブランド推進室では、岡谷シルク推進事業が４年目を迎え、地域おこし協力隊やシルク関連事業者と協力し、これまでに築いてきた実績をもとに岡谷シルクブランド認証製品の販売促進、首都圏に加え中京圏や諏訪湖サービスエリアなど、近隣の観光客が集まる場所での展示会を実施し、岡谷シルクブランドの認知度の更なる向上を図った。また、蚕糸業の歴史文化の伝承を図るため、桑園等の整備や岡谷産繭の品質向上のための補助事業を実施した。さらに、岡谷市の地域資源であるシルクを生かした体験事業を実施し、シルクのまちづくりの発展的な体制づくりを進めた。

このほか、おかやブランドプロモーション協議会において、首都圏での交流イベントを実施し、食や人を通して、岡谷の魅力を発信し、関係交流人口の創出に向けた取り組みを行った。

岡谷蚕糸博物館では、開館６０周年・リニューアルオープン１０周年記念事業として、記念式典をはじめ「YumiKatsura トーク＆ファッションショー」、「シルクサミット２０２４ｉｎ糸都岡谷」のほか、シルクに関する企画展及び関連イベントを開催した。また、県内小中学校の修学旅行等の誘致、マルベリー広場活用により入館者数の増加に努め、教員や児童生徒を対象にした蚕学習の支援等も積極的に行った。

岡谷市文化会館では、「TAIRIK プロデュース古澤巌の品川カルテット」のほか、新日本フィルハーモニー交響楽団、千住真理子の「四季」with NHK 交響楽団アンサンブルなどのクラッシック公演に加え、ポップスコンサートなど幅広い年齢層の方々に楽しんでいただけるよう各種公演を実施し、市民に質の高い舞台芸術鑑賞の機会を提供した。

日本童画美術館では、武井武雄生誕１３０年記念事業として全国巡回展や、武井武雄シンポジウム等を開催した。また、近年寄贈・寄託された新たな作品を中心とした「新コレクション展」のほか、「となりの国の絵本－韓国の絵本原画展」、グラフィックデザイナーで絵本作家の「堀内誠一展」などの企画展を実施し、武井武雄の魅力を全国に発信し多くの来館者を集めたほか、様々な世代を対象に工夫を凝らしたワークショップを通年で開催した。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
蚕糸業対策事業	１　２０２４シルクフェア in おかや （シルクフェア実行委員会負担金） ・期　日　４月２９日（月・祝） ・場　所　岡谷蚕糸博物館　ほか 　蚕糸公園での音楽イベント、旧岡谷市役所庁舎の見学、初代片倉兼太郎生家の公開、歴史探訪バスツアー、レイクウォーク岡谷でのクラフト展など各種イベントを開催した。 （参加者数：２，９２２人） ２　日本絹文化フォーラム２０２４ 　開館６０周年・リニューアルオープン１０周年記念事業の一つとして開催した。 （日本絹文化フォーラム負担金） ・期　日　６月１５日（土） ・場　所　カノラホール小ホール ・「日本の色を引き出す糸の力」をテーマに、きものジャーナリスト中谷比佐子氏の基調講演と染織作家三人とのパネルディスカッションを行った。（参加者１４０人） ３　岡谷絹工房後継者育成事業補助金 　シルク岡谷の歴史と文化を継承し、絹を素材としたクラフト製品の開発研究や後継者の育成を図る岡谷絹工房後継者育成事業に支援した。 （500,000 円）
ブランド推進事業	１　岡谷ブランド推進事業 （１）おかやブランドプロモーション協議会 （おかやブランドプロモーション協議会負担金） 　官民連携の下、岡谷市の魅力発信並びに移住定住等の促進に資するブランディング及びプロモーションを推進する「おかやブランドプロモーション協議会」に対して事業費を負担した。 ・おかやブランドプロモーション協議会開催（年５回） ・移住、定住促進交流イベントの開催 期日　３月２９日（土）　参加者　２２名 （２）岡谷ブランドの推進 　市内の保育園児を対象とした、日本童画美術館の見学を行い、幼少期より地域ブランドである武井武雄に触れる機会を創出した。 ・参加園児：３７５人 （３）オープンエアマーケット（青空市場）事業 　農林水産課、ブランド推進室が連携し、岡谷蚕糸博物館のマルベリー広場を活用し、地域の魅力発信や市民の拠り所の創出を行った。 ２　岡谷シルク推進事業 （１）岡谷シルク商標登録事業 　岡谷シルクブランド協議会において、令和５年度に出願申請した文字商標「岡谷シルク」の地域団体商標が審査中である。 （２）岡谷シルクＨＰの構築、運営 　岡谷シルク公式ホームページ及びＳＮＳを活用し、岡谷シルクに関する積極的な情報発信を行った。

（３）シルクおかや次世代担い手育成プログラム

岡谷シルク推進事業の一環として、養蚕から製糸、製品化までを体験する担い手育成プログラムを実施。

参加者　９人

①　養蚕体験　実施時期　４月～８月　全１０回
場　所　三沢区民農園桑園及び蚕室等

②　繰糸体験　実施時期　８月　全３回
場　所　宮坂製糸所（上州式繰糸機）

③　機織体験　実施時期　１月～３月　全１４回
（整経・染色、機仕掛け・糸巻、機織）
場　所　岡谷絹工房

（４）蚕糸博物館ワークショップ指導者活用事業

まゆちゃん工房でのワークショップ指導補助員として市民ボランティア５人に活動いただいた。

・活動数　２７回　１２０人（延べ人数）

（５）岡谷シルク商品開発促進事業

岡谷シルクブランド協議会にて岡谷シルクブランド認証製品の審査、認証を行うなど、岡谷シルクのブランド推進に向けた取り組みを進めた。

・承認件数　８６件　事業者数　３７社

（６）展示会等出展事業

オール岡谷産シルクの製品などを首都圏などの展示会等に出展し､岡谷シルクのブランド発信や､販路開拓などを実施した。

①　５月２４日（金）～５月２６日（日）
第１５回モノマチ２０２４（東京都）にて、岡谷シルクの展示をした。

②　６月１日（土）
くすりのサンロードお客様健康感謝ＤＡＹアイメッセ山梨（甲府市）にて、岡谷シルクの展示、販売をした。

③　６月１５日（土）
日本絹文化フォーラム（岡谷市）にて、岡谷シルクの展示をした。

④　９月８日（日）
青年会議所長野ブロック大会イベント(飯田市)にて、岡谷シルクの展示とＷＳを実施した。

⑤　１０月４日（金）～１０月５日（土）
横濱コクーンスクエア（横浜市）にて、岡谷シルクの展示、販売をした。

⑥　１０月１７日（木）～１０月１９日（土）
諏訪圏工業メッセにて、岡谷シルクの展示をした。

⑦　１０月２９日（火）～１２月１３日（金）
八十二銀行八王子支店にて、岡谷シルクの展示をした。

⑧　１１月３日（日）～１１月４日（月・祝）
諏訪湖サービスエリア（上下線）にて、岡谷シルクの展示、体験、販売をした。

⑨　１１月２３日（土）～１１月２４日（日）
産業フェスティバル静岡にて、岡谷シルクの展示、販売をした。

⑩　１２月２６日（木）～３月１８日（火）
八十二銀行名古屋支店にて、岡谷シルクの展示をした。
⑪　１月３１日（金）
中日ビル（名古屋市）で開催した「信州岡谷市プロモーションイベント」にて、講演会、ＷＳと岡谷シルクの展示をした。
⑫　２月２３日（日）
銀座ＮＡＧＡＮＯ（東京都）にて、講演会、ＷＳと岡谷シルクの展示をした。

（７）岡谷産繭買取事業
高品質な岡谷産繭の確保を目的に、岡谷市内で生産された繭を製糸事業者が買い取る際、品質に応じて購入する繭代に対して補助を行った。
・繭の生産量　　春７４．０ｋｇ　　秋５９．２ｋｇ
・補助額　　２３３，１００円

（８）養蚕体験事業
岡谷ならではの体験事業として、養蚕の文化や技術に触れられる体験事業を実施した。
・新規採用職員向け
期　日　６月１７日（月）６月１８日（火）
６月２０日（木）
参加者　１７人
・一般の方向け
春蚕　期　日：６月８日（土）、２２日（土）
参加者：９人
秋蚕　期　日：９月７日（土）、１４日（土）
参加者：１３人
・農福連携事業
秋蚕　期　日：９月３日（火）９月１０日（火）
参加者：３人

（９）岡谷市養蚕担い手育成事業補助金
良質な繭の生産量の確保及び養蚕文化･技術の伝承を図るため市内養蚕事業者に対し、養蚕、桑園の整備・拡大に係る経費の一部を補助した。
・補助件数　　１件
・対象事業者　　三沢区民農園
・補助額　　３００，０００円

（１０）滞在型ワークショップ事業
市外在住者をメインターゲットとした、滞在型のワークショップ開催に対する支援を行った。また機織り体験の学割・市民割制度を実施。岡谷の魅力発信、交流人口の増を図った。
①　シルクストール草木染・機織り体験
・実施期間：前期　６月２２日（土）～７月１４日（日）
後期　８月３１日（土）～９月２２日（日）
・参加者：１６人
②　半幅帯機織り体験
・実施期間：　６月　１日（土）～
７月１３日（土）～
８月３１日（土）～
１０月１２日（土）～
１１月２３日（土）～

	１月２５日（土）～ 上記日程より、各２か月岡谷絹工房開館日に実施 ・参加者：６人 ③　コースター機織り体験学割・市民割制度 ・内　　容：学生及び岡谷市民が絹工房においてコースターの機織り体験をする際、費用の一部を岡谷市が補助し、参加者の増加を図る。 ・補助内容：体験料１，０００円のうち市が５００円を負担する。 ・利 用 者：学割６人、市民割１４人 ３　地域おこし協力隊ブランド推進事業 養蚕から製糸、製品化までを市内で完結できる岡谷市ならではの環境を活かした「岡谷シルク」のブランド化によるまちづくりの推進に、地域おこし協力隊と地域関係者が連携し取り組んだ。 ・三沢区民農園桑園整備及び養蚕 配蚕、摘桑、給桑、上蔟・営繭環境管理を行ったほか、養蚕体験事業補助などを行った。 ・くわくわ養蚕クラブ 三沢区民農園の基盤強化のため立ち上げた「くわくわ養蚕倶楽部」の運営を行い、三沢区民農園の活性化が図られた。 ・くすぐるシルク英訳版 令和４年に発刊した「くすぐるシルク」の英訳化を行い、外国人観光客にむけた発信を行った。 ・岡谷シルクＰＲ動画 岡谷シルクの認知度向上を目的として、岡谷シルクのＰＲ動画を作成した。 ・ＳＮＳ発信 岡谷シルクをＳＮＳにて積極的に発信し、インスタグラムでのフォロワー数を増加させた。 令和６年度末フォロワー数：１，６２７人 (16,444,545 円)
文化会館管理運営事業	１　指定管理者（公財）おかや文化振興事業団による管理運営 ・指定管理料　１５９，１０２，２７０円 ・自主事業補助金　９，０００，０００円 ・価格高騰対策支援事業負担金分　５，９８８，６１５円 ２　主催公演事業 ・スターダストレビュー、ウルフルズライブツアー２０２４、氣志團～season3～全国 GIG ツアー、カノラウィークエンドコンサート　など ３　育成事業 ・カノラータオーケストラ定期演奏会、カノラ少年少女合唱団定期演奏会　など ４　独自企画事業 ・カノラ探偵事務所クラシック探訪 Vol.１、やまびこ夜景コンサート、新日本フィルハーモニー交響楽団　など (174,414,519 円)
文化会館整備事業	１　文化会館整備事業 （１）岡谷市文化会館低濃度ＰＣＢ含有機器処理委託業務 ・契約金額：　２５，５２０円 （２）岡谷市文化会館大ホール小迫り改修工事 ・契約金額：２５，８５０，０００円

	（３）カノラホール高圧受電設備一部更新工事 ・契約金額：　７，１５０，０００円 （33,025,520 円）
童画館管理運営事業	１　指定管理者（公財）おかや文化振興事業団による管理運営 ・指定管理料　６７，６１０，０６８円 ・価格高騰対策支援事業負担金分　２，１７１，１２４円 ２　企画展示 ・収蔵作品展　武井武雄　版画展 ・企画展　新コレクション展 ・収蔵作品展　モーリス・センダック　コレクション展 ・企画展　となりの国の絵本　躍動する韓国イラストレーションの世界 ・収蔵作品展　武井武雄　収蔵作品展 ・企画展　堀内誠一　絵の世界 ・企画展　日本童画大賞　受賞者展 ３　はらっぱ事業ワークショップ等 武井武雄生誕１３０年記念トークイベント、専用クレヨンでガラス窓に絵を描くＷＳ、刊本作品の読み語り、かるた大会、武井武雄ビーズ刺繍、くろうまブランキ―のクリスマスツリーをつくろうなど企画展や季節に合わせた様々なイベントを行い、様々な来館者が童画館での時間を有意義に過ごせる施設運営を行った。 ４　武井武雄生誕１３０年記念事業 ・東京都目黒区美術館、石川県立美術館、愛知県一宮市三岸節子記念美術館にて全国巡回展を実施した。 来場数総計：１７，８５９人 ・武井武雄生誕１３０年記念シンポジウム 期日：９月１５日（日）　来場者：約１２０名 ・岡谷市役所、イルフプラザに懸垂幕設置 ・岡谷駅前に横断幕を設置 ・商店街へのフラッグ設置：合計１０３枚 ・キャラクターパネル設置：９枚 ・卓上フラッグ製作、設置：１５０本 ・自転車遠乗り会「ジャズマニア」実施 期日：　７月２７日（土）　参加者：１５名 期日：１１月　９日（土）（代替イベント）参加者：１７名 ・インフルエンサーによる情報発信（インスタグラム） リール閲覧数：合計約７３，９００回（事業完了時点） ・サポーター活用 １５名のボランティアサポーターとともに、各事業を実施。多くの方に参加いただくことで武井武雄の魅力を伝える機会となり、地域住民の郷土愛の情勢に繋がった。 ５　館内燻蒸処理委託業務 ・契約金額：１，８１５，０００円 （72,654,903 円）
童画館整備事業	１　童画館整備事業 （１）日本童画美術館非常照明改修工事 ・契約金額：２，７１７，０００円 （２）日本童画美術館パッケージエアコン（PAC-５）更新工事 ・契約金額：７，８１０，０００円 （10,527,000 円）

博物館管理運営事業	岡谷蚕糸博物館の維持管理に必要な光熱水費や動態展示業務を含む、各種委託料等を予算計上し、適切な管理及び運営を行った。 また、開館６０周年・リニューアルオープン１０周年の記念事業として各種イベント等を開催した。更に、ＳＮＳによる情報発信に努め、フェイスブック、インスタグラム等を活用して博物館活動やカイコ、シルクの情報発信を行った。 総入館者数　来館者　２３，５５１人（一日平均８０人） １　マルベリー広場開放イベント開催事業 岡谷蚕糸博物館の芝生広場（マルベリー広場）の有効活用により地域交流とにぎわいを創出し岡谷蚕糸博物館の来館者増につなげた。 （１）オープンエアマーケット（農林水産課との連携事業） 農業者の販売機会、販路拡大、地産地消推進のため農林水産課とブランド推進室が協力して開催。 第１回 ・期　日　６月１５日（土） ・来場者　１５９人 ・参　考　岡谷蚕糸博物館来館者数　１４３人 第２回 ・期　日　７月２０日（土） ・来場者　１８７人 ・参　考　岡谷蚕糸博物館来館者数　９８人 第３回 ・期　日　８月１７日（土） ・来場者　２１２人 ・参　考　岡谷蚕糸博物館来館者数　１２０人 第４回 ・期　日　１０月１９日（土） ・来場者　２２６人 ・参　考　岡谷蚕糸博物館来館者数　１５４人 （２）一般利用 ①「ひなたマルシェ」（民間団体主催イベント） 雑貨、飲食等のキッチンカーなど約１５店が出店した。 第１回 ・期　日　４月２９日（月・祝） ※シルクフェアと同時開催 ・来場者　３００人 ・参　考　岡谷蚕糸博物館来館者数　１，０３７人 第２回 ・期　日　７月１３日（土） ・来場者　２００人 ・参　考　岡谷蚕糸博物館来館者数　１３５人 第３回 ・期　日　１１月１０日（日） ※社会福祉課主催「人権フェスティバル」と同時開催 ・来場者　５００人 ・参　考　岡谷蚕糸博物館来館者数　４６０人 ②外国人向けツアー「世界一の糸の都　SILK OKAYA GASTRONOMY TOUR」（信濃毎日新聞社ビジネス開発部主催） ・期　日　１１月１７日（日） ※ツアー参加者２０名のバーベキュー会場として利用 ・参　考　岡谷蚕糸博物館来館者数　１９１人

２　蚕の通年飼育
カイコふれあいルームでの蚕通年飼育
３　わくわくふれあいシルクサマーセミナー
・期　日　　８月１０日（土）
・場　所　　ミュージアムエリア、きぬのひろば
・参加人数　１９組４４人
・参　考　　岡谷蚕糸博物館来館者数　１８２人
４　商業観光課・岡谷市観光協会との連携
商業観光課、岡谷市観光協会と連携し修学旅行等の誘致に努めた結果、４月から１２月中旬にかけ小中学校の学習旅行を中心に多くの団体予約を得た。また、シルクの歴史・文化の伝承や、動態展示、新しいシルク文化の発信など、岡谷市ならではの特徴を活かした活動の拠点施設としてワーケーション事業との連携を図った。
５　ミュージアムショップの運営
ミュージアムショップにて、企画展関連商品、みやげ物、岡谷蚕糸博物館図録、紀要、まゆ人形キット、岡谷シルクブランド認証製品等販売
・岡谷シルクブランド認証製品棚
取り扱い事業者数：１７社
商品数：３９品目
６　小中学校との連携による学習支援・講演会等
・市内小中学校を中心に蚕学習による学習支援活動等実施
実施した学校・保育園数　２９件（出前講座４９回）
・６月～９月に学校等へ蚕を配布した。（１０，３００頭）
・シルクおかや桑の木情報発信事業の実施
マップの公開　９件
７　法人向け社員研修等
市内企業を中心に新人職員などを対象に社内の人材育成を目的とした研修会やセミナー、講演会などを実施した。
・実施回数　１０回（岡谷市新人職員研修・東京八坂観光バスガイド研修・諏訪信用金庫新人研修・国家公務員産業振興研修・諏訪　郡小学校長会研修・小井川小学校職員研修・長野県諏訪地域振興局新人研修･JICA 研修員・県下商工会議所一般職員研修・県高校教諭初任者研修）
８　資料収集・整理
蚕糸関連資料の収集及び収蔵資料の整理
９　体験工房運営
「まゆちゃん工房」にて、小学校団体を中心にまゆ人形作り体験型ワークショップ等を行った。
団体数：３０組
人数：１，０１３人（うち２５０人は無償）
金額：２５３，９００円（実費徴収金額）
（６３８人×３００円、１２５人×５００円）
１０　岡谷蚕糸博物館開館６０周年･リニューアルオープン１０周年記念事事業として記念式典等を開催した。
（１）リニューアルオープン記念日イベント
入館無料･ノベルティの配布及び館内定時解説･フランス式繰糸機（復元機）の実演を実施した。
期日　８月１日（木）
蚕糸博物館来館者数　２２４人

	（２）記念式典及び記念講演会 期日　９月２３日（月・休） 会場　カノラホール小ホール 記念講演会 講師：飛騨市長　都竹淳也　氏 演題：「飛騨と岡谷－糸引き工女を通じた豊かな産業交流の歴史」 式典参加者数　１６０人 （３）シルク・サミット２０２４ｉｎ糸都岡谷 農研機構が主催し、岡谷市が開館６０周年を記念して開催地となった。 期日　１１月１６日（土）・１７日（日） 会場　カノラホール小ホール 来場者　約２４０人 （４）記念誌の発刊 開館６０周年を記念して、岡谷蚕糸博物館紀要１９号を記念号としてページ数を増やして発刊した。 発行日　令和７年３月１５日（土） 発行部数　５００部 (41,782,842 円)
企画展等開催事業	１　企画展の開催 （１）岡谷シルク展 会　期　令和６年２月２２日(木)～５月１２日(日) ６年度分 （４月１日（木）～５月１２日（日）３６日） 来館者　３，６４１人（一日平均１０１人） 関連イベント ・ギャラリートーク 期　日　４月１３日（土） 会　場　企画展示エリア 参加者　１８人 （２）中国古代復元絹織物展 会　期　５月１６日（木）～８月１８日（日） 来館者　７，５２８人（一日平均９２人） 関連イベント ・シルクの糸で「中国結び房飾り」を作ろう！ 期　日　５月２６日（日） 会　場　まゆちゃん工房 参加者　２人 ・ギャラリートーク 期　日　６月２９日（土） 会　場　企画展示エリア 参加者　１８人 （３）岡谷蚕糸博物館開館６０周年・リニューアルオープン １０周年記念　YumiKatsura の世界展 会　期　８月２２日（木）～１１月１０日（日） 来館者　６，４９４人（一日平均９７人） 関連イベント ・オープニングイベント ユミカツラクリエイティブチーム森永幸徳氏･藤原綾子氏によるギャラリートーク 期　日　８月２２日（木）

	会　場　企画展示エリア 参加者　３５人 ・YumiKatsura トーク＆ファッションショー 期　日　１０月２日（水） 会　場　カノラホール・大ホール 来場者　８００人 （４）宮坂博文の世界展 会　期　１１月１４日（木）～２月１６日（日） 来館者　３，９６１人（一日平均５２人） 関連イベント ・きぬのふるさと岡谷絹工房の織り手による機織り実演 期　日　１１月１７日（日）、１２月７日（土）、１２月２１日（土）、１月１８日（土） 会　場　企画展示エリア ・講演会「牛首紬と宮坂博文先生」 期　日　１２月１４日（土） 会　場　きぬのひろば 講　師　牛首紬・加賀の織座　西山産業開発株式会社代表取締役社長　西山博之氏 参加者　４０人 （５）花岡哲象絹本日本画展 会　期　令和７年２月２０日（木）～６月１５日（日） ６年度分 （２月２０日～３月３１日　　３３日） 来館者　１，８１２人（一日平均５５人） 関連イベント ・作家トーク「個のとけるときめき」 期　日　令和７年３月１日（土） 会　場　きぬのひろば 参加者　１１人 ・公開教室　冬麗社絹絵研究会公開教室 期　日　令和７年３月９日（日） 会　場　きぬのひろば 参加者　６人 ・ワークショップ　日本画体験と講義 期　日　令和７年３月２３日（日） 会　場　きぬのひろば 参加者　９名 (5,682,131 円)

第３　主要な統計、行政資料等

１　文化会館

（１）　施設別利用状況

区　　分	使用可能日数 （A）　（日）	使用日数 （B）　（日）	使 用 率 （B）／（A）％
大ホール	260	156	60.0
小ホール	272	163	59.9
リハーサル室	302	156	51.7
第１練習室	302	249	82.5
第２練習室	302	268	88.7
第１会議室	302	154	51.0
第２会議室	302	69	22.8
合　　計（C）	2,042	1,215	59.5
令和５年度合計（D）	1,996	1,154	57.8
合計比較　（C）－（D）	46	61	1.7

（２）　使用料収入

区　　分	件　　数（件）	使用料収入（円）
大ホール	235	3,269,212
大ホール付属設備等	212	8,742,000
小ホール	243	1,341,575
小ホール付属設備等	177	3,802,420
リハーサル室	159	339,290
リハーサル室付属設備等	4	2,750
第１練習室	434	133,040
第２練習室	519	345,660
第２練習室付属設備等	94	29,920
第１会議室	248	144,560
第２会議室	103	74,800
合　　計（A）	2,428	18,225,227
令和５年度合計（B）	2,200	18,191,227
合計比較　（A）－（B）	228	34,000

（３）　利用件数・使用料過去５年の推移

年　　度	件　　数（件）	使用料収入（円）
令和２年度	1,150	4,650,222
令和３年度	1,835	12,502,760
令和４年度	2,186	14,272,420
令和５年度	2,200	18,191,227
令和６年度	2,428	18,225,227

2　童画館

（１）　入館者数

区　分	個　人	団　体	割　引	年間入館券	共通入館券	計
	人	人	人	人	人	人
一　　般	3,174	147	2,392	53	119	5,885
中高校生	84	51	37	0	1	173
小 学 生	253	13	88	0	4	358
小　　計	3,511	211	2,517	53	124	6,416
1階はらっぱ等						9,960
招待等						3,028
合　　計（A）						19,404
令和５年度合計（B）						42,701
合計比較　（A）－（B）						△23,297

（２）　入館料

区　分	個　人	団　体	割　引	年間入館券	共通入館券	計
	円	円	円	円	円	円
一　　般	1,618,740	60,270	980,720	81,090	88,140	2,828,960
中高校生	26,040	10,710	7,770	0	310	44,830
小 学 生	40,480	1,430	9,680	0	1,290	52,880
小　　計	1,685,260	72,410	998,170	81,090	89,740	2,926,670
合　　計（A）						2,926,670
令和５年度合計（B）						9,749,510
合計比較　（A）－（B）						△6,822,840

（３）　入館者数過去５年の推移

区分／年度	有料入館者			小計	１階はらっぱ等	招待・減免等	合計
	一般	中高生	小学生				
令和２年度	3,910	77	194	4,181	9,436	1,802	15,419
令和３年度	6,016	131	585	6,732	10,859	3,363	20,954
令和４年度	5,805	123	483	6,411	9,908	3,019	19,338
令和５年度	19,621	524	1,727	21,872	13,615	7,214	42,701
令和６年度	5,885	173	358	6,416	9,960	3,028	19,404

（４）　入館料過去５年の推移

年　　度	入館料収入（円）
令和２年度	2,060,310
令和３年度	3,170,930
令和４年度	2,944,840
令和５年度	9,749,510
令和６年度	2,926,670

3　岡谷蚕糸博物館

（1）　入館者数

区　分	個　人	団　体	年間入館券	共通入館券	計
	人	人	人	人	人
一　　般	5,769	5,192	30	226	11,217
中高校生	145	667	0	4	816
小 学 生	284	770	0	6	1,060
小　　計	6,198	6,629	30	236	13,093
無料ｿﾞｰﾝ					6,946
招 待 等					3,512
合　　計（A）					23,551
令和５年度合計（B）					21,844
合計比較　（A）－（B）					1,707

（2）　入館料

区　分	個　人	団　体	年間入館券	共通入館券	計
	円	円	円	円	円
一　　般	2,942,190	2,128,720	36,600	157,900	5,265,410
中高校生	44,950	140,070	0	1,540	186,560
小 学 生	45,440	84,700	0	1,860	132,000
小　　計	3,032,580	2,353,490	36,600	161,300	5,583,970
合　　計（A）					5,583,970
令和５年度合計（B）					5,014,570
合計比較　（A）－（B）					569,400

（3）　入館者数・入館料過去５年の推移

年　　度	入館者数	入館料収入
	人	円
令和２年度	12,742	2,058,040
令和３年度	15,805	2,846,460
令和４年度	18,112	3,854,530
令和５年度	21,844	5,014,570
令和６年度	23,551	5,583,970

農　林　水　産　課

第１　概説

農林水産課では、農地の保全、農林水産業の振興、市有林の整備や分収造林事業、鳥獣保護等に関する業務を執行した。

農業振興では、農業の担い手育成・確保策として、「サポートファーム（栽培指導者付き市民農園）事業」を実施したほか、「岡谷・シルクスイートオーナー事業」では、関係人口の創出を図った。

地産地消の推進では、農産物直売所への支援や、学校給食への地元農産物提供の促進を図るとともに、「岡谷農業フェスティバル」、「オープンエアマーケット（青空市場）事業」、警報級の大雨に伴い中止とした岡谷市収穫祭の「代替販売会」の開催により、市内農産物の販売促進、農業振興を図ったほか、シルクスイートの特産品化に向けた普及活動を行った。

農産物の生産振興の推進では、農作物食害防止対策支援や、農地保全対策として市民農園の利用促進を図ったほか、省エネ農業を推進し、ゼロカーボンシティへの取組を行った。

鳥獣被害対策では、被害の多い地域に防護柵の設置や捕獲等に対する支援を行ったほか、ニホンジカを捕獲する鳥獣被害対策実施隊を組織し、農地の保全と農林業被害の軽減に努めた。

水産振興では、諏訪湖の水産振興に向け、魚類放流事業及び外来魚駆除事業を支援した。

農業基盤整備では、用水施設の維持管理や農業用水路の改修等のほか、防災重点農業用ため池の廃止に伴う設計業務及び廃止工事を実施した。

林業関係では、森林環境譲与税を活用し、公有林の保育事業、森林経営管理制度の運用による民有林の整備推進に努めたほか、松くい虫防除対策では、引き続き早期発見に向けた監視に努めるとともに、枯損木を適切に処理することで拡大防止に努めた。

分収造林事業では、森林研究・整備機構と分収造林契約を結んでいる横川山において保育事業等を実施した。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
市有林管理事業	巡視や倒木処理、境界手入等による維持管理を行った。 (306,375 円)
市有林整備事業	健全な育成管理を図るための事業を実施した。 ・東山パークライン 「山林火災地」 生物害防除、下刈り　　０．３０ｈａ ・東山樋沢（防火線） 搬出間伐、作業道開設　　９．１０ｈａ、７７０．２ｍ ・岡谷小学校跡地 下刈り　　２．０２ｈａ (6,177,538 円)
農業振興事業	１　農業担い手の育成、確保 （１）サポートファーム（栽培指導者付き市民農園）事業 農業に関心のある市民等を対象に農業の基礎を習得する機会を提供し、農業の担い手育成、地産地消の推進を図った。 ・期間　４月から１０月まで（１４回） ・時間　隔週木曜日午前９時から１１時まで ・区画　１４区画（５組） （２）関係補助金 ・環境保全型農業直接支払交付金　１件　230,400 円 ２　地産地消の推進 （１）農産物直売所への支援事業 岡谷市観光案内所内の農産物直売所の運営管理をはじめ、市内に設置されている農産物直売所に対し、補助金による支援を行った。 （２）学校給食地元農産物利用推進事業 学校側と生産者とのコーディネートに努め、市内小中学校に地元農産物を提供した。 ・生産者　　個人１９名、団体２団体 ・出荷期間　４月から１月まで ・出荷量　　４，８２２．１３ｋｇ （３）岡谷市農業振興連絡協議会事業 ・　９月７日（土）岡谷農業フェスティバル２０２４ 参加者　約１，５００名 ・１１月２日（土）岡谷市収穫祭　警報級の大雨のため中止 ・１１月４日（月）岡谷市収穫祭中止に伴う代替販売会 参加者　　約１７０名 ・　２月９日（日）第２３回岡谷市農業シンポジウム 参加者　　２２０名 （４）オープンエアマーケット（青空市場）事業 岡谷蚕糸博物館マルベリー広場を活用し、定期的に開催することで、市内農産物の販売促進、地産地消の推進、農業振興を図った。 ・　６月１５日（土）出店１０団体　　参加者１５９名 ・　７月２０日（土）出店１６団体　　参加者１８７名 ・　８月１７日（土）出店１６団体　　参加者２１２名 ・１０月１９日（土）出店１５団体　　参加者２２６名 （５）岡谷市農業技術者連絡協議会事業 １１月から２月までの毎月１６日を「おかやシルクスイートの日」とし、岡谷市民総合体育館（焼き芋販売用）、

	学校・保育園（給食用）及びおかやシルクスイートフェア参加店舗（市内飲食店１６店舗）への岡谷産シルクスイートの販売のほか、１月３１日には、中日ビル（名古屋市）における「信州岡谷市プロモーションイベント」への参加により、岡谷産シルクスイートを使ったスイーツの販売や試食を通じて普及活動を行った。 ３　生産振興の推進 ・農業活性化事業補助金　１件　300,000 円 ・農業協同組合指導費補助金　１件　1,440,000 円 ・農業共済組合育成補助金　２件　2,120 円 ・生産物直売所活性化事業補助金　３件　36,600 円 ・農業振興事業補助金　１１件　1,628,997 円 ・省エネ農業推進事業補助金　３件　68,176 円 ４　農地保全対策 ・市民農園　市管理　１４か所　９９区画 個人型　９か所　７９区画 計　２３か所　１７８区画 ・中山間地域等直接支払交付金 栃久保地域資源保全会　1,026,406 円 対象面積　６８，５３４㎡ ・多面的機能支払交付金 栃久保地域資源保全会　181,400 円 対象面積　６９８ａ ・農作物食害防止事業補助金　７件　171,000 円 ・鳥獣被害防止総合対策交付金　１件　4,217,000 円 電気柵設置 樋沢地区４００ｍ、鮎沢地区２８０ｍ、湊栃久保地区４７５ｍ くくりわな　７６基 サル防除対策委託 ５　米の生産数量目標及び経営所得安定対策 ・経営所得安定対策等推進事業費補助金　１件　374,000 円 水田戦略作物該当者(大豆、麦、米粉)　３名 産地交付金該当者(花き、野菜、果樹)　３名 (11,771,450 円)
水産振興事業	１　諏訪湖魚類放流事業補助金　１件　684,000 円 ２　諏訪湖外来魚駆除事業補助金　１件　256,000 円 (940,000 円)
農地管理事業	農業用水の安定確保のため、揚水ポンプの維持管理等を実施した。 ・用水施設維持管理業務委託 間下田用水、バイパス関連、小井川沖田用水 (5,663,806 円)
農道水路維持管理事業	１　農道水路維持修繕 ・丸山地区水路改修工事他　計３０件 ２　維持補修原材料等 (13,262,749 円)
農道水路整備事業	１　防災重点農業用ため池測量設計委託業務 ・東除ケ入ため池、常現寺ため池 ２　前年度繰越事業 ・防災重点農業用ため池廃止工事　２か所 蟹沢下ため池、明王ため池

	・蟹沢農業用水路嵩上げ工事（水路改修） ３　翌年度繰越事業 ・防災重点農業用ため池廃止工事　１か所　東除ヶ入ため池 ４　防災重点農業用ため池廃止工事 3か所 4件西除ヶ入ため池他 (98,504,000 円)
分収造林事業特別会計繰出金	分収造林事業の造林等事業費に対する２％分を負担した。 ・造林等　下刈り、生物害防除、根踏、除伐 (296,572 円)
林務管理事業	１　鳥獣による農林業被害軽減のため、岡谷猟友会への委託及び鳥獣被害対策実施隊を組織し、檻・罠等による捕獲を実施した。 ２　大型獣緊急捕獲・放獣事業委託業務（クマ７頭） ３　森林経営管理事業による森林整備に向けた事業体との協議 ４　地すべり防止施設等管理サポート事業管理業務委託（横川山：左大坪） ５　ＧＮＳＳ測量機購入 (14,425,060 円)
林道等維持管理事業	１　林道修繕 ・林道常現寺線路面補修工事他　計５件 ２　林道補修用材料等 (5,425,750 円)
松くい虫防除対策事業	松くい虫被害の早期発見のための監視及び枯損木の処理を行った。 ・監視員４名による市内全域の巡視 ４月～１１月 ・マツノマダラカミキリ発見のための誘引器設置 ８か所（１０基）　発見なし ・アカマツ枯損木の伐倒・くん蒸処理 枯損木の確認２１本　伐倒・くん蒸処置１０件１５本 (1,545,410 円)
林道整備事業	林道常現寺線舗装工事 ・舗装工　Ｌ＝２２６ｍ　Ａ＝６７８㎡ 林道横河山線出の沢橋舗装工事 ・舗装工　Ａ＝４４㎡ 林道横河山線改良工事 ・法面吹付工　Ａ＝１５３㎡　落石防止網工　Ａ＝２４㎡ (9,702,000 円)
水源の森保全事業	横川山水源かん養林土地借上地の健全な森林育成を行った。 １　水源の森保全事業 ・下刈り　７．０ｈａ ２　横川山水源かん養林管理事業 ・つる切り　２０．０ｈａ ・除伐　１０．０ｈａ ３　横川山水源かん養林土地借上げ ・横川山　３，７７１，４００㎡ ・岡谷区　１２３，２００㎡ ・四ヶ区　７４，３８０㎡ (8,754,000 円)

林業振興事業	健全な森林づくり推進のため、民有林整備に対し補助を行った。 １　森林環境保全直接支援事業 ・搬出間伐　５件　５０．８２ｈａ ・更新伐　１件　２２．４８ｈａ ２　市単森林造成事業 ・除伐　８件　１０．９７ｈａ ・下刈り　３件　２．８８ｈａ ３　みんなで支える里山整備事業補助金 ・保育間伐　１件　１．５８ｈａ (3,363,600 円)
分収造林事業	横川山 ・根踏、生物害防除　４．８９ｈａ、２６．１０ｈａ ・下刈り　２６．１０ｈａ ・生物害防除　２６．１０ｈａ ・除伐　７．２７ｈａ (15,258,318 円)

第３　主要な統計、行政資料等

１　有害鳥獣捕獲実績

（単位：頭）

年度	合計	ニホンジカ	イノシシ	ハクビシン	タヌキ	アナグマ	カラス	キツネ	カモシカ	ニホンザル
2	657	539	11	20	49	7	2	27	0	2
3	654	591	12	6	23	5	0	16	0	1
4	513	422	19	16	27	10	0	18	0	1
5	579	463	37	18	28	21	0	11	0	1
6	650	540	23	22	31	13	0	18	0	3

2　岡谷市分収造林事業特別会計

（１）契約面積

内訳 団地名	契約面積 ha	植栽面積 ha	本年度改植 ha	除　地 ha
横　川　山	484.35	463.66	0	20.69
新　倉　山	56.41	56.41	0	0.00
大　沢　山	103.48	101.14	0	2.34
横川山市有林	13.05	13.05	0	0.00
合　　計	657.29	634.26	0	23.03

（２）契約の内容

団地名	契約番号	契約面積 (ha)	契約 年月日	契約期間	土地所有者
横川山	28 号	426.45	S36.12. 5	契約日から満 160 年間 (R103.12 月)	横川山運営委員会
	601 号	20.55	S45.11.14	〃　105 年間 (R57.11 月)	〃
	654 号	37.35	S46.12. 2	〃　135 年間 (R88.12 月)	〃
	小計	484.35			
横川山 市有林	29 号	13.05	S36.10.18	契約日から満 70 年間 (R13.10 月)	岡谷市
大沢山	284 号	97.86	S40. 8. 9	〃　満 70 年間 (R17.8 月)	新倉林野組合 三沢区、岡谷区
	888 号	5.62	S51. 3.10	〃　55 年間 (R13.3 月)	新倉林野組合
	小計	103.48			
新倉山	1013 号	56.41	S53. 6.27	契約日から満 120 年間 (R80.6 月)	新倉林野組合
合計		657.29			

建　設　水　道　部

都　市　計　画　課

第１　概説

都市計画課では、将来を見据えた都市計画業務や都市計画道路等の都市基盤整備のほか、市営住宅の管理、建築確認審査、建築工事の設計・監督、耐震改修促進、空き家対策等の業務を執行した。

１　地域幹線道路整備促進事業では、国道２０号下諏訪岡谷バイパス（１工区）及び都市計画道路岡谷川岸線整備において、国、県とともに地元対応を行い事業促進を図った。

２　諏訪湖スマートインターチェンジ整備事業では、地元区及び関係機関との協議を行ったほか、工事車両の通行等により傷んだ市道の補修工事等を実施した。

３　諏訪湖サイクリングロード整備事業では、４月１日に諏訪湖周全線開通したことから、開通記念式典と開通記念イベントを長野県、諏訪市、下諏訪町とともに開催した。

４　市営住宅では、適正管理とサービス向上を図るため、長野県住宅供給公社へ管理代行を行い、市営住宅の管理と長寿命化計画に基づく大規模修繕工事等を実施した。

また、管理効率化を図るため、廃止予定団地の入居者を移転誘導する老朽団地住替事業を実施した。このほか、子育て支援事業として、子育て世帯の経済的不安を軽減し、快適に暮らせるよう家賃減免及び住戸環境の整備をするとともに、諏訪東京理科大学との連携による学生居住事業を実施した。

５　建築指導では、建築基準法に基づく建築確認等の審査業務を実施した。また、旧岡谷市役所庁舎耐震補強等工事、旧渡辺家住宅茅葺屋根等改修工事、諏訪湖サイクリングロード活用推進事業モニュメント設置工事、岡谷市消防団第９分団屯所等建替え工事、岡谷市民総合体育館大規模改修工事実施設計業務等、営繕工事の設計、監督を行った。

６　住宅対策事業では、地震災害等による建物被害の軽減を図るため、住宅の無料耐震診断を実施し、耐震改修工事費及び建替え工事費の一部に補助金を交付した。また、空家対策では、第２期岡谷市空家等対策計画推進のため、終活講座による空家発生予防、条例改正、空き家ネットワーク＠おかやによる相談対応、適正管理指導、緊急安全措置、老朽危険空き家への解体費の一部に補助金を交付したほか、空き家有効活用のため、銀座ＮＡＧＡＮＯでの空き家・空き地個別相談会、空き家バンクの運営を行い、家財等の処分及び空き家を購入した移住者に補助金を交付した。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
都市計画管理事務	１　諏訪湖総合開発 ・長野県による諏訪湖畔の一部区域における河川空間のオープン化指定　４月１日（月） ２　ＮＥＸＣＯ中日本による長野自動車道岡谷高架橋改良工事 (4,802,128円)
街路管理事業	１　都市サイン修繕・点検 ・車輌誘導サインの修繕　５か所 (502,340円)
地域幹線道路整備促進事業	１　諏訪郡市国道２０号改修・バイパス建設促進期成同盟会 国道２０号バイパスの建設促進等の要望(国、県等) ・期　日　７月１１日（木)、７月２６日（金） ２　都市計画道路岡谷川岸線整備 Ｌ＝８７０ｍ　Ｗ＝１４.０ｍ（川岸小学校～観蛍橋） （１）測量設計 ・電線共同溝予備設計 （２）用地取得 ・全体件数１０１件のうち契約済み７７件 ３　（主）下諏訪辰野線整備駒沢区協議 ・長野県及び地元駒沢区と事業実施に向けた意見交換 ・沿線権利者の意向把握 ４　県道下諏訪辰野線整備促進期成同盟会 （１）事業促進要望（長野県建設部） ・期　日　１０月２４日（木） （２）交通量調査 ・期　日　１０月３日（木）１２時間調査 ・場　所　５か所（岡谷市３か所、辰野町２か所） ５　県道諏訪辰野線整備促進期成同盟会 事業促進要望（長野県建設部） ・期　日　１１月２０日（水） (65,889,379円)
スマートインターチェンジ整備事業	１　関係機関との協議 ・長野県、諏訪市、ＮＥＸＣＯ中日本等との協議　随時 ２　地元対応 ・小坂区協議　随時 ・小坂区安全協議会　４月１０日（水）ほか１１回 ・小坂区対策委員会　４月１１日（木）ほか　６回 ・県工事説明会（小坂区）　５月３０日（木）ほか　１回 ３　関連工事 ・市道補修工事等　3,990,800円 (4,040,800円)
湖畔若宮地区整備事業	１　地区整備計画による道路整備事業 ・岡谷１１０号線　Ｌ＝２４５ｍ　Ｗ＝５.０ｍ 測量業務　4,807,000円 調査設計業務　7,596,600円 (12,429,627円)

市営住宅管理総務事務	1　市営住宅管理代行委託業務　75,913,872円 大規模修繕工事 ・中村C照明器具LED改修工事 ・加茂AB量水器交換工事 ・高尾市営住宅解体工事（平屋4棟） 2　老朽団地住替事業に係る移転補償　0件（死亡退去2件） ・富士見ヶ丘、上ノ原団地の入居者アンケートを実施 3　市営住宅学生居住事業　入居者1名 4　子育て支援事業 ・小萩K3ユニットバス設置工事（子育て世帯支援事業用2戸） ・子育て世帯に対する岡谷市営住宅の家賃減免　58世帯 （81,095,363円）
建築指導事務	1　確認申請（計画変更含む）　９０件 2　位置指定道路等申請　６件 3　長期優良住宅認定（認定の変更含む）　６３件 （3,211,276円）
景観形成推進事業	1　屋外広告物設置許可　１８件 （173,362円）
住宅対策事業	1　耐震対策 ・個人住宅耐震診断委託　５０件　3,250,000円 ・個人住宅等耐震改修補助　３件　3,000,000円 ・個人住宅等現地建替え（除却）補助　１件　838,000円 合計　５４件　7,088,000円 2　空家対策 ・第２期空家等対策計画推進（令和５年度～令和１０年度） ・空き家・特定住宅用地情報バンク登録３２件 成約１９件 ・不良住宅判定委託　２２件　435,600円 ・老朽危険空き家対策補助金　５件　1,500,000円 ・移住・田舎ぐらし応援事業補助金　４件　2,400,000円 ・空き家家財等処分事業補助金　６件　529,000円 ・条例に基づく緊急安全措置　１件 ・銀座NAGANO個別相談会　４回 ５月１８日（土）、７月２７日（土） １月１９日（日）、３月８日（土） ・終活講座　２回 ６月８日（土）、８月３日（土） ・空き家ネットワーク@おかや相談取次　１６件 ・空家等対策協議会　１回 １２月１６日（月） （12,377,689円）
地域開発事業特別会計事業用地等整理事業	1　保有土地の売却 ・売却件数　１件　４０１．４７㎡　12,807,000円 2　事業用地の一部を一般会計へ有償所属換 ・所属換面積　３８４．６１㎡　19,999,720円 3　保有土地の賃貸収入 ・賃貸件数　５か所　1,885,500円 （34,692,220円）

第３　主要統計、行政資料等

１　団地別管理戸数等　（令和７年３月３１日現在）

団地名	建設年度		入居戸数	管理戸数		
			Ｒ６年度	Ｒ６年度	Ｒ５年度	増減
出の洞	S29	募集停止	1	4	4	0
橋　詰	S28	募集停止	2	6	6	0
高　尾	S30～	募集停止	0	11	15	▲4
中　村	S35～	募集停止	1	5	5	0
富士見ヶ丘	S39～	募集停止	26	54	54	0
上ノ原	S41～	募集停止	38	102	102	0
加茂Ａ	S45～		84	100	100	0
加茂Ｂ	S47～		53	61	61	0
学ヶ丘	S53		29	35	35	0
堂　前	S54		14	18	18	0
中村Ａ	S56		14	24	24	0
高尾Ｔ	S57		14	24	24	0
小萩Ｋ	S58～		49	64	64	0
中村Ｃ	S61～		22	42	42	0
田中線	H15～		16	16	16	0
合　　計			363	566	570	▲4

２　地域開発事業特別会計残財産表　（令和７年３月３１日現在）

No	箇所名等	面積		筆数	備考
		実測（㎡）	公簿（㎡）		
1	東中央通線関連公共事業用地	302.37	299.99	2	塚間町一丁目
2	東堀線関連公共事業代替地	33.68	33.68	1	長地柴宮一丁目
3	東町線関連公共事業用地	246.71	246.71	1	赤羽三丁目
4	湖岸線関連公共事業用地	157.64	170.00	2	湖畔四丁目
5	岡谷川岸線関連公共事業代替地	414.15	414.15	2	川岸東五丁目ほか
6	湖畔公園関連公共事業用地・代替地	1,289.61	1,113.58	6	長地権現町三丁目ほか
7	国道20号バイパス関連公共事業用地	255.75	255.00	1	往還下
8	駅南地区関連公共事業用地	673.51	673.51	5	天竜町一丁目
9	湊三丁目公共事業残地	38.43	38.00	1	湊三丁目
合　　計		3,411.85	3,244.62	21	

土　　木　　課

第１　概説

土木課では、道路、橋梁、水路、公園等の整備及び維持管理業務を執行した。

１　道水路等の整備事業では、各区からの要望に沿った安全でよりよい生活環境の確保のための道路改良や溢水軽減対策工事等を行った。また、国の交付金を受け、道路後退整備事業及び通学路等の安全・安心な通行空間確保を図るため、市内各所において通学路や生活道路の交通安全対策工事を実施した。

２　河川改修事業では、普通河川の改修工事を実施したほか、改修予定の河川の測量及び設計業務を行った。また、河川維持事業では、堆積土砂等撤去工事や護岸等の維持工事を実施した。

３　道水路維持補修事業では、主要幹線道路等の舗装維持工事を実施したほか、定期パトロールの実施や道路情報投稿アプリなどを活用し、舗装や側溝等の破損箇所の早期発見に努めるとともに維持補修を行った。

また、冬期において、市が指定する除雪路線等の凍結防止剤散布や部分除雪を実施したほか、雪捨場の整地作業を行った。

４　橋梁維持補修事業では、中央自動車道等に跨る橋梁の定期点検を実施した。また、岡谷市橋梁長寿命化修繕計画（第二期）に基づき早期に補修が必要な橋梁の補修工事を実施した。

５　道水路の管理業務では、境界査定、市道の認定と変更事務、道路台帳の補正等整備のほか、道水路管理に必要な事務を行った。また、道水路の占用許可及び自営工事承認に関する事務を行い、占用料の徴収事務等を実施した。

６　都市公園管理では、公園施設の清掃や樹木等の管理を実施した。また、公園施設の長寿命化と機能の再整備に向けた方向性を盛り込んだ、第２期岡谷市公園施設長寿命化計画に基づき遊具の更新を行った。

７　緑化推進では街路樹の剪定、消毒等の樹木管理のほか、ふれあい花壇づくり事業を実施し、住民参加による緑化運動の推進啓発に努めた。

８　県事業では、道路や河川の改修、砂防等の事業に係る協議、連絡調整を行った。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
土木管理事務	１　各種負担金 ・治水砂防協会会費 188,000 円 ・河川協会会費 298,000 円 ・長野県地区用地対策連絡協議会会費 500 円 ２　諏訪湖流域治水促進期成同盟会 諏訪湖、天竜川及び諏訪湖に流入する河川等の整備を促進し諏訪地域の治水に寄与することを目的に、諏訪６市町村で構成。 ・総　会 ７月１１日（木） ・要望活動 ７月２５日（木）国土交通省中部地方整備局 ７月２６日（金）国土交通省・財務省 (99,786,680 円)
路線管理事務	・道路台帳補正業務 道路網図等修正一式　業務箇所　岡谷市内一円 3,630,000円 ・道路等占用台帳管理システム賃借料及び利用料 1,628,114円 (9,871,948円)
道路橋梁総務管理事業	・道路橋梁照明等電気料 5,741,865円 (36,286,803円)
道水路維持補修事業	１　請負工事　６０件 ・２号線（山の手線）舗装維持工事 舗装工　Ｌ＝１８０ｍ　Ａ＝９２３㎡ ・５号線（駅裏通り線）舗装維持工事 舗装工　Ｌ＝５４９ｍ　Ａ＝４，１７０㎡ ・１１号線（今井通り線）外２路線舗装維持工事 舗装工　Ｌ＝５２２ｍ　Ａ＝３，７４３㎡ ・１２号線（小井川東町線）舗装維持工事 舗装工　Ｌ＝３７３ｍ　Ａ＝２，０８３㎡ ・１２号線（小井川東町線）舗装維持（その２）工事 舗装工　Ｌ＝１２２ｍ　Ａ＝１，１１０㎡ ・１４号線（横道線）舗装維持工事 舗装工　Ｌ＝１２５ｍ　Ａ＝５０８㎡ ・２４号線（東山田西山田線）舗装維持工事 舗装工　Ｌ＝２００ｍ　Ａ＝１，３１４㎡ ・２７号線（旭町線）舗装維持工事 舗装工　Ｌ＝１００ｍ　Ａ＝６２０㎡ ・１１１号線（旧国道西線）舗装維持工事 舗装工　Ｌ＝１３５ｍ　Ａ＝７１１㎡ ・１１２号線（東堀東山田線）舗装維持工事 舗装工　Ｌ＝７２ｍ　Ａ＝４１８㎡ ・１１３号線（長地山の手線）舗装維持工事 舗装工　Ｌ＝１２４ｍ　Ａ＝６８３㎡

・岡谷９１号線舗装維持工事
　舗装工　Ｌ＝１５７ｍ　Ａ＝６０１㎡
・岡谷２１５号線舗装維持工事
　舗装工　Ｌ＝２８６ｍ　Ａ＝１，７５０㎡
・岡谷２８０号線舗装維持工事
　舗装工　Ｌ＝２２１ｍ　Ａ＝１，２９０㎡
・岡谷７６１号線舗装維持工事
　舗装工　Ｌ＝１２１ｍ　Ａ＝９８５㎡
・長地１４４号線舗装維持工事
　舗装工　Ｌ＝３６６ｍ　Ａ＝１，７４０㎡
・長地２３１号線舗装維持工事
　舗装工　Ｌ＝１６９ｍ　Ａ＝５８７㎡
・湊７号線舗装維持工事
　舗装工　Ｌ＝６９ｍ　Ａ＝２２６㎡
・川岸８２号線舗装維持工事
　舗装工　Ｌ＝２３８ｍ　Ａ＝８３５㎡
・その他小規模工事　４１件

385,115,500 円

２　施設等修繕　４６件
・道水路維持補修用、交通安全施設、車両等

3,563,999 円

３　委託業務　３４件
・岡谷駅歩道橋昇降機設備保守点検業務
　保守点検　１式
・街区基準点復元測量業務
　基準点復元測量　１式
・舗装路面性状調査業務
　路面性状調査　１式
・岡谷市舗装長寿命化修繕計画策定業務
　舗装長寿命化修繕計画策定　１式
・その他小規模業務及び単価契約　３０件
　草刈、産業廃棄物処理、除雪車管理、側溝浚渫土砂等運搬

9,108,427 円

・除雪等業務
　除雪路線　８７路線　延長８６．３ｋｍ
　凍結防止剤散布業務　延べ　７６回
　除雪業務　延べ　１回
　雪捨場整地等業務　延べ　７回

11,306,093 円

４　賃貸借契約　６件
・公用車両賃貸借契約　Ｎ＝３台
・岡谷市ＬＥＤ道路照明灯賃貸借契約　１式
・その他　２件

7,663,116 円

５　直営工事
・舗装及び側溝等補修、道水路等清掃、草刈伐採、泥上げ、土のう配布、凍結防止剤散布及び配布、焼き砂配布等

	６　前年度繰越工事　２４件 ・その他小規模工事　２４件 17,792,500 円 (465,429,615 円) ７　翌年度繰越工事　　３件 ・６号線（天竜川通り線）舗装維持工事 舗装工　Ｌ＝４００ｍ　Ａ＝２，８００㎡ ・１２号線（小井川東町線）舗装維持（その３）工事 舗装工　Ｌ＝３００ｍ　Ａ＝１，８００㎡ ・その他小規模工事 122,000,000 円
道水路等整備事業	１　請負工事　２３件 ・岡谷３４０号線改良工事 側溝工（３００型）　Ｌ＝７０ｍ ・岡谷２２号線改良工事 側溝工（３００型）　Ｌ＝１１２ｍ ・岡谷７２８号線改良工事 舗装工　Ａ＝５３㎡ ・湊６１号線改良工事 側溝工（３００型）　Ｌ＝１１ｍ ・１３号線（辻下線）改良工事 暗渠工（４００型）　Ｌ＝１０ｍ ・岡谷１７７号線改良工事 側溝工（３００型）　Ｌ＝３４ｍ ・川岸３３６号線改良工事 歩道工　Ｌ＝１０５ｍ ・２５号線（中央通り線）改良工事 舗装工　Ｌ＝１１３ｍ ・１８号線（能登舟線）改良工事 擁壁工　Ｌ＝３６ｍ ・長地４７号線外１路線改良工事 側溝工（３００型）　Ｌ＝１６４ｍ ・岡谷２１８号線改良工事 側溝工（３００型）　Ｌ＝７４ｍ ・１０７号線（元街道線）改良工事 舗装工　Ａ＝１６７㎡ ・長地１３５号線改良工事 側溝工（３００型）　Ｌ＝７１ｍ ・岡谷６７９号線改良工事 舗装工　Ａ＝２０８㎡ ・湊１１８号線支線改良工事 水路工（６００型）　Ｌ＝５６ｍ ・湊１０９号線改良工事 舗装工　Ａ＝５８㎡ ・岡谷２１５号線改良工事 側溝工（３００型）　Ｌ＝８９ｍ ・３２号線（湖岸通り線）改良工事 側溝工（３００型）　Ｌ＝６７ｍ ・生活道路安全対策工事 交通安全施設設置　１式

	・通学路交通安全対策工事 交通安全対策　　Ｎ＝５箇所 ・通学路交通安全対策（その２）工事 交通安全対策　　Ｎ＝６箇所 ・その他小規模工事　　２件 155,628,000 円 ２　道路後退舗装工事　５件 ・岡谷６６５号線道路後退舗装工事 舗装工　　Ａ＝３６㎡ ・１０９号線（天白西線）道路後退舗装工事 擁壁工　　Ｌ＝１１ｍ ・岡谷６１８号線道路後退舗装工事 舗装工　　Ａ＝１２３㎡ ・長地３７号線道路後退舗装工事 舗装工　　Ａ＝８１㎡ ・その他小規模工事　　１件 14,232,900円 ３　委託業務　５件 ・小規模業務　５件 1,825,780円 ４　財産購入　１４件 ・長地３５号線整備事業に伴う用地代　１件 ・その他　１３件 2,245,950円 ５　支障物撤去補助　１件 ・長地９６号線道路後退整備事業に伴う補助金　１件 48,229円 ６　補償　８件 ・長地３５号線整備事業に伴う補償　　３件 ・岡谷４８４号線道路後退整備事業に伴う補償　３件 ・その他　２件 25,417,400円 ７　前年度繰越工事　１件 ・川岸２２３号線改良工事 底張工　　Ａ＝１９㎡ 5,995,000 円 (243,178,379 円)
橋梁維持補修事業	１　委託業務　４件 ・中央町一・二丁目歩道橋補修設計委託業務 橋梁補修設計　　Ｎ＝１橋 ・中央町一・二丁目歩道橋（岡谷７４６号線）清掃等業務 清掃等業務　　１式 ・岡谷駅歩道橋（岡谷７４９号線）清掃等業務 清掃等業務　　１式 ・その他　１件 9,976,648 円 ２　前年度繰越工事　１件 ・三沢跨線橋橋梁修繕工事 橋梁修繕工事　　Ｎ＝１橋 14,630,000 円

	３　前年度繰越業務　１件 ・増久保橋外４橋橋梁定期点検業務 　橋梁点検　　Ｎ＝５橋 6,490,000 円 (31,096,648 円) ４　翌年度繰越業務　１件 ・中央町一・二丁目歩道橋橋梁修繕工事 　橋梁修繕工事　　Ｎ＝１橋 52,000,000 円
河川改修事業	１　請負工事　３件 ・一の沢川改修工事 　河川改修工（１，２００×１，２００）Ｌ＝６４ｍ ・小洞沢川改修工事 　河川改修工（１，３００×１，３００）Ｌ＝６０ｍ ・又五郎川改修工事 　河川改修工（１，５００×１，２００）Ｌ＝４６ｍ 49,808,000円 ２　委託業務　２件 ・芦の沢川測量業務 　測量業務　　１式 ・芦の沢川設計業務 　設計業務　　１式 9,647,000円 (59,455,000円)
河川維持事業	請負工事　１４件 ・大洞沢川浚渫工事 　堆積土砂撤去工　　Ｖ＝９３㎥ ・太川浚渫工事 　堆積土砂撤去工　　Ｖ＝４２㎥ ・待張川河川維持工事 　護岸工　　Ａ＝９㎡ ・その他小規模工事　１１件 (15,357,100 円)
都市公園等管理事業	１　指定管理者による公園管理 ・鳥居平やまびこ公園、岡谷湖畔公園、蚕糸公園では年間を通じ管理及び自主事業に努めた。 95,665,178 円 ２　直営による公園管理 ・花岡公園外１５公園 16,124,528 円 ３　観光地等魅力向上森林景観整備業務（鳥居平やまびこ公園） ・立木伐採　　Ｎ＝２９本 1,100,000 円 (139,734,705円)

都市公園整備事業	1　請負工事　８件 ・小井川宗平寺公園遊具更新工事 遊具更新工　１基 ・岡谷湖畔公園遊具更新工事 遊具更新工　３基 ・岡谷湖畔公園遊具修繕工事 複合遊具修繕工　２箇所 ・鳥居平やまびこ公園サマーボブスレー搬器・ギヤードモーター更新工事 搬器更新工　４基 モーター更新工　１基 ・鳥居平やまびこ公園センターハウスエレベーター修繕工事 ビクトリックジョイント取替工　１箇所 輸送管取替工　１式 ・その他小規模工事　３件 44,445,582 円 2　調査業務　２件 ・鳥居平やまびこ公園設計業務 公園部分改修構想検討業務　１式 ・その他小規模業務　１件 2,046,000 円 3　前年度繰越工事　１件 ・湖畔公園整備工事 舗装工　Ａ＝６９６㎡ 12,903,000 円 (59,394,582 円) 4　翌年度繰越工事　３件 ・間下堤公園遊具更新工事 遊具更新工　３基 ・湖畔公園遊具更新工事 遊具更新工　２基 ・出早公園遊具更新工事 遊具更新工　２基 23,000,000 円
緑化推進事業	1　街路樹等管理 ・塚間川河川公園、３１号線、２５号線、丸山橋線の剪定ほか消毒 4,567,493 円 2　ふれあい花壇づくり事業 ・プランター貸与、花苗助成　認定団体数　３４団体 586,637 円 (5,608,717 円)

県執行事業	1　河川事業 ・塚間川（貯留施設）（設計・工事） 2　砂防事業 通常分 ・竹の沢川　　（工事） ・蟹沢　　（工事） ・中大久保沢　（工事） ・大久保沢　　（工事） 3　急傾斜地崩壊対策事業 ・日吉神社　　（工事） 4　維持補修事業 ・岡谷下諏訪線（舗装修繕工事） ・下諏訪辰野線（舗装修繕工事） ・岡谷茅野線　（舗装修繕工事） ・楢川岡谷線　（舗装修繕工事） ・釜口橋　　（橋梁補修設計）

第３　主要な統計、行政資料等

１　道路延長等の状況

	令和６年度	令和５年度	増　減
総延長（ｍ）	395,242.5	394,959.2	283.3
実延長（ｍ）	384,102.8	383,178.7	924.1
舗装整備率（％）	84.6	84.5	0.1
道路敷面積（㎡）	1,921,100	1,912,821	8,279.0
橋梁総個所数（箇所）	194	194	0
路線数（本）	1,715	1,713	2

２　有料公園施設の利用状況

施設名	利用者数等			使用料収入
	令和６年度（Ａ）	令和５年度（Ｂ）	増減（Ａ）－（Ｂ）	令和６年度
鳥居平やまびこ公園	12,053 人	13,592 人	△1,539 人	4,629,760 円
サマーボブスレー	7,890 人	9,268 人	△1,378 人	3,917,950 円
サイクリング	2,535 人	2,604 人	△69 人	428,230 円
テニスコート	76 人	148 人	△72 人	33,140 円
望遠鏡	1,473 人	1,463 人	10 人	147,300 円
ロッカー	63 人	66 人	△3 人	3,150 円
スポーツ広場	16 件	43 件	△27 件	99,990 円
塩嶺閣	1 件	1 件	0 件	110 円
鶴峯会館	2 件	2 件	0 件	2,640 円

水　　道　　課

第１　概説

温泉事業特別会計では、市内施設への給湯、温泉使用料の徴収、温泉スタンド等の施設維持管理及び利用促進事業を行った。

１　おかや総合福祉センター（諏訪湖ハイツ）、岡谷市民水泳プール、岡谷健康福祉施設（ロマネット）、温泉デイサービス湯けむりの４施設への給湯及び温泉スタンドによる温泉の販売を行った。

２　源泉ポンプ取替工事を行った。

３　温泉スタンドの利用状況は、１日平均２９．２件であった。

４　温泉給湯収入は、１５，２０２，８００円となり、温泉スタンドのメタル販売数は、２００リットル（１００円）が７，０４９枚、３００リットル（１５０円）が３，４９７枚で、その収入は１，２２９，４５０円となった。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
温泉施設管理事業	１　温泉給湯事業 おかや総合福祉センター　１００㍑／分 岡谷市民水泳プール　１５㍑／分（４月～９月） ２０㍑／分（１０月～３月） ロマネット　１００㍑／分 温泉デイサービス湯けむり　４０㍑／分 上記４施設に最大２６０㍑／分を給湯した。 ２　温泉スタンド事業 温泉スタンド利用件数 ２００㍑　７，３２３件 ３００㍑　３，３３７件 合　計　１０，６６０件 ３　主な工事・修繕 ・源泉ポンプ取替工事　１台　６，９５２，０００円 (17,960,938円)

会　　計　　課

第１　概説

会計課では、現金・債券及び有価証券並びに物品に関する事務や決算の調製などの会計管理事務を行った。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
会計管理事務	１　現金・債券及び有価証券の出納、保管 （１）　収入、支出関係書類の審査、確認事務 （２）　諸帳簿への記録、管理 （３）　職員に対する会計事務の指導、研修会の開催 （４）　各課手持現金の確認、検査（随時） ２　物品の出納及び保管 （１）　不用物品の売却（サッカーゴール、廃棄本） （２）　共通消耗品の払出（１２６件） ３　決算の調製 （１）　決算数値の確認 （２）　決算関係資料のとりまとめ （３）　決算書及び決算附属書類の作成、市長への提出（７月） （13,590,703 円）

第３　主要な統計、行政資料等

１　支払状況

区分	支払件数	支払方法	件数	比率
一般会計	46,358 件	窓口払	531 件	1.15%
		口座振込等	45,827 件	98.85%
特別会計	5,087 件	窓口払	5 件	0.10%
		口座振込等	5,082 件	99.90%
合　計	51,445 件	窓口払	536 件	1.04%
		口座振込等	50,909 件	98.96%

２　会計別資金運用状況（定期預金）

会計名	運用回数	運用延金額	運用利子額
	回	円	円
霊園事業特別会計	1	30,000,000	14,276
温泉事業特別会計	1	10,000,000	4,759
湊財産区一般会計	1	10,000,000	4,759
水道事業会計	2	201,000,000	95,198
下水道事業会計	1	200,000,000	95,178
病院事業会計	1	1,000,000	20
歳入歳出外現金	1	10,000,000	200
合　計	8	462,000,000	214,390

教　育　委　員　会

教　　育　　部

教　育　総　務　課

第１　概説

教育総務課では、岡谷市教育大綱の教育理念の下、学校における子どもたちの基礎的学力を保障し、個性の伸長や社会性の育成をはじめとした、調和ある心身の成長を保障するため、学校教育を中心として各種事業を推進した。

教育委員会全般に関する事項では、令和７年３月３１日をもって任期満了となった宮坂　享教育長が令和７年４月１日付で再任されたほか、令和６年９月３０日をもって任期満了となった、藤森一俊教育委員が令和６年１０月１日付で再任された。

主要事業では、学びの創生・連携支援室の主幹指導主事及び学力向上アドバイザーを中心に各校の巡回訪問等を行い、豊かな学びや幼保小中の連携を推進した。

教員の働き方改革に関しては、教員本来の時間を確保できるよう、休日部活動の地域移行に向け、関係団体との検討を行ったほか、部活動指導員やスクール・サポート・スタッフの配置等を通じて、事務負担の軽減を図った。

通学路の安全対策では、「第４次岡谷市通学路交通安全プログラム」に基づき、市道等の安全対策を実施したほか、関係機関の協力のもと、次期プログラムを策定した。

施設整備では、岡谷東部中学校のトイレ洋式化改修工事を実施したほか、上の原小学校の昇降口前舗装改修工事及び岡谷南部中学校の体育館屋根等補修工事を実施した。

放課後子ども健全育成事業では、学童クラブの運営のほか、地域住民の参画による放課後子どもの居場所づくり事業や小中学生対象の岡谷子ども未来塾等の事業を実施した。

子ども教育相談センターでは、様々な悩みを抱える児童生徒や家庭への相談支援を行ったほか、長期欠席傾向にある児童生徒への多様な関わり方による学習支援等を行った。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
教育委員会運営事務	教育委員会会議の運営及び総合教育会議に関わる事項について、協議・調整を行った。 １　教育委員会会議 ・定例教育委員会　１２回開催 ・教育委員協議会　　７回開催 ２　総合教育会議 教育行政等に関わる事項について、協議・調整を行った。 ・開催期日：令和７年２月４日（火） ・構成員：市長、教育委員会　計７人 （4,815,272円）

事務局総務事務	事務局全般に亘る事務及び人事に関わる業務等を執行したほか、教員の働き方改革推進に向けた事業等を実施した。 1　地域に開かれた学校づくり事業 ・学校評議員　１１小中学校　６５人　委嘱 2　教員働き方改革推進事業　1,397,538 円 「岡谷市学校における働き方改革推進のための基本方針」に基づき、多忙な教員が本来の授業づくりや児童生徒の指導に専念できる環境を整えるため、教員の働き方改革を推進した。 ・小中学校への留守番電話、出退勤システムの運用　全１１校 ・長期休業中の完全閉庁日の設定 ・学校家庭通信アプリ「すぐーる」の運用 3　部活動地域移行推進事業　3,683,012 円 休日の部活動の地域移行に向け、関係団体による検討会議のほか、部活動指導員を配置した。 ・中学校への部活動指導員の配置　１２名 ・中学校部活動地域移行検討委員会の開催　１回 （7,428,007 円）
教育施策事業	教育施策の推進に関わる各種事業を実施した。 1　チーム岡谷による学びの創生・連携推進事業 ・学びの創生・連携推進室の主幹指導主事及び学力向上アドバイザーを中心に、各校を訪問し、教員の授業改善に向けた指導や助言を行った。 ・巡回指導等　９８回 ・学力向上を図るため外部講師による教員研修等を実施した。 ・４月に実施した「全国学力・学習状況調査」の分析を通じて授業改善策を検討し、各校へ指導助言を行った。 2　生徒指導支援 問題行動等に的確に対応し、児童生徒の健全な育成を図るため、生徒指導推進委員会を開催した。年５回開催 ・生徒指導の推進と小中、高校間等の情報交換 ・長期休業中の生徒指導、あいさつ運動の推進 3　教職員研修の充実 教職員の資質向上を図るため、校長会と共催して研修会等を実施したほか、学校訪問を通じて学校経営に関する助言等を行った。 ・６月 新任学校教職員研修会、７月 教職員研修会（悉皆研修）、９月、１１月 教職員研修会（選択研修） 4　平和体験研修事業 平和や人権について考え、体験する機会として、小学校６年生を阿智村 満蒙開拓平和記念館で研修を行うとともに、中学校２年生代表を広島市へ派遣した。満蒙開拓での研修や平和記念式典、被爆体験講話研修、とうろう流しに参加するなど、平和への思いを深めた。 ・小学生　６月～１２月　児童３４５名　教員等２５名 ・中学生　８月５日～８月７日　生徒２４名　教員等８名 （4,772,754円）
児童生徒の安全対策事業	1　学校安全対策の推進 （１）学校での安全確保の取り組み 災害や不審者等に対応するため、各校が危機管理マニュアルを見直したほか、学校施設・設備の安全点検や避難訓練等を実施した。

	（２）地域との連携 　各校が通学路の危険箇所を点検し、「子どもを守る地域安全指導マップ」を作成したほか、警察の「安心の家」との連携、地域ボランティアによる登下校時の見守り、パトロール活動等の取り組みを進めた。 （３）通学路の交通安全対策 ・第４次岡谷市通学路交通安全プログラムの３年目として、実施計画で予定した市道の通学路４５箇所のうち、令和６年度は１２箇所（繰越１箇所）の安全対策を実施した。（土木課による対応） ＜実施箇所数＞ 　　岡谷田中小１箇所、川岸小２箇所 　　小井川小、湊小、上の原小 各３箇所 ・学校、警察署等関係機関により、通学路合同点検を実施し、通学路の安全対策の総合的な検討、協議及び調整を行い、第５次通学路交通安全プログラムを策定した。 　安全対策会議３回、通学路合同点検１回 ２ ふれあいたいむの推進 　登下校時の子どもたちの見守り活動等を啓発する「ふれあいたいむ推進旬間」を実施し、見守り隊等の激励を行った。 ・推進旬間　春季：　５月２２日（水）～　５月３１日（金） 　　秋季：１０月１６日（水）～１０月２５日（金）
子ども教育相談センター事業	児童生徒に関わるいじめ対策や不登校対策、就学支援など、小中学校期の子どもと家庭を中心に総合的な相談支援を行った。 １ 子ども教育相談センターの運営 （１）相談業務等 ・子育て・子育ちに関する総合的な相談・支援を行った。 ・センター長、子ども教育支援相談員等、計１１名体制 ・相談実人数６４６人　相談延べ人数２，０２３人 ・庁内、関係機関とのケース会議２１４回 （２）自立支援教室（フレンドリー教室・中間教室）の運営 ・通室児童生徒数 　フレンドリー教室６人、中間教室４１人（試験通室生含む） ・親のまなざしの会(不登校を考える親の会)(年１０回開催) （３）カウンセリング等の充実 ・県費のスクールカウンセラー３人の市費兼務及び臨床心理士１人を「専門カウンセラー」として配置した。 ・教育相談室で専門カウンセラーによる教育相談を実施した。（相談員１名、月２回実施、相談延べ件数１０２件） ・心の教室相談員を４中学校に各１名配置し、生徒の悩み相談等に対応したほか、校区内の小学校に出向き、児童や保護者の相談支援を行った。 ・県費スクールソーシャルワーカー２人を市費兼務とし、継続的な長期欠席や学校だけでは対応困難な事例への支援等を図った。 ・県委託事業の採択を受け、多様な学び支援コーディネーターを配置し、不登校支援の充実を図った。 ２ 特別支援教育推進事業 （１）特別支援学級支援 ・専門カウンセラーによる専門性の高い発達検査の実施と、保護者や関係者への説明及び助言を行った。 ・特別支援教育支援員３５名を小中学校へ配置した。

	（２）就学支援委員会 ・特別な支援を必要とする園児、児童生徒の適正な就学を進めるため、岡谷市就学支援委員会を開催した。 年６回開催　判断件数９２件 ・通級による指導が必要な児童生徒について、小委員会を開催し丁寧に審議した。年４回開催　判断件数１８件 （３）特別支援教育コーディネーター等連絡会（年５回開催） ３ 子ども教育支援チーム会議 行政担当者や校長会と連携して、「長期欠席」、「いじめ・人権」の２部会に分かれて協議を行った。（全体会の開催　計４回） 「岡谷市いじめ問題対策連絡協議会」との合同会議を２回開催し、地域の関係団体、保護者代表、有識者も参画して実施した。 ４ いじめ防止対策の推進 （１）いじめ防止対策推進委員会 ・いじめの防止等の対策の向上に努めた。（年５回開催） ・小中学生による「いじめ根絶子ども会議」の開催 ７月２４日（水）参加児童生徒数７８人（高校生含む） （２）岡谷市いじめ問題対策連絡協議会 条例に基づく協議会として、年２回開催し、関係機関や団体相互の調整、協議等を行った。任期１年、年２回開催 （３）岡谷市いじめ問題対策調査委員会 重大事案の発生等に備え、条例に基づく「岡谷市いじめ問題対策調査委員会」を開催し、いじめの状況把握等を行った。 任期２年、年１回開催 ５ 子どもの自立支援委員会 すべての小･中学校でソーシャルスキルトレーニング（ＳＳＴ）に取り組み、人間関係力や自己肯定感の高揚に努めるとともに、長期欠席児童生徒への対策の充実を図るため､子どもの自立支援委員会を開催した。年５回開催 ・ＳＳＳＴの実施、研修会の開催 ・Ｑ－Ｕ、アセスの実施 ・長期欠席児童生徒への対応事例研究 ６ 聞いて！気づいて！わたしのサイン事業 岡谷市自殺対策計画に基づき、小学４年生、中学１年生を対象に「ＳＯＳの出し方に関する教育」として、悩みを打ち明けることの大切さを学ぶ授業を実施したほか､学校職員を対象とする研修会を実施した。 ７ おかや絹結プログラムの推進 入学時の環境変化に適応できない小１プロブレムの解消､改善を図るため、おかや絹結プログラム推進委員会を開催し、各園校において､幼保小接続期におけるアプローチ＆スタートカリキュラム「おかや絹結プログラム」を実践した。 (64,772,598 円)
活力ある学校づくり推進事業	魅力と活力ある学校づくりの推進に向け、各種事業を実施した。 １ 岡谷市スタンダードカリキュラムの推進 地域資源を活用した岡谷ならではの学習スタイル｢岡谷スタンダードカリキュラム」の実践を通して、岡谷の「ひと・もの・こと・こころ」に学び、郷土を愛する心を育む教育を推進した。 2,164,158 円

	２ 小学生夏休みわくわくサマースクール 夏休み中の学習支援活動として、教員による補習の時間、市主催による小学３年生から６年生を対象とした「ものづくりＷＡＫＵＷＡＫＵプログラム」、小学５年生対象の「岡谷子ども未来塾」、「美術考古館による夏休みアート」を一体化した「おかや小学生夏休みわくわくサマースクール」を実施した。 参加児童　延べ９２７人 ３ 魅力ある学校づくり交付金 魅力と活力ある学校づくりを推進するため、小中学校がそれぞれの特色を活かして取り組む総合的な学習の時間の活動に対し、交付金を交付した。　2,815,000 円 (4,979,158円)
教員住宅管理事業	間下教員住宅の維持管理、教職員等への貸付を行った。 １ 管理戸数　２棟３２戸 ２ 入居者数　１８名 （単身用１５名、世帯用３名）入居率５６．２％ ３ 施設修繕等　１４件 (1,794,325円)
学校管理運営事業	小中学校の運営に必要な学校配当予算の令達、執行管理及び給食調理員等市費職員の配置、施設維持に必要な経費等を執行した。 １ 小学校の主な修繕工事（５０万円以上） ・神明小学校体育館屋根修繕工事　682,000円 ・岡谷田中小学校ブランコ修繕工事　792,000円 ・上の原小学校消防用設備修繕工事　688,600円 ２ 中学校の主な修繕工事（５０万円以上） ・岡谷南部中学校剣道場照明 LED ランプ交換修繕工事　660,000円 ・岡谷東部中学校給食室厨房内回転釜下部排水ピット修繕工事　660,000円 ・岡谷東部中学校第２音楽室照明器具取替修繕工事　528,000円 ３ 公有財産の購入 ・小井川小学校 借用地 245.47㎡　6,255,074円 （小学校 433,480,142円） （中学校 226,378,078円）
学校教育推進事業	小中学校において学習指導要領に基づくカリキュラムを実践し、学校図書館の運営、英語教育や情報教育の充実等、学校教育を推進するため、各種事業を実施した。 １ 学校図書館活用推進事業 児童生徒の読書活動の充実を図り、「豊かな心」と「自ら学ぶ力」の育成を図るため、読書・学習・情報センターとして機能する学校図書館づくりを市立岡谷図書館と連携して推進した。 （１）学校図書館司書の配置 小中学校全１１校に学校図書館司書を配置し、司書教諭等をサポートするとともに、学校図書館の環境づくり及び蔵書の充実を行った。 ２ 外国語授業支援事業 小学校の外国語活動及び国際理解教育、中学校の英語教科指導の補助のため、ＡＬＴ（外国語指導助手）を７名配置し、外国語授業への支援を図った。 小学校 22,108,800円 中学校 12,633,600円

	３ 保健体育科指導事業 　地域伝統のスポーツ文化であるスケートを小学校の授業に取り入れ、児童の健康増進、体力向上に努めた。 【利用者】屋内リンク ４５５人　屋外リンク １，８８０人 合計数 ２，３３５人　4,204,158円 ４ 情報教育推進事業 　国のＧＩＧＡスクール構想に基づき、小中学校に配備した１人１台端末を活用し、児童生徒の個別最適化された学びの提供に努めた。 （１）ＧＩＧＡ運営支援業務 ・児童生徒のＧＩＧＡ端末の利活用が滞りなく行われるようにＧＩＧＡスクールサポーターを配置し支援体制を整えた。 ・第２期ＧＩＧＡ端末の計画的な導入に向け、「岡谷市情報機器等整備計画」を策定したほか、ネットワーク環境の課題を把握するためアセスメント調査を実施した。 小学校 2,857,400円 中学校 1,632,800円 （２）情報教育の推進 　教職員等に対して、情報教育指導員による情報機器の操作支援、教職員向け研修、授業サポート等を行い、情報教育を推進した。 （３）情報教育委員会　定例会３回、臨時会１回 　各校の担当教員で構成する情報教育委員を中心に児童生徒及び教職員の情報活用能力を高めるための研修等を実施した。 　また、情報モラル教育について、実践発表やセキュリティ・モラル対策についての講習会等を実施した。 ５ 学校・家庭双方向通信アプリ運用 　家庭との連絡手段のデジタル化を進め、迅速かつ的確に情報のやりとりができる通信アプリ「すぐーる」を運用した。 小学校 676,200円 中学校 386,400円 （小学校 163,204,097円） （中学校　74,610,737円）
健康管理事業	児童生徒および教職員の健康の保持増進を図るため、小中学校に学校医を配置し、健康管理に努めた。 （小学校 15,506,951円） （中学校　8,960,806円）
学校給食事業	児童生徒に安全で安心な給食を提供するため、学校調理員の配置のほか、給食室の設備改修や備品等の更新を行った。 １ 小学校の主な購入備品（１０万円以上） ・神明小学校スチームコンベクションオーブン１台 1,540,000円 ・湊小学校炊飯器１台（炊飯器内釜（追加分）含む） 407,000円 ・長地小学校給食用配膳台１台　115,500円 ２ 中学校の主な購入備品（１０万円以上） ・岡谷西部中学校スチームコンベクションオーブン１台 2,475,000円 ・岡谷南部中学校回転釜１台　1,683,000円

３　食材高騰に伴う学校給食費の支援

学校給食の食材価格の高騰を受け、昨年度に引き続き値上がり分の食材費の公費負担を継続し、支援を行った。

小学校　11,909,220円
中学校　11,566,335円
（小学校　18,698,182円）
（中学校　19,209,284円）

小中学校整備事業

児童生徒が安全で快適に学べる学校づくりに向け、小中学校の施設整備を推進した。

１　小学校の主な施設整備

・上の原小学校昇降口前舗装等改修工事（令和５年度繰越事業）
3,564,000円

・令和７年度に予定した上の原小学校トイレ洋式化改修工事に係る国補助金の前倒し採択に伴い、補正予算を行い、令和７年度に１９，７７８千円を繰り越した。

２　中学校の主な施設整備

・岡谷南部中学校体育館屋根等補修工事（令和５年度繰越事業）
2,037,200円

・岡谷東部中学校トイレ洋式化改修工事（令和５年度繰越事業）
15,059,000円

（小学校　3,564,000円）
（中学校　17,096,200円）

就学援助費

要保護及び準要保護児童生徒の保護者に対し必要な就学援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。

また、特別支援学級に入級する児童生徒の保護者に対し、就学等に要する経費に対する奨励費を支給し経済的負担の軽減を図った。

【就学援助費】
小学校:17,667,341円
中学校:17,599,356円　　計:35,266,697円

【特別支援教育就学奨励費】
小学校: 3,980,433円
中学校: 2,661,204円　　計: 6,641,637円

（小学校　21,647,774円）
（中学校　20,260,560円）

放課後子どもの居場所づくり事業

市内全７小学校において、放課後時間に学校施設を活用して、子どもたちの安全・安心な居場所を提供した。運営に協力いただく地域住民の知識や教養を伝える交流活動等を通じて、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進した。

名称	実施回数	延べ参加児童数		
		令和６年度	令和５年度	増減
とちっ子ひろば（川岸小）	16	1,070	927	143
神明っ子はばたきラボ（神明小）	16	848	864	△16
おいかわっこ（小井川小）	11	687	650	37
あやめ基地（岡谷田中小）	13	1,751	1,771	△20
あそぼう日（湊小）	16	383	525	△142
おさっちあ（長地小）	11	2,580	2,366	214
うえのはらっぱ（上の原小）	16	902	928	△26
合計	99	8,221	8,031	190

（4,249,654円）

<table>
<tr><td>学童クラブ管理運営事業</td><td>就労等により保護者が昼間家庭にいない小学生を対象に、放課後時間等の適切な遊びと生活の場として、学童クラブを開設した。
１　開設校　小学校７校１３クラブ（障がい児学童ひかりクラブ含む）
２　開設日　学校登校日、学校休業日、
土曜日は岡谷田中小学校に集約して開設
３　ボランティア参画
・夏休み読み聞かせボランティア
期間　７月２２日（月）～８月２０日（火）
受入　１３学童クラブ　延べ１４８人、１３５回
・夏休み音楽ボランティア
期間　７月２２日（月）、８月８日（木）
受入　４学童クラブ　延べ２５人、３回
・春休み読み聞かせボランティア
期間　３月１９日（水）～３１日（月）
受入　１０学童クラブ　延べ５７人、５５回
・春休み語りボランティア
期間　３月１９日（水）～３１日（月）
受入　８学童クラブ　延べ２４人、２４回
４　中学生による職場体験「学童ＷＯＲＫＷＯＲＫ（わくわく）体験事業」
期間　７月２５日（木）～８月２日（金）
受入　２３人（延べ時間１０３．５時間）
（63,116,721円）</td></tr>
<tr><td>岡谷子ども未来塾事業</td><td>市内中学校において、苦手科目の解消や学習の習慣付けができるよう、教員ＯＢ等が講師となり、中学２年生を対象に英語・数学の学習支援ソフトによる学習や自主学習への学習支援を行った。
<table><tr><th rowspan="3">学校名</th><th colspan="2">実施回数</th><th colspan="4">延べ参加生徒数</th></tr><tr><th rowspan="2">英語</th><th rowspan="2">数学</th><th colspan="2">英語</th><th colspan="2">数学</th></tr><tr><th>６年度</th><th>５年度</th><th>６年度</th><th>５年度</th></tr><tr><td>岡谷西部中</td><td>7</td><td>7</td><td>30</td><td>5</td><td>43</td><td>17</td></tr><tr><td>岡谷北部中</td><td>7</td><td>7</td><td>52</td><td>41</td><td>47</td><td>43</td></tr><tr><td>岡谷南部中</td><td>7</td><td>7</td><td>75</td><td>47</td><td>91</td><td>59</td></tr><tr><td>岡谷東部中</td><td>7</td><td>7</td><td>127</td><td>65</td><td>101</td><td>54</td></tr><tr><td>合計</td><td>28</td><td>28</td><td>284</td><td>158</td><td>282</td><td>173</td></tr></table>（内、英数合同：８回）
小学生夏休みわくわくサマースクールの中で、小学５年生を対象に「岡谷子ども未来塾５年版」を実施し、延べ１０１名に対し、算数に関わる学習支援を行った。（各校２回実施）
（528,000 円）</td></tr>
<tr><td>岡谷市育英基金奨学金事業</td><td>高校、大学等への進学者に対し、選考委員会による選考の上、岡谷市育英基金による奨学金貸付者を決定し、対象者への貸付及び償還事務等を行った。
・本年度貸付者　３２人（うち新規貸付者７人）
（新規貸付者内訳　大学　５人、専門学校２名）
・当年度貸付額　25,584,000円　・償還免除額　5,431,950円</td></tr>
</table>

第３　主要な統計、行政資料等

１　小学校児童数及び学級数

（令和６年５月１日現在）

区　分	１年		２年		３年		４年		５年		６年		特別支援		合　計	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
		人		人		人		人		人		人		人		人
川岸小	2	44	1	33	2	49	2	46	2	57	2	55	3	16	14	300
神明小	2	46	2	52	2	48	2	44	2	43	2	60	3	20	15	313
小井川小	2	36	2	36	2	42	2	39	2	54	2	47	3	17	15	271
岡谷田中小	2	45	2	56	2	51	2	56	2	55	2	60	3	17	15	340
湊小	1	5	1	16	1	13	1	17	1	17	1	6	1	4	7	78
長地小	3	81	3	79	3	84	3	75	2	68	3	80	6	45	23	512
上の原小	1	22	1	23	1	28	1	21	1	29	1	29	3	15	9	167
合　計	13	279	12	295	13	315	13	298	12	323	13	337	22	134	98	1,981

２　中学校生徒数及び学級数

（令和６年５月１日現在）

区　　分	１年		２年		３年		特別支援		合　計	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
		人		人		人		人		人
西部中	2	40	2	57	2	41	3	16	9	154
北部中	3	75	3	74	4	108	3	18	13	275
南部中	2	55	3	76	3	72	3	11	11	214
東部中	4	131	4	131	4	134	4	25	16	421
合　計	11	301	12	338	13	355	13	70	49	1,064

３　小中学校児童生徒数及び学級数

（令和６年５月１日現在）

区　　分	通常学級		特別支援学級		合　計	
	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数
		人		人		人
小学校	76	1,847	22	134	98	1,981
中学校	36	994	13	70	49	1,064
合　計	112	2,841	35	204	147	3,045

4　要保護及び準要保護児童生徒就学援助費等の支給状況

（令和７年３月３１日現在）

		令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		小学校	中学校	計	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
要保護及び準要保護（人）	学用品費 (A)	241	178	419	230	173	403	236	160	396	230	154	384	220	129	349
	新入学学用品費 (1学年)	16	6	22	13	2	15	14	6	20	6	1	7	2	6	8
	新入学学用品費 (来入児)	19	－	19	23	－	23	28	－	28	27	－	27	14	－	14
	新入学学用品費 (新中1)	－	53	53	－	46	46	－	48	48	－	33	33	－	46	46
	学校給食費	240	171	411	230	164	394	236	153	389	226	148	374	217	124	341
	校外活動費 (宿泊を伴わないもの)	31	6	37	69	95	164	109	89	198	112	68	180	136	36	172
	校外活動費 (宿泊を伴うもの)	0	0	0	18	0	18	27	1	28	38	24	62	35	32	67
	医療費	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	修学旅行費	49	46	95	46	62	108	46	45	91	30	52	82	45	47	92
特別支援教育就学奨励費（人）		79	52	131	97	60	157	82	58	140	92	50	142	107	49	156
通級指導交通費（人）		18	－	18	17	－	17	22	－	22	22	－	22	19	－	19
計（人）		693	512	1,205	743	603	1,346	800	560	1,360	783	530	1,313	795	469	1,264
5月1日現在 児童生徒数（人） (B)		2,278	1,278	3,556	2,149	1,279	3,428	2,077	1,198	3,275	2,022	1,155	3,177	1,981	1,064	3,045
受給率（%） (A) / (B)		10.58%	13.93%	11.78%	10.70%	13.53%	11.76%	11.36%	13.36%	12.09%	11.37%	13.33%	12.09%	11.11%	12.12%	11.46%
歳出決算額（千円）		21,424	21,423	42,847	20,108	20,956	41,064	21,539	20,919	42,458	20,367	19,936	40,303	21,648	20,261	41,909
歳入決算額（千円）		2,729			2,737			2,978			2,930			3,261		

５　学童クラブ登録児童生徒数　　（令和７年３月３１日現在）

（１）　学校登校日　　単位：人

区　　分	児童生徒数			指導員	補助指導員	備　考
	R6	R5	増減			
川岸小第１学童クラブ	17	20	△3	1	2	教室使用
川岸小第２学童クラブ	17	15	2	1	1	
神明小第１学童クラブ	38	37	1	1	2	独立施設
神明小第２学童クラブ	36	31	5	1	1	教室使用
小井川小第１学童クラブ	24	24	0	1	2	独立施設
小井川小第２学童クラブ	31	24	7	1	1	教室使用
岡谷田中小第１学童クラブ	34	26	8	1	2	独立施設
岡谷田中小第２学童クラブ	42	37	5	1	2	
湊小学童クラブ	27	25	2	1	1	独立施設
長地小第１学童クラブ	53	48	5	1	3	独立施設
長地小第２学童クラブ	59	44	15	1	3	
上の原小学童クラブ	33	37	△4	1	3	教室使用
障がい児学童ひかりクラブ	5	6	△1	1	2	独立施設
合　　計	416	374	42	13	25	

（２）　学校休業日　　単位：人

区　　分	児童生徒数			指導員	補助指導員	備　考
	R6	R5	増減			
川岸小第１学童クラブ	31	44	△13	1	2	教室使用
川岸小第２学童クラブ	33	28	5	1	1	
神明小第１学童クラブ	60	57	3	1	2	独立施設
神明小第２学童クラブ	54	49	5	1	1	教室使用
小井川小第１学童クラブ	30	32	△2	1	2	独立施設
小井川小第２学童クラブ	43	37	6	1	1	教室使用
岡谷田中小第１学童クラブ	51	44	7	1	2	独立施設
岡谷田中小第２学童クラブ	56	57	△1	1	2	
湊小学童クラブ	31	31	0	1	1	独立施設
長地小第１学童クラブ	95	84	11	1	3	独立施設
長地小第２学童クラブ	97	79	18	1	3	
上の原小学童クラブ	48	63	△15	1	3	教室使用
障がい児学童ひかりクラブ	4	6	△2	1	2	独立施設
合　　計	633	611	22	13	25	

（３）　土曜日　　単位：人

区　　分	児童生徒数			指導員	補助指導員	備　考
	R6	R5	増減			
土曜学童クラブ （岡谷田中小で拠点実施）	63	60	3	1	1	

川　岸　学　園　整　備　室

第１　概説

川岸学園整備室では、令和５年２月に策定した「川岸学園構想」に基づき、令和９年４月の「施設一体型義務教育学校」の開校を目指すとともに、校地内に公立の幼保連携型認定こども園を併設し、幼児期から学齢期までを切れ目なくつなぐ「新たな学び舎」の創出に向けて、川岸学園設立準備委員会及び専門部会を設置し、様々な検討、調整を進めたほか、令和６年２月に策定した「岡谷市川岸学園整備基本計画」に基づき、施設整備に係る基本設計等の業務を実施した。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
川岸学園整備事業費	１　川岸学園設立準備委員会等の開催 義務教育学校及び幼保連携型認定こども園の開校･開園に向けた準備を進めるため､川岸学園設立準備委員会及び各専門部会を開催した。 ・川岸学園設立準備委員会　２回開催 開催日：８月２６日（月）、３月２５日（火） ・学校デザイン部会　２回開催 開催日：１月２７日（月）、３月４日（火） ・学校生活部会　１回開催 開催日：２月１７日（月） ・総務部会　１回開催 開催日：２月２５日（火） ・地域コミュニティ・ＰＴＡ部会　１回開催 開催日：２月１３日（木） ・施設部会　１回開催 開催日：２月２０日（木） ・こども園部会　１回開催 開催日：１月２８日（火） ２　川岸学園整備事業基本・実施設計業務 公募型プロポーザル 川岸学園の施設整備に係る設計業務を実施するにあたり､公募型プロポーザル方式により設計業者を選定するため､選定委員会を３回開催し、優先交渉権者として「エーシーエ・サイト設計共同体」を選定した。 ・川岸学園整備事業基本・実施設計業務 委 託 先：エーシーエ・サイト設計共同体 業務期間：７月１２日（金）～令和７年７月３１日（木） 契約金額：146,850,000円（契約変更後：153,054,000円） ・川岸学園整備事業基本設計（案）概要の公表 基本設計（案）の概要を岡谷市議会全員協議会へ報告した。 日時：１１月２１日（木） ・整備スケジュール及び概算事業費の公表 川岸学園整備の概要について､岡谷市総合教育会議で協議調整を行った上で、岡谷市議会全員協議会へ報告した。 日時：２月４日（火）

３　川岸学園の取組に関する説明会、意見交換会の実施
　地域や保護者、学校関係者等を対象に川岸学園整備に関する取組について、説明会や研修会等を実施したほか、「川岸学園ＮＥＷＳ（１号～１１号）」を発行した。

・川岸地区５区を訪問
　内　容：岡谷市川岸学園整備基本計画の説明、意見交換
　期　日：４月１１日（木）～１６日（火）
・岡谷市区長会
　内　容：川岸学園構想及び岡谷市川岸学園整備基本計画の説明
　期　日：４月２３日（火）
・川岸地区健全育成の会
　内　容：川岸学園整備に向けて ～本年度と今後の取組～ 地域や保護者との意見交換会（分散会）
　期　日：６月２６日（水）
　参加者：保護者、地域住民、学校関係者　約８０名
・民生市政をつくる市民の会
　内　容：川岸学園構想や義務教育学校等に関する出前講座
　期　日：８月８日（木）
　参加者：一般市民、市議会議員など　２１名
・岡谷の教育を考える懇談会
　内　容：少子化を見据えた今後の学校の在り方、地域と学校の関わり方について、区長、教育委員、岡谷市教育委員会、校長会の職員との懇談
　期　日：８月２２日（木）
・地元有志による「市民の声をとどけよう ワークショップ」
　内　容：川岸学園の今後について、４つのテーマに分けて、ワークショップ形式による意見交換
　期　日：１０月１２日（土）
　参加者：保護者や地域住民、小中学生など　約４０名
・川岸学園整備事業 基本設計（案）に関する市民説明会
　内　容：川岸学園整備の基本設計（案）の説明
　期　日：１２月１３日（金）、１６日（月）の２回
　参加者：保護者や地域住民、一般市民など　計５０名

４　川岸学園に係る施設整備
　川岸学園整備事業について、国補助金の前倒し採択により工事費等の補正予算（389,300千円）を行い、令和７年度へ全額繰越した。

５「ウェルビーイング実践校ＴＯＣＯ－ＴＯＮ（トコトン）」
　地域の教育課題に対応するため、学校の仕組みの改革などに取り組む学校や教育委員会を支援する長野県教育委員会の事業「ウェルビーイング実践校 ＴＯＣＯ－ＴＯＮ（トコトン）」に応募し、採択団体として指定を受けた。

（99,279,612 円）

生　涯　学　習　課

第１　概説

生涯学習課では、岡谷市学びの紡ぎ応援プラン（第６次岡谷市生涯学習推進計画）に基づき、生涯にわたり学び続け、地域に根ざす『ひと、もの、こと、こころ』の資源を活用しながら、生涯学習活動センター、公民館（湊、川岸、長地）、美術考古館、図書館において生涯学習の推進を図るとともに、青少年健全育成及び文化財保護に関する諸事業を実施した。

生涯学習活動センター及び３公民館では、人生１００年時代を豊かなものとするために、「じっくり学習 岡谷学」をはじめとする各種講座を実施した。また、関係各課及び関係団体、組織等と検討を行うとともに、パブリックコメントにより市民からの意見を取り入れて「第７次岡谷市生涯学習推進計画」を策定した。施設等の整備として、生涯学習館ダンス音楽室の可動壁改修工事を実施した。

美術考古館では、髙橋貞一郎・中島覚雄師弟展、市内古墳出土品の特別展示、文化財の保存技術に係る講演会のほか、多くの企画展やワークショップを開催した。また、民間ノウハウを活用した事業展開と効率的な管理運営のため、指定管理者制度の導入について検討した。

図書館では、第４次子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの読書習慣の定着を図るため、各種イベントや事業等を開催した。また、施設等の整備として図書館給水管改修工事、側溝改修工事、天井照明改修工事を実施した。

文化財保護事業では、旧渡辺家住宅茅葺屋根等改修工事を実施した。有形文化財保護・保全事業では、平成１４年に発掘が行われた岡谷丸山遺跡に関する矢柄研磨器の研究（岡谷丸山遺跡西区報告書）を発行した。遺跡緊急発掘事業では、遺跡内での個人住宅建設等小規模開発事業に伴う試掘及び発掘調査を行い、埋蔵文化財の記録保存を実施した。また、本年度から岡谷市史編さん準備室を岡谷市史編さん室に改め、新たな岡谷市史編さん事業に着手した。

第２　実績総括

<table>
<tr><th>主要な事務事業</th><th>内　　容</th></tr>
<tr><td>社会教育振興事業</td><td>１　社会教育委員の会議
社会教育関連事業について、視察や研修などの研究活動をするなかで協議、検討また意見集約を行い、教育委員会へ提言を行った。
（１）教育委員会からの諮問　　無
（２）教育委員会へ活動報告
「第７次岡谷市生涯学習推進計画の策定について」
・計画内容の検討、表紙デザインの決定
（３）会議等
・全体会議　６回
（４）研究活動
長野県社会教育研究大会、諏訪・上伊那地区社会教育委員連絡協議会合同研修会等への参加
２　郷土学習館活動支援
郷土の先人に学び、地域から生涯学習活動を発信している特定非営利活動法人郷土学習館運営委員会の活動について助成・支援を行った。
郷土学習館活動支援事業補助金　　１，８００，０００円
(2,066,288円)</td></tr>
<tr><td>二十歳を祝う会開催事業</td><td>岡谷市で心身を育んだ男女青年が、人生の節目として二十歳を迎えたことを岡谷市として祝うため、１月の第２日曜日に開催した。
・日　時　令和７年１月１２日　午後２時
・会　場　岡谷市文化会館（カノラホール）
・対象者　平成１６年４月２日から平成１７年４月１日までの出生者で市内に在住する者及び市内に親等が在住する者
<table>
<tr><th>区　分</th><th>令和６年度</th><th>令和５年度</th><th>増　減</th></tr>
<tr><td>対象人数</td><td>518人</td><td>472人</td><td>46人</td></tr>
<tr><td>参加人数</td><td>347人</td><td>321人</td><td>26人</td></tr>
<tr><td>参 加 率</td><td>67.0%</td><td>68.0%</td><td>△1.0%</td></tr>
</table>
(1,089,076円)</td></tr>
<tr><td>生涯学習推進事業</td><td>１　「成長樹（期）子育て実践ポイント」活用事業
おかや子育て憲章具現化の取り組みとして、子育てのポイントを年齢期毎にまとめたパンフレット「成長樹（期）子育て実践ポイント」を、母子手帳交付時や健康推進課「家庭訪問指導事業」の訪問時等に配布した。また、令和５年度に社会教育委員が作成したＰＲ動画をＹｏｕＴｕｂｅの岡谷市公式チャンネルにて公開した。
２　岡谷市職員出前講座（市民と歩むまちづくり講座）開催事業
市民の生涯学習活動を推進するため、職員が地域へ講師として出向き、行政の仕組みや各課の業務内容等について説明した。
・メニュー　８部門、８７講座　・派遣件数　４６件
・参加延人数　　１，６６０人
３　学びのおかやサポート事業
地域の教育力を学校教育、社会教育、社会体育の場で活用するため、ボランティア保険への加入費用を公費負担し、広くボランティア活動への参画を進めた。
・加入者数　２４３人
４　第７次岡谷市生涯学習推進計画策定事業
人生１００年時代を心豊かに迎え、継続した生涯学習の基盤を築くことを目的として第７次岡谷市生涯学習推進計画を策定した。
・計画期間　令和７年から令和１０年（４年間）
(463,914円)</td></tr>
</table>

人権教育推進事業	「岡谷市人権に関する基本方針」に基づき、市民一人ひとりがかけがえのない存在として尊重される社会の実現に向けて、各種人権教育講座を実施した。 １　輝く子育て支援学級 ２回（湊公民館、川岸公民館） ２　いちい学級 ４回（カルチャーセンター、湊公民館、川岸公民館、長地公民館） ３　家庭教育学級における人権講座 ５回（成田保育園、神明保育園、横川保育園、湊小学校、川岸小学校） ４　子育て関連団体 放課後子どもの居場所づくりスタッフ研修会　１回 (64,951円)
公民館総務事務	公民館の総務的経費である運営協議会負担金 １　長野県公民館運営協議会負担金 人口　４６，０４４人（令和５年１０月１日） 人口約４６，０００人×１．５円　６９，０００円 ２　諏訪地方公民館連絡協議会負担金 人口　４６，０４４人（令和５年１０月１日） 人口約４６，０００人×０．５円＋均等割５，０００円 ２８，０００円 (97,000円)
湊公民館管理事業	乳幼児から高齢者までの多くの人が集う、地域の学びの拠点である湊公民館の適正な維持、管理を行った。 １　湊公民館宿日直委託業務　４５３，０４２円 ２　主な修繕等 ・玄関等照明器具交換修理（ＬＥＤ化）８台　１９１，６２０円 ・自動ドア装置交換修理　２箇所　７７０，０００円 (2,541,749 円)
湊公民館運営事業	生涯学習を通じて幅広い知識を得られるよう、市民のニーズに即した学習機会を提供し、生涯学習の充実と利用促進を図った。 １　輝く子育て支援学級　１６回　参加延人数　１７２人 ２　保育園家庭教育学級 ・みなと保育園　２回　参加延人数　１０３人 ３　小学校家庭教育学級 ・湊小学校　１回　参加人数　１２０人 ４　いちい学級　１６回　参加延人数　１３９人 ５　生活講座 ・「不得意な人のためのスマホ講座」 ４回　参加延人数　２０人 ・「点描曼荼羅アート講座」　４回　参加延人数　１８人 ・「きのこ（シイタケ）の菌打ち体験講座」 １回　参加人数　１０組　１７人 ６　山っ湖学級　１回　参加人数　４人 ７　花岡・小坂公民館との共催講座 ・「ひな祭りのケーキづくり講座」 １回　参加人数　１０組　１８人 ８　読書活動推進事業 登録者数　５４５人　貸出冊数　２，２７０冊

	９　学習団体育成支援 ・湊公民館学習グループ　１３グループ ・岡谷市３公民館（湊・川岸・長地）交流文化祭 作 品 展　参加１１団体（湊公民館４団体） 芸能発表　参加　５団体（湊公民館３団体） ・湊公民館ロビー作品展　参加　３団体 １０　湊コミュニティスクール連携事業 ・公民館体験講座　「陶芸講座～ハロウィンのランタン作り～」 湊小学校４学年　１７人　引率教諭　１人 (7,087,783円)
川岸公民館管理事業	乳幼児から高齢者までの多くの人が集う、地域の学びの拠点である川岸公民館の適正な維持、管理を行った。 １　川岸公民館宿日直委託業務　８１５，２１１円 ２　主な修繕等 ・実習室、学習室照明器具交換修理（ＬＥＤ化）４台 １０８，９００円 (2,237,383円)
川岸公民館運営事業	生涯学習を通じて幅広い知識を得られるよう、市民のニーズに即した学習機会を提供し、生涯学習の充実と利用促進を図った。 １　輝く子育て支援学級　１６回　参加延人数　１６５人 ２　保育園家庭教育学級 ・川岸保育園　１回　参加人数　１０８人 ３　小学校家庭教育学級 ・川岸小学校　１回　参加人数　２００人 ４　子ども学級 ・「夏休み子どもチャレンジ教室」　１回　参加人数　１７人 ５　いちい学級　１６回　参加延人数　３７７人 ６　生活講座 ・「セルフ整体体操」　３回　参加延人数　４３人 ・「スマホ写真活用術」　４回　参加延人数　２１人 ７　読書活動推進事業 登録者数　７６５人　貸出冊数　３，３５７冊 ８　学習団体育成支援 ・川岸公民館学習グループ　１３グループ ・岡谷市３公民館（湊・川岸・長地）交流文化祭 作 品 展　参加１１団体(川岸公民館３団体) 芸能発表　参加　５団体(川岸公民館１団体) ・川岸公民館ロビー作品展　参加　２団体　２個人 (4,098,708円)
長地公民館管理事業	乳幼児から高齢者までの多くの人が集う、地域の学びの拠点である長地公民館の適正な維持、管理を行った。 １　長地公民館宿日直委託業務　１，１２３，６２９円 ２　主な修繕等 ・煙光電式スポット感知器取替　２２，０００円 ・自動ドア装置部品取替等　４７，３００円 (3,053,134円)
長地公民館運営事業	生涯学習を通じて幅広い知識を得られるよう、市民のニーズに即した学習機会を提供し、生涯学習の充実と利用促進を図った。 １　輝く子育て支援学級　１６回　参加延人数　１２２人 ２　保育園・認定こども園家庭教育学級 ・長地保育園ほか２園　３回　参加延人数　２６８人

	３　小学校家庭教育学級 ・上の原小学校ほか１校　　２回　参加延人数　４１０人 ４　子ども学級 ・「世界にひとつだけのマーブリングアートをつくろう」 １回　参加人数　　１５人 ・「親子で体験！びっくり科学実験！」 １回　参加人数　　３０人 ５　いちい学級　　１６回　参加延人数　４７９人 ６　生活講座 ・「ゲーム感覚で楽しく健康に！スポーツウエルネス吹き矢」 ３回　参加延人数　　３７人 ・「東堀の歴史探訪～ゆったり散策」　１回　参加人数　　１２人 ７　共催講座（長地公民館で活動中のグループとの共催） ・「筋力アップ＆体幹トレーニング体験講座」 ３回　参加延人数　　２５人 ・「エンジェルキッズ無料体験会」　３回　参加延人数　　１５人 ・「長地キッズ☆そろばん講座」　６回　参加延人数　　５２人 ８　読書活動推進事業 登録者数　７９９人　貸出冊数　１，８０５冊 ９　学習団体育成支援 ・長地公民館学習グループ　２９グループ ・岡谷市３公民館（湊・川岸・長地）合同文化祭 作 品 展　　参加１１団体（長地公民館４団体） 芸能発表　　参加　５団体（長地公民館１団体） (3,997,100円)
美術考古館管理事業	１　美術考古館の管理・運営及び収蔵作品等の適切な管理を行った。 ２　将来の考古展示のため京都大学が所有する海戸遺跡出土品の調査を行った。 ３　オリジナルグッズとして「絵はがき」、「一筆箋」、「クリアファイル」などの販売を行うとともに「縄文カップ」、「陶器の箸置き」など外部作家の作品等の委託販売もあわせて行った。 ４　美術考古館の企画展示室や交流ひろば等の貸出を行った。 ５　髙橋貞一郎の作品他、美術作品の寄贈を計１２点受けた。 ６　文化の日に無料公開し７５人の入館者があった。 ７　関係団体等で組織する研究会を立ち上げ指定管理者制度の導入について検討した。 ・岡谷美術考古館の将来像を探る研究会　　４回開催 (10,070,158円)
美術考古館学習事業	ワークショップなどを開催し、ものづくりの体験や芸術・文化等に触れる学習活動を推進した。 ・偶然の模様を楽しむポーリングアートを作ろう参加人数　　９人 ・紙のかぶとを作ろう　　参加人数　　４人 ・まゆの花をつくろう　　参加人数　　１人 ・館長と縄文ロックアートをやってみよう（８回） 参加人数　１４人 ・樹脂粘土でミニチュアパンを作ろう　　参加人数　１１人 ・館長とはにわをつくろう（３回）　　参加人数　２９人 ・縄文ハロウィンランタンを作ろう　　参加人数　　１人 ・クラフトバンドで小物入れを作ろう　　参加人数　　９人 ・陶磁器への絵付け体験　　参加人数　１５人 ・館長とステンドラミを作ろう　　参加人数　１０人 ・(対話型鑑賞)「画家さんから見た世界」　　参加人数　　６人 ・切り紙でうちわを飾ろう（２回）　　参加人数　１０人

	・インド刺繍リボンを使ったミニポーチを作ろう参加人数　６人 ・ホイップデコでキーホルダーを作ろう　参加人数　１０人 ・クリスマス曼荼羅アートをやってみよう　参加人数　６人 ・紙粘土ワークショップ　参加人数　１６人 ・土器型キャンドルホルダー作り　参加人数　１１人 ・モールドールを作ろう　参加人数　１０人 ・館長と色工作紙のおもしろ生き物を作ろう　参加人数　４人 ・紙粘土で作る楽しい水族館　参加人数　２０人 ・チョコネイキッドケーキを作ろう　参加人数　７人 ・館長と消しゴムはんこを作ろう　参加人数　２人 ・ピンホールカメラを作って撮影してみよう　参加人数　１０人 ・紙袋をリメイク！縫わないポーチを作ろう　参加人数　４人 (139,821円)
美術考古館展示事業	１　収蔵作品展の開催 ・「林清登切手コレクション展」　令和６年３月　７日～５月１２日 ・「新収蔵作品展１」　１１月１４日～２月　２日 ・「新収蔵作品展２」　２月　６日～４月１４日 ２　交流ひろば・企画展示室展示 ・「２０２４　ＯＫＡＹＡ　ＡＲＴ　ＦＥＳ　ＭＩＸ」 ９月１３日～　９月１５日 ・「岡谷区民作品展」　９月２７日～　９月２９日 ・「岡谷市書道協会会員展」　１０月１１日～１０月１３日 ・「ア・ラ・カルト６（シス)」　１０月１８日～１０月２１日 ・「艸展」　１月１６日～　１月２０日 ・「東高展」　３月　１日～　３月１７日 ・「ほっこり笑顔が一番ヨイサ！！展」　３月３１日～　４月１４日 ３　考古常設展示 ・縄文時代～奈良・平安時代（顔面把手付深鉢形土器・壺を持つ妊婦土偶等） ４　アーティスト育成展 ・かおてぃっくこすもす作品展「銀塩写真への誘い」 ３月　１日～　３月３０日 (315,648円)
美術考古館企画展等開催事業	１　美術特別企画展等 ・自然流の書「小口雀甫展」　５月１６日～　７月１５日 【関連イベント】オープニングセレモニー、講演会「書と盆栽」 ５月１８日 ・「高橋貞一郎・中島覚雄　師弟展」 前期　７月２０日～　９月１６日 後期　９月２１日～１１月１０日 【関連イベント】「私の諏訪湖・天竜川風景」(絵画・写真展示) １０月　１日～１０月　７日 ・「ちいさくてもいいじゃないか　みんなのミニチュア作品展」 １０月２７日～１２月２２日 ２　考古特別企画展等 ・講演会「高松塚古墳のいま・むかし」カノラホール　８月２５日 「博物館はどんなところ？」岡谷東部中学校　８月２６日 【関連イベント】市内古墳巡りのススメ（考古資料展示） ７月　６日～１２月２６日 ・諏訪郡内７館合同企画 「『諏訪史』第１巻刊行一〇〇年記念展」２月　１日～　３月３０日

	３　岡谷市内小学校児童版画展 ・第３２回岡谷市内小学校児童版画展　　１月２６日～ ２月２３日 (945,556円)
生涯学習館車両管理事務	共用車両の管理費の節減に取り組むとともに、各種法定点検、職員による日常点検を実施し、適正な車両管理と運行に努めた。 (389,798円)
生涯学習館管理事業	乳幼児から高齢者までが集い、学ぶための施設である生涯学習館の維持、管理を行った。 １　生涯学習館施設運営業務委託　　１１，９３９，４００円 ２　主な工事・修繕等 ・ダンス音楽室可動間仕切り改修工事　　２，４２０，０００円 ・ダンス音楽室他壁紙張り替え工事　　９９，０００円 ３　備品購入 ・第１会議室イス　　９９，４４０円 ・第２会議室イス　　９９，４４０円 ・貸出用プロジェクター　１台　　６４，５７０円 ・音楽スタジオドラム用クラッシュシンバル　　１０，２５２円 (19,980,092円)
生涯学習館運営事業	生涯学習を通じて幅広い知識を得られるよう、市民のニーズに即した学習機会を提供し、生涯学習の充実と利用促進を図った。 １　輝く子育て応援講座　８回　参加延人数　５１人 ２　保育園・幼稚園家庭教育学級 ・小口保育園ほか５園（市立）　６回　参加延人数　３３４人 ・聖母幼稚園ほか２園（私立）　３回　参加延人数　９９人 ３　小学校家庭教育学級 ・神明小学校ほか２校　３回　参加人数　４６２人 ４　キッズチャレンジ（子ども学級）５回　参加延人数　３３人 ５　世代間交流講座 ・「豊かな色彩で自由に！点描曼荼羅アート講座」 １回　参加人数　２０人 ６　親子講座 ・「クイズにチャレンジ！親子で学ぶお金の小学校」 １回　参加人数　１３人 ７　季節の教養講座 ・「オカリナ入門講座」　５回　参加延人数　６３人 ・「平安時代を生きた人の心を紐解く　和歌の解読講座」 ５回　参加延人数　４６人 ・「色鉛筆アート講座」　３回　参加延人数　３８人 ・「古典文芸から探る風物詩」　４回　参加延人数　３９人 ・「初心者向けハワイアンフラ講座」３回　参加延人数　３８人 ・「初心者向け押し花講座」　３回　参加延人数　１８人 ・「はじめての刺繍講座」　４回　参加延人数　５２人 ・「みんなでウォーキング講座」　３回　参加延人数　４６人 ８　若者向け講座 ・「イラストレーター体験講座」　２回　参加延人数　９人 ９　生涯学習大学 ・「ツキノワグマを知ろう」 信州大学山岳科学研究拠点 瀧井 暁子氏　参加人数　３１人

	１０　ＩＴ講座 ・「シニア向けスマホ講座」 はじめの一歩　４回　参加延人数　４１人 インターネットに繋いでみよう　２回　参加延人数　１９人 アプリをインストールして使ってみよう ４回　参加延人数　５７人 スマホで危機回避　１回　参加延人数　１４人 １１　いちい学級　１６回　参加延人数　４７３人 １２　じっくり学習！岡谷学　９回　参加延人数　１１３人 １３　コレカラ岡谷 ・かつて巨大だった諏訪湖の変遷と岡谷の街のかかわり ３回　参加延人数　２７人 １４　共催講座（生涯学習館で活動中のグループとの共催） ・「基礎を学ぶ書道講座」（書道清遼会イルフ） ４回　参加延人数　３７人 ・「初心者向けパッチワーク講座」（花園キルトの会） ４回　参加延人数　３１人 ・「初心者向き社交ダンス講座」（岡谷イルフダンスの会） ４回　参加延人数　３８人 ・「はじめての水墨画講座」（墨雅会） ４回　参加延人数　３９人 １５　地域共催講座（今井区との共催） ・「夏の学び舎」　３回　参加延人数　１３７人 １６　ボランティア講座（岡谷市社会福祉協議会との共催） ・「おいしいコーヒーでふれあいの輪をひろげよう！」 ２回　参加延人数　１７人 １７　ホリデイスクエア事業 ・Ｈａｐｐｙ　Ｓｍｉｌｅ　ＨＵＬＡ～観て、踊って、笑顔になろう～ 来場者人数　７０人 ・爽やか！オカリナコンサート　来場者人数　９０人 ・皆で楽しく踊ろう　クリスマスダンスパーティー 来場者人数　４０人 ・歌い人ごんべ　冬のあったかコンサート　来場者人数　１００人 １８　ロビー展事業　１４団体参加　各８～１５日間展示 １９　文化祭 ・市民舞踊祭　来場者人数　９０人 ・市民作品展　来館者延人数　７７４人 ・作品展企画料理講座「カフェ風ランチでお・も・て・な・し」 １回　参加人数　５人 ・市民音楽祭　来場者人数　５９８人 ・岡谷展　来館者延人数　６１７人 ・市民伝統音楽芸能祭　来場者人数　１８２人 ・おかや演劇祭　来場者延人数　４１２人 ２０　学習グループの育成および活性化 ９３グループ　１，０６５人 (1,811,032円)
青少年活動育成支援事業	１　青少年問題協議会 青少年の指導、育成、保護等に関する総合的施策の検討及び実施のため会議を開催した。 ・協議会　６月２７日　参加人数　２２人

	2　岡谷市子ども会育成連絡協議会 ・市内２０地区子ども会育成会組織への支援 ・「子どもの手による子ども会」をめざした活動の実施 ・「子ども会だより」発行 ・１０月１９日「こども秋祭り」（カルチャーセンター） ※「輝けおかやっ子ＧＯＧＯチャレンジ事業」の代替事業 ◎岡谷市リーダーズ倶楽部事業 中学生から高校生の有志で組織するボランティアグループ 登録人数５人（高校３年生５人） ・１２月７日　「クリスマス会」（カルチャーセンター） ・１月１８日　「クリスマス会反省会」（カルチャーセンター） 3　全国子ども会安全共済会負担金 地区子ども会育成会活動及び「放課後子どもの居場所づくり事業」に参加する市内小中学校に通う児童生徒と子ども会育成会役員等の安全を担保するため、全国子ども会安全共済会への加入費用を公費負担した。　加入者数　４，１１８人 4　夏休み子ども交流事業 東伊豆町の小学５年生と岡谷市の小学５・６年生が、岡谷市のシルクファクトの見学や岡谷市塩嶺野外活動センターでのレクリエーション、野外炊飯、花火などを通じ、２日間昼夜を共にし、姉妹都市交流を行った。 ・８月１日～２日　岡谷市交流　参加人数　５９人 (1,219,360円)
環境浄化・青少年非行防止活動事業	1　岡谷市少年愛護センター 青少年の健全な育成及び非行防止を図るため、行政区代表者、市内小・中学校及び高等学校の教員等からなる少年愛護委員８６名による活動を実施した。 （１）愛護パトロール 青少年の非行防止を図り、心身ともにたくましく健やかな青少年の育成を目標とした愛護指導を計画的に実施した。 〔活動状況〕 ・実施日数　７９日　・従事委員数　延べ　２２６人 ・声かけした子どもの数　延べ　１０８人 ・深夜パトロール ８月７日　午後８時～午後９時３０分　参加人数　１０人 （２）環境浄化活動 青少年が健全に成長できるよう、有害な情報や環境から守るための取組みとして、地域ぐるみで青少年を見守り育て非行を防止する環境づくりを推進する店舗「青少年健全育成協力店」の協力依頼を市内店舗へ行い、長野県作成のステッカー配布に努めた。 2　街頭啓発活動 青少年を地域全体で支えていく社会の構築に向け、県や岡谷警察署と協働し、駅前・市内中学校校門前・市内高等学校校門前等で啓発物品を配付し、街頭啓発活動を行った。 （１）「青少年の非行・被害防止全国強調月間（７月）」７月１日（月） （２）「子ども・若者育成支援強調月間（１１月）」　１１月１日（金） (859,105円)
図書館管理事業	人件費等の運営管理及び図書館の施設、設備等の維持管理を行った。 1　主な修繕等 ・図書館給水管改修工事、図書館側溝改修工事、 図書館天井照明改修工事、図書館ピット内給水管調査業務 (56,621,249円)

図書資料等整備事業	多くの新刊図書が発刊される中、利用者が好む本や、タイムリーな情報を取り入れることなど各分野の特徴を意識した選書に努め、図書資料の整備を行った。 １　図書資料の購入等 ・図書　７，５５０，６６６円 ・保育園、幼稚園親子文庫用図書　９４８，７３９円 ・新聞、雑誌　１，１０６，９７０円 ２　視聴覚資料購入 ・ＤＶＤ　１６０，４２０円 ・ＣＤ　４６，８４４円 （10,183,571円）
読書普及活動事業	１　岡谷市子ども読書活動推進会議 子ども読書活動推進委員会　委員７名　３回開催 ２　学校図書館との連携 （１）市立図書館返却ポスト及び物流システム 市立図書館で借りた本を自分の通う学校の図書館へ返却できるため、利用を呼び掛けた。また、教職員が求める図書資料等の相談、検索、資料貸出等のレファレンス機能（リクエスト）も備え事業の充実を図った。 ・市内１１小中学校図書館返却ポスト設置数　１１個 ・利用状況 ①　小学校　２７３冊（返却数:１２４冊、リクエスト:１４９冊） ②　中学校　１０６冊（返却数:　１２冊、リクエスト:　９４冊） （内訳）

	川岸	神明	小井川	岡谷田中	湊	長地	上の原	計
返却	0	5	19	24	12	62	2	124
リクエスト	10	6	52	49	12	18	2	149
計	10	11	71	73	24	80	4	273

	岡谷西部	岡谷北部	岡谷南部	岡谷東部	計
返却	7	5	0	0	12
リクエスト	9	1	0	84	94
計	16	6	0	84	106

（２）学級文庫「旅する本箱」

子どもたちが本を身近に感じられる環境を整備するため、小学校１、２年全学級および希望する学校（学級）に、絵本や様々な分野の本を設置した。

・配架学級数　４８学級

・貸出冊数　３，２８７冊

（内訳）

川岸	神明	小井川	岡谷田中	湊	長地	上の原	計
190	306	922	309	261	936	363	3,287

（３）図書館見学

岡谷田中小学校　２年生　２学級

３　おはなしの森シリーズ

・おはなしの森　４８回
・ちいさなおはなしの森　１２回
・日曜日のちいさなおはなしの森　４回
　参加延人数　７９７人

・おはなしの森　春だよ！スペシャル

ブラックパネルシアター、絵本の読み聞かせ　参加人数　１６人

としょかんオリエンテーリング　参加人数　３０人

・夏休み特集おはなしの森　戦争の絵本の読み聞かせ
参加人数　８人
・こわ～いおはなしの森　怖い絵本の読み聞かせ
参加人数　３４人
・クリスマス特集おはなしの森　大型絵本の読み聞かせ
参加人数　３３人
４　「家庭読書の日」事業
・広報への掲載、貸出冊数の上限拡大
・家庭読書の日周知チラシの配布
５　ファーストブック事業（９～１０か月児検診時配布）
配布数　２２７冊
６　ファーストチョイスブック事業
・３歳児健診時に引換券を配布し、図書館にてオリジナルキャラクター付図書カードをプレゼントした。
引換券配布人数　２７０人　カード作成人数　５４人
７　子ども工作教室
・夏：参加者２５人、冬：参加者３０人　参加延人数　５５人
８　としょかんキッズ（１日図書館員）※小学４年生から高校生対象
・夏休み・春休み（各３日間）　参加延人数　２０人
９　としょかん子ども読書まつり
・関係６団体と協力し２日間開催　参加延人数　２９５人
１０　団体やグループに対する読み聞かせの普及活動
・乳幼児サークル等での職員による読み聞かせ等
実施回数　５回　参加延人数　１１６人
１１　ぬいぐるみのおとまり会　参加人数　１８人
１２　朗読なかま大集合ｉｎおかや　参加人数　１９人
１３　シニア電子図書館講座　参加人数　７人
１４　まちかど図書館事業
・市内公共施設７か所に設置（諏訪湖ハイツ、生涯学習活動センター、勤労青少年ホーム、市役所ロビー、市民総合体育館、美術考古館、ロマネット）
１５　図書リサイクル事業（読書サークル協議会との協働事業）
・実施日　９月２９日
来館者　１６８人　リサイクル図書数　２，４２８冊
１６　本の福袋　１７０冊
１７　図書館ＤＥ講座（兼テーマブックスコーナー）
・こどもまんなか児童福祉週間、水道週間、食育月間、男女共同参画週間、地球温暖化問題、岡谷市防災の日、道路ふれあい月間、下水道の日、健康増進普及月間、食生活改善普及運動、自殺予防週間、世界アルツハイマー月間、里親月間・里親の日、オレンジリボン・児童虐待防止キャンペーン、女性に対する暴力をなくす運動、人権週間、自殺対策強化月間
１８　はつらつ来（らい）ぶらり事業
・高齢者の方々に本への関心をもっていただくため、いきいきライフコーナー（大活字本・年金等シニア向けの書棚）を設置した。
１９　「岡谷図書館公式エックス（Ｘ）」の運営
・ＳＮＳ（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用し、新コーナーの紹介やイベントの案内、その他あらゆる情報等を掲載し、幅広い層へ市立図書館の認知度向上を図った。
閲覧回数　１７，４８２回

	２０　読み聞かせ活動用機材の貸出 ・ハンズフリータイプの拡声器を読書活動団体や学校等に貸し出した。 拡声器貸出件数及び台数　２件　　延べ　５台 (435,194円)
図書館情報ネットワークシステム管理事業	１　諏訪地域公共図書館情報ネットワークシステム「すわズラ～」の維持管理を行った。 ２　信毎データベースを導入し､利用者が望む資料検索時間の短縮や、それに伴う職員の業務の軽減を図った。 ３　市町村と県による協働電子図書館サービス「デジとしょ信州」を運用し､住民サービスの向上及びデジタル化社会への対応を図った。 登録者　３２９人、貸出件数　９１５件 (5,009,716円)
指定文化財管理事業	１　市管理の指定史跡梨久保遺跡、姥ヶ懐古墳、唐櫃石古墳、スクモ塚古墳、広畑遺跡の草刈等の管理を行った。 ２　指定文化財保護事業補助金　１件 （平福寺木造十一面観音菩薩立像修復事業） (586,501円)
旧林家住宅管理事業	１　施設の維持管理、公開を行った。 ２　施設を活用した行事を開催した。 ・シルクフェア　来館者数　２８１人 ・岡谷工業高校茶華道部による発表会　来館者数　７３人 ・文化の日に無料公開　来館者数　２１人 ・雛人形の展示（２１日間）　(4,547,687円)
旧渡辺家住宅管理事業	１　施設の維持管理、公開を行った。 ２　施設を活用した行事を開催した。 ・文化の日に無料公開　来館者数　３人 ・修繕工事見学会　参加者数　１２人 ３　茅葺屋根等改修工事 工　期　令和５年１１月１５日～令和６年１０月３１日 請負金額　４１，２５０，０００円 （内令和６年分　３６，２５０，０００円） ４　茅葺屋根等改修工事監理業務委託料 工　期　令和６年４月１日～令和６年１０月３１日 委 託 料　１，１００，０００円　(38,127,887円)
旧山一林組製糸事務所管理事業	１　施設の維持管理を行った。 ２　建物１・２階を岡谷絹工房等として施設の活用を図った。 (2,268,021円)
有形文化財保護・保全事業	１　岡谷市文化財保護審議会を開催した。　２回開催 ２　生涯学習課分室・公用車両の管理を行った。 ３　文化財施設支障木伐採業務　１，１００，０００円 ４　矢柄研磨器研究報告書作成業務　９８２，３００円 (8,633,534円)
遺跡緊急発掘事業	個人住宅等小規模開発・公共事業に伴う試掘調査を実施した。 ・調査件数　５件　９９．７㎡　(2,866,683円)
塩嶺野外活動センター管理事業	市内唯一の宿泊可能な生涯学習施設として、緑豊かな自然の中での野外活動を通して､利用者の豊かな情操と心身の健全育成を図るため、適切な管理運営を行った。 開設期間　５月１日～１０月３１日 利用者数　１，０３１人　(5,187,334円)

市史編さん事業	1　岡谷市史編さん室の設置 ・イルフプラザ３階生涯学習課内　専任職員２名配置 2　岡谷市史編さんプロジェクトチームの設置、運営 ・庁内職員３７名任命 ・２月２８日会議開催 事業説明、講演「岡谷の魅力あれこれ～つなぐＤＮＡ～」 3　岡谷市史編さん委員会の設置準備 ・設置要綱策定、委員の公募・人選 4　先進地視察 ・松本市、松本青年会議所（歴史資料の活用について） 5　講演会受講 ・長野県史料保存活用連絡協議会講習会（須坂市文書館の活動ほか） ・文献史料保存活用講習会（文化財の保存・活用ほか） ・国文学研究資料館シンポジウム（地域資料の保存・活用ほか） ・長野県地理学会（防災アーカイブほか） 6　広報 ・岡谷市史編さん室だより「覧古考新」 １３回発行、ＷＥＢ公開（市ホームページ）、広報おかや ・「覧古考新」閲覧・配布コーナーの設置 （市役所ロビー、イルフプラザ、美術考古館、図書館、支所等） （4,939,499円）

第３　主要な統計、行政資料等（令和７年３月３１日現在）

１　生涯学習館・公民館利用状況

区　　分		利用件数	うち有料	利用人員	使用料
		件	件	人	円
生涯学習館		6,016	2,871	59,639	5,021,755
湊　公民館		424	9	4,528	164,215
川岸公民館		571	64	6,139	338,790
長地公民館		1,685	468	17,746	1,201,313
合計	令和６年度(A)	8,696	3,412	88,052	6,726,073
	令和５年度(B)	8,646	3,253	83,980	6,309,683
	増　減(A)-(B)	50	159	4,072	416,390

２　図書館

（１）総蔵書冊数等（総蔵書冊数　２３１，４８２冊）

分類別蔵書冊数、受入及び除籍冊数　　（ ）内はうち寄贈数

分　　類		蔵　書　冊　数	構成比	受入冊数	（ ）うち寄贈による受入	構成比	除籍冊数
		冊	%	冊		%	冊
０　総　　記		4,977	2.8	95	(9)	2.4	217
１　哲　　学		5,807	3.3	107	(11)	2.7	234
２　歴　　史		14,914	8.5	381	(64)	9.7	319
３　社会科学		20,131	11.5	481	(58)	12.2	1,337
４　自然科学		7,182	4.1	236	(7)	6.0	575
５　技　　術		7,322	4.2	210	(18)	5.4	240
６　産　　業		4,371	2.5	113	(7)	2.9	348
７　芸　　術		11,935	6.8	181	(37)	4.6	521
８　言　　語		1,543	0.9	39	(3)	1.0	286
９　文　　学		42,637	24.4	597	(126)	15.2	1,193
外　国　語		111	0.1	24	(8)	0.6	0
大　活　字		616	0.4	13	(0)	0.4	88
コ　ミ　ッ　ク		2,844	1.6	240	(215)	6.1	361
児　　童		50,413	28.9	1,212	(66)	30.8	1,336
小　　計		174,803	100.0	3,929	(629)	100.0	7,055
団体貸出用		3,261		196			1,130
公民館図書室		20,392		543			713
紙　芝　居		1,273		1	(1)		0
保育園・幼稚園親子文庫		31,753		701			522
合計	令和６年度(A)	231,482		5,370	(630)		9,420
	令和５年度(B)	235,532		5,652	(1,009)		4,779
	増　減(A)-(B)	△4,050		△282	(△379)		4,641

再掲	区　　分		蔵 書 冊 数	受入冊数	除籍冊数
	郷　　土		17,355	170（118）	296
	点　　字		604	4（1）	98
	洋　　書		1,805	13（12）	1
	公民館図書室		20,392	543	713
		湊公民館	7,159	170	0
		川岸　〃	5,430	195	254
		長地　〃	7,803	178	459

（２）館外貸出利用状況（登録者数　３６，２２９人　内児童数　１，７４９人）

区　　分		貸 出 冊 数		利用者別貸出冊数	
			内児童図書	中学生以上	児　童
本　館　計		195,616	78,223	155,674	39,942
個人貸出※１		172,534	71,937	132,592	39,942
団体貸出※２		4,096	1,622	4,096	
相互貸借※３		18,986	4,664	18,986	
湊　公民館		2,270	2,258	809	1,461
川岸公民館		3,357	3,303	1,214	2,143
長地公民館		1,805	1,804	616	1,189
保育園幼稚園 親 子 文 庫		38,418	38,418	3,485	34,933
合計	令和６年度(A)	241,466	124,006	161,798	79,668
	令和５年度(B)	241,543	120,953	165,553	75,990
	増　減(A)-(B)	△77	3,053	△3,755	3,678

※１　個人貸出の内、視聴覚資料利用数　5,026 点
（内訳　ビデオ：11 点、カセット：25 点　CD：1,456 点、DVD:3,534 点）
※２　団体貸出：学級文庫、市内施設等への貸出
※３　相互貸借：諏訪５市町村や県内外図書館への貸出

（３）入館者数　５４，７８３人（開館日　２８５日）　（単位：人）

１日平均入館者数	令和６年度(A)	192.2
	令和５年度(B)	181.8
	増　減(A)-(B)	10.4

３　美術考古館

（１）美術考古館入館状況　（開館日数２９２日）

	個　人		団　体		年間券（販売）	共通券（販売）	減免割引入館者	無料入館者	入館者合計	入館料合計
	高校生以上	小中学生	高校生以上	小中学生						
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	円
令和６年度(A)	1,779	55	46	0	95 (17)	304 (181)	468	7,240	9,987	970,330
令和５年度(B)	2,645	100	84	62	232 (14)	675 (331)	492	4,935	9,225	1,483,730
増減(A)-(B)	△866	△45	△38	△62	△137 (3)	△371 (△150)	△24	2,305	762	△513,400

（２）美術考古館利用状況

	企画展示室			交流ひろば			多目的スペース			使用料合　計
	有料	減免	使用料	有料	減免	使用料	有料	減免	使用料	
令和６年度(A)	日 19	日 8	円 111,920	日 41	日 23	円 96,180	日 14	日 0	円 29,610	円 237,710
令和５年度(B)	32	0	188,140	36	34	89,820	12	0	28,700	306,660
増減(A)-(B)	△13	8	△76,220	5	△11	6,360	2	0	910	△68,950

４　旧渡辺家住宅　公開日数　９日（４月１日～１０月３１日は改修工事のため休館、１１月４日～３月１９日は冬季休館）

年度	入館者数（人）						
	個　人	団　体	減　免入館者	小中高校生無料	共通入館券		合計
					共通入館券購入者	他館での購入者	
令和６年度(A)	0	0	6	75	0	6	87
令和５年度(B)	44	0	113	1	2	50	210
増　減(A)-(B)	△44	0	△107	74	△2	△44	△123

（円）

年度	入館料	会場使用料			入館料・使用料合計
	合　計	部分使用	全館使用	合　　計	
令和６年度(A)	0	0	0	0	0
令和５年度(B)	15,320	0	0	0	15,320
増　減(A)-(B)	△15,320	0	0	0	△15,320

５　旧林家住宅　公開日数　２２７日（１１月４日～３月３１日の平日は休館）

年度	入館者数（人）						
	個　人	団　体	減　免入館者	小中高校生無料	共通入館券		合計
					共通入館券購入者	他館での購入者	
令和６年度(A)	789	119	647	24	184	173	1,936
令和５年度(B)	727	123	660	63	184	290	2,047
増　減(A)-(B)	62	△4	△13	△39	0	△117	△111

（円）

年度	入館料	会場使用料			入館料・使用料合計
	合　計	部分使用	全館使用	合　　計	
令和６年度(A)	576,380	0	0	0	576,380
令和５年度(B)	525,920	3,150	0	0	529,070
増　減(A)-(B)	50,460	△3,150	0	0	47,310

６　塩嶺野外活動センター利用状況

（１）センターハウス（宿泊）

市　内			市　外			減免	人数計	使用料合　計
無　料	有　料	使用料	有　料		使用料			
高校生以　下	一般		高校生以　下	一般				
人 196	人 2	円 3,140	人 98	人 107	円 378,560	人 100	人 503	円 381,700

（２）センターハウス（日帰り）

市　内			市　外			減免	人数計	使用料合　計
無　料	有　料	使用料	有　料		使用料			
高校生以　下	一般		高校生以　下	一般				
人	人	円	人	人	円	人	人	円
67	108	34,560	10	52	29,240	49	286	63,800

（３）キャンプ場（日帰り）

単　位						利用人数	使用料
使用料/人数	1～10 人	11～20 人	21～30 人	31～40 人	41 人～		
有料	組 6	組 0	組 0	組 0	組 0	人 17	円 3,120
減免	0	0	0	0	1	61	0

（４）キャンプ場（宿泊）

テント数				利用人数		
有料		減免	使用料	有料	減免	計
貸出	持込					
張	張	張	円	人	人	人
0	78	0	60,840	164	0	164

（５）センターハウス及びキャンプ場の利用人数等合計

年度/人数・使用料	利用人数	センターハウス等使用料
令和６年度（A）	人 1,031	円 509,460
令和５年度（B）	950	437,810
増　減 (A) －(B)	81	71,650

ス　ポ　ー　ツ　振　興　課

第１　概説

スポーツ振興課では、第２次岡谷市スポーツ推進計画の主な取組である「市民ひとり１スポーツの実現」、「競技力の向上」、「子どものスポーツ機会の充実」、「スポーツ環境の整備・充実」のほか、令和６年度からの第５次岡谷市総合計画後期基本計画及び教育大綱に掲げる「第８２回国民スポーツ大会・第２７回全国障害者スポーツ大会（信州やまなみ国スポ・全障スポ）の推進」を加えた５つを柱に、さまざまな種類のスポーツに気軽に参加できる環境づくりに努めるとともに、スポーツを通じて健康で活力に満ちた生活を送ることができるよう、公益財団法人岡谷市スポーツ協会をはじめとする関係スポーツ団体等と連携し、各種事業を実施した。

また、第２次岡谷市スポーツ推進計画の計画期間が令和６年度で満了になることから、令和７年度からの新たな計画策定のため、岡谷市スポーツ推進計画策定委員会を設置し、スポーツ振興に関するアンケート調査を実施するなど、幅広い市民の意見等を把握するなかで、スポーツで笑顔あふれる元気なまちをめざす第３次岡谷市スポーツ推進計画「はつらつ岡谷スポーツプラン」を策定した。

スポーツ施設の整備、充実においては、岡谷市営庭球場砂入り人工芝コート全面（６面）張替改修工事、岡谷市民水泳プール昇温ボイラー更新工事のほか、岡谷市民総合体育館の長寿命化を図るとともに、令和１０年開催予定の第８２回国民スポーツ大会・第２７回全国障害者スポーツ大会の内定競技である卓球競技の開催を見据え、大規模改修工事に向けた実施設計業務を実施した。

そのほか、バレーボールの国内トップリーグであるＳＶリーグに参戦している男子バレーボールチームのＶＣ長野トライデンツと１０月に相互連携協定を締結した。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
スポーツ推進委員事業	スポーツ推進委員（１３人）により、ニュースポーツの普及や市民のスポーツ推進のための行事や事業の協力に努めた。 ・諏訪地方ヘルスバレーボール大会　６月 ・市民ニュースポーツフェスティバル　８月 ・体力、運動能力調査　９月 ・市民ボッチャ大会　９月　(921,440 円)
陸上競技場管理事業	市営陸上競技場の利用者が、安全で快適に利用できるよう施設の適正な管理に努めた。 ・市営陸上競技場修繕工事　282,700 円 (381,700 円)

やまびこ国際スケートセンター管理事業	岡谷市やまびこ国際スケートセンターの管理運営を株式会社やまびこスケートの森に指定管理者として業務委託を行うとともに、物価高騰等に対する支援を行った。 ・冷凍機エンジン修繕工事　4,173,400円 ・指定管理委託業務　87,070,000円 (95,685,470円)
学校体育施設開放管理事業	学校体育施設の利用者が、安全で快適に利用できるよう適正な管理運営を行った。 ・市内小中学校体育館、校庭　(874,147円)
スポーツ施設管理事業	市営岡谷球場、岡谷市民湖畔広場、岡谷市民川岸スポーツ広場、岡谷市民総合体育館、岡谷市営庭球場、岡谷市民水泳プールの管理運営について、令和６年度からの指定管理者として、前指定管理期間と同様に、シンコースポーツ株式会社に業務委託を行った。 やまびこアイスアリーナほか、各スポーツ施設の維持、修繕等により、利用者が安全で快適に利用できるよう適正な管理を行った。 ・市民水泳プール券売機新紙幣対応修繕業務　165,000円 ・市民総合体育館電話交換機修繕業務　902,000円 ・市民総合体育館大規模改修工事実施設計業務　17,270,000円 ・スポーツ施設指定管理委託業務　129,250,000円 ・東体育館低濃度ＰＣＢ含有機器処分委託業務　503,250円 ・市営庭球場人工芝全面張替改修工事　60,258,000円 ・東体育館受変電設備等改修工事　13,200,000円 ・市民水泳プール昇温ボイラー更新工事　13,145,000円 ・東体育館非常用発電機改修工事設計業務（前年度から繰越） 1,067,000円 ・東体育館非常用発電機改修工事（前年度から繰越） 14,080,000円 ・市民総合体育館排煙設備改修工事（前年度から繰越） 7,887,000円 ・アイスアリーナ床面改修工事　1,760,000円 (259,875,255円)
スポーツ振興事業	岡谷市教育委員会主催大会、各種スポーツ教室を公益財団法人岡谷市スポーツ協会や専門トレーナーを有する株式会社やまびこスケートの森に委託し、子どもから一般までを対象に、多様なスポーツの機会の充実と競技力向上を図った。 また、令和７年度からの第３次岡谷市スポーツ推進計画の策定業務を実施した。 そのほか、第８２回国民スポーツ大会・第２７回全国障害者スポーツ大会の開催に向け、先催県を視察するなど施設面、運営面等の情報収集に努めた。 １　スポーツ大会（主催大会等）５６大会　2,249,842円 ・各区対抗スポーツ大会　１１大会（うち１大会中止） 参加者１，２０３人（選手、運営、観客含む） ・市民スポーツ普及大会　３６大会（うち７大会中止） 参加者５，３４５人（選手、運営、観客含む） ・競技力向上大会　９大会（うち２大会中止） 参加者２，４７１人（選手、運営、観客含む） 参加者合計９，０１９人 ２　おかやファミリースポーツプログラム　611,061円 ・体験型スポーツイベント　５回

	３　スポーツ教室　2,818,244 円 ・少年スポーツ教室　９種目１０教室 ・女性スポーツ教室　２種目２教室 ・一般スポーツ教室　２種目２教室 ・市民全般スポーツ教室　３種目３教室 ・託児付きスポーツ教室　１種目１教室 ・ＶＣ長野トライデンツ小中学生バレーボールクリニック１回 ・国スポ強化小中学生バレーボールクリニック１回 ４　大人のためのスロージョグ教室６回（一般）　207,000 円 ５　おかやキッズ体育塾　816,000 円 ・前期１０回、後期１０回（前期、後期各２クラス） ６　かがやけおかやキッズ体力アッププログラム　1,280,000 円 ・小学１、２年生　２５クラス各６回 ・指導者講習会　新任学校教職員研修会にて実施 ７　スポーツ＆健康　高齢者運動促進事業 ・元気いきいき岡谷シニアスポーツデー　４回　参加者９８人 ８　スケート振興事業　2,818,000 円 ・多種目スケート教室　３種目３教室 ・おかやスピードスケートトータルサポートクラブ 初心者～上級者コース　３０回 アスリートコース　５０回 ・親子で氷上運動会　１回 ・ファミリースケートデー　１回　入場者３９人 ９　岡谷市バレーボールのまちづくり実行委員会　135,627 円 ・第２３回岡谷カップ・フレンドシップバレーボール大会４大会 参加者９４４人 ・小中学生レディースバレーボール教室　受講者４０人 １０　市民ニュースポーツフェスティバル　８種目 参加者４３人 １１　第３次岡谷市スポーツ推進計画策定業務 ・第３次岡谷市スポーツ推進計画策定アンケート調査委託業務 437,800 円 ・第３次岡谷市スポーツ推進計画印刷製本業務　275,000 円 （16,528,286 円）

第３　主要な統計、行政資料等

１　市営岡谷球場利用状況

	専用使用					照明施設						
	有料		減免		使用料	有料			減免			使用料
	全面	半面	全面	半面		野球	ソフト全面	ソフト半面	野球	ソフト全面	ソフト半面	
	h	h	h	h	円	h	h	h	h	h	h	円
6年度(A)	395.5	11.5	391.5	8.5	505,575	171.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	389,880
5年度(B)	377.0	4.0	222.5	0.0	477,540	178.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	405,840
増減 (A)-(B)	18.5	7.5	169.0	8.5	28,035	△ 7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 15,960

	放送施設		用具		施設使用料合計	行政財産使用料	使用料合計	利用者合計
	件数	使用料	件数	使用料				
	件	円	件	円	円	円	円	人
6年度(A)	23	48,300	2	220	943,975	59,220	1,003,195	8,852
5年度(B)	18	37,800	4	440	921,620	14,520	936,140	8,983
増減 (A)-(B)	5	10,500	△ 2	△ 220	22,355	44,700	67,055	△ 131

２　岡谷市営庭球場利用状況

	開場日数	専用使用			個人使用			
		有料	減免	使用料	一般	小中学生(有料)	市内小中(無料)	使用料
	日	h	h	円	人	人	人	円
6年度(A)	329	2,361.5	945.5	1,841,970	2,664	605	349	652,630
5年度(B)	331	2,948.0	825.0	2,299,440	2,737	495	763	656,590
増減 (A)-(B)	△ 2	△ 586.5	120.5	△ 457,470	△ 73	110	△ 414	△ 3,960

	通年使用券			回数券			照明施設				
	一般	小中学生	使用料	一般	小中学生	使用料	有料		減免		使用料
							300Lx	500Lx	300Lx	500Lx	
	件	件	円	件	件	円	h	h	h	h	円
6年度(A)	187	3	2,070,200	158	3	350,900	781.0	170.0	0.0	0.0	561,780
5年度(B)	168	3	1,861,200	105	1	232,100	884.0	364.0	76.0	0.0	745,680
増減 (A)-(B)	19	0	209,000	53	2	118,800	△ 103.0	△ 194.0	△ 76.0	0.0	△ 183,900

	用具		施設使用料合計	行政財産使用料	使用料合計	利用者合計
	件数	使用料				
	件	円	円	円	円	人
6年度(A)	20	2,200	5,479,680	21,780	5,501,460	27,932
5年度(B)	9	990	5,796,000	21,780	5,817,780	32,843
増減 (A)-(B)	11	1,210	△ 316,320	0	△ 316,320	△ 4,911

３　岡谷市民湖畔広場利用状況

	専用使用					用具		施設使用料合計	行政財産使用料	使用料合計	利用者合計
	有料		減免		使用料	件数	使用料				
	全面	半面	全面	半面							
	h	h	h	h	円	件	円	円	円	円	人
6年度(A)	77.0	267.5	196.0	41.5	177,030	2	220	177,250	170,800	348,050	14,669
5年度(B)	68.0	255.0	184.0	36.0	164,220	2	220	164,440	81,900	246,340	9,078
増減 (A)-(B)	9.0	12.5	12.0	5.5	12,810	0	0	12,810	88,900	101,710	5,591

4　岡谷市民川岸スポーツ広場利用状況

	専用使用					照明施設						
	有　料		減　免		使用料	有　料			減　免			使用料
	全面	半面	全面	半面		ソフト全面	ソフト半面	サッカー	ソフト全面	ソフト半面	サッカー	
	h	h	h	h	円	h	h	h	h	h	h	円
6年度(A)	93.0	139.5	81.0	113.5	152,985	21.5	87.0	12.0	21.5	0.0	0.0	152,785
5年度(B)	142.0	66.5	101.0	5.0	164,735	20.0	22.0	13.0	20.0	0.0	0.0	71,220
増 減 (A)-(B)	△ 49.0	73.0	△ 20.0	108.5	△ 11,750	1.5	65.0	△ 1.0	1.5	0.0	0.0	81,565

	用　具		施設使用料合　計	行政財産使用料	使用料合　計	利用者合　計
	件数	使用料				
	件	円	円	円	円	人
6年度(A)	1	110	305,880	24,200	330,080	3,241
5年度(B)	1	110	236,065	3,000	239,065	3,238
増 減 (A)-(B)	0	0	69,815	21,200	91,015	3

5　岡谷市やまびこ国際スケートセンター利用状況

（1）使用料収入状況

	1　回　券				回　数　券			
	一般	高校生	小中学生	使用料	一般	高校生	小中学生	使用料
	件	件	件	円	件	件	件	円
6年度(A)	851	115	586	1,261,450	47	24	52	466,450
5年度(B)	978	182	630	1,473,880	52	3	51	400,750
増 減 (A)-(B)	△ 127	△ 67	△ 44	△ 212,430	△ 5	21	1	65,700

	シーズン券				入　場　券			
	一般	高校生	小中学生	使用料	シーズン券	回数券	1回券	使用料
	件	件	件	円	件	件	件	円
6年度(A)	10	13	36	649,125	10	34	427	186,340
5年度(B)	4	14	35	472,500	12	54	471	229,020
増 減 (A)-(B)	6	△ 1	1	176,625	△ 2	△ 20	△ 44	△ 42,680

	専用使用	貸　靴	ロッカー	施設使用料合計	行政財産使用料	使用料合計
	円	円	円	円	円	円
6年度(A)	561,120	1,975,310	17,500	5,117,295	1,296,020	6,413,315
5年度(B)	400,800	2,023,010	17,000	5,016,960	1,196,470	6,213,430
増 減 (A)-(B)	160,320	△ 47,700	500	100,335	99,550	199,885

（2）利用者数等状況

	開場日数	一般	高校生	小中学生（有料）	市内小中（無料）	学校授業		入場者	大会等	利用者合　計
						市内	市外			
	日	人	人	人	人	人	人	人	人	人
6年度(A)	86	2,042	540	1,493	1,513	3,029	36	1,310	4,003	13,966
5年度(B)	83	1,978	481	1,541	1,250	3,621	39	1,415	3,378	13,703
増 減 (A)-(B)	3	64	59	△ 48	263	△ 592	△ 3	△ 105	625	263

6　岡谷市学校体育施設利用状況

（1）使用料収入状況

	体育館			校　庭			施設使用料合計		
	小学校	中学校	合　計	小学校	中学校	合　計	小学校	中学校	合　計
	円	円	円	円	円	円	円	円	円
6年度(A)	579,245	1,484,435	2,063,680	131,670	0	131,670	710,915	1,484,435	2,195,350
5年度(B)	680,205	1,513,915	2,194,120	132,610	2,860	135,470	812,815	1,516,775	2,329,590
増 減 (A)-(B)	△ 100,960	△ 29,480	△ 130,440	△ 940	△ 2,860	△ 3,800	△ 101,900	△ 32,340	△ 134,240

（2）利用時間等状況

・体育館

	専用使用				照明施設				利用者
	有　料	減　免	合　計	使用料	有　料	減　免	合　計	使用料	合　計
	h	h	h	円	h	h	h	円	人
小学校	695.0	4,529.0	5,224.0	295,900	2,090.5	3,133.5	5,224.0	283,345	32,077
中学校	2,216.5	1,144.5	3,361.0	874,390	2,701.5	659.5	3,361.0	610,045	34,864
6年度(A)	2,911.5	5,673.5	8,585.0	1,170,290	4,792.0	3,793.0	8,585.0	893,390	66,941
5年度(B)	4,288.0	6,421.0	10,709.0	1,285,670	6,485.5	4,223.5	10,709.0	908,450	79,400
増 減 (A)-(B)	△ 1,376.5	△ 747.5	△ 2,124.0	△ 115,380	△ 1,693.5	△ 430.5	△ 2,124.0	△ 15,060	△ 12,459

・校　庭

	専用使用				照明施設				利用者
	有　料	減　免	合　計	使用料	有　料	減　免	合　計	使用料	合　計
	h	h	h	円	h	h	h	円	人
小学校	53.5	5,205.5	5,259.0	23,540	183.5	213.5	397.0	108,130	24,939
中学校	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0	210
6年度(A)	53.5	5,205.5	5,259.0	23,540	183.5	213.5	397.0	108,130	25,149
5年度(B)	67.0	5,834.0	5,901.0	29,480	178.5	194.5	373.0	105,990	19,141
増 減 (A)-(B)	△ 13.5	△ 628.5	△ 642.0	△ 5,940	5.0	19.0	24.0	2,140	6,008

7　岡谷市民総合体育館利用状況

（1）使用料収入状況

	開館日数	専用使用			個人使用				
		有　料	減　免	使用料	有　料		無　料		使用料
					一般	小中学生	市内小中	その他	
	日	h	h	円	人	人	人	人	円
6年度(A)	334	13,290.0	2,198.0	7,976,730	9,352	776	1,705	2,321	2,142,800
5年度(B)	336	13,539.5	2,569.0	7,668,875	9,087	328	1,370	1,934	2,035,220
増 減 (A)-(B)	△ 2	△ 249.5	△ 371.0	307,855	265	448	335	387	107,580

	回数券			照明施設			設備		用具	
	一般	小中学生	使用料	有　料	減　免	使用料	件数	使用料	件数	使用料
	件	件	円	h	h	円	件	円	件	円
6年度(A)	648	1	1,426,700	6,949.0	430.0	2,251,230	1,957	1,368,535	1,109	121,990
5年度(B)	539	0	1,185,800	7,333.0	513.0	2,162,940	2,053	1,289,180	1,209	132,990
増 減 (A)-(B)	109	1	240,900	△ 384.0	△ 83.0	88,290	△ 96	79,355	△ 100	△ 11,000

	施設使用料合計	行政財産使用料	使用料合計
	円	円	円
6年度(A)	15,287,985	275,300	15,563,285
5年度(B)	14,475,005	243,730	14,718,735
増 減 (A)-(B)	812,980	31,570	844,550

（２）利用者数等状況

	専用使用		個人使用				回数券使用			利用者合計
	件数	人数	一般	小中学生	無料	合計	一般	小中学生	合計	
	件	人	人	人	人	人	人	人	人	人
6年度(A)	5,447	151,265	9,352	776	4,026	14,154	6,900	1	6,901	172,320
5年度(B)	5,628	139,662	9,087	328	3,304	12,719	5,824	7	5,831	158,212
増減 (A)-(B)	△ 181	11,603	265	448	722	1,435	1,076	△ 6	1,070	14,108

８　岡谷市民水泳プール利用状況

	開場日数	コース専用使用			個人使用					回数券		
		有料	減免	使用料	有料		無料		使用料	一般	小中学生	使用料
					一般	小中学生	市内小中	その他				
	日	h	h	円	人	人	人	人	円	件	件	円
6年度(A)	295	2,639.0	265.0	5,541,900	3,139	1,005	1,626	265	1,746,680	347	12	1,663,300
5年度(B)	276	2,405.5	484.5	5,051,550	3,167	1,028	1,578	557	1,766,050	291	7	1,386,600
増減 (A)-(B)	19	233.5	△ 219.5	490,350	△ 28	△ 23	48	△ 292	△ 19,370	56	5	276,700

	施設使用料合計	行政財産使用料	使用料合計	利用者合計
	円	円	円	人
6年度(A)	8,951,880	83,580	9,035,460	35,453
5年度(B)	8,204,200	76,505	8,280,705	33,319
増減 (A)-(B)	747,680	7,075	754,755	2,134

9　スポーツ教室等

（1）スポーツ教室

○少年スポーツ教室

教　室　名	日　程	回数	6年度		5年度		受講者増減	延人数増減
			受講者(A)	延人数(B)	受講者(C)	延人数(D)	(A)－(C)	(B)－(D)
		回	人	人	人	人	人	人
多種目スポーツ体験	4～5月	5	6	25	14	54	△ 8	△ 29
バスケットボール	5～8月	8	9	57	16	91	△ 7	△ 34
バレーボール	5～6月	5	8	37	12	48	△ 4	△ 11
テニス	5～7月	8	8	53	15	96	△ 7	△ 43
フットサル	1～3月	8	18	132	11	78	7	54
水泳（1回目）	5～6月	7	30	164	18	109	12	55
水泳（2回目）	6月	7	29	159	31	187	△ 2	△ 28
剣道	5～6月	6	4	21	9	52	△ 5	△ 31
バドミントン	8～11月	8	23	163	17	105	6	58
ソフトテニス	7月	8	10	51	15	97	△ 5	△ 46
合　　計		70	145	862	158	917	△ 13	△ 55

○女性スポーツ教室

教　室　名	日　程	回数	6年度		5年度		受講者増減	延人数増減
			受講者(A)	延人数(B)	受講者(C)	延人数(D)	(A)－(C)	(B)－(D)
		回	人	人	人	人	人	人
ヨガ	8～10月	8	20	131	17	104	3	27
キックボクササイズ	10～11月	8	20	113	18	116	2	△ 3
合　　計		16	40	244	35	220	5	24

○一般スポーツ教室

教　室　名	日　程	回数	6年度		5年度		受講者増減	延人数増減
			受講者(A)	延人数(B)	受講者(C)	延人数(D)	(A)－(C)	(B)－(D)
		回	人	人	人	人	人	人
ゴルフ	5～7月	10	22	188	22	192	0	△ 4
アクアビクス	6～7月	6	10	50	－	－	10	50
スロージョグ	4～7月	6	10	50	15	76	△ 5	△ 26
合　　計		22	42	288	37	268	5	20

○市民全般スポーツ教室

教　室　名	日　程	回数	6年度		5年度		受講者増減	延人数増減
			受講者(A)	延人数(B)	受講者(C)	延人数(D)	(A)－(C)	(B)－(D)
		回	人	人	人	人	人	人
柔道	5～6月	8	12	93	－	－	12	93
卓球	9～11月	8	18	100	14	93	4	7
ソフトバレーボール	11～1月	8	8	59	16	109	△ 8	△ 50
合　　計		24	38	252	30	202	8	50

○託児付きスポーツ教室

教　室　名	日　程	回数	6年度		5年度		受講者増減	延人数増減
			受講者(A)	延人数(B)	受講者(C)	延人数(D)	(A)－(C)	(B)－(D)
		回	人	人	人	人	人	人
ママスポ広場ヨガ	1～3月	8	14	95	10	62	4	33

（２）おかやキッズ体育塾

教　室　名	日　程	回数	6年度		5年度		受講者増減 (A)－(C)	延人数増減 (B)－(D)
			受講者(A)	延人数(B)	受講者(C)	延人数(D)		
		回	人	人	人	人	人	人
前期(1～4年生)2クラス	5～7月	20	34	275	33	261	1	14
後期(年長～4年生)2クラス	10～12月	20	33	267	43	311	△ 10	△ 44
合　　計		40	67	542	76	572	△ 9	△ 30

（３）おかやファミリースポーツプログラム

教　室　名	日　程	回数	6年度		5年度		参加組数増減(A)－(C)	延人数増減 (B)－(D)
			参加組(A)	延人数(B)	参加組(C)	延人数(D)		
		回		人		人	組	人
親子でバスケット(小学生)	6月19日	1	27組＋4人	58	31組+6人	68	△ 4	△ 10
親子でバドミントン(小学生)	7月13日	1	25組＋6人	56	22組+8人	52	3	4
親子でナイター野球(小学生)	8月3日	1	29組＋7人	65	25組+4人	54	4	11
親子でサッカー(年長～小学生)	9月29日	1	11組	22	11組+1人	23	0	△ 1
親子で卓球(小学生)	2月16日	1	19組＋4人	42	11組+2人	24	8	18
合　　計		5	111組	243	100組	221	11	22

（４）スケート教室

○多種目スケート教室

教　室　名	日　程	回数	6年度		5年度		受講者増減 (A)－(C)	延人数増減 (B)－(D)
			受講者(A)	延人数(B)	受講者(C)	延人数(D)		
		回	人	人	人	人	人	人
初心者スケート(市民全般)	10～11月	4	15	41	9	24	6	17
アイスホッケー(小中学生)	12月	2	26	31	19	34	7	△ 3
カーリング(市民全般)	11～1月	3	14	32	16	38	△ 2	△ 6
合　　計		9	55	104	44	96	11	8

○おかやスピードスケートトータルサポートクラブ

教　室　名	日　程	回数	6年度		5年度		受講者増減 (A)－(C)	延人数増減 (B)－(D)
			受講者(A)	延人数(B)	受講者(C)	延人数(D)		
		回	人	人	人	人	人	人
初～上級者コース（小学生）	7～2月	30	8	183	12	300	△ 4	△ 117
アスリートコース（小中学生）	6～2月	50	21	821	20	737	1	84
合　　計		80	29	1,004	32	1,037	△ 3	△ 33

○親子で氷上運動会

対　象	日　程	回数	6年度		5年度		参加組数増減(A)－(C)	延人数増減 (B)－(D)
			参加組(A)	延人数(B)	参加組(C)	延人数(D)		
		回		人		人	組	人
年少～小学３年生と保護者	11月4日	1	21組+10人	57	25組+6人	56	△ 4	1

（５）競技力向上小中学生バレーボールクリニック

教　室　名	日　程	回数	6年度	5年度	受講者増減 (A)－(B)
			受講者(A)	受講者(B)	
		回	人	人	人
ＶＣ長野トライデンツによるクリニック	7月20日	1	91	－	91
国スポ強化クリニック	3月8日	1	40	－	40

選　挙　管　理　委　員　会

第１　概説

選挙管理委員会では、衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査の執行のほか、選挙人名簿の調製、明るい選挙推進協議会と協力した選挙啓発事業を行った。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
選挙管理委員会運営事務	１　選挙管理委員会定例会　月１回開催 ２　永久選挙人名簿の調製 ６、９、１２、３月各月の１日を基準日として選挙人名簿の定時登録を行った。 ３　在外選挙人名簿の調製 海外在住の有権者の名簿管理を行った。 ４　検察審査員候補者予定者の選定 松本検察審査会から本市割当人員２７人の通知を受け、所定の方法、手続きにより該当者を抽出し報告した。 ５　裁判員候補者予定者の選定 長野地方裁判所松本支部から本市割当人員５５人の通知を受け、所定の方法、手続きにより該当者を抽出し報告した。 (2,760,607円)
明るい選挙推進事業	１　明るい選挙推進協議会総会 ・期　日　５月１６日 ・場　所　９階大会議室 ・参加者　推進委員、参与 ・内　容　役員選任、令和５年度事業報告、令和６年度事業計画(案) ２　啓発活動 （１）令和６年度明るい選挙啓発ポスター作品募集・選考 ５月７日から８月２６日の募集期間中に、小・中学校の児童、生徒から８４点の応募があり、市の審査において１２点の入選作品を決定し、表彰状と記念品を贈呈した。また、全応募作品をレイクウォーク岡谷に展示した。 県の地方審査（第１次審査）では、小学校の部で３点が入選し、そのうち１点は県審査（第２次審査）においても入選し、中央審査へ進んだ。 （２）選挙啓発カードの発送 令和６年度中に有権者となる１８歳に対し、投票手順を示した選挙啓発カードを発送した。 発送数　４８６通 （３）選挙物品の貸し出し 児童会・生徒会役員選挙に際し、投票箱・記載台を貸し出した。 貸出学校数　小学校４校、中学校４校、高等学校３校

	（４）選挙時啓発 ・１０月２７日執行の衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査に向け、市内大型商業施設において街頭啓発を行った。 場所：西友岡谷南店、西友岡谷北店、オギノ岡谷店、レイクウォーク岡谷、フォレストモール岡谷、いちやまマート岡谷店 ・１０月２７日執行の衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査に向け、市内企業を訪問し啓発を行った。 訪問先：諏訪信用金庫、ＴＰＲ（株）、京セラ（株）長野岡谷工場、（株）ダイヤ精機製作所、（株）エグロ、マルヤス機械（株） (49,553円)
衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査執行事務	１０月２７日に第５０回衆議院議員総選挙・第２６回最高裁判所裁判官国民審査を執行した。 公示日　１０月１５日　　執行日　１０月２７日 [衆議院小選挙区投票結果] 当日の有権者数　男19,282人　女20,461人　計39,743人 投票者数　男11,027人　女11,426人　計22,453人 投票率　男 57.19%　女 55.84%　計 56.50% 候補者得票数（得票順） 後藤しげゆき　自由民主党　12,851票（県４区75,713票　当選）（後藤茂之） たけだ良介　日本共産党　8,349票（県４区50,005票）（武田良介） [衆議院比例代表投票結果] 当日の有権者数　男19,282人　女20,461人　計39,743人 投票者数　男11,026人　女11,423人　計22,449人 投票率　男 57.18%　女 55.83%　計 56.49% 党派別得票数（全国得票順） 自由民主党　5,730.000票（北陸信越 1,053,516.000票 当選4） 立憲民主党　5,499.519票（北陸信越 818,773.297票 当選3） 国民民主党　2,076.480票（北陸信越 341,114.540票 当選1） 公明党　2,018.000票（北陸信越 258,634.000票 当選1） 日本維新の会　1,365.000票（北陸信越 228,617.000票 当選1） れいわ新選組　1,649.000票（北陸信越 216,659.000票） 日本共産党　2,204.000票（北陸信越 181,910.000票） 参政党　588.000票（北陸信越 100,050.000票） 社会民主党　416.000票（北陸信越 61,928.000票） [最高裁判所裁判官国民審査結果] 当日の有権者数　男19,282人　女20,461人　計39,743人 投票者数　男10,936人　女11,329人　計22,265人 投票率　男 56.72%　女 55.37%　計 56.02% (24,681,807円)

第３　主要な統計、行政資料等

１　永久選挙人名簿登録人員

区分	6 月 1 日	9 月 1 日	12 月 1 日	3 月 1 日
男	人 19,373	人 19,323	人 19,282	人 19,216
女	20,568	20,498	20,450	20,390
計	39,941	39,821	39,732	39,606

２　在外選挙人名簿登録人員（令和7年3月1日現在）

区　　分	人　　員
男	人 12
女	23
計	35

３　選挙管理委員会委員及び補充員

選任区分	氏　　名	選任年月日	任　　期
委員長	松下　正樹	令和6年2月8日	令和10年2月7日
同職務代理者	髙林あつ子		
委員	濵　　道夫		
委員	花岡　浩臣		
補充員	花岡　則秀		
補充員	小口　恭子		
補充員	林　　恒夫		
補充員	濵　　和男		

監　　査　　委　　員

第１　概説

関係法令等に基づき、定例監査、行政監査、財政援助団体等に対する監査、例月出納検査、決算審査及び財政健全化判断比率等審査を実施した。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
監査事務	１　監査 （１）定例監査 財務に関する事務の執行と経営に係る事業の管理について実施した。 ・一般会計（学校、保育園含む。）、特別会計、基金、企業会計　１０日間 （２）行政監査 テーマを「財産（土地）管理について」とし、定例監査と同時に実施した。 （３）財政援助団体等に関する監査 公益財団法人 おかや文化振興事業団を対象に実施した。１日間 ２　例月出納検査 会計管理者（企業出納員）の行う現金（歳入歳出外現金及び基金に属する現金を含む。）の出納事務について、毎月例日を定め検査を実施した。　月１回 ３　決算審査 市長から提出された決算書及び関係書類の審査を実施した。 ・一般会計、特別会計、基金　７日間 ・企業会計　１日間 ４　財政健全化判断比率等審査 市長から提出された実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率及び資金不足比率並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類について、決算審査と同時に実施した。 （4,439,966円）

＊　監査結果等については、公告するとともに岡谷市ホームページに掲載した。

第３　主要な統計、行政資料等

監査委員

選任区分	氏　　名	選任年月日	任　　期
識見監査委員 （代表監査委員）	山岸　　徹	令和 3年 6月 1日	令和 7年 5月31日 （1期目）
識見監査委員	竹花　直子	令和 5年 6月 1日	令和 9年 5月31日 （1期目）
議会選出監査委員	中島　秀明	令和 5年 5月17日	議員の任期

公　平　委　員　会

第１　概説

公平委員会では、職員団体登録事項変更届に関する審査を行った。また、人事行政の運営等の状況に係る公平委員会報告事項について、報告を行った。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容
公平委員会事務	１　公平委員会開催　２回 ２　職員団体登録事項変更 本委員会に登録のある団体は、岡谷市職員労働組合、岡谷市公立学校教職員組合の２組合である。 ・５月１日に岡谷市公立学校教職員組合から登録事項変更届が提出され、５月１３日付で受理した。 ・４月２日に岡谷市職員労働組合から役員変更届が提出され、４月２５日付で受理した。更に６月３日に役員変更届が提出され、６月１７日付で受理した。 (370,503 円)

第３　主要な統計、行政資料等

１　業務の状況

（１）　勤務条件に関する措置の要求の状況

令和５年度末 現在係属件数	令和６年度中 措置要求件数	令和６年度中 処理件数	翌年度係属件数
０件	０件	０件	０件

（２）　不利益処分に関する審査請求の状況

令和５年度末 現在係属件数	令和６年度中 審査請求件数	令和６年度中 処理件数	翌年度係属件数
０件	０件	０件	０件

（３）　苦情相談の状況

令和５年度末 現在係属件数	令和６年度中 苦情相談件数	令和６年度中 処理件数	翌年度係属件数
０件	０件	０件	０件

２　公平委員会委員

選任区分	氏　　名	選任年月日	任　　期
委員長	林　　和子	令和3年4月1日	令和7年3月31日（2期）
同職務代理者	宮坂　大吾	令和6年4月1日	令和10年3月31日（2期目）
委　　員	牛越　弘彰	令和4年4月1日	令和8年3月31日（1期目）

農　業　委　員　会

第１　概説

農業委員会では、農地法（以下「法」という。）に基づく権利の許可関係事務のほか、農地利用の調整、農業振興に関する調査、研究等を行った。

農地等の利用の最適化の推進については、農地の利用状況調査及び意向調査により農地の状況を把握し、農地の貸出し希望者には、農地バンクへの登録を勧めるとともに、貸したい農地と耕作希望者をマッチングする貸借り相談会を開催するなど、農地の有効利用及び遊休農地の発生抑制、解消を図った。

また、専門部会の農産物振興対策部会では、シルクスイートの試験栽培を継続して行ったほか、新たな取り組みとして、八幡礒五郎との連携により、手軽で獣害に強いトウガラシの栽培普及に向けた試験栽培を行い、収穫したものを同社に納品した。

また、湊栃久保集落耕作者組合において、地域の農業の将来像を明確にすることにより、遊休農地の拡大を防止するとともに、農地の集約化や効率的な利用を促進し、持続可能な農業を推進するため、１０年後の耕作者を示した「目標地図」を含んだ、地域農業の設計図となる地域計画を策定した。

第２　実績総括

主要な事務事業	内　　容	
農業委員会事務	１　法各条処理	
	（１）農地権利移転関係（法第３条）	２３件
	（２）権利移転のない転用関係（法第４条）	５件
	（３）権利移転の伴う転用関係（法第５条）	４２件
	（４）貸付地の解約関係（法第１８条）	１６件
	（５）農地転用許可後の計画変更	１件
	（６）許可取り消し関係	１件
	（７）許可不要事案	０件
	２　調停・あっせん・啓発・答申等	
	（１）農業に関する啓発	４回
	（２）農業委員会委員研修	１１回
	（３）農業者年金関係説明会	３回
	（４）農業団体との懇談会	２回
	（５）農地相談事業	４３件
	３　諸証明	
	（１）法に基づく証明	０件
	（２）その他の証明	２４件
	４　会議関係・その他	
	（１）農業委員会等開催状況	
	（ア）農地調整、農業振興関係総会	１２回
	（イ）地区別現地調査	１２回
	（２）農産物振興対策部会	２２回
		(7,442,361 円)

第３　主要な統計、行政資料等

１　農地権利移転関係（法第３条）状況

区分 / 権利別			受理	処理	許可				取り消し
						田	畑	計	
			件	件	件	㎡	㎡	㎡	件
所有権移転	自作地	有償	12	12	12	990.00	5,394.00	6,384.00	0
		無償	10	10	10	393.00	1,971.00	2,364.00	0
	貸付地		0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
	小　計		22	22	22	1,383.00	7,365.00	8,748.00	0
賃借権	設定		0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
	移転		0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
	小　計		0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
使用貸借権	設定		1	1	1	0.00	132.82	132.82	0
	移転		0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
	小　計		1	1	1	0.00	132.82	132.82	0
合　計			23	23	23	1,383.00	7,497.82	8,880.82	0

２　農地転用関係（法第４条及び第５条）状況

区分 / 目的別	受理	処理	許可				取り消し
				田	畑	計	
	件	件	件	㎡	㎡	㎡	件
地方公共団体	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
宅地造成	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
その他	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
地方公共団体以外	47	47	47	19,370.48	18,919.21	38,289.69	0
宅地造成	6	6	6	2,415.00	5,097.00	7,512.00	0
住宅	12	12	12	2,498.00	2,969.23	5,467.23	0
工員・社員社宅	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
その他の住宅	2	2	2	1,073.00	2,157.00	3,230.00	0
工場・その他	7	7	7	9,777.07	4,196.00	13,973.07	0
その他の建物	2	2	2	0.00	1,023.00	1,023.00	0
道水路	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
その他の施設	18	18	18	3,607.41	3,476.98	7,084.39	0
植林	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
合　計	47	47	47	19,370.48	18,919.21	38,289.69	0

３　貸付地の解約関係（法第１８条）状況

区分 / 目的別		受理	処理	許可				取り消し
					田	畑	計	
		件	件	件	㎡	㎡	㎡	件
許可	耕作目的	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
	転用目的	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
通知	耕作目的	16	16	16	6,138.00	7,545.00	13,683.00	0
	転用目的	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0
合　計		16	16	16	6,138.00	7,545.00	13,683.00	0

4　農地転用許可後の計画変更

区分 許可別	受理	処理	許可			
				田	畑	計
	件	件	件	㎡	㎡	㎡
法第４条	0	0	0	0.00	0.00	0.00
法第５条	1	1	1	0.00	1,973.00	1,973.00
合　　計	1	1	1	0.00	1,973.00	1,973.00

5　許可不要事案（うち、法施行規則第２９条第１号の届出）処理状況

区分 目的別	受理	処理			
			田	畑	計
	件	件	㎡	㎡	㎡
農業用施設	0	0	0.00	0.00	0.00

6　農地転用状況（法第４条、第５条関係分のみ）

区分 年度別	件数	面積		
		田	畑	計
	件	㎡	㎡	㎡
平成２７年度	62	10,060.37	16,814.87	26,875.24
平成２８年度	64	7,797.06	22,300.23	30,097.29
平成２９年度	68	7,459.00	22,616.09	30,075.09
平成３０年度	59	9,252.66	20,058.97	29,311.63
令和　元年度	59	17,232.25	22,726.47	39,958.72
令和　２年度	80	15,716.41	29,370.53	45,086.94
令和　３年度	89	15,083.91	38,157.61	53,241.52
令和　４年度	79	22,018.11	26,280.13	48,298.24
令和　５年度	57	17,679.00	21,950.00	39,629.00
令和　６年度	47	19,370.48	18,919.21	38,289.69

7　農業委員会の構成　　（令和７年３月３１日現在）

選出区分	定数	現在数	備考
	人	人	
農業委員	8	8	うち女性３名
農地利用最適化推進委員	3	3	
計	11	11	

（注）第２６期農業委員会　会長:宮澤淑　会長代理:髙林敬子